1億円か？ 猪木イズムか？ 小川、猪木祭りは不出場

平成12年4月25日第3種郵便物認可 平成14年1月24日発行 増刊 第4巻・2号・通巻61号

SRS DX

SPECIAL RING SIDE

1・24 臨時増刊号

2002

特別定価 720YEN

別冊付録『SRS・DX』2002カレンダー

猪木ホームレス 紅白をブッ潰せ！キャンペーン

猪木、全国遊説中！

HOMELESS

PRIDE.18 大会速報号

SRS DX 増刊 No.61 1・24 臨時増刊号

小川、猪木祭り不参加で前代未聞の内幕暴露！

編集人・在川真吾 発行人・神原正 発行所・(株)アジアレイ出版
(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F 電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価 720円 本体686円

K-1GPの雰囲気を完全再現

過酷な予選トーナメントや、VS猪木軍などで話題沸騰のK-1が、ファン待望のPS2で登場。ハードの性能アップにより実現したリアルグラフィックは、まさに本物。ゲーム中の動きも、すべて選手本人によるモーションデータを使用、炸裂するパンチやキックは、まるでテレビ中継を見ているかのよう。ゲームモードも多彩で、2PやCOMとの対戦を楽しむ「エキシビジョン」に加え、予選を勝ち抜き、決勝トーナメントを目指す「グランプリ」や、実際の試合にあった名シーンを再現する「リバイバル」などなど、K-1ソフトの決定版になることは間違いない。

汾陽 桂太プロデュース

© 2001 KONAMI © K-1 2001

おなじみのK-1戦士が実名で登場

現在登場が確定しているK-1戦士は、シリル・アビディ、ステファン・レコ、アーネスト・ホースト、ジェロム・レ・バンナ、フランシスコ・フィリオ、ピーター・アーツ、マイク・ベルナルド、ミルコ・クロコップ、レイ・セフォー、マット・スケルトン、武蔵、中迫剛、天田ヒロミ、ノブ・ハヤシ、ニコラス・ペタスなどなど、おなじみの顔ぶれが揃う。

実況「三宅正治」 解説「谷川貞治」

おなじみ、フジテレビ「K-1ワールドGP」中継の雰囲気をそのまま再現。実況はフジテレビ・三宅正治アナウンサー、解説は格闘評論家・谷川貞治氏。また、リングアナにはボンバー森尾を起用しているぞ。

特殊映像多数収録

クリア後のご褒美として、試合や選手の映像を多数収録。選手別エンディングや優勝メッセージ、入場シーンやソフトのメイキングなど、ファンにはたまらない内容だ。全部見ることが出来るかな?

"PS", "PlayStation" and "DUALSHOCK" are registered trademarks of Sony Computer Entertainment Inc.

コナミ株式会社
本社/〒105-6021 東京都港区虎ノ門4-3-1

●商品に関するお問い合わせは コナミマーケティング株式会社お客様相談室 コナミホットライン TEL.03-3344-3573
営業時間:月~金曜日(除祝日)9:00~19:00 電話番号はお間違えのないようにお願いします。「ナンバーディスプレイ」を利用しています。
●最新情報は コナミテレフォンサービス(毎月第2・4月曜日 内容一新) 東京 03-3436-2277 大阪 06-6455-0477

KONAMI GOLDNET
http://www.goldnet.konami.co.jp/
KONAMIの無料メール配信サービス登録ページ

●商品情報満載のホームページ「WEB KONAMI」 www.konami.co.jp/kmj/ ●もっとコナミを知りたい www.konami.com ●コナミ公式オンラインショップ www.konamistyle.com

12・31『イノキ・ボンバイエ』猪木軍VSK-1軍 全面対抗戦 待ったなし！

紅白歌合戦をぶっ飛ばす、荒れ、木枯し！

国民的他流試合の カードはこれだ！

12・31 国民的他流試合

猪木軍VSK-1軍、いざ決戦！

猪木軍		K-1軍
X	いまだ決まらず VS	ジェロム・レ・バンナ〈フランス／ボーアボエル&トサジム〉
永田裕志〈新日本プロレス〉	VS	ミルコ・クロコップ〈クロアチア／クロコップ・スクワッドジム〉
髙田延彦〈髙田道場〉	VS 編集部予想	マイク・ベルナルド〈南アフリカ／スティーブズジム〉
佐竹雅昭〈怪獣王国〉	VS 編集部予想	サム・グレコ〈オーストラリア／正道会館〉
安田忠夫〈フリー〉	VS	レネ・ローゼ〈オランダ／メジロ・ジム〉
ドン・フライ〈米国／フリー〉	VS	シリル・アビディ〈フランス／チーム・ロメアス・ボクシングプラネット〉
ゲーリー・グッドリッジ〈トリニダード・トバゴ／フリー〉	VS	レイ・セフォー〈ニュージーランド／アメリカンプレゼンツ・ジム〉
石澤常光〈新日本プロレス〉	VS	子安慎悟〈正道会館〉

※12月24日現在

時は来た！　12月31日、さいたまスーパーアリーナで開催される『イノキ・ボンバイエ』猪木軍VSK-1軍全面対抗戦が、もう目前に迫った。藤田和之の負傷、小川直也の不参加など、直前のトラブルで大荒れとなったカード決定。不利だと思っていたK-1軍が勢いを増し、猪木軍が大ピンチを迎えるという戦前から波乱の連続で、この国民的他流試合の火ブタは切られる。果たして結果は？　視聴率はどうなるのか？

なぜだ?窮地に立たされたA・猪木!状況逆転!"全勝"と鼻息荒い石井館長

当初、猪木軍VSK—1軍の対抗戦話が持ち上がった時、圧倒的にリスクが大きいのはK—1側だと思われていた。それは、両者が闘う場合、K—1ルールでもなければ混合ルールでもない。他流試合である限り、前提としてなんでも有りの総合ルールでないとファンは納得しないからである。それでも、K—1側が極力闘いやすいようにと作られたのが、猪木軍VSK—1軍の異種格闘技戦ルールだった。

そのため、当初は圧倒的に不利だと思われていたK—1軍に対し、関係者は猛反対した。選手に関しても「どうせトップファイターは出て来ないだろう」というのが大方の見方で、石井館長は本当に四面楚歌に立たされながらも、この大一番に打って出たのだ。

まさにK—1が潰れるんじゃないかと思われていた大きな賭け。しかし、開戦となった8・19K—1ジャパン大会で、猪木軍の藤田和之と安田忠夫が予想外の壮絶KO負け。特に藤田に放った一発のヒザ蹴りが、猪木軍VSK—1軍の流れを大きく変えた。普段から運が強いと言われている石井館長に、何か神懸かり的な強運が舞い降りるような展開になっていったのだ。

それでも、猪木軍VSK—1軍の大晦日決戦は、猪木軍の大リベンジをテーマに盛り上がっていった。間に入った11・3『プライド17』東京ドーム大会の髙田延彦VSミルコ・クロコップの試合もそう。髙田はアクシデントでミルコを仕留めることはできなかったが、それによって猪木祭りはさらに強固な猪木軍が結成され、大逆襲が行われると思われていた。だから、石井館長も必死にK—1のトップファイター集めに奔走したのである。

猪木軍VS K-1軍、いざ決戦!

総大将・藤田和之がタイでアキレス腱断裂!
意外にも、K―1はバンナ&ベルまで出場決定

両軍のメンバーが決定するのは、K―1が12月8日、東京ドームで『ワールドGP決勝大会』があるのでそれ以降。最終的に主催者のTBSから「12月18日」と期限を区切られたため、12月上旬は両軍ともメンバーの最終調整に必死になっていたのである。

ところが、12月10日に業界内に衝撃が走った! なんと猪木軍の総大将と目されていた藤田が、極秘の山籠りトレーニングでアキレス腱を切ったという情報が伝わってきたのだ。この情報は、新日本プロレス関係者や藤田と親しいマスコミに一斉に伝わった。もちろん、TBSや石井館長、そしてロスにいたA・猪木にも。

ところが、藤田がトレーニングしていたのは、タイ(のちに猪木がマスコミに発表)で、タイに行っていたことは猪木も知らないことだった。そこで、正確な情報もはっきり掴めず、マスコミも発表を戸惑った。最初にスクープの形で報じたのは、12月12日発売の東スポだった。

この不測の事態に猪木は12日、極秘に緊急帰国(当初は14日に帰る予定だった)。藤田も帰国して手術を行ったが、復帰は早くても半年先になるだろう。これで藤田の猪木祭り欠場は決定的となり、IWGPのベルトは返上、選手管理の責任者である猪木事務所の伊藤章生取締役が無期限の定職処分になったことが、12月14日、猪木本人の口から発表された。

「戦争にたとえて、俺が最高司令官だとすれば、戦局が分からずに勝手なことをした責任は大きい。事後報告となった以上、アクシデントだけでは片付けられない。ご迷惑を皆さんにかけたことをお詫びいたします」と、猪木はマスコミを前に謝罪。こうなると、注目は一気に小川直也が出るかどうかに集まる。

小川は8・19で藤田がやられたことを知ると、誰よりも真っ先に「K―1をブッ潰す!」とリベンジ宣言。しかし、11・3『プライド17』のリングで髙田との試合が白紙に戻されると、「DSEが関わるイベントには出ない!」と公言し、

▶猪木も知らないまま、タイで極秘練習していた藤田が、なんとアキレス腱を断裂! 総大将が欠場という異常事態に!

▶実況は猪木の引退試合以来となる古舘伊知朗! 解説は角田信朗と桜庭和志が務めるらしい

っとんのや。猪木さんが困ってるのに」とか「出なかったら逃げたとみなす」「小川包囲網はでき上がっている」と何度も何度も挑発。しかし、その一方で一部で報道されていた「ファイトマネー1億円」に対しては「彼にはそれに見合う実績は何もない」とピシャリ。かくして、藤田負傷、小川の参戦問題で、猪木祭りは大混乱の様相を呈してきた。

そして、TBSに期限を切られた12月18日、原宿クエストホールでいよいよ全カードが発表されることになった。

その後、K―1軍との対抗戦については一切語らなくなった。それからは、マスコミに対しても「その話題は振らないでくれ!」と通達している。

それに対して、猪木はあくまでも「本人の意志に任せる。ゴネるならいらない」という姿勢を貫き、一時は〝絶縁〟を発表するんじゃないかという噂も飛んだ。

一方、小川参戦に積極的だったのは、むしろ石井館長のほう。「小川クンは何やらせたいのか、ワクワクするものがある。どのカードも、それだけでメインイベントになりそうな豪華なものだ。

さすが大晦日の紅白歌合戦の裏番組で行うだけに、TBSも記者会見から力の入った演出をしていた。ステージに猪木、石井館長の両プロデューサーが上がり、出場選手の名前を交互に読み上げる方法でカードは次々に発表されていく。対戦の組み合わせはある程度予想していたが、いざこうして発表されると、やはりワクワクするものがある。どのカードも、それだけでメインイベントになりそうな豪華なものだ。

❶永田裕志VSミルコ・クロコップ、❷髙田延彦VSサム・グレコ、❸ドン・フライVSシリル・アビディ、❹ゲーリー・グッドリッジVSレイ・セフォー、❺安田忠夫VSレネ・ローゼ、❻石澤常光VS子安慎悟……ところが、対抗戦が「7対7」になるとして、メインイベントとなるべきカードが未定と発表とされた。小川参戦はこの時点で決まらなかったのだ。

「小川が出るかどうかは分かりません。金銭面とかいろんな報道が出ているが、俺自身が今日明日にでも話し合って結論を出したい」と猪木。それに対し、石井館長のほうは意外にもVT否定派だったマイク・ベルナルドと、出て来ないんじゃないかと思われていたジェロム・レ・バンナの名前まで出し、「みんなが見たいのは小川VSバンナじゃないですか?」と挑発。まさに攻守逆転。猪木軍はピンチに立たされ、K―1軍がガ然優位に立った感は否めない。

「やるからには全部勝つ気でいきます」と言う石井館長に対し、猪木は「K―1が終わらないように5勝3敗くらいで」。さらに石井館長は「バンナは小川とやりたいって指名してきました。アイツの勘でしょうね。でも、小川選手が出なくてもバンナは出します。そうしないと、バンナも怒るんで」と鼻息は荒い。

もし仮に小川が出なかったとして、現実的に猪木軍に残されているのは、佐竹雅昭や『プライド18』に出場したばかりの高山善廣とアレクサンダー大塚しかいない。あとは傭兵のアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラやマリオ・スペーヒーくらいか。K―1軍が思わぬビッグネームを揃えてきただけに、この時点ではガ然小川の動向に注目が集まりはじめた。■

12月21日(金)

小川の交渉決裂会見に石井館長、怒りの内幕暴露

前代未聞の泥沼化

対戦カードが発表された4日後、事態はとんでもない方向に展開していった。なんと、小川の猪木祭りについての水面下の交渉が、全て暴露されてしまったのだ。これまでファイトマネー等の交渉内容がファンの前に曝け出されることは、タブーだと思われていた。この前代未聞の急展開はなぜ起こったのか?

12月21日、この日は3つの記者会見が開かれた。まず、午後3時から髙田道場で猪木が会見。その内容は「誰も名乗りを挙げないのなら俺がやる」と、58歳の猪木が現役復帰宣言。そして、「マリオとノゲイラが〝ノーギャラでもいい〟と名乗りを挙げてきた。これで猪木軍は優勢になったと思う」と強調し、小川の出場の件は「強制はしないが、31日まで待つ」と語った。ただし「本当は爆弾話を持ってきたんだが、周りの人に言わないでくれと言われたので言わない」と含みのある発言をし、本当は違う発表をしようと思っていたが、土壇場になって状況が変わり中途半端な内容での会見になったんじゃないかと匂わせた。

では、いったい猪木は何を発表しようとしていたのか。それを推理する上で、まず髙田道場での発表というのが気になった。もし、小川参戦決定だったら、背広を着てどこかのホテルでやるのが普通。しかし、あえて〝道場〟を選んだとしたら、なんらかのデモンストレーションを考えていたのではないだろうか。そうなると、練習風景を見せて、現役復帰宣言をし「猪木VSバンナ」の発表をしようとしていたのか。

「こうなったら、俺がバンナにのされるのが一番面白ぇんだろ?」と猪木は、親しい人間に語っている。たしかに猪木VSバンナを発表すれば客も集まるし、視聴率は上がる。でも、まさか58歳の猪木にそんなことはさせられない。ただ、猪木はそれくらいのことは本当に覚悟している様子だった。

しかし、そこまで猪木がやらなかったのは、何か小川の状況が変わってきたのか。しかも、その発表を新日本の道場でやらずに髙田道場でやったことに対しても疑問が残るし、なんとこの日の会見について猪木事務所にはまったく知らされてなかった。この時点での猪木の真意は、本当に掴みきれないものがあった。そのため、集まった記者の感想は、「猪木はノゲイラVSバンナをやらそうとしているんじゃないか」という感想に止まった。

しかし、猪木が爆弾話をやめたのは、小川がいよいよ出場を決意したのかと思いきや、その推測はすぐに否定された。

この日の午後6時、小川がUFOの川

12・31 国民的他流試合

猪木軍VS K-1軍、いざ決戦!

「いつ、何時、誰とでも」の精神崩壊!
破格の8千万提示も小川は蹴った

村龍夫社長と会見を開き、猪木祭りに参戦しないことを発表したのだ。

川村社長の話によれば、TBSが記者会見を開いた12月18日、川村社長と小川、小川のマネージャー、石井館長の4人で交渉をしたが「対戦相手の詰め、ファイトマネーの面でうまく調整がつかなかった」という。小川は『K—1ワールドGP』でピーター・アーツとジェロム・レ・バンナが負傷したことを知り、翌19日には用意されているマイク・ベルナルドで返事をしようと考えていたらしい。

ところが、その19日の朝に石井館長から川村社長の携帯に電話が入り、「タイムリミットなので、この話は白紙に戻してください」という連絡が入ったという。つまり、小川にしてみれば、「出ないとは一言も言ってないし、妥協案も考えた。それなのに白紙に戻されたんなら、どうしようもない」というのが言い分だった。

ただし、「今は1・4東京ドームに集中したい」としながら「これが最後でなく来年もK—1との対抗戦が続いてほしい」と発言。川村社長も「機会があったらぜひやりたい」と、完全決裂ではないことを強調した。

しかし、これに激怒したのが石井館長のほうだ。まるで、小川不参加は自分のせいだと言わんばかりの会見を聞きつけた石井館長は、即座に都内恵比寿のウェスティンホテルに記者を集めて会見。交渉の経緯を赤裸々にブチまけたのである。石井館長がUFOサイドの会見を聞きつけてから約30分での対応。本誌の谷川編集長が石井館長からその話を聞き、会見場に行くとすでに終わり近くになっていたほど、その対応ぶりは早かった。

石井館長の話を整理するとこうだ。石井館長は、小川が『プライド』が関わっているイベントには出たくないと言っていたので、あえてK—1軍ながら小川との交渉役を買って出た。石井館長と川村社長は、旧知の間柄でもあったからだ。

それが11月初旬。猪木軍サイドの小川に対するファイトマネーの予算は3千万円。これは小川が『プライド』で1千万～2千万で試合をしていたので、それを最大限考慮しての金額だった。

ところが、小川が提示してきたのは1億円。この大きなギャップに、UFO側の川村社長も必死に調整しようと何度も「もう少しなんとかならないか」と提案。これではとてもラチが明かないと判断した石井館長は自腹を切って不足分を補おうと努力し、最終的には5千万円のポケットマネーをつぎ込んで交渉にあたったという。つまり、計8千万円の破格のファイトマネーを小川に提示したのだ。

「17日の時点で、川村社長にそれで話をつけてくださいと言いました。明日は全カードの発表ですし、19日には朝日新聞や電車の中吊りなどの広告が全て間に合わなくなる。新聞のラテ欄にまで小川の名前は一切載らなくなるので、会見が始まる前に小川を連れて来て最後の交渉をしたいと言ったんです」

▲高田道場で突然、会見を開いた猪木

この時、石井館長は川村社長に「小川には背広を着て来るように言ってください。それで決まったら、一緒に記者会見に行きましょう」と付け加えたそうだ。

ところが、小川は背広を着て来なかった。石井館長はそれを見て「もうダメだ」と思ったが、小川側の返答もやはり「猪木祭りは『プライド』などがからむイベントなので出たくない。どうしてもと言うのなら、ファイトマネー1億円。相手はピーター・アーツでお願いします」と、要求はまったく変わっていなかった。

「ケガをしているアーツですよ。歩くのもやっとの人間にメインで勝っても嬉しくないでしょう。どう考えても不条理。1億円についても、複数回契約しようとしたら、来年は自分で興行をやるのでと、拒否されました」と石井館長。

石井館長は猪木軍との話が持ち上がる前に、某パーティーで小川と顔合わせをし、「ヒクソンとドームでやってください。そうしたら1億円出しますよ」と立ち話で言ったことがあるという。石井館長は冗談半分で話したつもりだったが、「それで1億円と言っているなら、揚げ足取りもいいところ。約束した覚えはない!」と怒りを抑えながら話した。

「最終的に白紙にして一度ケジメをつけて、あとは猪木さんと話してくださいと川村社長には言いましたけど、僕が断ったとか、出てほしくないと言った話じゃない。18日の会見前に、猪木さんにも『力不足ですいませんでした』と、ご挨拶しています。僕が断るスジ合いのもんじゃないし、今回、僕自身はもうお金を出すつもりはありません。来年また、仕切り直せばいいんじゃないですか」

それにしても、これだけ赤裸々に水面下で行われた交渉が暴露されたのは珍しいケースだ。しかも、ファイトマネーの金額が現実に晒されたことで、実に生々しい会見となった。

いずれにせよ、双方の言い分が食い違っているのはたしかだが、小川の「いつ、何時、誰とでも」という猪木イズムのイメージが崩壊したことは否めない。石井館長は「今日も川村社長から、1億円でベルナルドとどうかという電話があったが、新日本プロレスや『プライド』がいかに苦労しているか分かった。今回はもう関わりたくないです」と最後に締めくくった。

なお、この日、藤田から『猪木会長が猪木祭りに出場する発言をお見受けしましたが、その理由が私が出られないためというのであれば、車イスに乗ってでもさいたまスーパーアリーナに出向き、それをやめさせなければなりません』という主旨のファックスが流れてきた。■

猪木「俺が出てバンナとやってやる」
藤田「車イスでも猪木さんを止める!」

12月23日(日)
福岡

ホームレスになった猪木の、“打倒・紅白”の旅がスタート！

▶決起集会に乱入してきたのが、なんと佐竹雅昭！　佐竹は「誰もいないなら俺がリングに上がる」と猪木が言ったことに対して、藤田と同じように「選手として自分が代わりに出たい」と猪木軍として『イノキ・ボンバイエ』出陣宣言をしにやって来たのだ

佐竹が猪木軍入りを志願！「金じゃない、お役に立てれば……」

佐竹雅昭のコメント

「猪木さんがリングに上がる上がらない関係なしにね、自分にも順番が回ってきたというか、K-1を知り尽くしているということでね、猪木軍のほうに上がって、闘えることができたらなぁと思って来ました。あとは猪木さんが決める問題なんでね。僕の希望というのは誰が来ても背を向けずにね、ネバー・ダイの気持ちで闘いたいと思って来たわけだから。ここまで来たら、ホントに誰でもいいって感じで、特にK-1ファイターのことはよく分かると思うし。お金の問題じゃないです。お金は全然興味がないですね。僕は闘うことが好きな男だから、やってみたいという気持ちが強いだけなんでね。お金に対しては興味がないですね」

最後のシメはやはり「1、2、3、ダァ～ッ」。猪木の隣りでアントニオ猪木スタイルでいるのは、九州産業大学の有志たち。猪木は壇上に上げて「なんでそんな格好してるの？　寒いのにご苦労さん。でもお前バカだな（笑）。俺はもっと大バカだけど、ムフフフ」とご機嫌だった

▶「ホームレスの財布って見たことないだろ？　財布があるんだよな。中身も見たいか？　まずなぁ、ホームレスが小判を持ってる。カードも持ってる。じゃあ、こっちから見せような。ドルがこんなに入ってた。日本円はどうかな？　お～っと。これで高い『PRIDE』のキップも買えるな、俺は」と財布の中身を見せる金持ちホームレス。小川のギャラも払えそう……？

▶黒タイツをはいた“エセ・猪木”に闘魂ビンタ！最近はどこでも「ビンタをやってくれ」と言われ、少々飽きている様子

▲集まった人たちの目がなぜだかみんな嬉しそう。そして幸せそうなまなざしで猪木を見つめていた

▶“打倒・紅白”の旅は福岡からスタート。もの凄い人数の警備員に囲まれながら、にこやかに登場した猪木

小川VS石井館長の衝撃会見の翌日にあたる12月22日、猪木は翌日の『プライド18』観戦のため福岡入り。猪木が小川不参加の騒動に対し、何を言うかとマスコミも多数空港に駆けつけた。猪木は福岡空港でマスコミに対し、次のような発言をしている。

「小川のイメージはやっぱり下がったんじゃないかな。“いつ、何時、誰とでも”のはずが、ベルナルドかアーツしかやらないというんじゃしようがねぇ。だけど、今回は今までタブーと思われていたファイトマネーの問題が出ちまったのは面白い！　他の関係者がどう言うのか、皆さん聞いてみたらどうですか？　まあ、今回のことで小川は自分で何も決められないことがバレたんじゃないかな」

猪木はこの小川問題に対して、意外とサバサバしていた。ただし、現実問題として猪木軍のメンバーはまだ足りない。その点について猪木に聞くと「ノゲイラやスペーヒーはいつでもやると言ってんだけど、K—1のほうが受けてくれない。あと、ウチのほうでは橋本（真也）のマネージャーにどうかとオファーしました」と答えた。

橋本VSバンナならもちろん興行的には一発逆転だが、実際、猪木と絶縁状態の橋本は完全に小川擁護に回っている。その話を聞きつけた橋本は「冗談じゃない！」と一蹴したと言われている。

翌12月23日は、マリンメッセ福岡で今年最後の『プライド18』が開催された。午後1時、早くから会場入りした猪木は、ホームレスの格好をして会場の屋外駐車場で大デモンストレーション。実はこの日から、猪木はホームレス姿で全国を遊説し、“打倒・紅白歌合戦”のプロモーションをかけるというのだ。

24日は大阪、25日は東京、27日は名古

PRIDE福岡・猪木劇場

『小川がいなくても、面白くなる！』

24日は大阪、25日は東京、27日は名古屋と、ホームレス姿で選挙活動のように回り、場所によっては本物のホームレスを2千人近く集めてパフォーマンスするという。「俺はNHKの前で紅白をブッ飛ばせとやって、本当にホームレスと野宿するつもりなんだよ」と猪木。これが猪木流の打倒・紅白に向けての世間の注目の集め方だったのだ。

そして、その大プロモーションの初日であるマリンメッセ福岡の駐車場に、佐竹雅昭が登場！「K―1を熟知している者として、猪木軍入りして大晦日に闘いたいと思います。これは金の問題じゃない！」と猪木軍入りを直訴。最後は「アントニオ猪木を〝男〟にしてやってください！」と締めた。これで猪木軍として、佐竹が猪木祭りに参加することがほぼ決定的となった。

また、猪木は『プライド18』の休憩明けにも、ホームレス姿でリングに登場。12・31猪木祭りを宣伝し、恒例の「1・2・3・ダァーッ！」をやってリングサイドで後半の試合を観戦した。

猪木にとっては、この日出場していた高山善廣やアレクサンダー大塚も、猪木軍の候補選手として考えていたのだろうか。しかし、アレクはヴァンダレイ・シウバに鼻骨を折られてTKO負け。高山も211センチのオランダの大巨人セーム・シュルトに強烈なパンチを連打されてKO負けし、とても猪木祭りに出られるような状況ではなくなってしまった。

マスコミの誰もが困惑して、先が読めない猪木祭り。いったい、カードはどうなるのか？「なーに、小川がいなくても、大晦日は十分面白いものになるんだから」と強気の姿勢を崩さない猪木。大会まで本当にあと1週間だ！ ■

12・31 国民的他流試合

猪木軍 VS K-1軍、いざ決戦！

▶冬バージョンのホームレス姿はどこかオシャレ？

橋本にもオファー。しかし、橋本はすぐに否定！

「元気ですかぁぁぁ！　元気があればなんでもできる。元気があれば格闘ホームレスも楽しい。プロレスのリング、そして『プライド』、K―1のリングを渡り歩いております。今日はなんで俺がこんな格好をして出てきたか分かりますか？　12月31日、分かってる人手を挙げてくれ～！　おおっ！　これで勝利だな。ということで、今日からさっき開場する前に皆さんにちょっとご挨拶をしてまいりましたが、明日は大阪に、あさっては東京で大パフォーマンスをさせてもらおうと思っておりますが、今日は何が起こるか分からない、そんな時代だと思いますけど、暗い時代に俺たちが、格闘技を通じて元気を皆さんに、そして世界に発信したいと思っております。目立たない顔なんでこんな格好をしてますが、ということでね、12月31日、よろしくお願いします。じゃあ、俺に負けないくらい元気で1発！　いくぞぉぉぉ、1、2、3、ダァ～！」

▲決起集会の後は握手会を行った猪木。ここでも闘魂ビンタが炸裂した

▶大きなリュックを背負い登場した猪木。この中にはティッシュやタオル、そして小判入りの財布も入っている

石井館長のコメント

▲リングサイドで観戦していた石井館長と

「（ジェロム選手の参戦は）出場しますよ。出場選手を8人くらいにしておかないと、例えばケガとか練習中にあったりしたら困るじゃないですか。僕らはある程度、万が一に備えて柳澤選手やブラガ選手とか『前の日に出ろと言われれば出ます』と言ってる選手がいっぱいいますから。そういう準備だけはしてます。（佐竹選手の参戦については？）K―1を知ってるだけにね。打撃とか自分で経験してるだけに、よく知っている佐竹は嫌ですよね。弱点知ってるし。ジェロムは今、ケン・シャムロックと練習してます。柳澤選手も向こうに行ってます。（対戦カードは？）決めないとね、今日明日で。ジェロムもイライラしてるんでね。小川のつもりで練習してたから」

撮影◎乾晋也

猪木の「格闘選挙」活動に人・人・人 紅白をブッ飛ばせキャンペーンに

12月24日㊊ 大阪 清き一票を

『小川のことは過去のこと。"銭ゲバ"って悪いイメージがついた』

河内家菊水丸が来た！

本邦初公開！ これが猪木のホームレスへの着替え中！

◀河内家菊水丸が応援にやってきた！ もちろん河内音頭も披露した

▲見てみ、この人だかり！ 猪木の現れるところ、全てに群衆が集まるのだ！

石井館長の『小川、1億円会見』に対し、小川サイドがどういう反論をするのか注目されたが、小川はもうこの件に関しては何も言わないらしいという情報が伝わってきた。

実際、小川は23日の新日本プロレス後楽園大会に乱入し、1・4東京ドームで闘う佐々木健介を挑発。もう目は完全に1・4に向いている。会場からは「帰れ！ 銭ゲバ野郎」というヤジも飛んだが、これは翌日の東スポの一面になった。

しかし、マスコミの間では、猪木祭りに、最後は小川が出てくるんじゃないかという噂は絶えない。しかし、猪木はキッパリとこれを否定している。

「小川が出るか出ないかなんて過去のこと。みんなもう切り替えてるよ。気にしてないよ。佐竹もノゲイラもスペーヒーもいるし、アリ戦の時を思い起こせば、ルールなんか当日の朝まで決まらなかったんだから。たしかに小川に対して執着というか、影響はあったけど、今はイメージが悪いなぁという気はするな。『銭ゲバ』というコールが出たこともあるしね。今回の件は、小川も軽く考えてたんじゃないの？ それを今回のことで気が付いてほしい。逆に小川がこれからどう回復していくのかなぁと。だから、日々変化が起きてるよ」

その猪木、『プライド』の翌日の12月24日は、大阪に出向いて〝紅白歌合戦をブッ飛ばせ！〟大キャンペーンを実施。午後12時30分、毎日放送の『リアルタイム』の番組放送。午後1時からは、ホームレス姿に着替え、毎日放送1Fにあるギャラクシーホールの前で、300人以上の観衆の前で大演説を行った。ここでは大の猪木ファンの河内家菊水丸が乱入し、河内音頭を披露。最後は「1、2、

12・31 国民的他流試合

猪木軍VSK-1軍、いざ決戦!

▲遊説隊長は、猪木軍の総帥・アントニオ猪木自らが買って出た！大阪の街に「元気ですかーッ！」がこだまする

▲渋滞で止まっていたクルマに、猪木が乗っていると気付くや、すぐさま集まってくる人たち。マジで危ないのだよ、群集心理って！

▲握手会ではひとり一人と固い握手を交わす猪木。『イノキ・ボンバイエ2001』への思いは伝わったか？

K―1側は〝佐竹潰し〟にグレコ投入
佐竹VSグレコ、高田VSベルナルドか？

群衆の熱気に後押しされてか、クルマを降りて「1、2、3、ダーッ！」とやった猪木。素敵な笑顔である

3、ダーッ！」で締めて、次の場所に移動していった。

猪木の移動は、まるで参議院議員選挙に出馬した時のような宣伝カーに乗り、マイクを持って叫ぶ。

「元気ですかーっ！　元気があればなんでもできる。こちらは紅白をブッ飛ばせキャンペーンを展開しております、アントニオ猪木です。えー、大晦日の午後9時から、猪木軍VSK―1が開催されます。ぜひとも12月31日は、TBSを見てください！」

突然、猪木がこんなことを叫びながら宣伝カーで走っていくので、通行人もみんなビックリ。しかも、渋滞や信号待ちの時間には、自ら車から降り「いくぞーっ、1、2、3、ダーッ！」とやるもんだから、すぐに黒山の人だかりができ上がる。群集心理というのは怖いモノ。その様子を見ていたら、本当に危ない危ない！

「集まって来るファンは、俺が集めているわけじゃない。選挙と同じで俺が動くことによって、みんながその気になっていくだけだ」と猪木。猪木のやっていることは、まさに「格闘選挙」活動。大晦日は『猪木軍VSK―1』に清き一票を、という雰囲気がヒシヒシと伝わってきた。こうやって、格闘技イベントの視聴率を上げようというのは、まさに前代未聞のこと。さすが猪木の発想は違う。

午後2時半、みなみにあるビッグステップでは、この日一番の大観衆。ホント、冗談抜きで千人以上の人だかりができた。しかも、そこにはわざわざ安田忠夫も駆け付け、猪木から気合いの闘魂ビンタを一発！　それはまるで、小川が抜けて大ブレイクするのはお前しかいない、と言わんばかりの激励だった。その様子を見

▼大阪のＦＭラジオ局に乱入した猪木。受付で強行出演を交渉した！

▼前日は福岡の街に現れた、人生のホームレスが、今度は大阪にやってきた。やっぱりバッグを携えて。今回は何も説明しなかったが、実際は中に何が入っていたのかな……？

「総決起集会の手応え？俺の直感では番組は成功するよ」

▼この日、２人目のゲストとなった安田に対して、猪木は張り手で出迎える。決戦１週間前の安田に、最後の闘魂注入だ！

▲マスコミの取材に応じる猪木。この日は基本的にＴＢＳ系列のカメラクルーが猪木に密着。大晦日の決戦に、テレビ局も全面協力！

衝撃スクープ！猪木が新幹線内で残したメモを入手！

安田忠夫に気合いの張り手一閃！

ていたら、なぜか安田VSバンナもいいなぁと思ってしまった。猪木はどう考えているのだろうか。

また、記者の中から「Ｋ―１側が佐竹潰しだったら、グレコが面白いと思ってるみたいなんですけど」と尋ねると、「なんだっていいよ、そんなもの。だったら、佐竹VSグレコ、髙田VSベルナルドに替えたっていい。当初は（石井館長も）難色を示してたんだけど、闘いを通じて敵と味方というか、師弟の関係もあるから、ストーリーがあるじゃない。俺が思うに、石井館長は佐竹が大好きなんだよ。佐竹も石井館長という存在を認めることによって成長していくと思うしね」と猪木は前向きな発言をした。これを聞いて、もしかしたら、佐竹VSグレコ、髙田VSベルナルドにカードは変更されるんじゃないかという気もした。

それにしても、ここまで来ると、全カードがどんな形に収まるのか、当日まで関係者すら予想がつかない。本誌が発売されている頃には、全８試合（？）が発表されているかもしれないし、まだ決まってないかもしれない。本当にあらゆる意味で、予測不能なイベントである。

それでも猪木は、まったく意に介していない。

「決起集会の手応え？　いいんじゃないですかねぇ。俺は選挙で経験しているから見えるんだけど。マッチメイクなんて関係ねえよ。直感だけど、番組は成功するよ」と、満面のアントン・スマイルを浮かべている。

果たして、本当に猪木祭りは視聴率10％を超えることができるか。全国のプロレス＝格闘技ファンよ、力を結集せよ！

（取材◎〝Ｓｈｏｗ〟大谷泰顕）

PRIDE.18
12.23★マリンメッセ福岡

高山の大誤算。

顔面ボコボコの恐怖体験に「高山、ダッセェぞ！」と一言！

試合後、ボコボコに顔を腫らせた高山は、「高山、ダッセェぞ！」と自らの試合を振り返った

撮影◎中島ミノル（望遠）

PRIDE版タワーリング・インフェルノだ

211センチの大巨人と196センチの大巨人

211センチのシュルトと196センチの高山。シュルトは前蹴りで高山を懐に入らせない

入場だけでウルウルしてしまう。高山というのは本当に色気のあるプロレスラーだ

今やノゲイラに続き、『プライド』ヘビー級戦線のトップを走り続けるセーム・シュルト。ベースはもちろん空手だ

「一言で言うと、高山ダッセェ！」

試合後、インタビュースペースで右半分顔を腫らした高山がイスに腰を下ろすと、開口一番こう言った。

高山にとっては屈辱的な試合だった。しかし、高山本人が「ダサイ！」と言ってるものの、関係者の評判は決して悪くない。高山は今時珍しい、相当かっこいいプロレスラーであることは、この日も十分証明された。

マスコミにとって、高山は頭のいいプロレスラーの一人に数えられる選手である。この男は抜群のプロレス頭を持っている。自分がファンに何を期待され、それをどう演じればいいかしっかりと分かっているのだ。それはプロレスの試合でも、ガチンコの試合でも同じことだ。

『プライド』に上がる時、高山は真っ先に藤田を指名した。それは自分がプロレスのボーダーラインを跨ぎ、格闘技の世界を体験する時、どういう図式の試合をすれば一番輝くか、はっきりと認識している選択だった。

実際、高山は藤田に対して、今年の『プライド』の中でもベストバウトに入るほどのいい試合をした。肉弾相打つ日本人同士のプロレスラー対決。ガチンコでも、お互いの良さが引き出された見事な闘いを演じ、失神し、敗れてもなお高山の評価は上がった。プロレスラーで負けて帰って、さらに飛び級したイメージを与えたのは、高山ぐらいだろう。

本人も『プライド』初体験は、「残酷な闘いをしながら、友情が芽生えるような不思議な体験だった。

あんな気分を味わったのは初めて

シュルトの強さは、巨大な制空圏を作ることにある！

シュルト、寝ても強し！あっという間の三角絞め

高山がテイクダウンに成功したと思ったら、あっという間に下からの三角絞め。シュルトは寝技も想像以上にうまい！

前蹴り、左ジャブの2つの武器で見事な制空圏を作ってしまうシュルト。それでも高山は前に出る

必死に三角絞めから逃れると、猪木―アリ状態のまま、高山がローキックをブチ込む

◀高山は密着して差し合いにもっていくことに成功。しかし、シュルトは体を入れ替えて細かいパンチを出す

あんな気分を味わったのは初めてだった」と語っている。よくスポ根漫画の世界で、激しく闘ったあとはノーサイドになり、友情が芽生えるシーンというのが出てくる。「ウソだーッ」と思えるようなこの世界を、高山は本当に味わって帰ってきたのだ。

プロレスの世界では、もはや押しも押されもせぬメインイベンター。だが、一度こういう気持ちを味わったのなら、再び高山が『プライド』に挑戦するのは明らかだった。なんと言っても、高山の理想のプロレスラー像は両方できることにある。そして、いざリングに上がれば、誰よりも腹の据わったところがかっこいい！

その高山が、『プライド』2戦目で選んだ相手が、格闘技王国オランダの大巨人セーム・シュルトだった。センスのいい高山本人が選択した相手だ。きっと高山なりの計算があり、いい試合になるのだろう。主催者のDSEも、高山には絶対の信頼感があるため、この試合は福岡大会のメインイベントに抜擢されたのである。

ところが、これは高山にとって大きな誤算となった。たぶん高山は、シュルトが『プライド』では無敗の注目選手で、何よりも211センチの大巨人というビジュアルを優先したのだろう。高山も196センチと、日本のマット界全体を見渡しても一番の大男。日蘭巨人対決は、素人にも分かりやすいテーマになるし、高山本人も自分より背の高い男を倒してみたいという夢があった。

しかし、高山の誤算は、シュルトの格闘スタイルにあった。シュ

恐怖の〝痛い〟パンチ 頭上から炸裂！

あぁ、殴りたいっ！

▼シュルトと闘った選手は誰しも、その正拳突きの破壊力はハンパじゃないと言う。高山の記憶がブッ飛んだ

3

▼続いてシュルトの矢のような左の正拳突きが数発、高山の顔面を捕らえる

2

▲再び立ち技の展開になると、シュルトは前蹴りの連打。ムキになった高山は、それでも前へ前へと出る

▼高山の右のパンチは、シュルトの前蹴りで何度も空を切った

1

5 ▲完全に失神している高山。それでもなおシュルトは高山に襲いかかる

4 ▲ロープに飛ばされるように、高山の巨体が崩れ落ちていく

ルトがなぜ強いかというと、自分の長いリーチを生かしたジャブや前蹴りで〝制空圏〟を作るからである。つまり、対戦相手をシュルトの間合いに入らせない術を持っており、たとえ制空圏を突破して接近しても天を突くようなヒザ蹴りを得意としているから、非常にやりにくい選手なのである。

シュルトはデカイという、自分の身体能力を生かした闘いをする。こういうタイプと闘うとどうなるかと言うと、自分のパンチやキックは届かない、なんとか間合いを詰めて懐に入ってもヒザ蹴りが飛んで来るという蟻地獄にはまったような気分にさせられる。つまり、相手の光を消し、弱く見せる天才なのである。

そのため、小路晃や佐竹雅昭はあっさりと敗れ、弱いなぁということを印象付けられてしまった。小路や佐竹が決して弱いのではない。シュルトの勝ち方が、相手の光を消しているのだ。小路のパンチも、佐竹のローも届かないんだから、見たほうは「何やってんだ」という気持ちにさせられてしまうのだ。

高山はきっと、シュルトと巨大タワーがぶつかり合うような試合をしたかったのだろう。だが、頭のいい高山のことだ。シュルトがなぜ強いかを分析していくうちに、これはヤバイと思ったのではないだろうか。シュルトと凄い試合をするのは相当大変なことだからだ。

それでも高山はプロレスラーとして、あるいはメインイベンターとして、自分が何を期待されているか十分に分かっている。まさに高山にとっては『プライド』もま

PRIDE.18
12.23★マリンメッセ福岡

▶ストップがかかるまで襲いかかるシュルト。この非情な精神が強さの秘密か？

「気が付いたら、マットの文字が見えていた」（高山）

高山の意識ブッ飛ぶ！

▲顔からマットに崩れ落ちる高山。気が付いたら、マットの上に書かれた文字を見ていた

◀完全にKOされた高山を、スネークピットの宮戸優光も心配そうに見つめる。なお、高山のセコンドにはリングスの金原弘光もいた

た、命懸けのエンターテインメントなのである。

〝凄い試合を見せつけてやるぞ〟高山は小路や佐竹にもできなかった、このモチベーションのみでシュルトに向かっていった。ゴングが鳴るや、高山はシュルトに対してグローブを合わせる挨拶をしようとした。

しかし、シュルトはこれに付き合わずにいきなり前蹴りを放って突き放した。いい試合をしようとしていた高山に対し、完全にノーと言ってるような場面だった。

それから高山はシュルトの顔面にパンチを叩き込もうとするが、シュルトは付き合わないとばかりに前蹴りやジャブの連打！　一度は高山もテイクダウンに成功したものの、下になったシュルトは股下100センチの両足を巻き付け、すぐに三角絞めで高山を苦しめた。

これじゃあ、寝技に持ってっても危ないじゃないかと判断した高山は、必死に腕を引っこ抜いてスタンド状態に戻る。この進化する大巨人は、立っても寝ても危険極まりない。今のところ、シュルトの攻撃を防ぐには、完全に体を密着させて間合いゼロの状態にするしかないのではないだろうか。

だが、そんな膠着試合を高山が選ぶはずがない。高山はこうなったら玉砕あるのみと、ブンブンパンチを振り回していったが、全てをかわされて矢のような左ストレートの連打を浴びてマットに崩れ落ちた。

「気が付いたら、マットに書かれた文字を見ていた」という高山。やはり、高山をしてもシュルトの制空圏を崩すことはできなかった。

次はノゲイラと対決！
来年、パンクラスVSリングスKOK王者へ
高山、猪木祭り出場断念！

▶シュルトも今年『プライド』で輝いた外人選手の一人。来年早々、ノゲイラVSシュルトのタイトル戦実現か？

▼高山も猪木祭りに出場したいと言っていたが、これで完全になくなった。今回の『プライド』も日本人選手にとっては厳しいものとなった

▶敗れはしたものの最後まで色気を漂わせていた高山。しかし、ダメージは大きかった

シュルトのコメント

「タカヤマはフジタ戦を見たけど、凄い強い選手だなぁと思ったよ。でも、倒せて大変嬉しい。三角絞めは足が長すぎるからじゃなくて、相手の足をコントロールできなかったから極まらなかっただけ。タカヤマは他の選手に比べて体重も重いし、突進力があったので強かった。ただ、私もかなり動いて、フロントキックやパンチを出すことができた。理想の勝ち方だったと思う。私が右を使わなくて、タカヤマはラッキーだったな(笑)。次はノゲイラ戦？それは自分が決めることじゃなく、ジムのマネージャーが決めることだ。もちろん、ちゃんとトレーニングすれば勝算はある」

高山のコメント

「勝った時だけ偉そうに言うのもなんだから、悔しいけど出てきました。パンチ一発一発が本当に想像を超えたっつぅか。自分でも想像を超えたところにあるんだろうなぁっていうのは、試合前から思っていたんだけど、そうだったっていう。本当は打ち合う予定じゃなかったんだけどね。俺がガーッと前に出た時、一瞬彼が嫌な顔しているように見えて、差している時にコツコツやられたのが、凄い痛かったんで、なんとかあの顔に殴りかかってやろうとムキになっちゃって。それで組み立てが壊れてしまった、と。三角絞めもあんなにパッと来るとは思わなくてビックリしました。(連敗については？)う～ん、まあいつも僕が言ってる言い方で言えば、凄いダサイですね。自分が解説席に座っていたら、『高山、ダッセェぞ！』って言いますね」

★第8試合(1R10分、2・3R5分)
○セーム・シュルト(1R3分09秒、KO勝ち)高山善廣●
<オランダ／ゴールデン・グローリー>　<日本／フリー>

それこそが自分のテーマだと感じていた高山だからこそ、試合後に「ダッセェ！」というセリフを吐いたのだろう。

しかし、ファンがそれをダサく感じなかったのは、高山が自分が何をしなければいけないかを感じ取り、そのテーマを必死にクリアしようとしていたことが十分伝わってきたからだ。高山はシュルトが最初のインスピレーションと違い、非常に厄介な相手だということが分かっていた。にもかかわらず、そのテーマに正面から立ち向かって、気絶するまで闘ったところに感動が伝わってきたのだ。

それにしても、シュルトは大変な存在になろうとしている。聞くところによると、空手式の打ち方をするシュルトの正拳突きは、あんな細い腕にもかかわらず、信じられないくらい〝痛い〟というのだ。

小路や佐竹があんなに簡単に倒れたところを見ると、相当効いているのだろうし、高山は試合後「頭が割れるかと思うほど痛かった。正直に言うと、藤田選手に食らったグラウンドでのヒザ蹴りの比じゃないほど効いた」と、その恐怖を語っていた。

恐るべしはシュルトである。今年、リングスのKOK王者のアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラがマーク・コールマンを破って一躍トップの座に躍り出た。そして、もう一人浮上してきたのが、現キング・オブ・パンクラシストのシュルトだ。

リングスとパンクラスの頂点に立った男が、来年『プライド』のリングで雌雄を決することになるのは間違いない。

(谷川)

PRIDE.18
12.23★マリンメッセ福岡

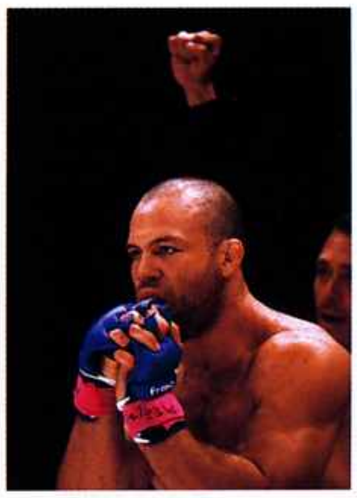
アレク、早くも『プライド』復帰！
ミドル級チャンピオン・シウバに挑んだ

初めて見た“色気”さえも漂うこんなにイイ顔のアレク

ギャグもなく、悲壮感もなく

大抜擢となるシウバ戦。リングに向かうアレク。今日のアレクには、今まで感じたこともないような、張り詰めんばかりの“色気”が漂っていた

シウバをコーナーに押し込む「この作戦はいいですよ」（サク）



◀桜庭を2度倒し、ミドル級チャンピオンとなったヴァンダレイ・シウバ。試合前には「3分以内でKOする！」と宣言

▶ランペイジ戦に負け、『プライド』復帰は完全消滅したかと思われたアレクに、またとないチャンスが舞い込んだ。今回は、ホントの意味での「AOコーナー」からの挑戦となる！

◀1R、開始すぐはローでけん制していたアレクだが、すぐにタックルへ入る

◀そのままコーナーに詰め、食らい付いたら離さないとばかりに懸命に押し込む。アレクは慎重な攻めを見せる

▼グラウンドで完全なマウントを奪われる。しかし、これを返しても、シウバはすぐ立ち上がって鋭い蹴りを顔面に入れようとするが、アレクは間一髪で逃がれる

非情なる顔面蹴りの餌食に！

10月、『プライド17』出場権を賭けたランペイジ戦に、無惨にも敗退したアレク。もう『プライド』への復帰は完全に消滅したかと思われていた。しかし、突然発表された、アレクの『プライド』復帰。しかも相手は、桜庭和志を2度にわたって撃破した、あの初代ミドル級王者・シウバだという。

「ホント、今回がダメだったら辞めないといけないかな、という気持ちも持ってますね……」

シウバ戦が決まった時のインタビューで、アレクはこう語った。今までの図々しさ（いい意味で）はどーしちゃったの？　と思えるほど謙虚な発言の数々。〝引退〟という言葉を口にするほど、アレクはこの一戦を真摯に受け止めていた。もちろん、軽々しく口にしたわけじゃない。でも、暗く思い詰めているわけでもない。どこか吹っ切れたような感じだった。

でも、そんなことよりも！

なぜ、ベルトまで獲ったイケイケのシウバが、チャンピオンシップではないとはいえ、どん詰まり状態のアレクと闘わなきゃいけないの？　福岡だけでなく全国のファンから、こんな疑問が投げかけられた。かつては、アレクも『プライド』を代表する選手の一人だった。しかし、下克上の激しい今の『プライド』では、ファイターのピラミッドでいえば頂点と底辺ほどの開きがある。アレクの今後の人生を左右するような重大な決意でさえ、当たり前のように感じられるほどだ。

それは本誌オフィシャルサイトの「Webゴング」の投票結果にもハッキリと表れていた。「ランペ

▲距離を取ると、シウバの容赦ないパンチが襲ってくる。よく見てかわそうとするが、ストレートやフックを序盤から何発ももらってしまう

アレクも危うく、シウバの

イジに負けたにもかかわらず、なぜかシウバと対戦することになったアレク。この挑戦はふさわしい？」という設問に対する結果はこうだった。

1：ちょうどイイからシウバに潰してもらいたい！（35・2％）

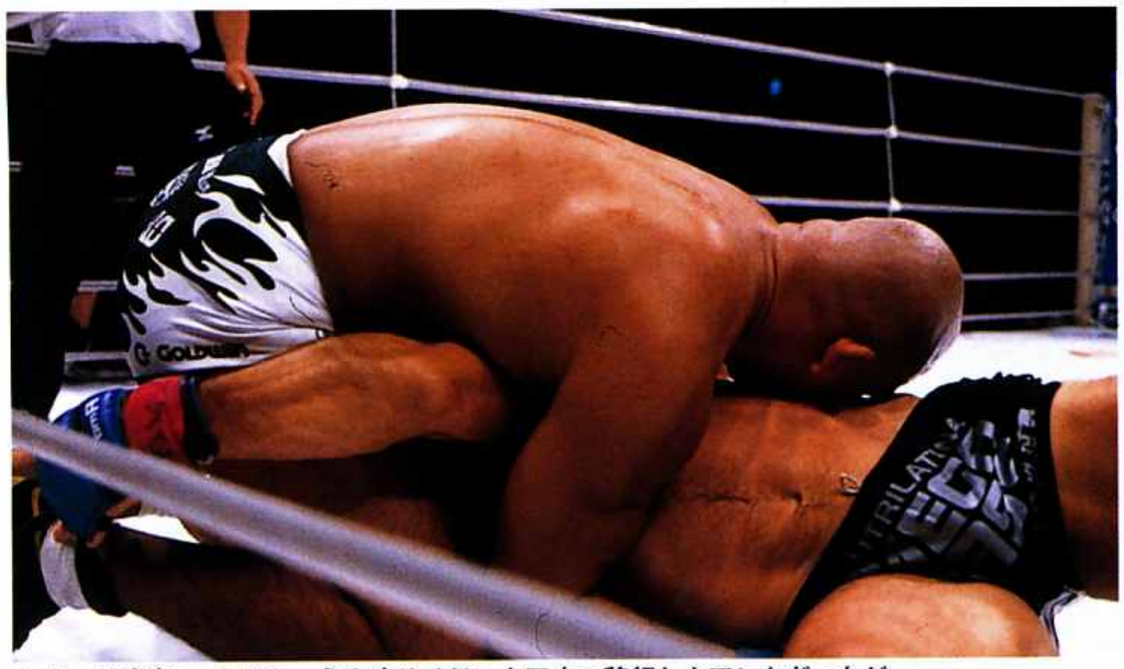
2：ふさわしいわけがない！　ランペイジへのリベンジのほうが先だろう！（34・2％）

3：今回はシウバの顔見せってことで、アレクでもいいのでは？（26・2％）

4：もちろん、ふさわしい。ベルトも賭けろ！（4・3％）

やはり、「アレクが勝てるワケねーだろ！」という声が圧倒的だ。だがこんなに批判されるのも当然といえば当然。これまでアレクはさんざんファンの期待を裏切ってきた。しかし、こんな逆境の中でもシウバ戦というチャンスをアレクは掴んだ。ファンには見放されても、まだ運には見放されていなかったのだ。でも、今回またダメだったら、本当に〝サヨウナラ〟。今のアレクにとって、この試合はビッグチャンスであると同時に、大きなリスクを背負った試練でもある。ましてや今回は、バトラーツを離れてフリーとなってからの初戦。福岡のファンは、アレクにどんな裁定を下すのか――。

「AOコーナー」が流れ、大歓声の中、アレクが入場ゲートに現れた。うつむいている。祈りを捧げているようにも見える。花道を歩いて、リングに向かう。ん～、何か違うぞっ！　悲壮感じゃない。変に狙ってもいない。いつもとは違う緊張感が、アレクの周りに漂っていた。こんな表情、見たこと



▲ガードポジションから、うまくサイド→上四方へ移行したアレクだったが、惜しくもここで2R終了のゴングが鳴る

▲2R、遂に上のポジションを取ったアレク！　チャンピオンに殴りかかる

▼レフェリーに止められ、無念の表情……

アレク、万全の体勢！しかしゴングが鳴る……

ない！　プロレスラーの〝色気〟さえも感じさせるイイ顔だ！

両者がリング上で睨み合う。シウバはいつもの揉み手&ガンつけで、今日の獲物を威嚇する。アレクの目は、まっすぐに王者・シウバを見ている。

1R、アレクがタックルに入った。振り払おうとするシウバの両足に、必死にしがみついている。これも新鮮な光景だ。思わず応援したくなるぞっ！　いつもリングに上がる時、ほとんど緊張しないと明言してはばからないアレクだが、この日ばかりはさすがに動きが硬く感じられた。

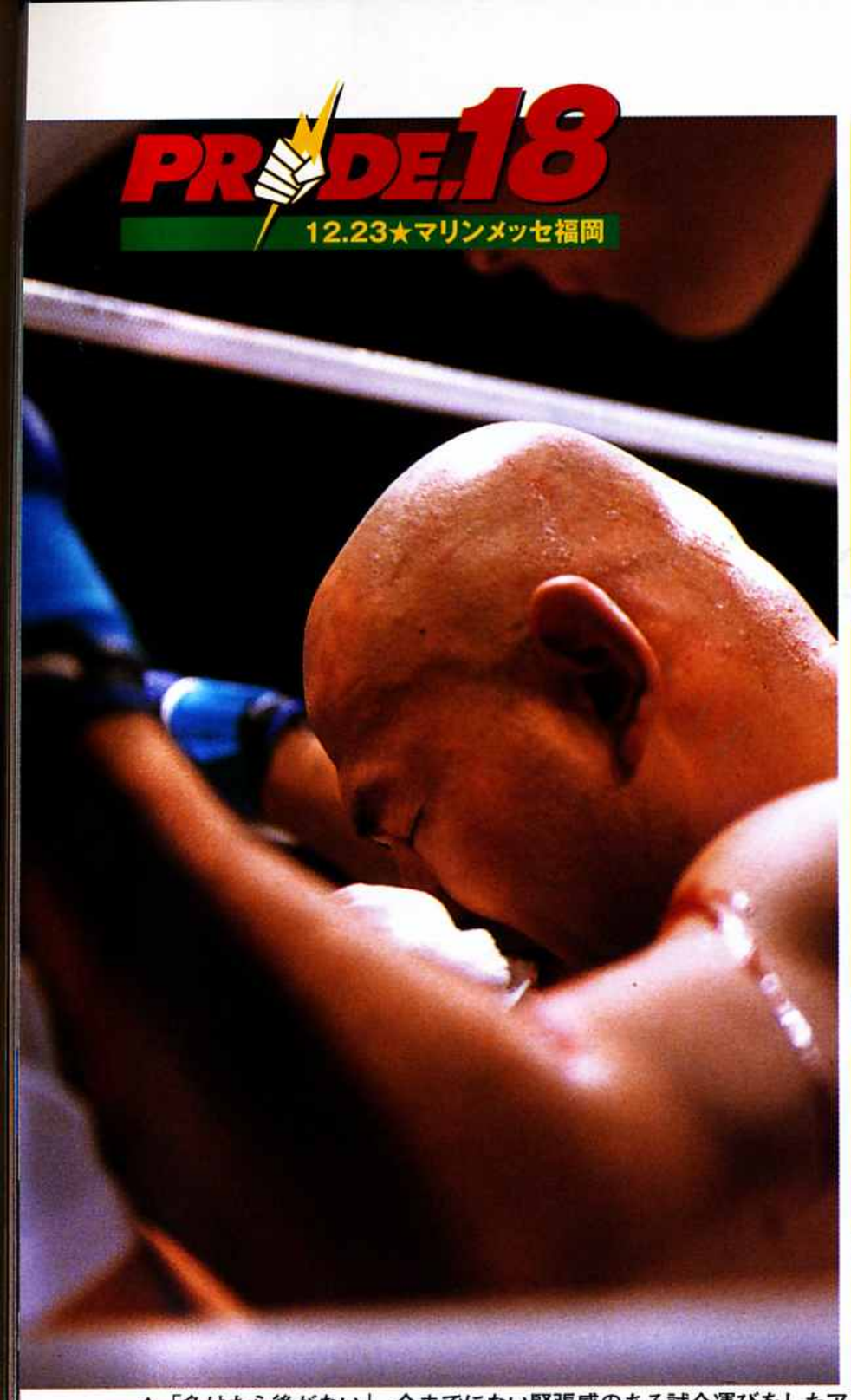
2R、アレクは低空ドロップキックを放った。2、3年前の『プライド』なら、「さすがプロレスラー！」と、観客を大いに沸かせたはずだ。しかし、今日はただのウケ狙いには思えなかった。あくまで、攻略の一手段として本気のドロップキックだったと思う。

2R終盤、アレクに最大のチャンスが訪れる。インサイドガードの状態から、シウバの足をかついでパスガードし、サイドについてヒザ攻撃。さらに上四方の体勢に入った。しかし、ここで無情にもゴング（私なら、ゴングが鳴ろうとシウバの頭にヒザの一発くらい入れてたけど！）。また、3Rには、アレクが下からアームバーを狙う場面も見られた。シウバのえげつない攻撃に守りを固めながらも、アレクは確実に一本を狙っていた――。

3年前、アレクがブレイクするきっかけとなったマルコ・ファス戦。あの時、アレクは試合中に遊んでいる余裕などなかったはずだ。

PRIDE.18
12.23★マリンメッセ福岡

アレク、シウバのヒザで鼻骨骨折！ 復帰は春頃か



▲「負けたら後がない」。今までにない緊張感のある試合運びをしたアレクだが、残念な結果に。しかし、その気持ちは、間違いなくファンに伝わっただろう

▲猪木ーアリ状態から、シウバが跳んだ！　足を絡ませて、これを回避

▲ストレートの相打ち。しかしシウバは怯まず、パンチラッシュで勝負を賭ける！

▲アレクの頭を捕らえ、念願のヒザ蹴りを容赦なく顔面に入れるシウバ。これでアレクは鼻から大量流血し、レフェリーが試合を止めた

シウバのコメント

「今日は勝ててホントに嬉しい。オーツカは、ベテランでやりにくい相手だった。ヒザ蹴りが入った時はKOできると思った。（鼻骨が折れた感触はあった？）そういう感触はなかった。（防衛戦で闘いたい相手は？）ミドル級で、私と対戦したいという相手とは、全て闘いたい。最後に日本のファンの皆さん、メリークリスマス！」

「オーツカはベテランだ」（シウバ）

◀戦前の予告どおりはいかなかったが、王者としての格の違いを見せたシウバ。次期挑戦者は誰になるのか？

★第7試合（1R10分、2・3R5分）
○ヴァンダレイ・シウバ（3R2分22秒、ドクターストップ）アレクサンダー大塚●
〈ブラジル／シュート・ボクセ・アカデミー〉　〈日本／AODC〉

その姿に私たちは心底感動した。

1年半前のケン・シャムロック戦。アメリカ進出という夢を実現するための大事な試合だったにもかかわらず、アレクはロープに飛ぶなど、おちゃらけたイメージにも取られかねない闘い方をした。

プロレス技を繰り出せば、かえって自らの評価を下げてしまう。いつの間にかアレクは、バーリ・トゥード本来の闘い方を忘れてしまったかに思えた。アレクは、プロとしての観客論を一番大事にしている。しかし、アレクの本来の魅力は、〝プロレスラー魂〟というべきものを捨てたところにあったのかもしれない。

今日のアレクには、遊びがまったくなかった。そう、あのファス戦の時のように。シウバをコーナーに押し込み、勝つための作戦を貫き通した。それを評して、シウバは試合後「オーツカはベテランだ」とコメントしている。実況席にいた桜庭も「この作戦はいいですよ」と言っていた（きっと悔しかったはず！）。昔のボブチャンチン戦のように、玉砕覚悟の真っ向勝負になんていかなかった。でも、今日のアレクは断然イイ！　ブーイングなんていっさい飛ばなかった。観客にも伝わっていたのだ。戦前の「3分でKOする！」というシウバの予告を見事に覆した上に、相当追い詰めたのだ。

結局、アレクはシウバのヒザ蹴りを喰らって大流血。鼻骨骨折のため、ドクターストップという結果に。ケガの治り具合にもよるが、試合ができるのは早くて春頃。今は素直にこう思う。「アレクの次の試合が早く見たい！」と。（日比）

痛っ！ランペイジ痛恨のヒザ蹴り！松井、わずか14秒で反則勝ち!?

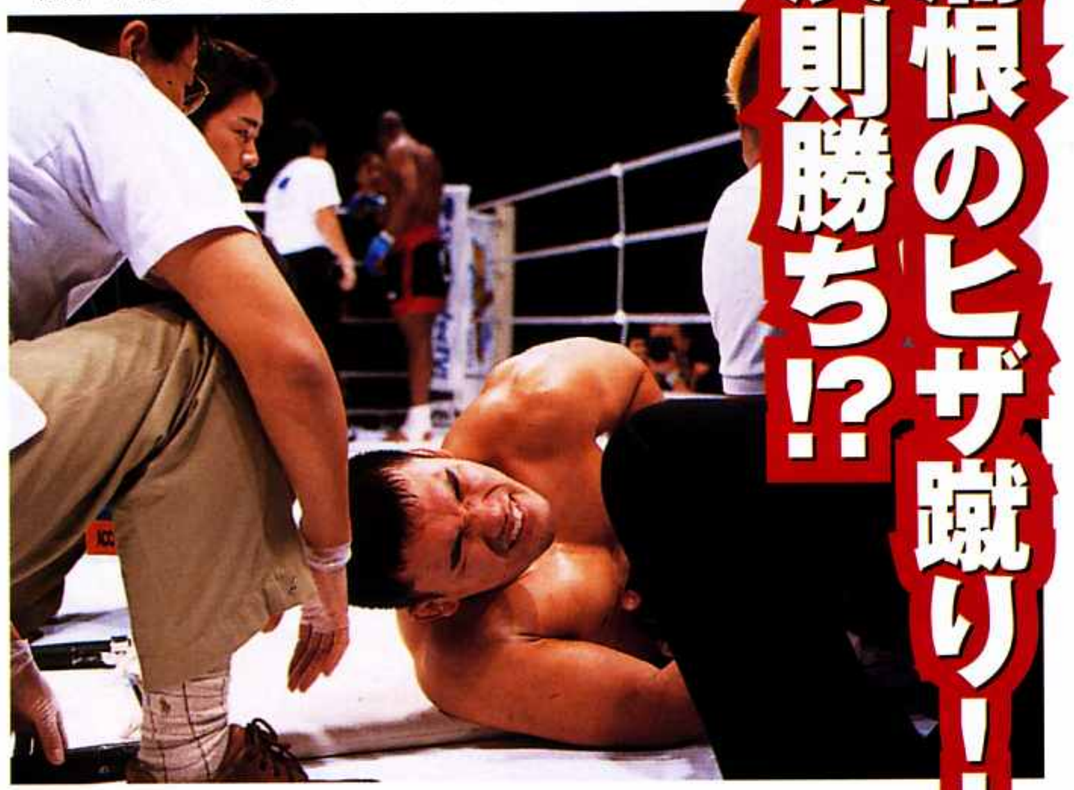
▶これが決定的証拠となったランペイジの痛〜いヒザ蹴り。まさか、この1発で終わってしまうとは……

◀桜庭は山本憲尚のセコンドにも付いたが、後半戦はゲスト解説も務めるなど大忙しだった

結果的に再試合とならなかったため、セコンドに付いていた桜庭和志がリングに上がり「本当に申し訳ない、また頑張りますと言っていたので応援してやってください」と挨拶した

◀試合前には握手会に登場。サクスマイルで100人のファンと握手

▼松井の悶絶ぶりは尋常ではなく、手が震えるほどだった



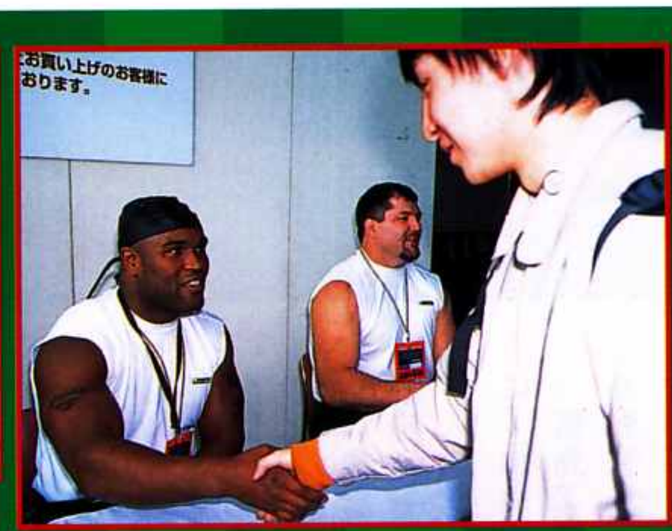
ランペイジにきっちり勝利し、1・4新日本東京ドーム大会でケンドー・カシンの持つIWGPジュニアのベルト挑戦への弾みとしたかった松井だが、ランペイジの放った1発のヒザ蹴りで全ての計算が狂ってしまった。開始早々に繰り出されたランペイジのヒザ蹴りが松井の下腹部を直撃。額に脂汗が出て、手も震えるほどのダメージを負ったため、3分間のインターバルをおいたが、それでも回復せず。時間をおいて再試合となるはずだったが、ドクタールームへ直行した松井は吐き気もあるなど、とても試合ができる状態ではなく、結果的にランペイジの下腹部へのヒザ蹴りを故意とみなし、松井の反則勝ちとなった。これまで桜庭に敗れたものの、石川雄規、アレクサンダー大塚を打撃で沈めてきたランペイジと打ち合うつもりだった松井。イベントを盛り上げるという意味で第1試合は重要だが、両者の対戦はまさにうってつけだっただけに、松井にとっても、ランペイジにとっても、痛恨の一打となってしまった。（石黒）

★第1試合（1R10分、2・3R5分）
○松井大二郎（1R0分14秒、反則勝ち）クイントン・ランペイジ・ジャクソン●
<日本／髙田道場>　<アメリカ／チーム・イハ>
※下腹部への攻撃のため

『プライド』九州初上陸は9391人が集結！

◀クリスマスにちなみ、『プライド』ガールはサンタバージョン！

▲『プライド』九州初上陸に、9391人（満員）の観客が集まった



◀桜庭和志と共に、握手会に参加したゲーリー・グッドリッジとトム・エリクソン

◀猪木劇場に大ハシャギだった佐藤江梨子

◀森下社長は「来年はヘビー級とミドル級のグランプリを開催したいと思います。それぞれ8名ずつでのトーナメントを考えています」と構想を語った。出場選手に関してはこれから詰めていくそうだ

◀右目網膜剥離の手術も成功し、復帰に向けてリハビリの日々を送っている大山峻護も観戦。猪木とガッチリ握手

PRIDE.18
12.23★マリンメッセ福岡

髙田道場所属となった山本は試合後、髙田延彦、桜庭和志らに感謝の言葉を贈り、そして最後にかつての師匠・前田日明の名を口にした

山本憲尚、激勝！『プライド』へのリベンジ果たす!!

「一気進展？ 前田（日明）さん、ありがとうございました!!」

▲ともかく勝つことがテーマだったという山本。ノルキヤを倒して勝利の雄叫び

勝つのはリングスか？K—1か？

ともに敗北を経験した2人が背水の陣で臨む敗者復活戦！

▲自信満々の顔で登場したノルキヤ。8月にグッドリッジに敗れたのち、グラウンドの練習はかなり積んだ模様だったが

▲高田道場Tシャツ姿で登場した山本。その目には前回のような無理な気負いはない

試合後のヤマノリはこう語った。

「最初は打撃勝負にいこうと思ったんですけど、みんなに止められてやめました」と。

フリーになって以降のヤマノリに必要だったのは練習場所とか、生活の安定とか、些末なことではなく、たった一つ、〝止めてくれる人〟だったことが判明したのである。ヤマノリよ、ホント、高田道場に入って良かったぞ！

それにしても、もともと打撃好きのヤマノリである。K—1ファイターのノルキヤが相手でも、というか、だからこそ、打撃合戦を仕掛けたくなるんじゃないかと不安だったのだが、やっぱりだ。

はっきり言って、今のヤマノリにそういう余裕はあるわけない。前回のアスエリオ・シウバ戦では『プライド』最短の11秒KO負けで、著しく自らの商品価値を下げてしまっている。この上、K—1ファイターに総合ルールの試合で負けたら、選手生命すら危ぶまれてしまうのだ。必要とされてるのは内容ではなく、結果。

ヤマノリ自身だって、それは分かっているのに打撃勝負を選択しそうになる、うかつさは、これはもはや天才だろう。トンパチと言われるゆえんである。

もう一つ。そもそも前回の敗北にしても、ロクな準備期間もなくリングに上がったのが大きなミスであったのに、今回もカードの正式発表は試合の10日前。まったく学習能力がないのかと疑いたくなる考えのなさ。ところが、本人はやっぱりそんな自覚はなく「夢の中でノルキヤに勝ったから大丈夫」と言って、周囲を困惑させていた

◀山本の最初のタックルは失敗。この後、猪木—アリ状態となる

PRIDE.18
12.23★マリンメッセ福岡

体重133キロ！K-1の大巨人の腰は重い！

大ピンチ！巨人の腕が山本の首に！

▼山本のローキックにパンチを合わせるノルキヤ

◀山本の最初のタックルは失敗。この後、猪木―アリ状態となる

▶寝技の練習の成果なのか、ノルキヤは足を取ろうとする山本をネックロックに捕らえる

▲ノルキヤの怪力でなかなか首を抜くことができない山本。観客の声は悲鳴に変わる

らしいから、凄いなこの人。

本物である。

ということで、トンパチなヤマノリが戻ってきました。

まず、第1R、ヤマノリはローキックを放っていくも、ノルキヤは蹴りに合わせてワンツーを繰り出す。体重133キロの重いパンチだ。たまらず、ヤマノリは足を取りにいくが、バランスを崩してマットに這ってしまう。ヤバイ！

だが、ノルキヤは深追いせず、しばし猪木―アリ状態の後、両者スタンドの状態に。ここでヤマノリは再度タックルを仕掛け、遮二無二、テイクダウン。沸き上がる観客！

しかし、「あれ？」。

よく見るとヤマノリの首にノルキヤの腕がガッチリはまってフロントネックロックの体勢になってるじゃねえか！

観客の悲鳴の中、懸命に頭を引っこ抜いたヤマノリは、サイドポジションを奪い、見事に腕十字で極めて勝利をモノにしたのである。

終わってみれば、1R1分43秒。首を取られた時にはかなりヒヤヒヤしたが、キチンと結果を出して『プライド』戦線に残ることができた。

そして試合後、マイクを持ったヤマノリは「前回のリベンジしか考えてなかった。髙田道場に入って〝イッキシンテン〟頑張っていきます」と挨拶。おそらく心機一転の言い間違いだろうが、〝一気進展〟とはいい言葉だ。

ただ、マイクの最後に「前田（日明）さん、ありがとうございました」とかつての師匠の名を出したのはまだ早い気がしたのだが。

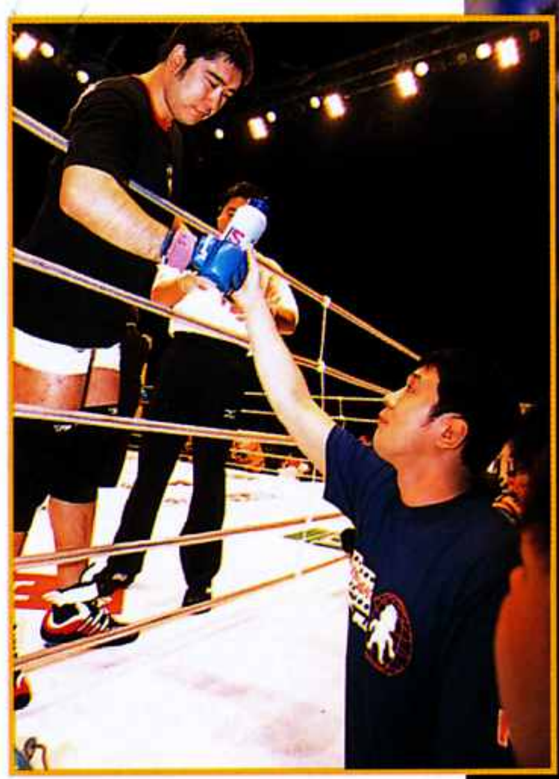
山本憲尚のコメント

「前回がああいう結果だったんで。やっぱり日本人が弱い、山本が弱いと言われるのは男として悔しいんで。今回は、『プライド』のリングで勝つっていうのがテーマだったんで、いい試合っていうよりは勝つっていうね。その結果論がボクには欲しかったんで。ただ、こうやって結果が出たら、もっと打ち合って血だらけになって、そして勝つ試合がしたいですね」

ノルキヤのコメント

「ヤマモトはグラウンドに長けた選手だった。早い段階でKOしたかったができなかった。試合については、よくやったと思っている。今後もこういう試合には参加していくつもりで、今度ブラジルに渡ってレスリングとグラウンドテクニックを磨きたいと思ってる」

▲前回、11秒でKO負けした鬱憤を見事晴らした



▲高田道場所属として初の試合を制したヤマノリ。セコンドには桜庭がついた

グラウンドの展開になれば、やはり山本が有利。サイドポジションから一気に腕十字を極める

負けるか、ボケ!!

★第4試合（特別試合3分5R）
○山本憲尚（1R1分43秒、腕ひしぎ十字固め）ヤン"ザ・ジャイアント"ノルキヤ●
〈日本／高田道場〉　〈南アフリカ／スティーブズ・ジム〉

▲セコンドの桜庭の指示を冷静に聞く山本はノルキヤの腕を一気に十字に極めた

▲2度目のタックルで見事にノルキヤの足を捕らえたのだが、ノルキヤもネックロックの体勢に。だが、山本は首を抜き、サイドポジションを奪取

とはいえ、良くも悪くもストレートなのがヤマノリのいいところ。

さて、フリーになってから約10カ月近くリングスファンをやきもきさせたヤマノリだが、高田道場所属になって、練習場所と生活の保証を手に入れた。つまり、強くなることだけに専念できる環境が整ったことになる。しかも、そこには桜庭和志がいて、高田延彦がいる。最高レベルの環境と言えよう。

また、練習だけでなく、試合においても桜庭がセコンドにつくことは心強い。実際、この日も、十字を取る前に一度、桜庭の指示をあおいでいる。

「腕を取った時に桜庭さんを見たら、『アームロックか、十字がいけます』って言うんで」とヤマノリは語っていた。もっとも、その言葉でどっちにしようか、一瞬考えてしまって動きが止まったところが、ヤマノリらしいが。

いずれにせよ、まずは勝って良かった。結果こそが大事な場面でしっかり結果を残せたことが一番重要なことだ。もちろんだからといって、ヤマノリに対しては油断だけはできない。すぐに有頂天になって、いきなりダメになる可能性も十分にあるのが彼の持ち味。

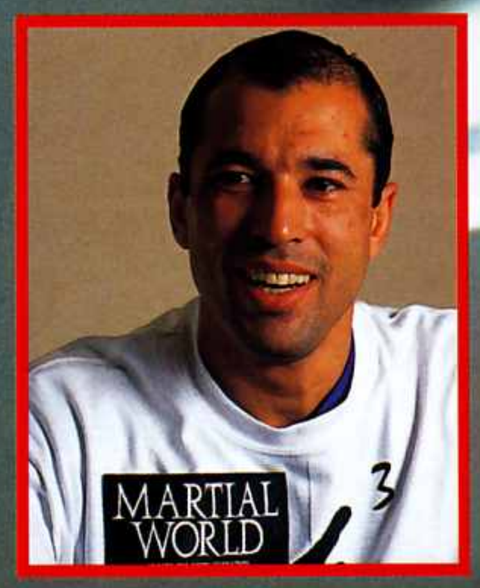
だが、そうなった時は、高田道場の皆様方、なんとかよろしくお願いします。大変でしょうが。

それさえ可能ならば、ヤマノリのトンパチぶりは総合格闘技界の希有な存在として、確立できるはずだろう。

なにしろ、〝一気進展〟な男である。言い間違いまで勢いのいいこんな男に乾杯だ。（ブチ）

12・31 国民的他流試合

猪木軍VS K-1軍、いざ決戦!



ホイスが語る レイ・セフォーの強さ!!

『レイはすでに十分に強くなっている!』

年末の猪木祭りで、ゲーリー・グッドリッジとの対戦が噂されているレイ・セフォーに最高の技術教官がついた。あのホイス・グレイシーだ。練習期間はわずか6日間と短いが、ホイスはセフォーの技の吸収力、格闘能力の高さに舌を巻いている。もしかしたら、ゲーリーとの寝技の攻防まで見られるかもしれない様子なのだ。もはやK-1軍に穴はない。少なくともセフォーにはない。ということで「猪木軍の野郎、年越せねぇようにしてやる!!」

聞き手◎中村カタブツ君(ブチ)
撮影◎中島ミノル

部屋に入るとホイスは、12月19日発売の、はせキョーのファーストビデオを一足早く鑑賞中。水着シーンには歓声まで上げ、非常にご機嫌な様子の中、インタビューはスタート。

——どうですか、はせキョーは？（笑）。

ホイス　（日本語で）ワハハハ！　カワイイ！（笑）。

——カワイイですか（笑）。今回の来日中には会いました？

ホイス　K—1の時に会ったかな。ちょっと話した程度だけど、彼女はベリー・プリティーだね（笑）。

——そのとおりですね（笑）。以前、インタビューした時は、バカンスモードと言ってましたけど、今日もバカンスモードでよろしくお願いします。

ホイス　いいよ。キョーコと映画で競演できるようにセッティングしてくれたら、もっと機嫌が良くなるな（笑）。

——伝えておきますよ（笑）。今日はレイ・セフォー選手のことについていろいろお聞きしたいんですが、その前にまず、今回のK—1グランプリの印象を教えてください。

ホイス　ともかく彼らはタフだよ。パンチでも蹴りでも思い切り打ち合ってる。あれだけ打ち合えるのは信じられないくらいタフだという印象だな。実際、K—1をナマで見たのは初めてだけど、ホースト選手が一番印象に残ったな。彼のあの戦術、あのスタイルは非常に気に入ってるね。頭を使った試合運びは素晴らしい。そして、フィリォ選手も頭がいい。試合の流れを自分に持ってくるのがうまかった。ほかの選手の試合は激しい流れになってしまうが、彼の試合は違う。彼と対戦すると相手の動きが変わってしまうんだ。ゆっくりとした動きに変わってしまう。たぶん、フィリォからしてみれば、相手の動きがスローモーションになってしまうぐらいにね。そういう展開に持っていくのが非常にうまいと思ったな。あとはマーク・ハントだ。彼は一度もKOされたことがないんだろ？

レイは私と似ているところがある。彼の闘う本能は素晴らしい！

——ないんですよ（笑）。

ホイス　凄いタフだ！　大好きだよ！（笑）。今言った3人の試合は非常に印象に残ってるね。

——で、今、ホイスさんが寝技を教えているレイ・セフォー選手はそのハント選手に判定で勝ったこともあるんですよ。

ホイス　そうだろうな（笑）。レイ・セフォーは素晴らしい生徒だよ。グッド！そして私もベリーグッドティーチャーさ。つまりグッドチームってわけさ（笑）。素晴らしいものができあがってくるのは当然だろう。

——セフォー選手のどこがいいと思いました？

ホイス　人からものを教わる時に一番重要なのはリラックスできるかってことなんだ。この状態を維持するのは非常に難しいことなんだが、彼はそれができるね。これは闘う本能が研ぎ澄まされてるってことだ。状況に対しての反応がいいんだ。考えて動くっていうんじゃなくて、こうなった時にはこう動くべきだということを身体が理解している。自然に身体が動く天性のものを持ってるね。そして、何よりもタフだ。

——じゃあ、教えていて楽しいですか。

ホイス　もともと教えるのは楽しいことさ。だが、今回は特に楽しいね（笑）。もう一つ、これは私自身のチャレンジでもあるんだが、この短い期間にどれだけのものを教えられるか、彼がどこまで理解できるかがテーマだ。

——セフォー選手の技を覚える吸収力は高いですか。

ホイス　高いね。すぐに覚えるよ。

——じゃあ、今回この6日間という短い期間ですけど、かなりのものを教えられるという感触はつかんでますか。

ホイス　彼は私と似てるところがあるね。彼は見て学ぶということができるんだ。そして、学んだものを技の中に生かしていくことができる。吸収力は素晴らしいね（笑）。

——ホント、グッドチームですね（笑）。今はどんな練習をされてますか。

ホイス　基本的に教えてることは、どうやったら彼が得意とする立ち技をキープできるかってことだ。一番大切なことは

彼の試合をするということなんだから、グラウンドになって、いかに生き残ることができるかってことを中心に教えている。

——ということはグラウンドの防御が中心と考えてよろしいんでしょうか。

ホイス イエス、そういうふうに考えてもらっていいかな（笑）。とにかく彼の本能を一番大切にしたいので、私のほうから細かな段階分けをして教えるということはしてないんだ。彼の動きに合わせた実戦的なことを教えているんだよ。

——レイ・セフォー選手の相手として有力なのがグッドリッジ選手なんですが、ゲーリー・グッドリッジ選手の長所はどこだと思いますか。

ホイス ……ゲーリーは非常に経験がある選手だね。グラウンドの技術も伸びてきていると思うし、レイにとってはいいテストになる選手だと思う。ゲーリーはハードパンチの持ち主だけど、レイを相手に立ち技で闘うのは難しいんじゃないかな。

——グッドリッジ選手は『プライド』の中では立ち技の選手っていう印象があるんですが。

ホイス いや、グッドリッジはグラウンドもうまいね。あの体格で猫のように動いていた試合があっただろ。

——それはK—1VS猪木軍でのグッドリッジの試合のことですか。

ホイス そうだ。ゲーリーはレスリングの練習をしてるし、コールマンとも練習してるだろ。あの身体でタックルができるのが強味だと思うな。

——では、前回の『プライド』の髙田VSミルコ戦についての印象を教えてください。

ホイス ……タカダはもっと前に出て闘うべきだったと思う。自分からタックルを仕掛けていってミルコを倒してグラウンドの展開にもっていくべきだったと思うね。あれが彼の戦術だったとは思うけど、個人的意見を言えば、好きな戦術じゃない。あんな消極的なファイトをするのはどうかと思うね。

——その試合に関して、最近、「髙田は自分の戦術で闘ったのだから悪くない」というような意見も出ているんですが、その意見についてはどう思いますか。

ホイス 私はあの戦術は嫌いだね。その考えには同意できない。想像してみれば分かるだろ。K—1と『プライド』の選手が闘った時に、K—1の選手は立ち技しかやらない。『プライド』の選手が寝技しかやらないとなったら、それは最悪のショーにしか過ぎないだろ?

——最悪ですね。

ホイス タカダは寝技の選手なんだから自分からタックルして、自分の闘いにすべきだったと思う。K—1選手が寝技に来るように寝て待つのを評価するというのであれば、それは全てのグラップラーに対する侮辱だよ。

——侮辱ですか。

ホイス それにタカダはグラップラーとして名前を持った選手なんだから、ああいう戦術を選ぶのは間違いだと思うね。

タカダの試合を評価することは全てのグラップラーに対する侮辱だ

——それは非常によく分かります。では、トム・エリクソンとマット・スケルトンの試合はどうですか。

ホイス トム・エリクソンは恐竜だな。ジュラシック・パークさ（笑）。

——ところが、あの試合はそれほど評価されてないんですよ。先ほど、ホイスさんはK—1の選手が立ち技だけ、『プライド』の選手が寝技だけなら最悪のショーだと言ってましたね。その意味とはまた別な意味で、寝技の選手は寝技、立ち技の選手は立ち技だけだったということで、ショーとしてはあっけなさ過ぎるという意見なんですよ。

ホイス いや、ファイターにとっては勝つことが第一だ。だから、あの試合でいいと思うね。

——その意見もよく分かります。ところで、今回のレイ・セフォーさんには面白い試合をしてもらいたいとみんな思っています。だから、セフォーさんにはできれば寝技でも勝負できるようになってほしいんですけど。

ホイス 基本的な考えとしては試合を噛み合わせるということが大切だと思うね。K—1選手が打撃だけ、『プライド』の選手が寝技だけっていうのは、それはK—1VS『プライド』の構図にはならないと思う。

——そうならないことが重要だと思いますね。

ホイス だから、互いに選手が前に出ることによって闘いを噛み合わせることが一番いい試合だと思う。タカダVSミルコ戦にはそれがなかったと思うんだ。

——ボクらが望んでいることと、ホイスさんがレイ・セフォー選手のコーチに呼ばれた意味っていうことを考えると、例えば、ゲーリー・グッドリッジ選手からレイ・セフォー選手がスイープを取るような技術を身に付けられるんじゃないかとか。そういう期待があるんですよ（笑）。

ホイス 試合中にゲーリーからスイープを取れるかどうかはなんともいえないな。なにしろレイが下になるかどうかも分からないんだからな（笑）。だが、さっきも言ったようにレイは非常に吸収力があるってことだ。

——それはボクらの期待に応えられるかもしれないってことでしょうか。

ホイス フフフ（笑）。とにかく、いい試合になることは間違いないね（笑）。

——それでここが一番重要だと思うんですが、たった6日間ですけど、ホイスさんはレイ選手をどこまで強くできると思ってますか。

ホイス ワハハハ! 今でも十分さ（笑）。彼は今でも十分強くなってる。

——つまりまだあと4日間も残ってるんだから、もの凄く強くできるということですね（笑）。

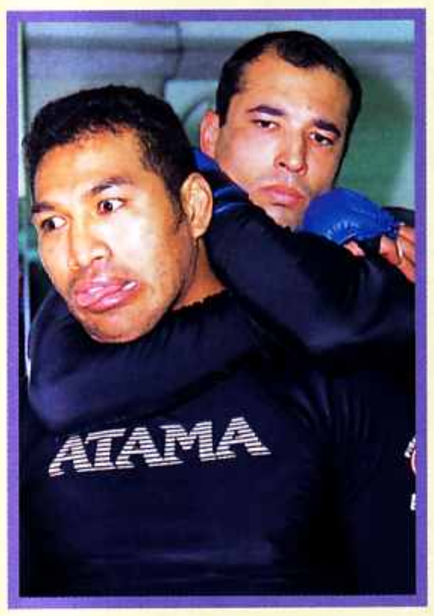
ホイス そうさ! 期待しててくれよ（笑）。■

▲チョークのコツをセフォーに教えているホイス。ホイスは「グラップリングもいくつか教えている」と語っていた

K－1GP王者ハント&ベルナルドも熱心に見学！

ホイスのマンツーマン特訓でセフォーが総合格闘家へ大変貌！

12月10日～16日まで、『イノキ・ボンバイエ』に向けてK－1軍の助っ人としてホイス・グレイシーが来日し、レイ・セフォーにマンツーマン特訓を行った。11日にはマスコミ向けの公開練習になる予定だったが、本来自分たちの技術を外へは公開しないグレイシー側の意向もあり、取材は共同インタビューのみとなった。取材日の練習には2001年K－1ワールドGP王者となったマーク・ハントや、『イノキ・ボンバイエ』参戦候補になっているマイク・ベルナルドが熱心に見学。2人ともVTに対して非常に興味を持ったようだ。ホイスは16日に帰国したが、後任を引き継いだのは〝立って良し、寝て良し〟のエベンゼール・フォンテス・ブラガ。石井館長が「やる以上は勝たせたい。全力を上げてサポートする」と語っていたように、セフォーは万全の環境で大晦日を迎えられそうだ。



▲撮影用ということでホイスにチョークをかけてもらったが、報道陣を前にわざとおどけて見せたセフォー。だが、練習中は真剣そのもので「技術の吸収力は早いほう」と練習を見た関係者は語っていた

▲K－1軍特別コーチのホイスやブラガと共にズラリと並んだK－1軍団。なかなか豪華なメンツだ

▲豪華な顔合わせの実現とあって、多数の報道陣が押し掛けた

ホイス・グレイシーのコメント

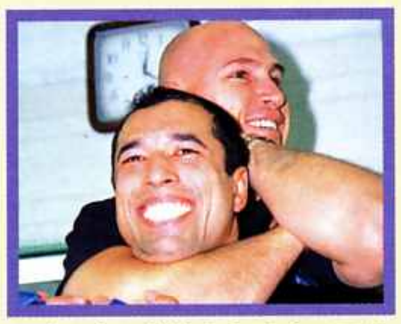
「レイは生徒としては申し分ない。私は、本来持っているレイの技術を磨くだけだよ。素質はあるんじゃないかな。レイは勝つ方法を分かっているから、私は負けない方法を教えているんだ。負けない方法とは相手はレイにパンチで勝とうとは思わないだろうから、寝技に持ち込まれた時に相手選手の戦術にはまらないようにすることを教えている。闘わせたい相手？　誰とやってもイージーな試合にはならないだろうけど、フジタやコールマン、ケアーかな」

レイ・セフォーのコメント

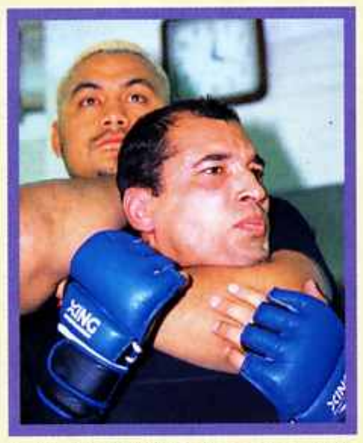
「ホイスは最高のトレーナーだね。覚えなくてはならないことをボクのやりやすいように教えてくれる。ホイスの動きを見るだけでも覚えられるから、自信がつくよ。今は相手が掛けてくると思われる技を想定して、エスケープする練習をしている。寝技の練習を始めても、特に技術的に難しいと思わなかった。トレーニングをやって慣れていく状況を作っていくだけだから。覚えた関節技？　内緒。時が来れば見られるさ。ホイスは最高の先生だよ。こういう機会が得られるなんて思わなかった。世界制覇ができると思う！」

▶セフォーとしては、とにかく常に自分がスタンドの状態で攻めたいところだ

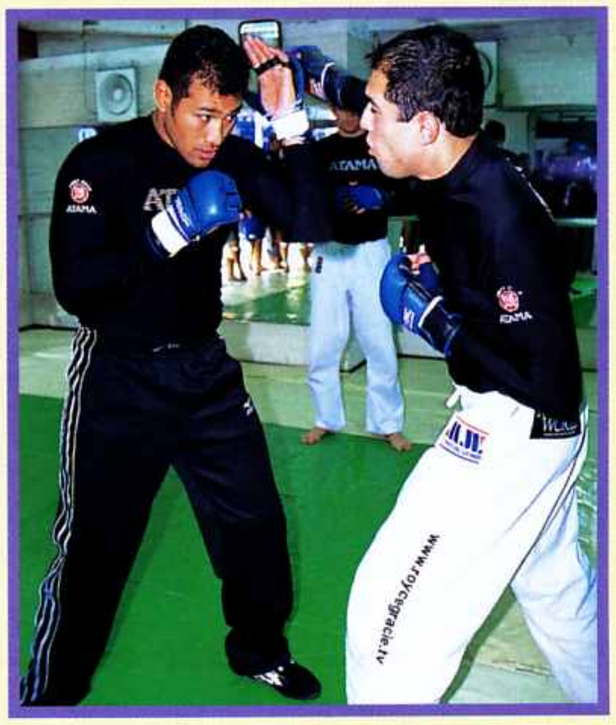
▶試合でこんな技がセフォーから出たら……と思っただけでもちょっとドキドキする



▲ベルナルドはもともとVTの試合を見ることの興味だけはあった選手。実際に自分がやるかもしれないという前提の元に練習を見た後の感想は「興味深く2人の練習を見た。スタンドの状態から寝技へ移行していくポジションは面白かったね。見るだけでも分かりやすかった。観客として見るという立場でも、選手として闘ってみるのも面白いかもしれないね」と前向きなコメントをした



▲ホイスに指導されることなく、鮮やかなチョークを極めたハント。さすが路上のVTを経験してきただけのことはある。ホイスも顔を真っ赤にしながら「グッド！」と誉めていた。ちなみに、ハントの練習を見ての感想は「興味深かった」の一言



▶打撃の練習もやってるぞ、と言わんばかりの場面もあったが実際にやっているかどうかは不明

12・31 国民的他流試合

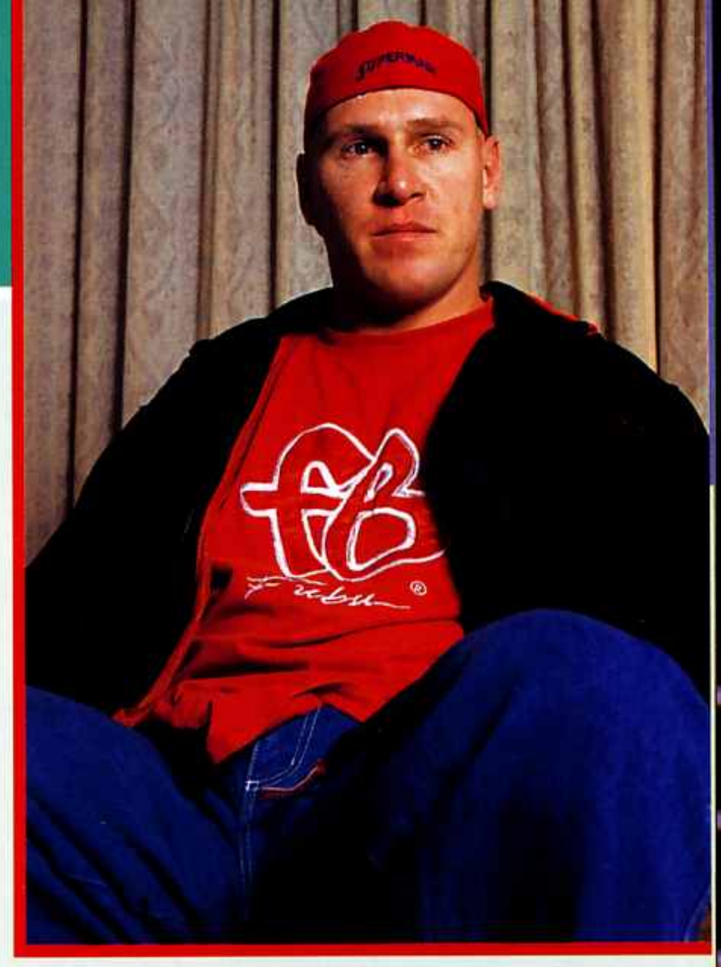
猪木軍VS K-1軍、いざ決戦!

「石井館長の力になりたいんだ」

男だ、ベルナルド!
12・31『猪木祭り』出場決定!!

豪腕マイク・ベルナルドの『猪木祭り』出場が正式決定した! ほんの少し前までは「見る分には興味があるけど、やることには興味がない」と言っていたベルナルドだが、12月に入って事態は急展開。ホイスとも練習するなど、今は猪木軍との闘いに燃えまくっている。いったいどんな心境の変化があったのか? 南アでVT特訓中のベルナルドに国際電話でインタビューを行った。

聞き手◎橋本宗洋



ホイスとの練習内容は秘密だけど、とてもエキサイティングだったよ

——ベルナルド選手が『猪木祭り』に出場することになって、みんな驚いてますよ。それまでは否定派だったのが、12月に入って話が急に動きだした感じでしたよね。

ベルナルド そうだね。きっかけは、レイ（・セフォー）とホイスの練習を見たことかな。あれを見て、VTをやることに興味を持ったんだよね。凄く刺激的だったな。

——例えばどの辺ですか？

ベルナルド やっぱりタックルの攻防とかね。K—1だったら、クリンチしたところでレフェリーがブレイクするでしょ？ でもレスリングというか組み技の闘いは、逆にそこから始まるんだから面白いよね。しかもそれを、いつもK—1で闘ってるレイがやってるんだから。何も感じないってワケにはいかないじゃない（笑）。

——ベルナルド選手も、ホイス選手と練習したんですよね。「人に見られたくない」ってことで非公開でしたけど。

ベルナルド うん。

——で、どんな練習だったのか聞きたいんですけど（笑）。

ベルナルド 非公開練習なんだからナイショだよ（笑）。でもひとつ言えるのは、ホイスとの練習がとてもエキサイティングだったってこと。「自分にもこのスタイル（VT）がやれるんじゃないか」って自信にもなったしね。K—1でどれだけ経験があっても、違うジャンルの試合をするんだからいいコーチが必要だよね。ホイスはその点で素晴らしいと思う。

——じゃあセフォー選手は、かなり期待できそうなんですね。

ベルナルド そう思うよ。レイは試合に向けて、いい環境に恵まれたんじゃないかな。

——今は南アフリカで練習中ということですけど、調子はいかがですか？

ベルナルド コンディションはとてもいいよ。新しいスタイルに挑むということで、モチベーションも凄く高いんだ。

——練習内容はどんな感じで？

ベルナルド とにかくグラウンドに持ち込まれないように。そのことを重点的にトレーニングしてるよ。それと、万が一倒れてしまっても、そこからなんとかディフェンスできるような練習もやってるしね。慣れないことばっかりだけど、でも充実してるよ。

——南アフリカではVTは人気があるんですか？

ベルナルド わりとポピュラーなんじゃないかな。衛星放送でけっこうやってるから、見てる人は多いと思う。

——ベルナルド選手も、前から「見るのは好きだ」って言ってましたもんね。

ベルナルド そうなんだ。

——でもまさか、やるようになるとは思ってなかったでしょう（笑）。

ベルナルド そうだねぇ（笑）。でも今回の選択も、運命っていうか、神様がどっかで導いてくれたことなんじゃないかって思うよ。これまでの流れってものがあって、その上で今があるんだから。単なる偶然とか気まぐれでVTをやろうっていうんじゃないんだ。

——なるほど。「これまでの流れ」ということで言うと、今年のベルナルド選手は本当にツキがなかったなと思うんですよ。バンナ選手との試合は倒していながらノーコンテストになって、名古屋のトーナメントは負傷で途中棄権で。福岡の敗者復活戦も、アダム・ワット選手に負けてしまうし。

ベルナルド ほんと、今年に関しては運が悪かったとしか言いようがないよ。コンディションが悪かったとか、満足な練習ができなかったとか、決してそういうことじゃないんだから。

——だから余計に落ち込んでしまったんでしょうね。

ベルナルド そう。理由も分からないまま、K—1チャンピオンになるっていう自分の夢がどんどん遠のいてしまったんだから。

——その悪い運が、今回の新しいチャレンジで変わるといいですよね。

ベルナルド ハハハ！ そうなるといいね。『猪木祭り』でいい運を身に付けて、また来年からのK—1に戻ってこれるといいな。

——ボクシングの選手がVTをやるというと、カナダ出身で世界ミドル級2位だったこともあるステファン・ウェレが勝ってるんですよ。それとバンタム級で世界チャンピオンだったビクトル・ラバナレスも、『DEEP2001』という日本のイベントで試合をするんです。

ベルナルド へぇ～。それは知らなかったよ。どんな試合なのか見てみたいね。彼らも寝技はそれほどやってないんだろうから、ボクの試合の参考になることがあるかもしれないね。

——実際、VTの練習をやってみてどうですか？ やっぱり難しいですか。以前は「今のボクがVTをやるのは、ウィンブルドンでサンプラスに勝つのと同じぐらい難しい。それだけ別モノなんだ」って言ってましたよね。

ベルナルド その考えは、今も変わってないよ。準備期間だって短いわけだし、VTの闘いが簡単じゃないのはたしかなんだ。でも、K—1のファイターが組み技をやるほうが、逆よりはやりやすいと思う。

——レスリングとか組み技の選手が打撃をやるより、ということ？

ベルナルド そうそう。そう考えたら、決してやってできないことじゃないと思ったんだ。

——それと気になったのは、ドームでの試合の時にベルナルド選手が「ボクサーとしてのキャリアを見直して、K—1での将来のことを考えないと」と言っていたことなんです。ボクシングを辞めちゃうんですか？ WBFの世界タイトルを返上するってニュースも伝わってきたんですけど。

ベルナルド そうだね……。難しい問題なんだけど、そういうことも考えなきゃいけない時期に来てるんじゃないかと思うんだよね。

——というのは、それだけK—1で勝つことに専念しなきゃならないってことで

すよね。だから余計、今回のVT挑戦が意外に思えたんですよ。

ベルナルド そうかもしれないね。もちろん、ボクの最大の目標がK―1グランプリで優勝することなのは変わらないよ。ただ、K―1とボクシングを並行してやるのと、K―1とVTを並行してやるのはちょっと感じが違うんだよ。

――ん? どういうことですか。

ベルナルド K―1の技術をボクシングで活かすとか、逆にボクシングで身に付けたことをK―1で出すのは、凄く難しいことなんだよ。コンビネーションにしても一見似ているんだけど、やっぱり細かい違いは多いんだ。だから余計に修正が難しい。

――はぁはぁ。じゃあVTは?

ベルナルド K―1とVTってことになると、もうまったくの別モノでしょ? だから100%切り替えがきくんだよね。頭も身体も、全然違う働きが要求されるから。ということはK―1の技術に影響がないっていうか。K―1で闘う上で妨げにはならないと思うよ。

――K―1とボクシングより、K―1とVTのほうが違ってるだけにやりやすいという。

ベルナルド もちろん簡単なことじゃないけど、K―1優先で考えたらボクシングよりいいと思うんだよね。

――あくまで一番の目標はK―1優勝ということで。

ベルナルド そう。それはこの先もずっと変わらないよ。やっぱりボクはK―1のファイターだし、K―1に出ることで育ててもらったって気持ちが強いしね。ボクシングを始めたのは、母国で自分のやってることを認めてほしかったからなんだ。

――世界で一番メジャーな格闘技ですからね、ボクシングは。

ベルナルド だけど、あんまりボクシングはいい扱いをされてないんだよね、南アフリカでは。マイナス面を取り上げられることが多くってさ。それを考えたら、日本のファンはとてもボクに良くしてくれたんだ。K―1のリングに上がって、ファンの声援を肌で感じると、「ああ、やっぱり自分のベースはK―1なんだ」って思うよ。

――たしかにベルナルド選手を見てると、K―1に対する愛情というか、誇りみたいなのを感じます。

ベルナルド そう思ってもらえると嬉しいな。今回、12月31日のイベントに出場することにしたのも、K―1のためっていうか、「石井館長の力になりたい」、「石井館長を助けたい」っていう気持ちが大きいんだよ。

――それは石井館長も言ってました。「寝かされたら終わりだが、それでもいいのなら館長のためにボクは出る」と言って志願したらしいですね。石井館長は「K―1の(外国人)選手のほうがよっぽどサムライだ」って。

ベルナルド そう! そう言ってくれたんなら、ボクも出るかいがあるよ。とにかく、石井館長へのリスペクトの気持ちで、ボクは『猪木祭り』に出ようと思うんだ。

――そのきっかけは何だったんですか?

ベルナルド この前、グランプリの決勝大会があったでしょ? その前後、ボクは石井館長と接する機会が多かったんだよね。

――そうですね。まず大会の記者会見があって、それから大会。翌日はK―1ジャパンの記者会見でも一緒で。その次がホイス選手との合同練習ですか。

ベルナルド そう。そこで、「館長のために何かしなきゃ!」って思うようになったんだ。ボクもK―1に対する愛情は持ってるつもりだったけど、やっぱり、館長ほどK―1に尽くしてる人はいないよね。毎日テレビ局やプレスの人と会って、K―1オフィスのスタッフに指示を出して、選手のケアもしっかりやって。人生の全部をK―1のために使ってるんだ、館長は。

――なるほど。一緒に行動してるうちに、そういう気持ちが強くなったと。

ベルナルド 前からリスペクトしてたけど、それが大きくなったね。それで、ボクもK―1に大きくしてもらった人間だから「この人の力になりたい。ボクにできることは何だ?」って考えるようになったんだよ。で、石井館長が本気で猪木軍との闘いに乗り込もうとしてるんなら、ボクも協力しなきゃって思った。

――それまでは「自分がやることに興味がない」っていう立場だったにもかかわらず……。

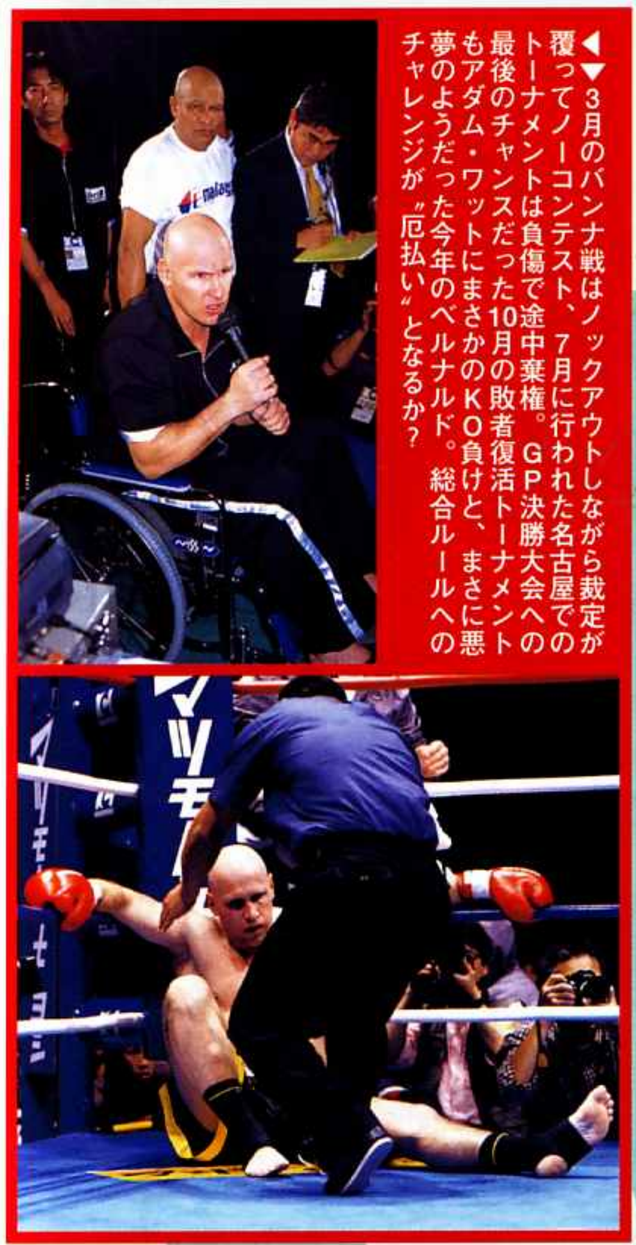
ベルナルド もう、そんなこと考えてられなくなったね。自分だけ知らんぷりしてる場合じゃないと思ったんだよ。そしてレイとホイスのトレーニングを見て、「よし、ボクもこれをやろう!」って決意を固めたのさ。

――そっかぁ……。やっぱりベルナルド選手は館長が言うように「サムライ」ですよ。男気あるなぁ。

ベルナルド ムフフフ……。だから、12月31日はK―1と、そして館長のために闘うよ。もちろん、K―1のファンのためにもね。

――今のところ、相手はまだ決まってないですけど、誰か闘いたい選手っていますか?

ベルナルド 今は対戦相手のことまでは考えてないんだ。まずはVTのスタイルに慣れることが大事だから。誰が相手でも勝てるとは言わないけど……とにかく誰と闘っても全力が出せる状態にはしておきたいと思う。K―1に対してプライ



◀▼3月のバンナ戦はノックアウトしながら裁定が覆ってノーコンテスト、7月に行われた名古屋でのトーナメントは負傷で途中棄権。GP決勝大会への最後のチャンスだった10月の敗者復活トーナメントもアダム・ワットにまさかのKO負けと、まさに悪夢のようだった今年のベルナルド。総合ルールへのチャレンジが"厄払い"となるか?

VTはまったく違うジャンルだから K―1の妨げにはならないと思う

INOKI BOM-BA-YE 2001

ボクはK−1にプライドを持ってる 石井館長のためなら誰とだって闘うさ

ドがあるし、館長のためなら誰とだって闘うよ。

——ノルキヤ選手とは一緒に練習してたんですか?

ベルナルド いや、ヤンはずっと日本で練習してるから、一緒にはやってないんだ。ボクも日本に行ってから、合流して練習しようと思ってるんだ。

——そうするとコーチは?

ベルナルド 日本に着いたら、ノルキヤたちと一緒にエベンゼール・ブラガに教わることになってるんだ。彼も打撃系のファイターだから、役に立つことは多いんじゃないかな。

——ズバリ言って、ベルナルド選手が持っている武器でVTでも使えそうな技は何になると思います?

ベルナルド K−1の技術は、パンチも蹴りも、それにヒザも、絶対にVTで通用するとボクは信じてるよ。ほら、モーリス・スミスがいい例じゃないか。彼もキックボクシングの頂点に立って、そこからVTに挑戦してUFCのチャンピオンにまでなった。打撃技は凄く有効な武器なんだよ。ボクにだってモーリスのような素養があるって自分では思うから、この闘いのスタイルに慣れていけば、世界のトップだって狙えるようになると思うよ。

——凄い自信ですね。

ベルナルド そりゃあそうだよ。何をやるんだって、自分の可能性を信じなきゃ始まらないんだ。

——オープンフィンガーグローブはどうです?

ベルナルド 実はまだ使ってないんだ。でも問題ない。あんなにちっちゃいグローブ、ボクに有利になることはあっても不利にはならないと思うよ(笑)。

——まあそうでしょうね(笑)。それと、11月3日の『プライド17』は見ましたか? ミルコVS高田戦と、マット・スケルトンVSトム・エリクソン戦があったんですけど。

ベルナルド いや、まだ見てないよ。

——そうですか。実はスケルトン選手は上から首をワシ掴みにされてタップしちゃったんですけど、「自分もそうなったら……」って怖さはないですか?

ベルナルド ダイジョウブ! だって恐怖感があったらリングに上がるべきじゃないよ。

——あと、ミルコVS高田戦では、高田選手が自分から仰向けに寝て寝技に誘って、ミルコ選手はそれに付き合わずに立ったまま、という展開が続いたんですよ。ベルナルド選手だったらどうします?

ベルナルド ボクもミルコと同じようにするかもしれないね。まあ、相手が自分から寝るような選手じゃないって祈るよ(笑)。もしそうなったらムリヤリ立たせるしかないね。どうやったらいいのか思い付かないけど(笑)。

——とにかく、『猪木祭り』のK−1軍はベストメンバーと言ってもいいと思うんで、凄く期待してます。

ベルナルド ありがとう。

——他ジャンルとの闘いということで、K−1のブランド、看板を賭けた闘いというふうに見られると思うんですが。そういう気持ちはありますか?

ベルナルド もちろんだよ。今回のメンバーに入れたことは、とても誇りに思ってるし、試合にはK−1の強さをアピールするつもりで出たいね。

——やっぱりその部分が、ファンもマスコミも気になるというか注目する点だと思いますよ。

ベルナルド うん。ボクは、K−1っていうのは世界でもトップクラスのファイターが集まっているリングだと思うんだ。そのことを、今回の闘いで証明しようと思ってるよ。■

▶12月11日、正道会館東京本部道場で行われたセフォーとホイスの練習を食い入るように見つめるベルナルド。これが大きな刺激になったようだ

急転直下! ベルナルド『猪木祭り』参戦への流れ

8月19日 『アンディ・メモリアル』にて

「ボクもいつかはVTをやりたい。K−1、ボクシング、VTでチャンピオンになるのが夢だ」

※さいたまスーパーアリーナでの猪木軍vsK−1第1戦。ミルコが藤田に勝利した直後のコメント。この時点ではかなり乗り気だったが……。

10月6日 K−1福岡大会前々日

「猪木祭り? ノーッ!」

※福岡大会の2日前に行われたインタビューにて。「自分がVTをやることには興味なし。日本のファンはもっとK−1に誇りを持て!」と一転して否定派に。GP決勝大会進出がかかった大事な時期だけに、それも当然か。

12月8日 K−1ワールドGP決勝大会にて

「ボクサーとしてのキャリアを見直して、K−1での将来を考えないと」

※結局、福岡での敗者復活戦にも敗れ、東京ドームは屈辱のリザーブマッチ出場。これがこたえたのか、ボクシングまで辞めそうな勢い。これじゃVTどころじゃないと思われたのだが、ここから事態が動き出す!

12月10日 『K−1 RISING 2001』記者会見にて

「12月31日はたぶん出る。K−1王者になるために、今のボクには新しいチャレンジが必要なんだ」

※静岡で行われたK−1ジャパンの記者会見。ゼブラ中迫から挑戦状を叩き付けられたりもしたのだが、ここでいきなり『猪木祭り』に参戦を表明。ドーム大会からの2日間で何があったんだ!?

12月11日 ホイス&セフォー合同練習にて

「見るだけで得られるものがあるし、闘ってみるのも面白い」

※もはややる気マンマンのベルナルド。非公開ながらホイスのレッスンも受けた。石井館長もベルナルドの『猪木祭り』出場に関して「あり得ますね」とニヤリ。

12月14日 K−1 JAPANガール・オーディション会場にて

「寝かされたら終わりだが、それでもいいのなら館長のためにボクは出る」

※石井館長から、アーツとベルナルドの出場宣言がマスコミに伝えられた。一気に戦力を充実させた館長は、さらに「ベルナルドやアーツのほうが、よっぽどサムライだ!」と出場が微妙な小川直也を挑発。

12月18日 『INOKI BOM-BA-YE2001』カード発表記者会見にて

ベルナルド出場が正式発表!

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS DX
スペシャル・リング・ガイド
No.61 1・24 臨時増刊号

CONTENTS

直前情報

12・31 国民的他流試合
猪木軍vsK-1軍、いざ決戦! 3

K-1軍技術教官 ホイス・グレイシーが語る
レイ・セフォーの強さ ―― 29
ホイス、セフォーにマンツーマン特訓 ―― 32
「石井館長の力になりたいんだ」
マイク・ベルナルド インタビュー ―― 33
【決戦直前対談】
アントニオ猪木vs石井和義 38
「今の俺、ちょっと強いよ」
安田忠夫インタビュー ―― 58

完全速報

12・23 PRIDE.18 福岡大会 ―― 13,101
高山善廣vsセーム・シュルト、ヴァンダレイ・シウバvsアレクサンダー大塚
小路晃vsジェレミー・ホーン、イゴール・ボブチャンチンvsヴァレンタイン・オーフレイム
山本尚憲vsヤン"ザ・ジャイアント"ノルキヤ、ムリーロ・ニンジャvsアレックス・アンドラーデ
アラン・ゴエスvsアレックス・スティーブリング、松井大二郎vsクイントン・"ランペイジ"・ジャクソン

年末ビッグイベント大特集

12・9 新日本キック ラジャダムナン興行 ―― 62
12・16 修斗 NKホール大会 ―― 85

12・21 リングス 横浜文体大会 ―― 94
12・23 DEEP2001 ディファ有明大会 ―― 109

連載

はせキョーの超SRS宣言! ―― 68
一本コラム ―― 77
あぶもぐ(読者のページ) ―― 78
編集部トーク ―― 84
グレート・アントニオ新作情報&誌上通販 ―― 116
たっつぁん万座ビーチ(読者プレゼント) ―― 118

アントニオ猪木、2001年マット界を一刀両断! 53

噂の三面記事
1・11『一撃』の全容が固まってきた。
この大会を見なければハッキリ言って損! ―― 80

大会レポート

12・15 ReMix 2001ロシア大会 ―― 82
12・9 全日本キック後楽園大会 ―― 83

格闘技パーフェクトガイド

大会ガイド&チケット情報 ―― 46
バックナンバーインフォメーション ―― 51
浅草キッドの底抜けアントンハイセル ―― 52
SRS番組インフォメーション ―― 69
TVガイド ―― 70
BOOK&GOODS情報 ―― 72
Et cetra ―― 74
宇月田麻裕の北斗占い ―― 75

※入稿の都合上、やむを得ず目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

©ローデス　本誌掲載の記事の無断転載・放送、写真の複製を禁じます。また、投稿作品の全ての権利・著作権は本誌に帰属します。

「K—1は最後の1秒までであきらめない」（石井和義）

「勝負！ノドを食いちぎる」（アントニオ猪木）

決戦直前対談

取材◎Show大谷泰顕

アントニオ猪木VS石井和義

——最強の格闘王決定戦が近付いてきたわけですが、猪木軍とK—1軍の全面対抗戦のきっかけを作られたのは？

猪木　石井館長！

石井　今年4月にグランプリのトーナメント大阪大会が終わった時点で、ジェロム（レ・バンナ）が圧倒的な強さで勝ち上がったんですよ。あの時、ジェロムが一番調子が良かったので、まあぜひやりたい。誰か受けてくれないかなと。

——相手として、まず頭に浮かんだのが猪木軍なんですか？

石井　そう。小川選手や藤田選手ですね。その中でいち早く反応してくれたのが藤田選手だった。僕らはそういった形でできると思ってませんでしたから。

——猪木さん率いるプロレス界の選手たちと対戦をしたいという思いは、どこから出てきたんですか。

石井　僕らはテレビで力道山先生とか、もちろん猪木会長とか馬場さんの試合を見て、育った世代です。猪木さんが異種格闘技戦でずっと闘ってこられた歴史がある。日本の格闘技界の歴史は、力道山先生がプロレスを作られて、猪木さんや馬場さん、皆さんがそれを継承されて、そして大山倍達、極真会館というね。そういう流れの中で格闘技の歴史があったわけです。その中心人物として、いつもいらっしゃった、戦後の格闘技の歴史を作ってきたのが、アントニオ猪木さん自身で、伝説になってますからね。そこと闘えるっていうのは、僕らの一つの憧れであり、また目標だったんですね。

——館長もかつて熱い思いを持ちながら、猪木さんの異種格闘技、あの格闘魂のリングを見つめていた、と。

石井　テレビでね。

——そういうお話を聞いて、猪木さんは

猪木軍はプロレスより上ですよ。今、プロレスも含めて最強じゃないかと思ってます（石井）

どうですか？

猪木　人の思いはあるんですけど、時代の背景というか、そういうものが後押ししてくれないとね。今、まさになんでも有りという、それこそ世界で起きている事件、いろんな国内の中でもね。今まで作られたものが崩れていくというか、過去のものになっていくというか。そういう意味でこういうことが意表を突いたというか、まさに非常識というか、ファンからすると混乱するわけですけど。もともと格闘技というのは永遠のものだと思うんですね。その時代の人気やなんかがあるんだけど、誰が強いかっていうのは永遠のテーマじゃないですか。K―1が強い。猪木軍は最近かたまってきた。『プライド』の選手もいる。そういう中で、誰が強いのかやってみなきゃ分からない。だから、夢が大きく広がってくるんです。軍団という形で、全面対決となっている以上、お互いに勝ってもらわなきゃ困るという気持ちがある。石井さんも大変なプロデューサーで、我々も自分でプロモートしてきた経緯から言うと、今の時代があまりにも元気がないというか、面白くないというか。そういう意味ではこういう格闘技を通じて、熱いメッセージを送っていければいいなと。対決ムードと、もう一つは怒りというか、怒れないというか時代背景が、みんなどっかに詰め込まれている状態ですからね。

――怒らなきゃいけないことがあるにしても、それを表に出せない状態ですね。

猪木　ひと昔前だったら、こんな不景気が続いたら、国民は怒る。ストを起こしたりと、いいことじゃないけど、何かそれもパワーでもあったりするじゃないですか。選手はまさにリングに上がっていく時には怒って、自分を燃えさせていくわけですから。今、世の中に欠けている部分、我々がそのパワーをワーッと燃やしてやろうというかね。

――格闘家同士の闘う前の気持ちと、見る人たちがその格闘家の姿に何を求めるかという話ですが、石井館長は見ている側の気持ちに関してはいかがでしょう。

石井　常に見ている側、ファンの人たちの代弁者だと僕自身思っているんで、いつもその気持ちを忘れないで、K―1というイベントもやっています。だから今回のことに関してもそうですけど、僕の頭の中では、今はプロレスよりも猪木軍のほうが強いと思っている。僕の頭の中では猪木軍のほうが上位概念にあるわけですよね。その日本最高峰の猪木軍と闘えるということは、K―1側にとっては非常に嬉しいことなんで、僕はそういうふうに見ています。日本のプロレスのレベルっていうのは、アメリカのWWFとかいろいろありますけど、比べても最高峰ですから。最高峰のレベルの中でも最高の選手が集まっている猪木さんの軍団と闘えるっていうのは、僕らにとっては「ついにここまで上がってきたか」という感慨もあります。なんでもそうですが、欲しい物があってもその高さまで自分が上がっていかないと、それは取れないわけじゃないですか、K―1っていうのは、もともと、僕自身が正道空手というアマチュアの空手団体をやっていて、そこから徐々にK―1というのを作り上げてきて、やっとここまで上がれたなと。で、やっと闘ってもらえるんだなって感じがしてならないんです。世間的には上場会社がスポンサーをしたり、ゴールデンタイムで数字をとって、メジャーな部分もK―1という競技自体にはあるんですが、石井和義個人はいつもハングリーでいたい。そういう気持ちを大切にして、ファンの気持ちも大切にしていきたいなと。今、猪木さんがおっしゃったみたいに、何が起きるか分からない時代に、時代の背景っていうのも僕たちに味方してるんじゃないかと思います。

――猪木軍は、プロレスというカテゴリーをさらに越えた部分にあると。

石井　僕はそう思ってます。もうプロレスより上ですよ。プロレス自体、強いとか最強というイメージが薄れてきているじゃないですか。猪木軍っていうのが、今、プロレスも含めて最強じゃないかと思っているんですが。

――K―1は格闘ファンだけでなく一般の人たちにも浸透して、ほとんどの人がK―1と言う言葉で「あっこれだ」ってピンと来るようになった。で、実際にK―1が非常に強いと思っている人が多い。

石井　K―1のルールの中で闘えば、世界最強だと思います。

――猪木軍と対決する必要性というのはどう考えますか？

石井　必要だから闘うわけじゃなく、もっとK―1をより強固なものにするためですね。選手のモチベーションを上げて、選手個人の技量あるいは精神性を高めるために、僕らは一回はこういうハードルを越えてみたいと。さらにその先のK―1というのを確立していきたい、と思ってますけどね。

――猪木軍の持つプロレスというカテゴリーを越えた部分が、一つのハードルになっているのかもしれませんが。

石井　そうですね。それを越えた時に、戦後60年のプロレスの歴史っていう部分のレジェンドっていうのをK―1のものにできるんじゃないかっていう、ちょっと欲張りな考え方なんですけど、そういうのも持ってます。

――猪木軍の持つハードルの凄さっていうのは、どこにあると思いますか。

石井　理屈を越えたところにあると思うんです。猪木さんがやってきたことは、僕たちが普通では計り知れないことで、アリ戦しかり、ペールワンと闘ったこともしかりですね。やっぱり、孤軍奮闘で、ご自分で新日本を旗揚げされて、非常にリスペクトできる方ですからね。

――K―1側から猪木軍と対戦したい、ハードルを越えたいという話がありましたが、それを最初に受けた時、猪木軍を率いる者としてどんな気持ちでしたか。

猪木　正直言うと、もう若い人たちの時代だよというのがね。ただなんだか分からない、猪木の名前が一人歩きをはじめてしまったという状態の中で、これはもう使命だろうというふうに感じております。まあ、アメリカではプロレスが盛んであったり、ラスベガスでK―1があったりとか。唯一日本がそういう格闘文化というかね、これだけありとあらゆる格闘技がプロスポーツを含めて、皆さんが職種として飯を食っているというのは、世界広しといえども、日本だけですからね。だから、ほんとに日本人は好きなんでしょうかね、この格闘技というものが。

石井　格闘技先進国ですよね。

――本当に多くの人が格闘技を話題にしますからね。

猪木　今までの時代背景が、名前出していいかどうか知らんけど、朝日新聞なんかは、たとえば我々の記事を書かなかった。書くことが、もしかしたら朝日新聞の権威を傷付けるみたいなね、そんな時代があったと思うんです。今はそうじゃなくて、我々の記事を出さないと新聞のイメージが良くなくなってくるみたいな

一瞬一瞬を僕たちは頑張る。その一瞬が永遠にみんなの心に残る一瞬になる。その一瞬のために闘うんです（石井）

ね、変わり方をしてると思うんですよ。

——お互いに相手は非常に高く強いものと考えてらっしゃると思いますが、もし負けるようなことがあるとプライドが傷付いてしまう危険性がある中で、あえてこういう形で対抗戦を行う。勝負の世界で負けることを考えることはないと思いますが、そういうリスクについては。

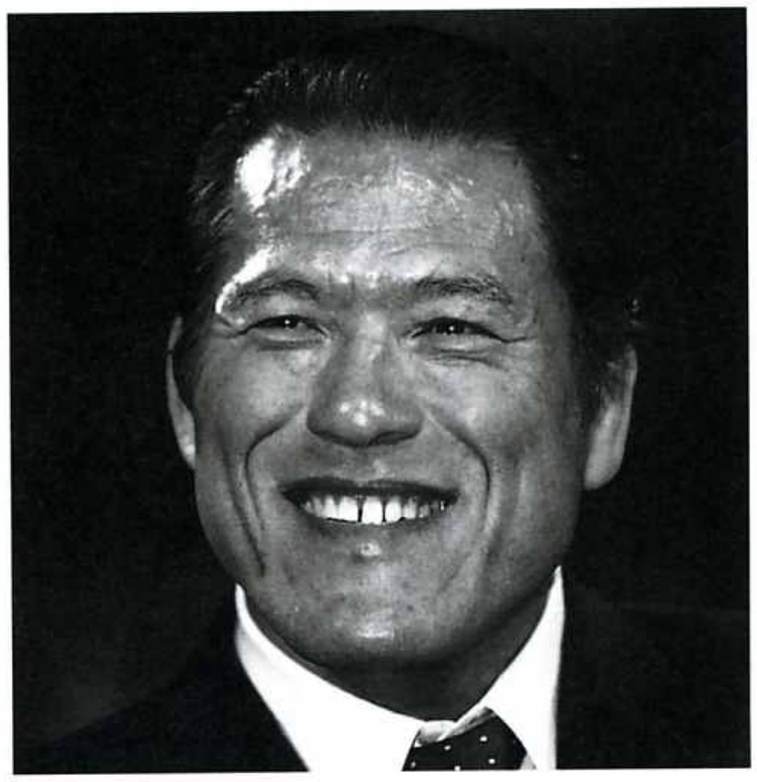
石井　リスクについては、考えないようにしてる。リスクというよりも、格闘技のイベントとか興行とか闘いっていうのは、やることに意味があるんです。やったらどうなるか、先に考えて試合をする人はいないと思いますよ。そうするとイベント自体が面白くなくなると思う。だから、たとえばK—1が勝とうが、猪木軍が勝とうが、それがプロレスの大勢に影響があるか、K—1に対して何か問題があるかっていうと、まったくないと思うんですよ。それはプロレスという競技であり、K—1という競技として確立しているわけですから。そこの選ばれた選手たちが集まって試合をする。その試合の中に、全てがある。何もないところに、みんなが集まって夢を見るわけですから、終わった後は逆に何も残しちゃダメなんです。その一瞬一瞬を僕たちは頑張る。でもその一瞬というのは、永遠にみんなの心に残る一瞬なわけですよね。その一瞬のために僕たちは闘うって考えてます。

——猪木さんはいかがですか。

猪木　今、言われた部分の結果思考というか、今の時代というのは、これをやったらこういうリスクがあって、こうこうこうという計算を先に立ててしまうと、身動きがとれなくなってしまう。逆に言えば行動思考で、よくメッセージで「この道を行けば、どうなるものか」っていうのがね、皆さんに色紙なんかに頼まれたりするんですけど。今の時代はまさにみんな動きたくても結果思考的に入ってしまう、そのために行動ができないというね。これはオリンピックのあるコーチが書いた本のことなんですけど、選手たちはどんなに強そうにしていても、心の中の深層心理っていうのは怖いんですよ。ましてや格闘技になればね、もっとそのプレッシャーに潰される。そこにコーチであったり我々が助言してあげることによって、いい方向に持っていく。そこのところが日本のコーチも、我々プロレス界で言えばプロレス自体がもうちょっとそういうコーチの育成というかね。俺自身が作ってきちゃったもんですから、自分が走ってきたし。そういうふうに意識してなかったんですけどね。でも、その深層心理の中に、みんながあるものを俺たちが見抜いて、ある時には尻を叩かなきゃいけない。そういう中で、やることの意義を前面に出せるとかね。石澤も、いきなり今回声を掛けられて、「はいそうですか」って言えない彼の真面目さもあったり。でも、話していく中で、だんだん変わってきて、「いや、そういう状況であるなら、私でお役に立つなら」っていうありがたい決断をしてくれた。さっきも質問があったとおりね、たとえば、マングースとハブかなという。ハブは一撃でマングースに食いつかなきゃいけないし、それをかわしながら、相手の首に食いついていくとか。まあ、どちらがマングースかコブラかは別にしてもですね。そういうふうに置き換えていくと、またもうちょっと見方が違ってくるし。だから、タックルを切る練習をする。普通だったらタックルで絶対倒せるものが、それを切ることによって、次の展開がある。この前の藤田とミルコのケースみたいな。あとは危険ゾーンという、蹴りとかパンチというのは、非常に両方にとって怖いんですよね。逆に言えばK—1の選手にとっては、組み込まれるっていうのが、一番怖いわけですね。その危険ゾーンのどこまでを耐えられるか、どこまで踏み込んでいけるかっていう。専門的になるけど、まあこういう部分で、見ると面白いと思います。

——8月に猪木軍とK—1という闘いがあって、その時に藤田選手と安田選手が敗れた。猪木さん、この結果というのは今回に向けてはどうでしょう。

猪木　油断ということではないと思うんですね。安田の場合は技術的なものが伴っていないで、本来ならば（総合格闘技を本格的に始める前に）1年くらいびっちり仕込んでというね。それが『プライド』から話があって、一気に安田の人気が上がっちゃったもんですからね。ただ、今回はそこんところを承知の上でトレーニングしましたんでね。藤田に関しては、甘く見たとは俺は全然思ってないんだけどね、彼が。ただ、俺なんかが見てどうしてああいうタックルをするかなという。非常に無防備なね。ちょっとそこが信じられない。アリ戦を振り返ってみるとね、守護霊が凄く強いから気を付けなさいと。私の守護霊も強いとかっていう話があったんだけど。何かそういう目に見えないものが左右するケースっていうのを感じることがあるんです。よく『プライド』の試合でも、出てくる時にパッと見て、なんかオーラというか、この選手は今日はダメだと。たしかに強いはずなんですけど、そういうふうに感じることがありますね。だから、逆に言えばそういう屈辱というものを燃やして、もう一回雪辱戦に挑むというね。これは逆に結果は結果ですけど、大変興味が持てる。



——それでは具体的に試合についてですが、まずは髙田選手とグレコ選手の対戦。髙田選手はコンディションは非常に良くない、完全とはほど遠い状態なわけですね。でもなんとしてもリングに上がるという気持ちでやってくるわけですが。

猪木　一般で言う奇蹟というものが、自分自身の中でもあるいは人の場合でもいくつか見た経験があるんですね。そういう意味で、ほんとに足が動かなかったのが、動く状態、屈伸運動ができる状態。俺には奇蹟じゃないんだけど、ある脳の回路を変えることによってね、ほんとにそういうことができると。努力とかそれも当然なんですけど、時間のあるなしじゃなくて、そこのところで最後の自分を持っていける方法っていうのがあるんで。彼がそういうアドバイスを受けるかどうか知りませんけど、アドバイスをしたいと思ってます。

永田には一番期待してますよ。一番いい場面で出てきた。これで勝てば（猪木）

——それは猪木さんの現役時代の数々の試合の中で垣間見ていた気がしますね。

猪木 エネルギーレベルの闘いになってくるから、力が強い、技があるということと、その日の状態がどう左右するか。博打の例をとっちゃうと悪いけど、見下ろしというかね、相手の手が全部見えちゃうことがあるじゃない。そういう状態に彼をもってってあげられればね。足がどうだとか、ハンディは関係ないと。

——どんな状況であろうともリングに向かって出てくると。

猪木 これはプロフェッショナルとしての演じ方というか、表現の仕方というか、たいへん彼は熟知しているというか、知っているからね。この場面で出ること。それは勝ち負けもさることながら、その場面の役割を背負うということの大きさをたぶん知ってる。だからその部分でプロレスラーだろうという。

——覚悟はかなりしての……。

猪木 当然覚悟はしてますよ。開き直りって言葉があるけど、人間の中で何かモヤモヤしていると、パワーがプラスマイナスになっていく。それを一方のマイナス的なものを消すことによって、パワーが100から200に変わっていくような状況を作り出せばいいわけ。

——その髙田選手と対するグレコ選手ですが。そういう状態の気迫が充実してきた髙田選手は非常に怖い相手だと。

石井 やっぱりこの闘いをやる以上は髙田選手に限らず、僕らが対戦する相手は全員がプロなんで。プロを相手に僕たちは挑んでいくということで、全て怖いですよね。

——グレコ選手はもともと空手ですよね、特に抜けているいい部分っていうのは。

石井 集中力があると思うんですけど。あとは身体能力が非常に高い選手です。

——髙田選手と闘う、あるいは異種格闘技戦を闘うということで、グレコ選手のモチベーションは。

石井 彼は逆に言えば非常に臆病な人間なんですね。見た目は凄く豪放に見えますが、非常に繊細で臆病で、ぎりぎりまで悩むんですよ。今猪木さんがおっしゃったように、プラスマイナスがあって、マイナス面が強いんですけど、いざやるとなるとマイナスが切れた時にプラス面が倍になるタイプがまさにサムかなと思いますよ。それが吹っ切れたってことで、今のサムは強いと思います。

——リング上で両者の精神面が、表にはっきりと見えてくるかもしれませんね。格闘センスという意味でグレコ選手を評価されてますよね。

石井 そうですね、このルールにもミルコと同じくらい適応が早いんじゃないかと思いますよ。

——トレーニングに関してはもう万全と。

石井 万全とまではいかないですけどね、でも、精一杯頑張ってますよ。みんなそうだと思います、それは。

——永田対ミルコ戦を、お二人で展望していただきたいんですが。

猪木 永田は今まだまだプレッシャーで大変だろうと思うんだけど。さっき言ったようにそれがプラスに変わった時に、もともとグレコローマンやってますからね。一つ俺が助言するとすれば、勝ち負けは大事なんだけど、それよりも最高の自分を出せよと。彼は華がないと言われているんです、実力もみんないいんですけどね。その地味な部分が、逆に言えばもっと華になっていけばいいかなと。だから、まあ一番期待してますよ（笑）。一番いい場面で出てきたよ。これで勝てば。

石井 ボクもそう思いますよ。自分で演じられて、そして闘うことができるという選手が一番凄いことなんで。世の中で一番大切なのはタイミングだと思うんです。タイミングを逃さないようにしたほうがいいと思うし。今のミルコは、レスラーにとっては一番いい対戦相手だと思います。これで永田選手が進化して変化するのを見たいというような、プロレスファンとしての僕の気持ちもあるし。ミルコに関して言えば、藤田戦はやっぱり彼にとってラッキーだったと思うし。ところが次の髙田戦では不完全燃焼の闘いをしたし。やっぱりうまくできてるな、いいことばかりは続かない。その流れの中で今回どういう試合展開になるかっていうのは、僕も非常に興味深い。

——対戦相手に対する愛情っていうか、そういうのは感じるもんですかね。

猪木 べつに憎いわけじゃないからね、みんなもともと。

石井 会長はミルコ選手に対してはどういう印象を持たれてますか。

猪木 ラスベガスで記者会見があったじゃないですか。非常に真面目でね、好感持てましたよ。俺もファンになっちゃうと危ないけどね、ハハハハハハ。

石井 藤田選手とはいつかもう一回やらせたいなというのがありますね。それをやるためにも、永田選手には勝たなくちゃいけない。

猪木 いやぁ、これはちょっと負けるわけにはいかないな、ハハハハハ。

石井 これはけっこう意地の闘いになると思いますよね。

——負けるわけにはいかないなという猪木さんの言葉がありましたけど、全てに共通する意地っていうのもありますしね。

猪木 当日、見たくないね、フフフフフ（笑）、自分がやってるほうが楽だっていうね。思い入れがあればあるほどね。

石井 けっこう僕もそうなんですけど、自分の中でこれはもう割り切ろう割り切ろうと。これは違うルールで、これはこの試合なんだって思いますけど、でもやっぱり勝ちたい、手に汗を握るっていう。ドキドキしますね、自分が闘っている以上にね。まったく永田選手に関しては未知数ですからね。ロスのどこで練習されているんですか。

猪木 オープンはしてないんですけど、サンタモニカに私の道場が、一応できましたんで、リングが入ったんで。ドン・フライがそこに合流してやってます。

——猪木さんからご覧になって永田選手はどうですか。

猪木 一つは、どこを絞っていくかってことだと思うんだよね。また専門的になるけど、ようするにさっき言った危険ゾーン、どこまで犯させるか、自分が犯せ

KO負けした後、もう一回同じルールで闘えるのは安田選手の勇気だと思うし、男気だと思います（石井）

るかという部分だから。あんまりあれだとかこれだとか、技だとかって必要がないわけでしょ。さっきも言ったようにマングースかハブかというようになれば、一カ所の弱い弱点さえ掴めば、ドバーンと入ればいいわけだし。逆も言えるし。

——安田対ローゼ戦は。

石井　安田選手は今回かなり準備期間があるんで、トレーニング積んできてるでしょう。お互いによくトレーニングしてますからね。

猪木　スタミナ的にも心配がなくなったと思う、安田は。そこんところが長期戦になったとしても。前回はビデオで見させてもらったけどね、スタミナ切れというかいいところまでいってて。まあ寝技、関節技も多少うまくなってきたんで。やっぱりそれだけの結果が出るような試合になると思いますよ。

——雪辱戦になるわけですね。

猪木　そうですね。本人からもう一回やらしてくれっていう話でしたからね。

石井　だから安田選手、僕好きなんだよ。いい男ですよ。

——どんなところがですか。

石井　KO負けした後、半年も経たないうちにもう一回やるって、普通の人間なら言えないことですよ。KO負けはダメージ残りますし。その人間に対しても、映像っていうのは残るじゃないですか。それと、もう一回同じルールで闘えるっていうのは彼の勇気だと思うし、男気だと思いますよね。

猪木　あの試合の翌日、パチンコ屋に行ってたっていうから、ハハハハハハ。

石井　そのへんも安田選手ですよね（笑）。

——豪放磊落な方なんですか。

猪木　このちょっとの間に、誰かが認めてくれたというか、そういう意識が高まることによって、表現悪いけど、俺がゴミ箱から拾ってきたみたいな表現したけど、いま一番輝いてるんじゃないですかね。誰かが見てくれてるって部分が凄く大事なんでね。一番浪花節的っていうか、あいつは。ちょっと面白い企画を考えているみたいなんで、当日期待してください。まあ試合は試合でね。

——企画があるわけですね。

猪木　唯一、あいつだけ似合うっていうか、ハハハハハ。

——館長もお好きっておっしゃいましたけど、いい味のある人ですよね。

石井　味はありますよね。味があるというか、奥が深い。

——古き良きプロレスラーの匂いっていうのは、そういう感じですか。

猪木　一番、プロレスラーらしいっていう評価をされているよね。宵越しの金は持たないとか。何か皆さん今、計算ばかりが先にいってさ、金が後からついてくるよと。俺らも苦労したことがありますけどね、まさにやるべきことをやっておけば、金はついてくるというのをね、今のあの歳になってね、実感しだしたんじゃないかなぁ。

——館長、K—1ファイターにはそういう浪花節的なキャラクターは？

猪木　アンディだろうね、亡くなられちゃったけどね、一番そういう意味じゃ。

石井　アンディでしょうね。まあ、プロだからね、お金を儲けるっていうのは当たり前の自然な行為だと思いますよ。やっぱり義務と責任と権利とね。権利があれば、やっぱり義務と責任というのがあると思う。そういうのを忘れて権利ばっかり主張する人が多い中でね、権利を主張しないで義務と責任を果たすばっかりの安田選手っていうのが僕は大好きなんですよ（笑）。こういう世界にいると、先にファイトマネーはとか、条件はとかばっかり言われる。そういう中で安田選手は、純粋に俺を必要としているリングに上がっていくんだと。猪木会長のためにやる。僕は敵ながら好きですよね。

——その他の選手ではアビディは格闘技で今までの生活環境から抜け出していきたい、這い上がっていきたいという気持ちが強いと。

石井　シリル・アビディっていうのはもともと気が弱い子だったらしいんですけど。育った街が柄が悪い街で、喧嘩を売られるんで、倒されるのが嫌だから倒される前に倒しちゃう。それでいつのまにかずっと喧嘩ばかりやってたって。だから、K—1の試合でも会場に入った瞬間から戦闘モードに入ってるタイプなんで、ある意味では、こういうノールールの闘いのほうが、彼には向いているのかもしれないですね。貧しい中から格闘技で身をなして成功していこうっていう、非常にハングリーな男なんで、それが彼の闘いぶりに出てますよね。

——ハングリースピリットっていうのは、猪木さんも大好きなところじゃないかと思うんですけど。

猪木　そうですね、ブラジルの選手が格闘技で活躍してるんですけどね。やっぱり、あいつらのパワーはなんなのかと思う。あいつら1回日本に来て闘って帰ると家が一軒ぐらい建つっていう感じでね。そういう部分も含めて、ハングリーというか、燃やすファイトが違う。それともう一つはブラジルの場合は、ほんとにグレイシーから始まってね、バーリ・トゥードとかいろんなのがあって、非常に日本に似てる部分がありますね。

——それにしても、今年の大晦日は本当に凄いことになりそうですね。

猪木　まあ、これで終わらないでね、これは結果ですから。最善の努力をして目指すところは、全勝と。俺は5勝3敗くらいのほうがいいんじゃないかなと、ハハハハハ。

石井　全勝するつもりでいって、まあそこそこいけるんじゃないかなと。最初から5勝3敗とかで僕らがいくと、全敗する可能性がありますんで（笑）。

猪木　その結果がある意味ではバランスがとれているほうが、もう一回次へつながったほうがいいかなと（笑）。

石井　インパクトというかコンタクトというか、何かがぶつかり合って、猪木会長がおっしゃったように何が生まれるか、どういうものが起きるか分かんないわけですから。核融合でね、ガンッとした時にバーンとしたものが生まれるんじゃないかなという期待感のほうが強いんですよ、僕は。それがK—1選手に表れたら、

最近、私はふあんだらけの人生だから、ファンがいっぱい寄ってくる、ハハハハハハ(猪木)

もっと凄くなるよなぁと。スーパーサイア人になれるかなと。なれる可能性のある人がいるから、楽しみなんですよ。

——バンナ選手とベルナルド選手の参戦も確定ということですが。

石井 もう準備はできてます、2人とも。

——バンナ選手のバーリ・トゥードにおける能力っていうのは。

石井 まだ闘ったことがないんですけど、あの体格であの俊敏さであの身体能力ってことを考えると、短期決戦には一番強いタイプじゃないかと思います。ただ、持久力っていう面に関しては非常に不安が残る。時間が経てば経つほど、そのへんの経験不足が出ますけどね。今回はそんなに長い時間はいらないと思いますけどね。コンディションは100%ベストではないです。でも、それを100%にもっていくっていうのは、本人の意志の力ですからね。ベルナルドのコンディションはいいです。

——非常にいい状態で大晦日を迎える。

石井 パンチが当たれば倒れるかなと。でも、当てさせてくれるかなと(笑)。

——ポイントはそこ。

石井 そうですね。だから今おっしゃったように、ガッと行く時に、どうコンタクトができるかというね。

——では、最後にお互いに3つずつ質問をしてください。

猪木 どうぞ!

石井 それは答えなくちゃいけないんでしょ?

——答え方は自由です。作戦もあると思いますので(笑)。

石井 じゃあ、僕から聞いていきます。猪木さん、ズバリ言って猪木軍に勝つにはどういうトレーニングをしたらいいんでしょう。

猪木 そうですね。まあ十分みんな仕上がってるから、ゆっくり寝てください、ハハハハハハ。

——今度は猪木さんから。

猪木 そうですね、正直言って不安がないっていったら嘘なんですけどね。あえてこういう時には不安を見せないようにしなきゃなんない。逆にK—1選手には不安の尺度と度合いはどのくらい? まったくないですか?

石井 不安だらけだと思います、それはやっぱり、正直言って(笑)。

猪木 最近私はふあんだらけの人生だから。ファンがいっぱい寄ってくるもんですから、ハハハハハ。

石井 ハハハハハハハ。でも、お客さんにしてみれば不安だらけの試合ほど、ファンが増えるというか。ドキドキするんじゃないかと思いますし。まあ、自分が信じた道を一歩踏み出すだけと、そういうことだと思います。

——では2つ目の質問を館長から。

石井 闘魂伝承ってよく言われてますが、アントニオ猪木っていうのを継がせるとしたら、現時点では誰に継がせようと思っているのか。決まっていなかったら、誰と誰が候補か、それもなければこういうファイターだったら継がせてもいいと思うのか。

猪木 ちょっと時間がかかるけど、半年か1年で、まったく無名といっていいのかな、そういうのが出てくる。可能性じゃなくて、出てきますと言い切っていいのかな。

石井 今でも強いのに、もっと強いのが出てくるんですか?

猪木 作ります。

——どんなタイプの人なんですか?

猪木 それは来年少しずつベールを脱がせていくというのが、楽しみじゃないかな。K—1にも出ていけるかもしれない。

石井 出ていけるかもしれない!

——他の世界で有名なんですか?

猪木 いや、まったく無名ですね。やっと土の中から芽を出したくらいですから。

石井 猪木さん宇宙から連れてくるんじゃないでしょうね(笑)。

猪木 ハハハハハ。

——では猪木さん、2つ目の質問を。

猪木 K—1のこれからの世界イベントというか、ラスベガスで成功して、次はどこへ飛んでいくんですか。

石井 来年は5月29日になると思うんですが、初めてフランスのパリのベルシーという体育館で行おうと。マーク・ハントが世界予選から勝ち上がってきて、ついにグランプリ決勝に上り詰めたみたいに、その結果を踏まえて、僕たちが世界予選を世界中でやってきたことは決して無駄じゃなかったと。2年目にしてやっと結果が出ましたから。世界主要32カ国、プラスアルファ電気が通ってないようなところから、猪木さんが今おっしゃったように、原石を見つけたい、見つけた時の喜びっていうのがありますからね。

猪木 館長まさかワインが飲みたくてフランスを選んだわけじゃないでしょうね、ハハハハハハ。

石井 それもありますけどね(笑)。ヨーロッパで一番華やかな街、パリでやるというのが、ヨーロッパでやるっていう感じが一番しますしね。パリは凄い格闘技が好きな街ですから。で、ストーリーもできましたしね。ジェロムがホントに復讐をすると。ズバリ、『K—1リベンジ』というのがタイトルで。パリっ子っていうのは、そういうのが好きですからね。その代わり、ジェロムは負けたら本当にパリには住めなくなりますよ。それくらい厳しい国民性ですから。だからこそ燃えるという。まあ、2002年の5月はサッカーのワールドカップがあるので、なるべく日本は避けようと思いまして。

——では、最後の質問をお願いします。

石井 僕はK—1軍を率いる監督みたいなものなんで、相手の監督に作戦を聞くのは失礼なんですが、今回この選手には気を付けなさいという選手、この選手がキーになってくるという選手を、ぜひ。

猪木 ドン・フライというね、いろんな部分の経験とか、それがこれからまだ登っていくのか下がっていくのか、非常に微妙な感じでね、俺自身見たい。相手もさることながら。

石井 ドン・フライっていい選手ですよね。日本人ではどうですか?

猪木 日本人はですね、さっき言ったように安田と永田が、負けてもこれによっ

◀12月17日放送のＴＢＳ『ワンダフル』に、ホームレス姿で登場したアントニオ猪木。ワンギャルたちもアントンの登場に大ハシャギだった

てプロレス界もね、ダメージということはないけど。ようするに勝てば、一人の個性派のスターが誕生するんで、そういう意味ではたぶん今、相当なミルコ対策をやっているんでね。藤田の時みたいな蹴りではたぶんいかないだろうと。

――この試合を境に永田選手の人生が変わるかもしれないですね。

猪木　一夜にして安田が出てきたように、あるいは小川も含めてね。K―1も『プライド』も含めて。かつては凄いスターがいっぱいいて、この選手が一人上がればプロレスはもう超満員だったという、フリッツ・フォン・エリックとか、そういう選手がいたんですけど、最近はそういう個性派がいなくなったんでね。逆に言えばK―1においても猪木軍にも、もっともっと個性の強い選手が出て来てほしいと思うし作らなきゃいけないですね。

――では、最後に猪木さんから館長へ。

猪木　さっき出ましたけどノゲイラとかブラジル軍団が、K―1にも上がってもいいとえらい強気なんだけどね。まあ、そういう道を開いてあげたいなと、逆に言えば乗り込んで行ってね。K―1をおびやかそうと。

石井　いやあ、もうぜひ！　K―1のチャンピオンで、『プライド』のチャンピオンで、と2冠を取れるような選手をぜひ作っていただきたい。僕はウェルカムで非常にありがたいなと思ってますから。いつでもやりましょう。

猪木　今回の対抗戦にも出たくてしょうがないんですよ、ノゲイラも。ただいろんな表に出せないことがありましてね、ちょっとノドが詰まってますけど、私もね、ハハハハハ。なんて言うのかな、こいつらのパワーをみんな少し見習ってほしいなという感じがするんでね。だから、あえてノゲイラの名前を出しましたけど。この前もあるインタビューでね、この闘いには　どんな意味があるんですかっていうから、まあ格闘ちゃんこ鍋じゃないですかねって。それこそいろんなものが入ってますから、もっともっと煮詰まればもっともっといい味が出てくるよと。

――ご質問はいいですか？　それでは最後に抱負をお願いします。

石井　全国の皆さん、K―1軍はほんとに最後の1秒まであきらめずに、目一杯全力で闘いますから、一瞬たりともテレビから目を離しちゃダメですよ。

猪木　一言、勝負！　ノドを食いちぎる。

――楽しみにしております。ありがとうございました。■

やる前から大波乱を起こす馬鹿いるかよ！
命懸けのエンターテインメント
「猪木軍VSK―1」
直前大分析!!
月刊誌の限界に挑むド直前情報満載！

「正直、スマン！」「猪木、みてろよ！」他、衝(笑)撃の名(迷)言を完全再録！
語録で振り返るマット界2001
男。高田延彦、驚愕の『猪木祭り』出陣決定！
ケガをおして"拳獣"サム・グレコに挑む！

マット界に一大テロ勃発!!!!
『紙プロ』は"衝撃の問題本"に真っ向から向き合います！
ミスター高橋完全独占インタビュー！
前田日明、佐山サトル、ミスター・ヒトが
「高橋本」を斬る！
"ケーフェイ仕掛け人"ターザン山本が噛みついた！
"シュート活字王"田中正志が「高橋本」を書評！

今度は22ページ大特集！闘龍門メキシコ現地取材敢行！望月成晃、ウルティモ・ドラゴン、ミラノコレクションAT、大柳錦也、じゃちほこマシーン他 マット界最後の黒船、遂に襲来！3月1日、WWFがホントにやってくる！ 前号で大好評！古き良き全日本の秘話を語る/グレート小鹿 ヤノタク、待望の本誌初登場！軽中量級エース対談/須藤元気×矢野卓見 死神があなたの悩みに答えます/ジェラルド・ゴルドー人生相談 祝・デビュー10周年！久々にボヤキ節が大爆発/金原弘光

紙のプロレス RADICAL
NO.45 特別定価 ¥880
全国書店&プロレスショップで絶賛発売中！
発売元 (株)ワ マガジン社>>TEL(03)3357-2911 発行元 (株)ダブルクロス>>TEL(03)3403-5188

12/28FRI～1/10THU

CALENDAR

12/28 FRI
●フジテレビ系『SRS』(25:45～26:15) ←お休み
★『SRS・DX』61号発売日

12/29 SAT

12/30 SUN

12/31 MON
■INOKI BOM-BA-YA 2001/さいたまスーパーアリーナ(18:00～) ←p46

1/1 TUE

1/2 WED

1/3 THU

1/4 FRI
■全日本キック連盟/東京・後楽園ホール(18:00～) ←p48
●フジテレビ系『SRS』(25:45～26:15) ←お休み

1/5 SAT

1/6 SUN
■ZERO-ONE/ 東京・後楽園ホール(19:00～) ←p47
◆PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR/チケット発売 ←p47

1/7 MON
◆COMBAT-2002/チケット発売 ←p49

1/8 TUE

1/9 WED

1/10 THU
★『SRS・DX』62号発売日

大会ガイド&チケット情報 ……P.46
バックナンバーインフォメーション …P.51
浅草キッドのイチ押しイベント ……P.52
SRS番組インフォメーション ……P.69
TV GUIDE ……P.70
BOOK ……P.72
GOODS ……P.73
ET CETRA ……P.74
北斗占い……P.75

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

総合格闘技&ノールール系

イノキ・ボンバイエ

遂にカード決定！
5でもなく7でもなく8対8だった！

永田裕志vsミルコ・クロコップ

ドン・フライvsシリル・アビディ

石澤常光vs子安慎悟

INOKI BOM-BA-YE 2001 ～猪木軍vsK-1全面対抗戦～

12月31日（月）　さいたまスーパーアリーナ

◆開場/16:00　試合開始/18:00（予定）
◆入場料/VIP席100,000円（専用入場ゲート・グッズ付）RRS席35,000円　SRS席25,000円　RS席15,000円　スタンドS席10,000円　スタンドA席7,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/ドリームステージエンターテインメント、PRIDEオフィシャルサイト（http://www.so-net.ne.jp/pride）、チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド☎03-5802-9999、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）☎03-5749-9911、サークルK／サンクス、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、板橋大山アメリカン、書泉ブックマート、後楽園ホール、チャンピオン、フィットネスショップ格闘技☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、相鉄ジョイナスプレイガイド☎045-319-2456、公武堂☎052-241-2511、グレート・アントニオ（特典付き）☎03-3219-9550
◆会場アクセス/JR高崎線・宇都宮線・京浜東北線さいたま新都心駅より徒歩3分、JR埼京線北与野駅から徒歩7分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

永田裕志（新日本プロレス）	vs	ミルコ・クロコップ（クロアチア/クロ・コップスクワッドジム）
髙田延彦（髙田道場）	vs	サム・グレコ（オーストラリア／正道会館）
安田忠夫（フリー）	vs	レネ・ローゼ（オランダ/ドージョーチャクリキ）
ドン・フライ（アメリカ／フリー）	vs	シリル・アビディ（フランス/"チーム・ロメアズ"ボクシング・プラネット）
石澤常光（新日本プロレス）	vs	子安慎悟（正道会館）
ゲーリー・グッドリッジ（トリニダード・トバゴ/フリー）	vs	レイ・セフォー（ニュージーランド/アメリカンプレゼントボクシングジム）
X	vs	マイク・ベルナルド（南アフリカ／スティーブズジム）
X	vs	ジェロム・レ・バンナ（フランス／ボーアボエル&トサジム）

PRIDE

PRIDE.19

2月24日（日）　さいたまスーパーアリーナ

◆開場/14:00　試合開始/16:00（予定）◆入場料/VIP席100,000円　RRS席25,000円　スタンドS席15,000円　スタンドA席7,000円　◆チケット発売/先行発売1月13日（日）、一斉発売1月27日（日）◆チケット発売所/ドリームステージエンターテインメント、チケットぴあ、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、他　◆会場アクセス/JR高崎線・宇都宮線・京浜東北線さいたま新都心駅より徒歩3分、JR埼京線北与野駅から徒歩7分　◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

2・24『PRIDE.19』チケット特別先行電話予約

1月13日（日）10:00～19:00

特別先行電話予約　【特電】☎052-961-6341

リングス

WORLD TITLE SERIES ～GRAND FINAL～

2月15日（金）　神奈川・横浜文化体育館

◆開場/17:30　試合開始/19:00
◆入場料/RRS席20,000円　アリーナRS席15,000円　RS席10,000円　SS席7,000円　スタンドS席7,000円　スタンドA席5,000円　スタンドB席3,000円　学生特別優待A席2,000円　学生特別優待B席1,000円　※学生特別優待席はチケットぴあのみで販売。なお、購入できるのは高校生以下。購入の際、学生証の提示が必要
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、後楽園ホール、レッスル渋谷、レッスル池袋、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、格闘技プロショップ・イサミ☎03-3352-4083、イサミ尚武堂☎03-5214-6487　◆会場アクセス/JR関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/リングス☎03-3461-0257

K-1

K-1 ジャパンシリーズ

K-1 RISING 2002 ～静岡初上陸～

1月27日（日）　静岡・グランシップ大ホール「海」

◆開場/12:00　試合開始/13:00　◆入場料/SRS席20,000円　SS席12,000円　S席6,000円　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード:745-251）、ローソンチケット（Lコード:30328）、サンデーフォークプロモーション静岡☎054-284-9999　◆会場アクセス/JR東静岡駅、南口すぐ
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場予定選手

グレート草津（Team Andy）
中迫剛（ZEBRA244）
マイク・ベルナルド（南アフリカ／スティーブズジム）
ステファン・レコ（ドイツ／マスターズジム）

K-1 ミドル級シリーズ

K-1 WORLD MAX JAPAN

2月11日（月・祝）　東京・国立代々木第2体育館

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場予定選手

魔裟斗（シルバーウルフ）
小比類巻貴之（チームドラゴン）
新田明臣（全日本キック／S.V.G.）

Kネットワーク

Kネットワーク

一撃

1月11日（金）　東京・国立代々木第2体育館

◆開場/17:00　試合開始/18:30
◆入場料/アリーナ席20,000円　スタンドA席10,000円　スタンドB席5,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット　◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ファーストウェーブ☎03-5369-3681

決定対戦カード

野地竜太（極真会館）	vs	武蔵（正道会館）
セルゲイ・プレカノフ（ロシア／極真会館）	vs	X
ギャリー・オニール（オーストラリア／極真会館）	vs	松本哉朗（新日本キック／藤本ジム）
ネステロフ・ヴィアチェスラブ（ロシア／極真会館）	vs	中村高明（全日本キック／藤原ジム）
マルコス・コスタ（ブラジル／極真会館）	vs	阿部重男（Kネットワーク西日本）
マウリシオ・ダ・シルバ（ブラジル／極真会館）	vs	百瀬竜徳（至誠館）

修斗

プロフェッショナル修斗公式戦
1月12日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、e-ticket（http://www.e-ticket.net）
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

プロフェッショナル修斗公式戦
1月25日（金）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ファイター、書泉ブックマート、後楽園ホール、KEEL CAFE、e-ticket（http://www.e-ticket.net）
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/K'zファクトリー☎0427-40-5710

プロフェッショナル修斗公式戦
2月28日（木）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ファイター、書泉ブックマート、後楽園ホール、KEEL CAFE、e-ticket（http://www.e-ticket.net）
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラTOKYO☎03-5984-3209

プロフェッショナル修斗公式戦
3月15日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/イーフォース・ジャパン☎047-378-6400

topic!　日本修斗協会設定11月度月間賞発表！

◆月間MVP
大石真丈（K'zファクトリー）

◆ベスト・バウト（プロ部門）
大石真丈（K'zファクトリー）vs マモル（シューティングジム横浜）
※11月25日／東京・ディファ有明

▲ダブル受賞となった、大石真丈

パンクラス

"PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR" WITH TOUGH
1月27日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/11:00　試合開始/12:30　◆入場料/SS席12,000円　A席9,000円　B席6,500円　C席4,500円　D席3,500円　立見席3,000円　※当日券は500円増し　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、SSSアカデミー高島平☎03-5945-7166、パンクラス　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

近藤有己（パンクラス東京）vs 佐藤光芳（パンクラスGRABAKA）
佐々木有生（パンクラスGRABAKA）vs KEI山宮（パンクラス東京）
石井大輔（パンクラス東京）vs 秋山賢治（禅道会）

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
2月17日（日）　大阪・梅田ステラホール

◆開場/15:00　試合開始/16:00　◆入場料/SS席8,500円　A席6,500円　B席4,500円　◆チケット発売/1月6日（日）　◆チケット発売所/P's LAB大阪☎06-6649-8530、チケットぴあ（Pコード:594-040）、ローソンチケット（Lコード:39910）、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、チャンピオン大阪☎06-6645-5186、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、神戸住吉・富万☎078-811-6222、神戸ステーキ桜井ポートアイランド☎078-303-3901、パンクラス　◆会場アクセス/JR大阪駅中央北口より徒歩10分　◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
3月25日（月）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30　◆入場料/SS席12,000円　A席9,000円　B席6,500円　C席4,500円　D席3,500円　立見席3,000円　※当日券は500円増し　◆チケット発売/2月3日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード:594-040）、ローソンチケット（Lコード:39910）、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、チャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、SSSアカデミー高島平☎03-5945-7166　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

topic!　菊田、『東スポ』プロレス大賞受賞！

毎年年末に発表される、東京スポーツ新聞社主催のプロレス大賞に菊田早苗選手が選ばれ、プロレス大賞『技能賞』を受賞した。

菊田のコメント
「プロレス大賞・技能賞受賞ということで正直驚いています。同時に受賞を聞かされた時は大変嬉しく思いました。賞の偉大さが分かっているのでとても光栄です。この一年間一本勝ちにこだわり続けてきたことが評価に繋がったのだと思いますし、そういう意味で技能賞にはとても満足しています」

SMACK GIRL実行委員会

とうとうスマックが帰ってきた！

約半年ぶりに活動再開する『SMACK GIRL』が、名称を『格闘エンターテインメントSMACK GIRL』と変更し帰ってきた。Jd'を辞め、フリーの総合格闘家となった高橋洋子の参戦も決定。新生『SMACK GIRL』に大注目！

格闘技エンターテインメント SMACK GIRL
2月3日（日）　東京・ディファ有明

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/自由席3,000円
◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/未定
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/SMACK GIRL実行委員会☎03-5447-8483

出場予定選手

石原美和子（禅道会）
高橋洋子（フリー）
篠原光（チーム南部）
張替美佳（フリー）
市村幸恵（GF2）
金井広美（GF2）
坂口一美（GF2）
ナナチャンチン（チーム南部）

プロレスリングZERO-ONE

VAST ENERGY
1月6日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/18:00　試合開始/19:00
◆入場料/S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、書泉ブックマート、バトルプレイス北千住店☎03-3881-7770、バトルプレイスお台場店☎03-3569-6743、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ZERO-ONE事務局☎03-5730-3401

決定対戦カード

橋本真也（ZERO-ONE）vs X
大谷晋二郎（ZERO-ONE）、田中将斗（フリー）vs トム・ハワード（UPW）、サモア・ジョー（UPW）
ジョシー・デンプシー（LAボクシングジム）vs ザ・プレデター（UPW）
高岩竜一（ZERO-ONE）vs ショーン・マッコリー（LAボクシングジム）
佐藤耕平（ZERO-ONE）vs スティーブ・コリノ（NWA）
催リョウジ（ZERO-ONE）vs 藤原喜明（藤原組）
星川尚浩（ZERO-ONE）vs X

新日本キックボクシング協会

STRIKE BACK! ～逆襲～
1月27日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見4,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/治政館ジム、チケットぴあ、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/治政館ジム☎048-953-1880

主な対戦カード

—5回戦—

武田幸三（治政館） vs サーイペットノーイ・ギャットシーダー（タイ）

〈日本バンタム級タイトルマッチ〉
菊地剛介（伊原ジム） vs 小川和宏（治政館）

〈日本ウェルター級タイトルマッチ〉
米田克盛（トーエルジム） vs 北沢勝（藤本ジム）

石井宏樹（藤本ジム） vs ムアンファーレッグ・ギャットウィチアン（タイ）

小出智（治政館） vs 韓国強豪選手

庵谷鷹志（伊原ジム） vs 鷹山真吾（尚武会）

マサル（トーエルジム） vs ジャッカル黒石（治政館）

J-NETWORK

J-BLOODS Ⅰ
1月20日（日）　東京・ディファ有明

◆開場/16:00　試合開始/16:30
◆入場料/RS指定席9,000円　S指定席7,000円　A指定席5,000円　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/J-NETWORK本部、アクティブJ、サバーイ町田、池袋ジム、ソーチタラダ渋谷、チケットぴあ　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

主な対戦カード

—5回戦—

蔵満誠（アクティブJ） vs 大宮司進（シルバーウルフ）

テーワリッノーイ・SKVジム（タイ） vs 井上哲（山木ジム）

チョークディー・ポープラムック（タイ） vs 加藤督朗（PHENIX）

浦林幹（JTMC） vs YUTAKA（月心会）

稲葉潤（サバーイ町田） vs 泉雄策（山木ジム）

倉本武皇（アクティブJ） vs 久保坂左近（健生館）

ディファ有明大会
2月10日（日）　東京・ディファ有明

◆開場/15:30　試合開始/16:00
◆入場料/RS席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見席4,000円（当日のみ）　◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/新日本キックボクシング協会各ジム、協会事務局　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/トーエルジム☎045-590-3942

主な対戦カード

—5回戦—

中川タカシ（トーエルジム） vs 井場洋貴（治政館）

蔦謙介（藤本ジム） vs ジャワリット・チューワッタナ（タイ）

鈴木敦（尚武会） vs 今村歩（トーエルジム）

清水政和（治政館） vs ケイゾウ松葉（藤本ジム）

吉川靖（伊原ジム） vs スダッチ（ホワイトタイガー）

Result! 11・21★東京・北沢タウンホール THE CRUSADE-4

★メインイベント
○テーワリットノーイ・SKVジム（3R1分56秒、TKO）増田博正●
〈タイ〉　〈ソーチタラダ〉

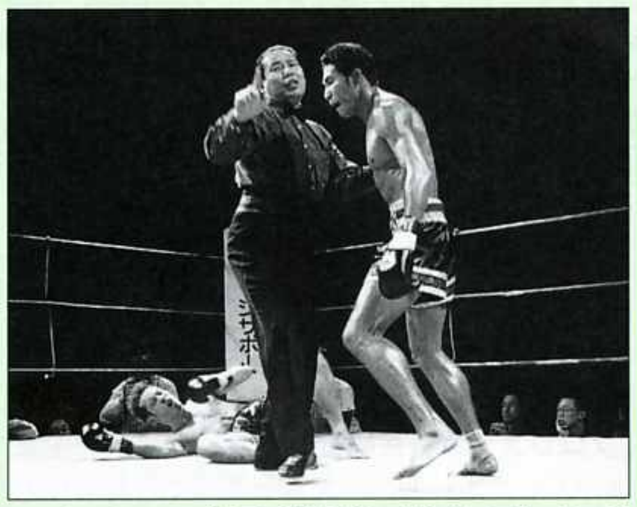
★セミファイナル
○蔵満誠（5R判定3-0）中村玄志●
〈JMTC〉　〈山木ジム〉

★第4試合
○武井豊（3R判定3-0）黒田道鷹●
〈谷山ジム〉　〈アクティブJ〉

★第3試合
○楠本竜生（不戦勝）堺谷ケイト●
〈サバーイ町田〉　〈アクティブJ〉

★第2試合
△太郎（3R判定1-0、ドロー）石川朗△
〈JMTC〉　〈アクティブJ〉

★第1試合
○SHIN（3R1分15秒、KO）川上慶彰●
〈アクティブJ〉　〈JMTC〉



▲メインでエース・増田と現役ラジャダムナン王者・テーワリットノーイが対戦。前回の梅下湧暉戦はテクニックで翻弄しての判定勝ちだったが、今回のテーワリットノーイは牙をムキ出しにして倒しにきた。フェザー級国内屈指の実力者・増田もヒザ攻撃に圧倒され、ヒジで1回、ヒザで2回のダウンを喫してKO負け

全日本キックボクシング連盟

KICK MIND
1月4日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　一般立見席3,500円（当日券のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール
Bout Review（http://www.boutreview.com）、全日本キック☎03-3365-1171
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キック☎03-3365-1171

決定対戦カード

小林聡（藤原ジム） vs 金沢久幸（TEAM-1）

〈全日本ライト級王座決定戦〉
林亜欧（S.V.G.） vs 浜川憲一（作真会館）

安川賢（S.V.G.） vs ソー・ゾン・ウー（韓国）

竹村健二（名古屋J・Kファクトリー） vs 工藤正泰（RIKIジム）

topic! 1.4小林vs金沢賞金マッチ 調印式で一触即発！

12月17日（月）、東京ガーデンパレスにて、小林聡VS金沢久幸の『300万円プライズマッチ』（1.4後楽園大会）調印式・記者会見が行われた。会見には両選手のほか金田敏男全日本キック代表、藤原ジム・藤原敏男代表、TEAM-1清水潤也代表も出席。過去の両者の戦績は小林の2戦2勝だけに、小林は「自分にはテーマのない試合。これ以上（金沢に）つきまとわれたくない。向こうが選手生命を賭けなければ試合をしない」と不機嫌極まりない表情でコメント。対する金沢も「小林選手の言うとおり。選手生命、命も賭けて闘う」と決意を表明した。会見のピリピリとしたムードからも、この一戦が『賞金マッチ』以上の意味を持つ凄惨な試合になることは充分に予想できる。

ニュージャパンキックボクシング

後楽園ホール大会

1月26日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/16:45　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　特別指定席7,000円　指定A席5,000円　指定B席4,000円　指定C席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟
☎03-5625-2371

主な対戦カード

—5回戦—

HIROSHI（サシブラバー） vs チャンプアック・ウィラサクレック（タイ）
中島稔倫（大和ジム） vs ナロンサック・ショーシュティラップ（タイ）
川津真一（町田金子ジム） vs デッナロン・ショーシュティラップ（タイ）
山本恭太（大和ジム） vs 海老沢朋和（平戸ジム）
中村誠司（福岡リアルディール） vs 弘中史樹（ウィラサクレック）
藤原国崇（拳之会） vs 増倉敦士（一心館）
AVIS-SVO1（小国ジム） vs ケイタ（みなみジム）
山田大輔（杉並ジム） vs 山中貴仁（大和ジム）
高野義章（健心塾） vs 柿沼善行（誠ジム）

Result!

タイ国王生誕記念大会
12・5★タイ・王宮前広場

〈国際戦〉
○クルーノイ・ソォ・キングスター（4R、TKO）桜井洋平●
〈タイ〉　〈岩瀬〉

〈国際戦〉
○山上健吾（判定）ムラッド・サリ●
〈花澤〉　〈フランス〉

〈72kg級8人トーナメント1回戦〉
○ミゲール・マッケイズ・マルチネス（3R判定）松浦信次●
〈オランダ〉　〈東京北星〉

※今大会は3部構成で行われた。第1部『72kg級8人トーナメント』、第2部『ムエタイ対中国武術対抗戦』、第3部『国際戦』

Result!

スック・ワンソンチャイ
12・6★タイ・ラジャダムナンスタジアム

○サクラ・ルーグスタム（3R2分12秒、TKO）藤原国崇●
〈タイ〉　〈拳之会〉

日本キックボクシング連盟

2002年 破壊シリーズ

2月23日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/未定
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟
☎03-3691-4536

主な対戦カード

—5回戦—

楠本勝也（東京北星ジム） vs TURBO（パシフィック）
木浪シャーク利幸（小国ジム） vs 宮本勲（大和ジム）
中川裕也（渡辺ジム） vs 遠藤暢司（ビコイ・錦）
發田隆治（ウィラサクレック） vs 馳和徳（大阪真門）
佐藤ツヨシ（ビコイ・錦） vs 中岡秀夫（大阪真門）

MA日本キックボクシング連盟

MAキック新春正月興行

1月18日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/16:45　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席30,000円　RS席20,000円　SS席10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　立見席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/士道館総本部☎042-942-3721

主な対戦カード

—5回戦—

佐藤堅一（士道館） vs X
マグナム酒井（士道館） vs チャンデット・ソーパァンタレー（谷山）
カズ工藤（士道館新座ジム） vs 花戸忍（東金ジム）
水町浩（士道館） vs 山崎道明（東金ジム）
加村健一（習志野） vs 阿部乃泰彦（東金ジム）

COMBAT-2002

3月30日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　A指定席7,000円　B指定席5,000円　立見席3,000円
◆チケット発売/1月7日（月）
◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7060

Result!

12・2★東京・後楽園ホール
2001激動シリーズ～最終戦～

★メインイベント
○小野瀬邦英（2R2分11秒、KO）中村篤史●
〈渡辺ジム〉　〈北流会君津〉

★第10試合
○石毛慎也（5R判定3-0）広川靖之●
〈東京北星ジム〉　〈小国ジム〉

★第9試合
○楠本勝也（1R1分43秒、KO）神谷秀明●
〈東京北星ジム〉　〈ビコイ・錦〉

★第8試合
○TURBO（5R判定3-0）松本浩幸●
〈パシフィック〉　〈八王子FSG〉

★第7試合
○宮本勲（4R0分38秒、TKO）小野寺亮●
〈大和ジム〉　〈神武館〉

★第6試合
○中西和宏（1R1分56秒、KO）馳和徳●
〈八王子FSG〉　〈大阪真門〉

★第5試合
○九頭竜坂勝（3R判定3-0）武笠則康●
〈大阪横山〉　〈渡辺ジム〉

★第4試合
○高舘英嗣（3R判定2-0）ビックスワン木村●
〈杉並ジム〉　〈ビコイ・錦〉

★第3試合
○三好基之（3R判定3-0）猪野大輔(千葉)●
〈杉並ジム〉　〈千葉〉

★第2試合
△加藤誠（3R判定0-1、ドロー）小園亮一△
〈村越ジム〉　〈渡辺ジム〉

★第1試合
○加藤潤（3R1分18秒、TKO）小久保裕孝●
〈村越ジム〉　〈みなみジム〉

▲日本キック連盟、NJKF、APKF、K-Uの統一ランキングを決定するNKBトーナメントで、中村篤史を迎え撃った小野瀬邦英。引退を賭け、ケンカ腰の闘いを挑んできた中村に、小野瀬も真っ向から応戦。パンチ、ヒジの連打で1Rに2度、2Rに3度のダウンを奪って壮絶な打ち合いを制した。試合後の小野瀬は「最近、会場に入っても眠くてしょうがない。ゴングが鳴るまで燃えてこないんですよ。基準になる相手がいないから、それが悪いことなのかも分からない」とコメント。誰か小野瀬のモチベーションを上げられる相手を用意してくれ！

その他

日本女子ボクシング協会

初代女子フェザー級、フライ級王座決定戦開催！

FIGHTING GIRLS PT1

2月3日（日）　東京・北沢タウンホール

◆試合開始/未定
◆入場料/SRS席8,000円（当日10,000円）　自由席4,000円（当日5,000円）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/日本女子ボクシング協会、ほか
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/日本女子ボクシング協会
☎03-3485-7063

決定対戦カード

〈日本初代女子フェザー級王座決定戦〉
ライカ（山木ジム） vs X

〈日本初代女子フライ級王座決定戦〉
八島有美（ゴールドジム） vs 土田奈緒子（入谷）
マーベラス森本（スピード） vs 猪崎かずみ（鴨居）
ジプシー・タエコ（山木ジム） vs 勝哉（SSSアカデミー）
山口直子（山木ジム） vs ミサコ山崎（岩井）
本田椿（山木ジム） vs 山口香子（総武会）
袖岡裕子（スピード） vs X

アマチュア

日本ブラジリアン柔術連盟

コパ・パレストラ・セントラル白帯大会

2月17日（日）　愛知・名古屋市北スポーツセンター第2競技場

◆試合開始/14:15
◆入場料/無料
◆会場アクセス/市バス「名駅13」に乗車し「中切町4丁目」下車徒歩7分、「黒川13」に乗車し「安井町西」下車徒歩5分
◆お問い合わせ/アライブ☎052-719-0133

アマチュア修斗

北九州フリーファイト2

1月13日（日）　福岡・北九州パレス

◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR小倉駅から西鉄バス96番系統乗車、北九州パレス前下車徒歩1分
◆お問い合わせ/パレストラ北九州☎090-9405-7168

浪速フリーファイト14

1月27日（日）　大阪府立体育会館 柔道場

◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄各線なんば駅5番出口より徒歩5分、近鉄電車なんば駅より徒歩10分、南海電車なんば駅南出口より徒歩約5分
◆お問い合わせ/直心会格闘技道場☎06-6708-5350

第4回中部アマチュア修斗オープン・トーナメント

3月3日（日）　愛知・露橋スポーツセンター 柔道場

◆入場料/無料
◆会場アクセス/名古屋本線ナゴヤ球場前駅より徒歩7分、JR東海道本線尾頭橋駅より徒歩8分
◆お問い合わせ/日本修斗協会☎03-5912-6455

郡山フリーファイト2

3月24日（日）　福島・郡山総合体育館 柔道場

◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR東北本線・新幹線郡山より徒歩15分
◆お問い合わせ/パレストラ福島☎090-2883-9458

コンプリート・ファイティング・コミッション

第21回アマチュア・コンプリート・ファイティング

1月13日（日）　神奈川・TIGER PLACE

◆試合開始/12:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR南武線尻手駅より徒歩8分
◆お問い合わせ/C.F.C.事務局☎0564-55-9070（16時まで）、☎0120-00-4524（17時以降）

アマチュアシュートボクシング

第2回ライトアマチュアシュートボクシング選手権神奈川大会

2月10日（日）　神奈川・大和スポーツセンター

◆開場/10:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/相模鉄道・小田急江ノ島線大和駅より徒歩8分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

キックボクシング

シュートボクシング

後楽園ホール大会

2月1日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、ワールドスポーツプラザKINGSでんわ03-3462-1001、シュートボクシング協会
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

出場予定選手

土井広之（シーザージム）
緒形健一（シーザージム）
前田辰也（寝屋川ジム）
宍戸大樹（シーザージム）
シリル・ディアバデ（フランス/チームオートテンション）
北の最終兵器軍団
ハリケーン軍団

空手

勇志会空手道

第13回東都空手道選手権大会

3月24日（日）　神奈川・とどろきアリーナ・メインアリーナ

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR南武線武蔵小杉駅から1番乗場より市バス「溝05、杉40」系統で「春日神社」下車、または2番乗り場より東急バス「宮内経由溝口」行で「等々力グランド入口」下車
◆お問い合わせ/勇志会空手道大会事務局☎03-5393-9763

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ ☎03-5237-9999	レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078
チケットセゾン ☎03-3250-9999	レッスル池袋店 ☎03-3989-0056
ローソンチケット ☎03-3569-9900	板橋大山アメリカン ☎03-3962-6443
CNプレイガイド ☎03-5802-9999	チャンピオン ☎03-3221-6237
オデッセー ☎03-3408-0331	書泉ブックマート ☎03-3294-0011
渋谷東急文化チケットセンター ☎03-3406-1513	後楽園ホール ☎03-5800-9999

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒111-0032東京都台東区浅草5-56-8若山ビル201
☎03-5824-1324

リングス
〒150-0036東京都渋谷区南平台町13-1サトウビル2階202号
☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807埼玉県越谷市赤山町6-13-43
☎0489-63-0005

高田道場
〒142-0062東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒107-0052港区赤坂8-5-4ルーメリ赤坂103
☎03-5775-5700

S.W.A 撃墜道・ワールド・アソシエーション
〒150-0021東京都昭島市大神町1-2-22
☎042-544-6979

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3780-1350

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒130-0022東京都墨田区江東橋2-14-1サガノビル2F
☎03-5625-2371

J－NETWORK
〒154-0024東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U(キック・ユニオン)
〒195-0834東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541

シュートボクシング協会
〒111-0033東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1,2F
☎03-3843-1212

極真会館総本部道場（松井派）
〒171-0021東京都豊島区西池袋2-38-1
☎03-5992-9200

バックナンバー インフォメーション

これ以前の号をお求めの方は、グレート・アントニオへお越しを！（ただし、完売した号もございますので、ご確認ください）

《9・13　53号》

●大会速報/8・19K-1 ANDY MEMORIAL 2001たまアリ大会、ジェロム・レ・バンナ、マイク・ベルナルドインタビュー、8・18『DEEP2001』横浜文体大会
●大会詳報/8・11K-1ワールドGPラスベガス大会、8・11リングス旗揚げ10周年記念有明大会
●SRS・DXの注目！/堀辺正史の『プライド15』総括インタビュー、ミルコ・クロコップ、わずか2週間でバーリ・トゥーダーに大変身！？　髙田延彦&桜庭和志in沖縄
●グレート・アントニオ夏の陣　イベント速報/8・5破壊王トークショー、8・11浅草キッド、Tシャツ即売会
●大会レポート/8・10全日本キック後楽園ホール大会、8・4『キング・オブ・ザ・ケイジ10』
●巻頭座談会/『プライド』の「メジャー化」で失われていくものとは何か？

《9・27&10・11　合併号　54号》

●徹底追跡！　猪木軍vsK-1軍、開戦の波紋/アントニオ猪木、石井館長インタビュー、堀辺正史「猪木軍vsK-1軍の意義とは？」、サム・グレコ、グッドリッジインタビュー
●『プライド16』直前情報/『プライド』に来襲する他団体の王者をキャッチ、ドン・フライ、セーム・シュルト、ヒカルド・アローナインタビュー、ホイスが「ノゲイラvsコールマン戦」を徹底検証、『プライド16』最新カード
●リングス新展開！/ヴォルク・アターエフ、レナード・ババル、伊藤博之インタビュー
●SRS・DXの注目/10・14バトラーツ大会情報、橋本真也vsサダハルンバ谷川
●大会レポート/9・2正道会館全日本大会、8・25パンクラス大阪大会ほか

《10・25　臨時増刊号　55号》

●徹底追跡&詳報！/12・31『INOKI BON-BA-YE 2001』TBSで放送決定、11・3『プライド17』で髙田vsミルコ戦実現へ。髙田インタビュー「なぜ小川戦をやめてミルコと闘うのか？」
●大会速報！/9・24『プライド16』大阪城ホール大会、9・21リングス後楽園ホール大会
●噂の三面記事/K-1、TBSに進出！　来年2月に「K-1ミドルGP」開催、極真会館プロ参入へ「Kネットワーク」旗揚げへ！　ほか
●SRS・DXの注目/松井章圭館長、桜庭和志、魔裟斗&小比類巻、緒形健一インタビュー
●10・8 K-1福岡大会直前インタビュー/フランシスコ・フィリョ
●大会レポート/9・7～15 KICKダイジェスト、9・16新日本キック・ディファ有明大会

《10・25　56号》

●徹底追跡！「猪木軍vsK-1」から「プロレスvsK-1」へ/ミルコ、石井館長インタビュー、K-1ファイター意識調査「総合挑戦は是か、非か？」、アーツ、ベルナルド、バンナ、セフォー、アビディインタビュー、佐竹&藤田が髙田延彦の強さを語る
●21世紀最初のオールスター戦『プライド17』特集/アントニオ・ノゲイラ、ヴァンダレイ・シウバ、ヒース・ヒーリングインタビュー、桜庭和志VS小室哲哉対談
●大会詳報/9・30パンクラス横浜文体大会、9・28『UFC33』ラスベガス大会
●SRS・DXの注目/山崎進、滑川康仁インタビュー、アントニオ猪木inパラオ
●大会レポート/9・23極真アメリカズ・カップ2001、9・29キング・オブ・ザ・ケイジ11ほか

《11・8　57号》

●11・3『プライド17』直前情報！/髙田公開練習、特訓中のミルコに潜入ルポ、シュートボクセはなぜ強い？　衝撃！　グレイシー内紛、小原、スケルトンインタビュー
●12・8 K-1ワールドGP決勝大会情報/21世紀のK-1を変えるニューフェイスたち
●大会詳報/10・8 K-1ワールドGP 2001 敗者復活戦福岡大会、10・20リングス代々木大会
●編集長インタビュー/週刊プロレス編集長・佐藤正行
●SRS・DXの注目/木山仁インタビュー、パンクラス正規軍vsグラバカ5対5全面対抗戦
●大会レポート/10・12全日本キック後楽園大会、10・14バトラーツNKホール大会　ほか
●SRS・DXオフィシャルHP、いよいよオープン！

《11・22　58号》

●大会速報/11・3『プライド17』東京ドーム大会、ホイス・グレイシーインタビュー、試合後インタビュー……ミルコ・クロコップ、ヴァンダレイ・シウバ
●噂の三面記事拡大版/12・31『猪木軍vsK－1』いったい誰が出るのか？
●1・11『一撃』開催決定！/武蔵、野地竜太インタビュー、11・3～4極真全日本大会速報
●SRS・DXの注目/『プライド』に来る変なガイジンたち、世界大会直前！大道塾「飲んだくれ」座談会、リングスヘビー級王座ヒョードルインタビュー
●大会レポート/10・30パンクラスvsグラバカ対抗戦後楽園大会、10・25『真撃』日本武道館大会、10・28新日本キック後楽園大会、10・31 A X下北沢大会

《12・13　59号》

●注目！/12・31『イノキ・ボンバイエ』猪木軍vs K-1最新情報
●『K-1 ワールドGP決勝戦』直前情報/クローズアップ…ジェロム・レ・バンナ、フランシスコ・フィリョ、ピーター・アーツ、アーネスト・ホースト、マーク・ハント現地取材
●『プライド17』徹底検証・髙田vsミルコ戦の波紋/髙田延彦、藤田和之、安田忠夫インタビュー、堀辺正史師範による総括、徹底分析座談会
●緊急企画「強い日本人よ、出て来い！」/高山、子安、菊田インタビュー
●大会詳報/11・3～4極真全日本大会、11・17大道塾世界大会　ほか
●SRS・DXの注目/フジマールvsシーザー武志対談、郷野&佐々木、ラバナレスインタビュー

《12・27&1・10　合併号　60号》

●完全速報！/12・8『K-1ワールドGP2001決勝戦』
●12・31『猪木軍vsK-1』最新情報/K-1王者マーク・ハント、永田裕志、レイ・セフォーインタビュー、堀辺正史師範提言「こうすれば猪木軍vsK-1は面白くなる」
●噂の三面記事/12・23『プライド18』に両王者揃い踏み？　ほか
●SRS・DXの注目/パンクラス尾崎社長、金原弘光インタビュー、TKが訴える日本人選手意識改革論、前田日明がグレート・アントニオにやって来た！
●大会詳報/12・1パンクラス横浜文体大会、11・20シュートボクシング後楽園大会、11・30全日本キック後楽園大会　ほか

バックナンバー　通信販売方法

定価／各680円　送料／1冊＝110円、以下一冊増えるごとに50円増し。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1～2週間ほどかかりますのでご了承ください。

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町 3-14-12 神田NSビル8F　『SRS・DX　バックナンバー係』まで　お問い合わせは　☎03-3295-4445

完全詳報

世紀の大決戦！

12・31『イノキ・ボンバイエ』

猪木軍vsK-1軍は果たして……!?

大会直前情報 & 格闘技界最新情報

1・11　一撃 旗揚げ大会
1・27　K-1 RISING 2002 静岡大会
2・11　K-1 WORLD MAX JAPAN ほか

NEXT ISSUE

さらに！ 気になる あの選手に、新春インタビュー！

SRS DX
スペシャル・リング・サイド

2002　1/24号
No.62
毎月第2・第4木曜日発売
定価680円(税込)
発行/フジテレビ出版・ローデス　発売/扶桑社

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.asakusakid.com

年末のビッグマッチラッシュを大胆予測！ 2001年の重大ニュースも緊急総括だ！

博士 いよいよ2001年の総括！ その前にK―1の決勝大会は大波乱だった！

玉袋 意外でしたよぉ。今度は風呂場覗いた上に覚醒剤まで……。

博士 マーシーの大波乱じゃないよ！ その田代さんも逮捕される前日は見ていたであろうK―1の優勝はマーク・ハント！

玉袋 これは、吉本主催のM―1で、松竹芸能の「ますだおかだ」が優勝するほどの波乱ですよ。

博士 たしかに、例えは小さいけど、それほどの番狂わせだ。元日ハムのソレイタ以来の新サモアの怪人誕生だよ。

玉袋 あそこまで強いと最後は射殺されそうですね。

博士 それはソレイタの最期だよ！

玉袋 しかし、優勝候補のK―1の番長ことレ・バンナは負けちゃって、まさに「言うだけ番長」になりましたよ。

博士 それだけハントの調子が良かったんだよ。

玉袋 アーッ、ホーストのベテランが負傷しましたね。

博士 ダメージの蓄積だろうな。決勝に上がってきたフィリョしかり、ワンナイトトーナメントは技術より何より身体が丈夫な人が残るようになってきた。

玉袋 やっぱり食習慣ですよ！ ハントのタロイモ料理、フィリョはブラジルの豆料理、これが身体を強くするって「思いっきりテレビ」でみのもんたが言ってましたよ！

博士 言うか！ でもあの打たれても効かないパワーを生むハントのタロイモは今後ドーピング違反に指定されるかもしれない。

玉袋 ドーピングは田代さんだけで充分ですよね。

博士 あのドーピングはシャレにならないよ！ 全日の最強タッグよりも年の瀬名物になったK―1は視聴率も20%超え！

玉袋 連日フジテレビの「すぽると」でK―1を煽った我々の力もあったと、フジテレビから金一封が出ましたよ！

博士 出てないよ！

玉袋 こうして既成事実を作れば、清原プロデューサーも後には引けないですから、一席フグでもご馳走してくれるかもしれないじゃないですか！

博士 誌面使って悪質なたかりはやめろ！ 後は『プライド18』と『イノキ・ボンバイエ』を残すのみ。今年を総括すべくお前が選ぶ格闘技界ベストスリーを発表しろ！

玉袋 第3位！ 極真・野地竜太と玉袋筋太郎がニアミス！

博士 なんだよそれ？

玉袋 ボクが通っているスポーツクラブは野地選手と同じなんですよ！

博士 随分とマニアックなネタだな！

玉袋 そこのジムには他にも江頭2：50、なべやかん、野坂昭如とバラエティーに富んでるんですよ！

博士 滅茶苦茶なメンバーじゃないか！

玉袋 そこにはプロレスラーも来るから、いつ異種格闘技戦が始まるか、ドキドキなんですよ！

博士 始まらないよ！ そこで、俺もあの無名時代のノゲイラと同じサウナに入ったんだよ。

玉袋 第2位！ 松井大二郎、たけし軍団入り！

博士 なんだよ？

玉袋 松井選手とテレビ雑誌で対談したんですけど、彼はレスラーになる前に、熱烈なたけしファンで、将来はたけし軍団に入りたかったらしいんですよ！ もし入ってたら、俺の弟弟子だったのに～!!

博士 たけし軍団よりも高田軍団で輝いてるから、人生の選択間違ってなかったんだよ！

玉袋 入ってたら芸名、ゴジラ松井に対抗して「ガメラ松井」とか命名されたりしてね。

博士 されないよ！

玉袋 第1位！ 橋本真也、破壊王改め遅刻王に！

博士 これは、10月から始まった俺たちのTBSラジオ日曜5時半からの「浅草キッドの社会の窓」の第1回目のゲストに破壊王が生放送に遅刻した事件だけど、どうでもいいだろ！

玉袋 団体の長であるにもかかわらず、遅刻しちゃうところが破壊王らしいよ！

博士 どれもこれもどうでもいいニュースだろ！ 桜庭和志連敗！ 猪木軍VSK―1開戦！ 猪木VS清原！ ミスター高橋禁断の書発売！ 猪木事務所に泥棒！ 藤田アキレス腱断裂！ とかあっただろ！

玉袋 あーはいはい。やっぱ『SRS・DX』的には、脇澤美穂引退。これ最強。

博士 SRS的にはどうでもいいだろ！

玉袋 それからガチンコ女子プロ学院、大畠をLLPWが即刻解雇。

博士 解雇だけは〝ガチンコ〟ってシャレがきつすぎるよ！ そんなことより、年の瀬の大爆弾、ミスター高橋本だろやっぱり。

玉袋 テレビ朝日の「本パラ」でも取り上げられて、凄い騒ぎになりましたしね。

博士 取り上げるわけないだろ！

玉袋 あの本こそ「声に出して読みたい新日本プロレス」ですよ。

博士 声に出すな！ こっそり読めって！

玉袋 そんなことより、さぁやってくるのは大晦日！

博士 その前の『プライド』九州大会もどうなるかだなぁ。

玉袋 高山VSシュルトの怪物対決がいいですなぁ。

博士 勝ったほうがキング・オブ・モンスターだよ！

玉袋 それが終われば『イノキ・ボンバイエ』だよ！

博士 K―1軍は最強メンバーで一気に飲み込もうとしてきた！

玉袋 ホイスまでコーチに雇ってるんだから凄いですよ！

博士 贅沢なコーチだよ！

玉袋 阪神の田淵コーチよりも豪華ですよ！

博士 何と比べてるんだよ！ 藤田の戦線離脱もあり猪木軍がかなり不利だ。

玉袋 でも、念願の永田が参戦してくれましたからね！

博士 もちろん勝ってほしいが、結果よりも何よりも、出てくれたことが嬉しいよ！

玉袋 クロアチアの警官のクロコップ対策として、永田は弟の警官と日々逮捕術を学んでるそうですよ！

博士 日本の警官のレベルの高さを見せてやれ！

玉袋 そうだ！ 往年の神奈川県警&新潟県警の不祥事を見せつけろ！

博士 それは見せつけなくていいよ！

玉袋 世田谷一家殺人犯と渋谷の猪木事務所の空き巣をとっとと検挙しろ！

博士 まずは世田谷だろ！

玉袋 ミスター高橋は、猪木事務所の空き巣もアングルだってバラしてましたけど。

博士 だからウソつけって！ 高田選手の参戦も決定だよ！

玉袋 またリングに寝て、一足早い寝正月なんてことにはなりませんように！

博士 ならないよ！ あの時は体調最悪だったんだよ！

玉袋 とにかく格闘家のみなさん！ 1年間、我々をワクワクさせてくれてありがとう!! 本当にお疲れ様でした！

博士 とにかく2002年は大晦日のK―1VS猪木軍のビッグバンからスタートだ！

玉袋 世界的ビッグイベントだからね。不況も！ ワールドカップも吹っ飛ばせ！

博士 来年もヨロシク!!

玉袋 一応やっておくか！

博士 1・2・3・ダァーッ!!

玉袋 みなさん、よいお年を！ 1・2大日本プロレスでお会いしましょー！

博士 1・4新日本って言えよ！ いい加減にしろ！ ■

年末企画！
猪木、激動の2001年マット界を
一刀両断！

本誌の年末企画は
このお方に語ってもらった

猪木、激動の2001年マット界を一刀両断！

「来年に向けての展望？
今年は『バカ野郎！』だったけど、
来年は『ざまあみろ！』だね」

いよいよ、暮れが押し迫ってきた2001年。今年のマット界は「猪木軍VSK－1」という、空前絶後の対抗戦が勃発したりと、大きく揺れ動いたものの、やっぱり今年も常にマット界の中心にいたのは、我らがアントニオ猪木だった。そこで、2001年の激動のマット界を本誌は猪木に一刀両断してもらうべく、話を聞いてみた。

聞き手◎“Show”大谷泰顕
撮影◎乾晋也

小川VS長州のタッグで対決？ プロがアマチュア的になってしまった

——猪木さん、今日はズバリ激動の2001年をブッタ切ってほしいんです！

猪木 好きにやってくれ。好きに書いてよ（笑）。

——へッへへへ。すいません。

猪木 うん。

——まず1月に**「ジャイアント馬場3回忌」**を記念した、東京ドーム大会があったんですけど、馬場さんがお亡くなりになって、もう3回忌なのか。早いなあっていう気がするんですよね。

猪木 凄い印象が薄いなぁっていうのがあるね。ちょうど、亡くなられた時に俺はブラジルにいて、実感が湧かなかったんですけど。その後、かなり大きく報道されたようですけど、幸せだったなぁと思うんだけど。でもその後、俺の周囲で馬場さんの話題が出てこないんだよ。元々みんなが思うほど、仲が悪かったわけじゃないし、ライバル関係だなんて、ある時は若い時はあったけど、路線が違っちゃってるから、考えたこともなかったし、興行的には絶対的に俺のほうが優位に立っていたし、そういう意味では逆の意味で向こうのほうがストレスをね、神経質になっていたと思うし。そこにもっと素直に……、3回忌だったの？

——はい。

猪木 あれも俺が行ってあげたらいいとは思うんだけど、みんな生きていることが大変なんだよね。それからもう一つは、近頃飛び回っている時間が本当に多いんで。あれは何、新日本が応援したの？

——佐々木健介選手が出たりしてました。

猪木 それはそれで良かったと思います。

——で、2月には**「猪木、ホームレス姿で小川VSタイソン戦を発表」**ということがありました。

猪木 はい。まあ、あの当時ちょうどタイソン側もね、非常に苦況にあって、一番の……、マネージャーじゃないんだけど、タイソンが一番信頼を置いているトーマス・ハーンズか？ 今でも付き合いはありますけど、まあボクシングの全体が低迷してきちゃってる。彼はタイソンもさることながら、非常にボクシング全体を心配しているんで、そういうことで新たに異種格闘技連盟というかな、そういうのをラスベガスで設立しましょうっていう話があって。まだこれは立ち消えになってはいないんですけど、そこがこれからゲームを開発してインターネットで、これもお披露目しなけりゃいけないんだけど、なんだか知らんけど、その後いろんなことが起きたんで、それぞれが計画変更というか、そういうような状況になっているんでね。タイソン戦が実現するしないというより、事実上、書類上はもらったんでね、それは発表させてもらおうと。ただ、俺はどうしてもやりたいという問題じゃないんだ。

——分かりました。続いて3月なんですけど、**「ZERO—ONE旗揚げ」**という話題がありました。あの時は猪木さんも「頑張れ」という形で応援していたし。

猪木 そうですね。今も気持ちは変わってないんだけど、俺のところに頭を下げようと下げまいと今回の髙田のケースもそうだけど、元々俺は弟子だとも思ってないんだけど（笑）。

——弟子だと思ってない（笑）。

猪木 まあ、弟子には違いないんだけど、人間としてね、みんな良くなってもらいたいと思うんだけど。

みんな良くなんないで、「借金だらけの猪木」だとか批判してたヤツが、てめぇたちが借金しちゃってさ（笑）。

——自分たちが（笑）。

猪木 どうすんだろうって思って。まあ、3月ではそれでね、希望に燃えて新しくスタートしてもらいたいと思ってたね。

——同じ3月なんですけども、**「安田、『プライド』で佐竹に勝利し、大ブレイク」**というのもありました。

猪木 そうね、一番輝いているね、ワッハハハ。

——猪木さんが狙ってやった部分というのはあったんですか？

猪木 いやいやそうじゃなくて、どうしたら俺が彼らがまあ、ふさぎ込んじゃった状態というか、ある意味では自殺まで考えたというかね、まあそういう希望への道にいたんじゃないのかなぁというだけのことだから。何をやりたいの？ ということがね、やりたいならやればいいじゃん。というだから、混乱している時はこんがらがっている糸みたいなもんで、それをやっぱり冷静に丁寧にほぐしていけば、ほぐれるんだよね。そういうことをしてあげただけじゃないかな。

——丁寧にほぐせば、絡まった糸もほぐせると。逆に**「桜庭、シウバに敗れる！」**という事件も3月にありました。

猪木 もう、そんなになるんだ。

——ええ。ずっと勝ってた人がポンッと負けてしまうっていうのは猪木さんもそういう時があったと思うんですけど。

猪木 そうねぇ、これはもう技とか技術とかってのを越えた時のね、人間が昇り調子とか、ボクシングではよくやるんだけど、要するにチャンピオンが絶対性があったにもかかわらずね、昇ってくる勢いの強いヤツが、そん時は7対3ぐらいの力の差があったものがね、昇りは3ぐらいのヤツのほうが強い時があんのね。だから、シウバと桜庭のケースではそういう意味では、オーラが違っちゃってたと。だから、これは偶然のアクシデントじゃないと。だから、2回目をやってもあの結果しか出ないよと。

年末企画！
猪木、激動の2001年マット界を
一刀両断！

清原に闘魂注入？　面白いヤツだね　一回酒でも飲みたいね

——猪木さんはあの時に、「桜庭はもっと旅をしたほうがいいんじゃないか」って言ってましたけど？

猪木　日本にとどまっていることがね、それはその人の性格だから。ただ変革しないとね。やっぱり時代は追い越して行くわけだから、そういう意味では世界を見る必要性があったなぁと。だって、みんな研究してくるわけだからね。

——はい。で、4月になると、**「藤田、元祖IWGPベルトを巻く」**というのがあったんですけど、猪木さんとしては何か意図があって、あのベルトを復活させたんでしょうか？

猪木　うん、まあ、これはいろんな人のアイデアもあったし、やっぱりこれは『プライド』側にも「一つの勲章をくださいよ」っていうことで、俺の熱烈なファンだから、じゃあって出したら、それが勝手に価値観が出て来ちゃったりとか（笑）。勝手にIWGPっていうのがその後転々として、俺が締めている時代というのは、どこの会場でも超満員。結局それに切符を売らないといけないというね。今は苦しみというか、タイトルの価値観というのは誰が締めるのかによって、どんなに名前を付けたとしても、客を呼べなくなったタイトルというのは、かつてはUNかな？

——三冠王座の一つ、UNヘビー級。

猪木　俺がしてた時は、ドル箱で凱旋帰国して、それがもう転々として、単なる人寄せの小道具にしかすぎなくなった、大道具じゃなくて（笑）。

——大道具じゃなくて（笑）。

猪木　そういう意味では、IWGPというものも新たに変革していくきっかけとなるためにね。

——猪木さんがIWGPを作ろうとした時は、世界を統一しようと思ってたんですよね。

猪木　世界を統一するための旗印にね。

——当初、あのベルト自体は「1億円」とかって言われてましたよね！

猪木　それは本当！　ダイヤが入っているしね。大きなダイヤが入っているし、本物ですからね。

——凄いなあ……。で、5月に進むと、**「小川VS長州、タッグで対決！」**というのがありました。

猪木　まあ、長州のレベルが当時は下がりきっちゃったかな？　まあ、一言で言えば、プロをそれだけやってきた人間がアマチュア的になってしまったというかな。

——プロがアマチュア的に……？　ただ、その件を含めて、猪木さんの「強権発動」が話題になったりもしましたよね。

猪木　なんだったっけ？

——いや、その小川VS長州のタッグ対決を決めたり、藤田選手のIWGP挑戦を決定したり……。

猪木　結局、新日本の、今置かれている存在というものが、どれだけ大きいかっていうことを認識しなきゃいけないのと、同時に置かれている位置が大きくなればなるほど、やっぱり期待感も大きくなる。だから、そういうことを小川自身も含めてみんなが知らなきゃいけないんだよね。今のマッチメイクというのは、いつもファンの思いとズレがあって、なんとなく俺が仕掛けることによって、話題が膨らんで、とりあえず何かに気付いてもらったりしながら来てるんですね。で、この何年間、3年間以上かな同じことをやってきて、俺もくたびれたなっていう感じかな（笑）。

——疲れているのに恐縮なんですけど、6月になると、**「武藤、三冠王座に就く」**という事件があって、猪木さんの弟子が馬場さんの団体のエースに、ということが起こったんですけど（苦笑）。

猪木　全日本という存在自体がなくなっちゃってるからね。せっかく取ったタイトルにケチ付けるつもりはないけど、それが価値あるものだったら、この前やった、東京ドーム（10・8）も超満員になってるんじゃないですか？

——なるほど。で、今度は7月ですけど、**「大仁田厚、参議院議員に」**ということがありました。

猪木　うん、昔相談を受けたことがあるんですよ。その時は「なりたいと思えばなれるよ」って言ったんだけど。それがジーッと彼の心の中にあったと思うしね。そういう意味では、ひと味違ったというか、ある意味では他のレスラーとは違った苦労もしたんだろうし、俺は基本的に彼のことは好きじゃないけど、生きていく様は認めてますよって。

——好きじゃないけど、生き様は認めると。

猪木　それに関しては俺に最初は、当時の森総理から声がかかったんですけどね。それはお断りし、で、その話が藤波に行き、それから今度は大仁田に回っていくというか。俺はたぶん、選挙に絶対に出ちゃいけないよということだったんだろうしね。

——分かりました。で、8月、**「猪木軍VSK—1開戦！　藤田、安田が敗れる」**ということがありました。4カ月前なんですけどね。

猪木　もう4カ月になるの？　まだ3カ月ぐらいだと思ってた。そうなんだぁ。

——猪木さんはあの時、藤田選手に「お前は凄い運を持っているね」と言ったそうですね。

猪木　そうねぇ、ストーリーがね、暮れのイベントにつながっていくだろうし、あんまりあれが圧勝してたら、たぶんそうじゃなくなって、どちらかといえば、K—1のほうがビビッちゃって、そういう形になっていると。それなら俺らはで

K－1GPでハントが初優勝？ 神経が通ってないんじゃないの？

きるじゃねぇかっていうふうに考えさせたらどうなるの？　って。だからアクシデントではあったけど非常に良かったです。

――その8月には**「マーク・ケアーを巡り、猪木が橋本と絶縁」**という騒動が起こりました。

猪木　まあそれはねぇ、『プライド』とマーク・ケアーという縁があって、誰でも立つ鳥跡を濁すなというね、外人は分からない、でも日本社会というものが複雑で、ある意味ではあるんだよと。道筋さえ通せば、キレイに通るものも、たった一日の違いも待てないで。俺も「相談を受けた以上、気持ちいい形で出れるように俺が仲立ちするような形で通しましょう」って言ってるにも関わらず、結果的にあいつは記者発表をしたわけだから。だから、そういう外に向いているものと内側に向いているものとを、ハッキリね、分けなきゃいけない。みんな外に。たしかに人気商売だから、外に行かされている部分はあるけど、でもそれはそれなんだよね。大事な部分というものを、結局それが一日待てれば、いい状態で俺なんか関係なしにね、送り出すことができたんだろうけど。結局は諦めるしかないし、橋本も冴えない興行続けているし、あえて小川を送り込んだのもね、最初はそれこそ成功してもらいたいっていう部分があったはずなんだけど。まあ、人間っていうのはなんだろうな、そこに運があるかないか、本当にちょっとした部分で、すれ違っちゃうんだけど。

――はい。で、9月に入ると、**「猪木、ニューヨークのテロに遭遇」**ということがありました。

猪木　まあ久しぶりというか、いろいろ国連と今やっている話のことがあって、あることのデモンストレーションを国連でやってもらおうと、それで国連関係者と連絡を取り合って行ったんですけどね。ちょうど行って、夜打ち合わせをして、翌日国連に行く途中でね、そういう事件というのが発生しましたね。その中で国連の中でイベントを行うという、これは俺が直接じゃなくてね、「平和の鐘」という団体が国連で、アナンさんも出てくる、それから国連の代表もっていう、みんな来てましたけどね。で、行った時には「イベントどころじゃねぇから早く出てくれ」って言われてね（苦笑）。まあ、ターゲットが国連に向けられているかもしれないっていうことでね、そのイベントは中止になりましたね。まあ、今継続して動いていることがあるんで、行った成果はあったと。報道というのが、フォーカスというか焦点だけをね、絞って報道するわけだから、その周りがどうであるかというのがボケちゃうことがあるからね。俺たちは五番街を歩いていたんだけど、こんなに静かな五番街ねえなぁなんて（笑）。それほど深刻だった事件とは。まあ、テレビ見てなかったからね。意識が薄かったね。

――で、猪木さん、10月になると、**「NOAHの秋山、新日本で永田とタッグ結成」**というのがありました。

猪木　まあべつに、やればいいと俺は思っているんだけどね。結局、今『プライド』とかK－1のスタッフとか、彼らはまだ攻めをやっているね、一生懸命ね。『プライド』は特にもっている状態というかな。発想もネガティブじゃなくて、ポジティブな部分でね。こうやったらダメだろうっていうんじゃなくて、こんなことができそうだから、すぐに電話しろよとかね。ただ、話を聞いたら、新日本は逆なんですね。だから、結果思考的な話になって、「あれは無理ですよ」とか「あれはこういう事情がありますよ」とか。俺は秋山なんて知らないしね。その秋山自身がどうとかじゃなくて、俺らが望むのは、まあ野球であるとかサッカーであるとかそういうのを敵に回してもそうはいかねえよっていうスターを作りたいんですよ。たぶん、そういう存在には（秋山は）なれないのかなぁという。決めつけちゃ悪いけど。そこにそれだけ依存する価値観がどれだけあるのかと。

――なるほどなあ……。で、11月なんですけど、**「髙田、ミルコとドロー」**という感じで、髙田選手が頑張ったという試合がありました。

猪木　髙田、頑張ってないのに。

――頑張ってないですか（苦笑）。猪木さんからすると、まだまだ。

猪木　ハードルが低すぎたかな（笑）。要するに藤田に勝ったミルコと引き分けたというか、それを狙ったというか。

――そうかあ……。で、同じ日に**「猪木、清原に闘魂注入」**という形で、バーンッと清原選手を張ったわけですけど。

猪木　面白いヤツだね、あいつ。将来、野球の親分になれるっていうか。一回酒でも飲みたいね。で、彼は『イノキ・ボンバイエ』にも出たかったんだけど、結局それまでは無関心だった業界が、今は

年末企画！
猪木、激動の2001年マット界を
一刀両断！

ミスター高橋の暴露本？　知らねぇな「貧すれば鈍する」という言葉に尽きるよ

ビリビリして神経質になってきててね。フィルムは貸さない、何は貸さない。面白えなぁと思ってさ。

――じゃあ猪木さんとしては思惑が変わってきたというか、NHKを民放全部で打倒しなければいけないはずなのに……。

猪木　「ゆく年来る年」とかさ、みんなでやったわけだからさ。だったら「時代を変えよう」とかさ、みんなもっと、力を合わせりゃいいのに。「1秒の映像もダメだ」とかさ、笑っちゃうねっつうの。

――それだけ前代未聞なんでしょうね。で、12月に入りますけど、**「K―1GPでマーク・ハントが初優勝」**したんですね。

猪木　あれはあのう、あそこ行った時に「面白いな」って言ったんだけど。

――あ、10月の福岡大会ですね。あの時に「ぜひ猪木軍とやらせたい」みたいなことを言ってましたもんね。ハントはサモアの選手なんですけど。

猪木　サモア系っていうのは嫌なんだよね、打っても蹴ってもあんまり効かねぇっていうヤツが多いから（笑）。神経が通ってないんじゃないの？

――なるほど（笑）。で、12月はもうひとつ**「小川、橋本とタッグ結成」**っていうのが話題になりました。

猪木　まあ、小川には一言言えば、もっともっと天下の取れる素質を持っているだけにね、その素質が大きいだけにね、自分を高めてくれる相手というか、刺激をしてくれる相手を掴んでもらいたいなぁと思うね。橋本とタッグを組むことがいいとか悪いとかじゃなくてね。まあ、さっき大仁田的な話が出たけど、ここで売り込みに来るぐらいの器量のあるヤツが来てほしいな。例えば橋本なんか。「私を出してくださいよ」って来れば話題さらっちゃうじゃん。

――ホントだよなあ……。それで12月はまさかまさかの**「藤田、アキレス腱断裂」**というのがありました。

猪木　まあ、伊藤（章生・猪木事務所取締役）を処分してますけど。処分してもしょうがないことだけど、とりあえず俺が人を処分したことはないし、ある意味ではしょうがないんだけど、アクシデントだから。ただ、「猪木軍」とかいうより、猪木の参謀で働いた人間としては、みんな通ってきた道だから、なんとかそうはしたくなかったんだけど。前にいた人のマネしないように。名前を出したくないから出さないけど（笑）。

――はい（笑）。で、猪木さん、一言だけもらいたいんですけど、新日本でレフェリーをやっていた、ミスター高橋さんの暴露本が出たじゃないですか。

猪木　知らねぇな。出たというのは聞いてます。一言言うと、この間も猪木ツアーでそういう質問があったんでね、「貧すりゃ鈍する」っていうね。今の状況があまりにも悪すぎるんだろうな。結局、収入というかな、猪木人気を当て込んでね、出すことによって、中の。だったら、やめた時に書けばいいんだし、もう一つは絶対に浮かばれないだろうな。というのは、今までのケースを見てみな。ケース見ても、そういうことをしたヤツで、世に出てきた人は誰もいないだろう。それをやったヤツで、世に出てきたヤツをずーっと歴史で調べてご覧。貧すりゃ鈍するっていう。どんなに鈍しても、俺のところは心の貧乏人になるなと。あるいは、自分がそこの道で、輝いてきた道というのは消せないわけだから。自分自身から否定できないだろうし。それ以上、ないでしょう？きりもないし。ただ、俺は彼が割と好きだったから。だから、「貧すりゃ鈍する」という言葉に尽きますよ。

――貧すれば鈍する。なるほどなあ……。

猪木　うん。

――という感じで2001年を振り返ったんですけど、今年は全体的にどうだったんですか、猪木さんとしては。

猪木　いやあ、良かったんじゃないですか。ただ、来年はみんなが「あっ」と驚くことをやりますから！

――えっ!?　じゃあ、来年に向けての猪木さんの展望をお願いします。

猪木　今年は「バカ野郎！」だったけど、来年は「ざまあみろ！」。

――ざまあみろ！

猪木　いろんなヤツが俺のことをいろんなふうに書いて、借金だとかさ。で、今世界が認めるかどうかは知らんけどさ、さっきも行ったとおり、「ええーっ！」というようなことを仕掛けようとしてますから。だから俺らは心の中で「ざまあみろ！」ってさ。来年は「ざまあみろ！」っていう俺の笑った顔を見ることができるよ。たぶん日本で評価されなくても、ある意味ではアリ戦以上の大きな衝撃というか。

――世界戦略というか、世界に向けて。

猪木　世界戦略じゃなくて、ようするに平和的なものというか。闘いをする必要はない。世界が一つになっていく、というよりも世界が欲しているもの。世界が仰天すると思うよ。

――期待してます！　じゃあ最後にというか、今一生懸命『イノキ・ボンバイエ』の最終調整をしているところだと思いますけど、やっぱり来年の今頃もやっぱり同じことをしてるのかなあ、なんて考えないですか？

猪木　来年はNHKでやってたりしてな（笑）。

――民放を裏に回して？（笑）。

猪木　うん（笑）。でもまあ、まずはBSからだろうな、な～んつって、ダハハハハハッ。■

12月、小川&橋本タッグ結成！
12月、K―1GPハント初優勝！

レネ・ローゼへのリベンジに燃える安田忠夫、ロス修行で大変貌！

大胆発言！「今の俺、ちょっと強いよ」？

12・31『イノキ・ボンバイエ』でレネ・ローゼとの対戦が正式決定した安田忠夫。11月16日より約1カ月間、ロスにあるマルコ・ファス道場で厳しいトレーニングを積んできた。ロスへ行く前は堂々と「俺は弱いから」と発言していた安田だが、ロスでの特訓がよほど充実したものだったのか、帰国した安田から「今の俺、ちょっと強いよ」と大胆発言が飛び出した！　この1カ月で何が安田を変えたのか？　さっそく、自信満々な安田に話を聞いてみた。

聞き手◎石黒由佳子

猪木軍VS K-1軍、いざ決戦!

▲相変わらず癒しの笑顔で強気な発言の連発だったが、その裏ではかなり不安もある様子。でも、自分に言い聞かせるように「大丈夫です、大丈夫！」と繰り返していた

とにかく31日に悔いを残したくないんだよ ここまでやって勝てなきゃしょうがないやって

——安田さんが前回のインタビューで、「俺は弱いから」と話していたんですが、ロスから帰ってきたら「今の俺、ちょっと強いよ」みたいなことを話していたという情報をキャッチしたので、その真相を聞きにきました（笑）。

安田 ブウ〜ファファファファファファ（笑）。そ、それはちょっと、言っちゃったかもしれな〜い（笑）。

——噂はホントだったんですね（笑）。

安田 それは、今までは新日本の中で避けて通って来たグラウンドに対して、マルコにあんなに分かりやすく説明されて、この人の言うとおりにやっていれば少しはできるようになるだろうという感じで練習をやって、自信がついたから言っちゃったんだと思うんだっ。

——今回はかなりマルコと練習をやったみたいですね。

安田 彼もブラジル人だからあんまり英語が話せないんですよ。俺も英語全然しゃべれないから、結構、白人の人は説明してくれたんですね。本とか持ってきて説明してくれようとするんだけど、マルコは「いい、コイツ、しゃべれないから」ってやめさせるんだよ（笑）。だけど、1回雨が降った日があったんです。その次の日から2日間休めるって時で、体はガタガタなんだけど、気持ちは若い頃に戻って自転車で雨の中走ってたら、マルコが戻ってきて「お前、こんな雨の中、自転車をこいでたら風邪引くから」って車で俺を捜してくれて、ホテルまで送ってくれたんだよ。そういう部分は凄い優しいなぁと思ってね。言葉が分からなくても、そういうコミュニケーションって嬉しいじゃないですか。そういう関係が最後のほうはできたんで、凄く楽しかったです。やってる時はもう、「なんで俺こんな思いしなきゃいけないんだよ」って思った日もあったし、「こんなのできないよ」って時もあったしね。

——テレビで安田さんの練習風景を見たら、水泳もやってましたよね。

安田 日によってなんですよ。水泳やる日もあれば、マンツーマンの日もあったんだけど、ほとんどマンツーマンが多かったかな。まず「お前のタックルはおかしい」って始まってそれを直して。その後は必ず柔術でしょ。だって、プールに行った時も柔術やるんだも〜ん。プールで泳いだ後に、芝生で柔術やるんだよ。俺、それが嫌だから「いや、芝生はかゆいから」って逃げちゃった（笑）。そしたら、向こうも気を遣ってくれて「じゃあ、プールだけ」って。

——アハハハハ。

安田 でもね、泳ぎには自信があったんだよ。それがアイツさ、結構きれいに泳ぐんだよねぇ。俺、潜水できないのが凄く悔しくて。15メートルくらい行くと浮いてきちゃうんだよねぇ（笑）。

——浮いてきちゃう（笑）。

安田 だから、今ちょっと通ってますけどね。

——日本でも？

安田 たまにね、夜だけ。プールの練習もいいかなって。でも、今月だけよ（笑）。

——31日までの期間限定なんですね（笑）。

安田 そうそう。でも、一応2カ月分月謝は払ったよ。払えっていうからさ。アハハハハハハ。

——いや、それは払わないとマズイですよ（笑）。で、ロスではほぼ毎日練習してたんですか？

安田 日曜日は休みでしたね。あとはマルコがいない日はお休み。

——マルコがいない日ってあったんですか？

安田 ないで〜す！

——ないで〜す！ って、休みは日曜日だけじゃないですか（笑）。

安田 う〜ん、自分で休みを作ったかもしれな〜い。グハハハハハ。

——それはさぼりって言うんです（笑）。それにしても、マルコにぐちゃぐちゃにされながら、関節技習ってましたね。

安田 でも、3つくらいしかないんですよ。腕の取り方と、首と、あとケサ固め。結局、首周りなんだよね。まいったするところを教わっただけで、入り方がいっぱいあるよっていうのを教わったから。

——完璧って感じで覚えてきました？

安田 （質問と同時に首を横に振る）

——早いですよ、否定するの（笑）。

安田 自分に合ったヤツだけ。

——お気に入りはありましたか？

安田 1個だけね（笑）。これで勝ちたいなっていうのがあるんですよぉ。

——それは31日が楽しみだなぁ。

安田 でも、こんな簡単に極まるのって感じだったんだよね。極めるのって、テコの原理でしょ？ 力じゃなくて、ここが痛かったら、人間はこういうふうに逃げるだろ？ そしたらここさえ持っていれば、ホラ簡単に極まっちゃうよ！ っていう毎日だったから（笑）。だから、「なんだ、こんな簡単なことかよ」って。アハハハハハハ

——その自信が「俺、ちょっと強い」発言に結びつくんですね（笑）。

安田 頭の中では、こうすればああなるっていうのはできてるんですけど、あとは体が覚えるだけだから「日本に帰ったら反復練習を毎日しろ。必ず時間をとってやりなさい」とマルコに言われてるんだよね。

——おお、いいじゃないですか。毎日やってますか？

安田 でも、なかなか日本に帰ってきてやると、極まらないんだよねぇ……。

——え〜っ！

安田 吉江（吉江豊。180センチ、125キロ）に極まらないんだよねぇ、腹立つんだよぉぉぉ。

——アハハハハハハ。

安田 でも、言い訳としては「K—1の選手より、お前のほうが逃げ方知ってるもんなぁ」と（笑）。

——なんで、もう言い訳してるんですか。

▲帰国した時に周囲の人たちから「痩せたね」と言われているそうだが、実際は「ちょっと太ったんだよね」と安田。今は120キロくらいだそうだ

安田　だって、吉江が抵抗するからなかなか極まらないんだよぉ。

――そ、そういう問題じゃないと思いますけど（笑）。

安田　だって、向こうじゃ完璧に覚えてきたのにさ。でもね、冷静に考えると、向こうで夜練習している人たちは、プロじゃないんだよ。そいつらに極めてもね。実を言うと、向こうでも極まらないの1人いたんだよぉ。アハハハハハ。頭の中では分かってるから、体というか、ポジショニングさえ間違わなければ、やられないだろうと思ってるんだけどね。

――映像で見る限りは安田さんが「ウギャ～」「アギャ～」って言ってる姿が目立っていたので、そこまで自信があるのが不思議だったんですよ（笑）。

安田　そ、そんな映像しか映ってないの……。でも「なんでこんなことしなきゃいけないの、この歳になって」って思ったよ。だけど、気持ちは前向きで「31日は勝ちたい」っていうのがあってやってるから、じゃあ、勝つためには何をするのみたいなね。とにかく31日に悔いを残したくないんだよ。ここまでやって勝てなきゃしょうがないやって。

――ああ、自分をそういう気持ちにさせるまで練習ができたってことですか？

安田　オッケー！　って感じだったんだけど、日本に帰って来て、皆さんにあまりにも「大丈夫？、大丈夫？」とかって言われると、だんだん不安になってくるんだよねぇ……。

藤田君の分まで頑張れるって言えるほどの実力ないから、自分のことだけでもきっちりやろうと

――そんなに言われてるんですか？

安田　大丈夫なの？　って言われると、「ん？　俺ホントに大丈夫かな」って思っちゃうから。グハハハハハ。

――なんで、そんな暗示にかかってるんですか（笑）。猪木さんは記者会見で安田さんに関して「今までのダメな部分をやる気に変えた。新日本の幹部が練習を見た時に感動してた」と話してましたよ。

安田　……（首をかしげる）。

――ど、どうしました？

安田　う～ん、それくらい正直言ってやったという自負があるんだけど、俺のキャラじゃないも～ん。アハハハハハ。

――アハハハって（笑）。さて、記者会見と言えば、一応レネ・ローゼ戦が決定しましたね。でも、小川選手の参戦問題もあって、まだベルナルドとバンナの相手が浮いてるんですよ。

安田　いや、僕はレモちゃんでっ！

――レ、レモちゃん？　今はそう呼んでるんですね（笑）。

安田　はいっ！　レモちゃんでオッケーで～す！

――もし、「安田、悪いな。お前の相手はジェロムだ」なんてなったらどうしますか？

安田　いや、もう発表されたから。今はそう言える（笑）。でもね、もし会長に言われたら誰とでもやりますよ。

――今回は藤田選手がアクシデントでケガしちゃいましたからね。

安田　その件があって、僕も一回り大きくなれましたっ！　アハハハハハ。気持ち的には僕は弱いんで、俺が負けても藤田君が8月19日の借りは返してくれるだろうと思ってたのが、俺は藤田君の分まで頑張れるって言えるほど実力ないからぁ（笑）、自分のことだけでもきっちりやろうと。

――藤田選手のお見舞いは行ったんですか？

安田　はいっ！　お見舞いに行ってバカ話を1時間ほどしてきました。

――藤田選手からは何か言われましたか？

安田　「頑張ってください」と。で、俺が「いや、俺はオマケだから」って言ったら、「オマケでもいいじゃないですか。オマケはプレミアが付くんだから」って。「キャラメルの代わりはいくらでもいるから、プレミアのつくオマケになってください」って。

――うまいなぁ。ちなみに、レネもですね、安田戦後は酒をやめて練習を真面目にガンガンやっているらしいですよ。

安田　そういうのに限って、してるヤツはいないからねぇ。でも、いいんじゃないですか？　僕は自分で言うのはなんですけど、悔いを残さないようにはやってきたつもりですから。負ければ僕が弱いだけですから、周りは関係ないです。

――対戦カードが発表されましたけど、猪木軍のメンバーとか気になりませんか？

安田　えっと、猪木軍と思っているのは石澤選手、永田選手、そして僕の3人だけですね、ハイ。この3人が勝てばいいのかなって感じです。

――また、そんなこと言って（笑）。永田選手はアメリカに行って練習をしてるようですが、石澤選手は急遽決まって大変ですよね。

安田　彼はもともと強いから大丈夫でしょう！

――永田選手にしても、石澤選手にしても1・4も控えてますからね。

猪木軍VS K-1軍、いざ決戦!

安田　僕、今の時点でありませ～ん！　でも、お呼びがあればいつでもいきますよ。ケガしててもね。だって、藤田君だって最初はそのつもりだったんでしょ？

―永田選手もそうですもんね。

安田　それがレスラーです！　って言っておけばいいんですかねぇ。皆さんのウケは（笑）。

―せっかく、いいこと言ってるのに（笑）。なんでオチつけるの（笑）。

安田　グフフフ。でもね、もう、早く当日が来てほしいっていうのが本音なんだよね。終わって負けたら負けたなりに考えようって。早くやって早くお正月を迎えたいし。迎えられない時もあるかもしれないけど。負けた時には……。

―でも、負けたとしてもいきなり姿消したりしないでくださいね。

安田　ウッ……。

―あっ、逃げようとしてるでしょ。

安田　いや、僕の人生は逃げ回ることですから。去年まで逃げ回ってたんだから（笑）。

―そう言わずにいい形で12月31日を終われるといいですねぇ。

安田　終わりたいですね。「宝くじ当たったら勝てなくてもいい」とかってどっかに出てたけど、俺は宝くじに当たるより勝ちたいよ（笑）。

―さすがに8・19の時よりモチベーションが違うんじゃないですか？　前回はほぼ強制的でしたもんね。

安田　いや、あの時も勝ちたいっていうのがあったんですけどね。

―でも、準備も何もなかったですもんね。

安田　だからぁ、こんだけシチュエーションができてて出て負けたら、どうなんの？　ギャハハハハハ。

―笑い事じゃないですよ（笑）。

安田　そん時は、そん時！　考えましょう！

―だからこそ、早く試合の日が来てほしいんですねぇ。

安田　そうですね、もう明日でもいいんだけどね（笑）。そういう気持ちが7割くらい。相手がレモちゃんって聞いて、なんとかなるだろうっていう安易な気持ちは消してね、必ず勝つっていうふうに思いたいなって思ってるんですけど、なかなかそういかないんだよねぇ……よ・わ・い・か・ら！

―最初と言ってることが違うじゃないですか（笑）。

安田　だって、人間強かったらこんな借金して家庭がなくなってることないもんねっ！

―ねっ！　ってかわいく言ってもダメですよ（笑）。

安田　でも、生まれ変わりたいなっ。

―チャンスじゃないですか。

安田　一応、生まれ変わったつもりなんだけどね（笑）。

―その生まれ変わったのを定着させないと。

安田　そうそうそうそうそう、そうなんだよぉ。そう思うと勝ちたい（笑）。

―相変わらず、VTの試合は今回が最後だっていう気持ちは変わらないんですか？

安田　（即答で）はいっ！

―あっさりと（笑）。

安田　だってさ、最後だと思ったからあんな練習してきたんじゃない。あんな1カ月自転車こいでさ、なんであんな山の中で自転車こがなきゃいけないの？　1日2回もぉ。

感動するような試合なんてしない。あっさり片付けて帰ってきたいと思います！

―キャハハハ。でもスタミナついたでしょう。

安田　……と、思うんですけどねぇ。

―なんで小声なんですか（笑）。

安田　でもね、練習は今までと全然違ったんで、こういうのもあったんだって気が付いたし、楽しいなぁって。向こうは金取って教えてるからうまいよねぇ（笑）。

―そんな言い方しちゃって（笑）。

安田　個人レッスンなんかもあるんですよ。女の人とかにも教えてるから、無理させないというか、やらせ方がうまい。調子乗せてくれるから。だから、さっき言ってた向こうで調子が良くても、こっちで吉江には極まらないから、俺はずっと気分が悪い（笑）。

―アハハハ。吉江選手、ちょっと極めさせてあげてくださ～い。ここで自信をなくされても困りま～す（笑）。

安田　痛いのは吉江も分かってるからね。だから、あんまりグッとやっていいものかっていうのもあるし。

―それは、ぜひ試合でやってください。

安田　はい、やりたいと思いま～す！　とにかくレモちゃんには借りがあるからなぁ……。

―そうですよ。12月31日は感動させてくださいね。

安田　感動するような試合なんてしないで、あっさり片付けて帰ってきたいと思いますっ！

―おおっ！

安田　目標は1R2分くらい。倒して、ギブアップ。ギブしないなら落として終わりっ！　アハハハハハハ。前まではそんな自信なかったじゃないですか。倒すまではできるけど、その後どうしようかって感じだったから。

―それを、今回克服してきたと。

安田　凄い自信になってるよ。倒したら絶対にっていうね。まあ、吉江よりは弱いだろうと。アハハハハハハハハ。だって、吉江よりもレモちゃんは軽いわけですから。

―そうですね。藤田選手のこともあったし、猪木軍のためにも頑張らないと！

安田　あっ、でも猪木軍のため以前に、まずは自分のために勝ちたいと思います。

―ぜひ、頑張ってくださいね。

安田　猪木軍は3人だからっ！

―まだ、言うかい（笑）。■

▲前回のレネ戦の時に観戦に来なかった愛娘が、今回は見に来ることになった。『プライド13』で佐竹と対戦した時に愛娘が見に来て勝ったこともあり、「また勝てるかなって。一応、お相撲さん出身なんで、ゲンは担ぎたいと思いま～す（笑）」なんて安田は言っていたが、ちょっと嬉しそうだった

今年も行って来ました新日本キック・ラジャダムナン決戦！

嗚呼、ムエタイ、20時間の旅。

結果は1勝4敗1分。ムエタイ越えの道険し

今大会のエース格・石井は技術でタイ人に勝てる可能性を持った選手だ

打倒ムエタイが人生の伊原代表は、選手よりも視界に入ってしまう人である

当日の対戦カードがかかれたボード

新日本キックのタイ遠征も、今年で3年目を迎える

文◎谷川貞治　写真◎吉澤晃

12月8日（土）、午後1時に小社が開いているショップ、グレート・アントニオへ前田日明がサイン会のために初来店。挨拶に行くと、若手に羽交い締めにされ、前田からデコピン50連発を食らう。

みるみる膨れ上がるトレードマークのおデコ。そのまま逃げるように東京ドームに向かい、K―1ワールドGP決勝大会の解説をした。見事に膨れ上がったコブを見て、あの藤原紀香さえも「ギョ！」っと声を出して驚いていた。

あ～あ、よりによって今日はゴールデンタイム放送なのになぁ。まったく、これがリングスのやり方なのか！　この日、ボクはおデコを冷やしながら、いつも以上に気合いを入れて解説をやった。

波乱の連続だった今年のK―1を制したのは、なんと新鋭のマーク・ハント。この結果はむしろ喜ばしい。久々にK―1の底力を思い知らされたような大会だった。

大会が終われば、いつものように編集部に戻って徹夜作業。ボクはパパッと台割を決め、各担当者にポイントを簡単に説明すると、自分が担当した「バンナVSハント戦」と「フィリォVSハントの決勝戦」を一気に書き上げた。

それでも気が付いたら、翌朝の6時を回っている。ボクはほとんど何も持たないまま「あとは頼む！」とみんなに言い残して成田空港へ。一睡もできずに、午前10時のタイ航空便に乗り、そのままバンコクへと旅立ったのだ。

そう、12月9日は毎年恒例となっている新日本キック協会のラジャダムナン決戦がある。今年で3年目を迎える同大会は、毎年、関西テレビで放送されており、ボク

新日本キック
FIGHT TO MUAY THAI 2001
12月9日☆タイ・ラジャダムナンスタジアム

一番凄い試合をしたのは石井宏樹だ！

技術的に見ても終始タイ人を圧倒していた石井

離れて、圧倒する石井に対し、必死で首相撲からのヒザを入れようとするジャカワーンレック

この魔性のヒジでジャカワーンレックは大流血。左目はまったく見えない状態に

パンチ力はないが、的確な連打が何度もタイ人を襲った

こんな顔して勝ち？

このザックリ切れた眉を見よ！　こんなやられ方をしながらも判定は勝ちなのだ

★第9試合
○ジャカワーンレック・サックテーワン（判定3-0）石井宏樹●
〈タイ〉　〈藤本ジム〉

西テレビで放送されており、ボクは解説を務めることになっていた。

いったい、いつ飛行機が飛んだのかも分からないまま、気が付いたらバンコクのドン・ムアン空港に着いていた。日本は10度以下の気温だったが、バンコクはこの日、30度以上の気温になっていた。

さすがにムシ暑い！　ボクはコートやセーターを鞄にしまい込むと、携帯電話を借りてタクシーに乗り込み、そのままラジャダムナン・スタジアムへと向かった。

タイに着いたのが午後4時、試合は午後6時から始まるので急がなければならない。昨日は東京ドームの至る所で「おデコどうしたの？」と聞かれたが、まだコブが引かなかったため、タイ人のタクシーの運ちゃんにまで聞かれた。ボクが「日本の悪い友達にやられたんだ」と説明したら、運ちゃんも一緒に怒ってくれた。タイ人はホント優しい人が多い。

なんとか試合までには間に合った。ボクはスーツに着替えると、新日本キックの伊原信一代表とテレビのスタッフに挨拶。みんなK―1でマーク・ハントが優勝したことを知って驚き、その話題でしばし盛り上がった。

ボクが伊原代表に「武田はK―1に出さないんですか？」と尋ねると、武田はタイの試合で金的を3度も蹴られ、かなり重傷だったという話を聞いた。来年2月11日、K―1J・MAXが代々木で行われる。魔裟斗VS武田、小比類巻VS武田の試合を見たかっただけに非常に残念だ。

そうこうしているうちに、今年も新日本キックVSムエタイの対決

1・11"一撃"でのギャリー戦を前に、松本が豪快KOでランキング入り！

松本の武器はパンチの連打。タイ人を倒す最も有効的なパターンだ

▲対戦相手のコンファークは、武田幸三とも闘った選手だが、松本のパンチに失神！

▶松本はこれでランキング入り。武田に続く、ムエタイ越えを狙える選手だ

★第6試合
○松本哉朗（2RKO）コンファーク・ルークメークロン●
〈藤本ジム〉　〈タイ〉

判定なので小出の負け！

前に前に出てパンチで倒そうとする小出は、パンチしか出さないため、判定になれば負け。結局、判定となってしまった

小出の突進に対して、前蹴り、ミドル、ハイを叩き込み、確実にポイントを稼ぐパヤックレック

★第4試合
○パヤックレック・ソーソーゴージム（判定3-0）小出智●
〈タイ〉　〈治政館〉

今回のラジャ決戦で、唯一白星を挙げた松本は、1・11"一撃"で極真のギャリー・オニールと対戦する

が始まった。ご存知のようにキックボクシングというジャンルの最大のテーマは、打倒ムエタイにある。その中でも、新日本キックの伊原代表の執念はすさまじく、ラジャダムナンの興行を買ってまでそれを実現させようとしている。

これは大相撲の興行を外国人が主催するようなもの。タイ人にとっては屈辱的な話かもしれないが、それだけムエタイも国際化しているということだ。しかも、この興行を新日本キックが年に一度開くようになってから、この1年で2人のラジャダムナン王者を誕生させている。それが武田幸三と小笠原仁。しかし、2人は共に初防衛に失敗し、あらためてムエタイの壁の高さを味わうことになった。

ムエタイの壁を破るのがなぜこれほど難しいかと言うと、選手人口の差や歴史の差がもちろん大きい。タイの18歳のボクサーでも、すでに100戦近くもこなしており、ジムに住み込みで練習するという環境の違いもある。しかし、決定的な違いはキックとムエタイは競技そのものが根本的に別だということだ。

キックとムエタイは似て非なるもの。このことが頭に入っていないと、ムエタイには一生勝てない。日本で行われているキックは、K—1のように倒し合いを前提としている。しかし、ムエタイで大切なのは、倒すことより華麗なキックを何発相手に入れるかを比べ合うポイント制競技なのだ。パンチはほとんど採点に考慮されず、ミドルキックや、首相撲からのヒザ蹴り、ヒジ打ちのほうがより得点が高い。この採点基準を把握していないと、日本人はまず勝てない。

新日本キック
FIGHT TO MUAY THAI 2001
12月9日☆タイ・ラジャダムナンスタジアム

深津、ムエタイ蟻地獄にはまる！

▶昨年のラジャ決戦でヒーローとなった深津は、今回完全にタイ人のペースにはまり、不完全燃焼となってしまった

深津が出ようとしたところ、必ず後の先をとられ、闘志はからまわりしていく

▶パンチの連打でKOを狙うが、タイ人のガードは堅く、ムエタイの試合なので有効打にもならない

★メインイベント
○トーンパンチャン・サックテーワン（判定3-0）深津飛成●
〈タイ〉〈伊原ジム〉

米田、勝ちに等しい殊勲のドロー。

タイでは珍しい三者三様のドローとなった米田。相手は2年連続で菊地を破った選手だ

▲米田のいいところは、まったく気負いもなく、タイ人のペースにはまらないところだ

▲技術的にも互角に渡り合った米田。タイ人との、この3戦は負けなしだ

★第5試合
○デンスッキー・マハーチャイウラー（判定ドロー）米田克盛●
〈タイ〉〈トーエル〉

う～ん、3連敗、菊地……

▲菊地に言いたいことは、「いいかげんに勝ってくれ！」。来年は頼んだぞ！

3回連続出場の菊地は、またしてもタイ人のペースを崩すことはできなかった

★第3試合
○ダオチャイ・ソーソーゴージム（判定3-0）菊地剛介●
〈タイ〉〈伊原ジム〉

▲毎年恒例となった新日本キックのラジャダムナン決戦。新日本キックには団体が一丸となったテーマがある

いないと、日本人はまず勝てない。日本のキックボクサーがムエタイに勝つには、KOするか、タイ人以上の技術でムエタイにポイント勝ちするしかないのだ。

今回、打倒ムエタイに立ち上がった新日本キック所属選手は6人。菊地剛介（バンタム）、小出智（フェザー）、米田克盛（ウェルター）、松本哉朗（ミドル）、石井宏樹（ライト）、深津飛成（フライ）の6人は、それぞれの階級のチャンピオンで、このラジャダムナン大会はいわば新日本キックの一年の総決算とも呼べる大会である。

ほとんど日本王者は、判定ではなく、KO狙いで打倒ムエタイに挑んでいった。その中で、タイ人独特のインサイドワークに翻弄されず、KO勝ちしたのは松本ただ一人だった。結果は1勝4敗1分と、今年もまたムエタイ越えの難しさを実感させられた。

しかし、収穫もある。日本人の中でも米田と石井は、倒すというよりもムエタイ式で闘ってムエタイを倒すという戦法を取ったのだが、米田はタイでは珍しい三者三様のドロー。石井に至っては、ヒジで何度もタイ人の眉の上を切り、出血させて圧倒した。石井の試合は、タイの採点でも勝っていたと思うほど見事だったし、ムエタイと引き分けた米田は勝ったも同然の結果だと言えるだろう。

その夜、ボクは夜中の2時にホテルに入り、また徹夜で朝の8時には空港に向かい、日本に帰国した。タイには20時間もいなかった。マッサージもお姉ちゃんの所へも、もちろん行けなかった。嗚呼、それにしてもおデコが痛い！ ■

ODS OUTLET

Best Price!!

新商品！ 35~80%OFF

■バーベル部:耐荷重量/221kg
■ベンチ:耐荷重量/100kg

■サイズ/H145×W112×D189cm
バーベルの高さ5段階調節可能(85~121.5cm)
■中国製
■プレートは別売です。

45% OFF

商品番号:CN-510
商品名:オリンピックベンチ
定価 ¥22,000→
¥12,000

オリンピックベンチ+50φオリンピックバーベルセット
セットでご購入された方は
上記価格よりさらに
15%OFF!!

オリンピックベンチ	¥31,100
+ 61kgセット	¥26,400
オリンピックベンチ	¥37,400
+ 91kgセット	¥31,800

商品番号:CN-40
商品名:セーフティプレスベンチ
¥11,500
定価 ¥23,000→
■重量/30kg
■耐荷重量/100kg
■サイズ/H58×W140×D107cm
■中国製
■プレートは別売です。
★ベンチプレス
★デッドリフト
★カーフレイズ
★ベントオーバーローイング
その他、バーベル、ダンベル運動

50% OFF

★インクラインベンチプレス
★バックエクステンション
★フラット
★アームカール
★バタフライ
★トライセプス
★ディクラインプレス
★シットアップ
★レッグレイズ
★サイドラテラル
★ワンハンドローイング

50% OFF

商品番号:P[illegible]6
商品名:マルチシットアップベンチ
¥9,800
定価 ¥19,800→
■耐荷重量/250kg
■サイズ/H125W34×D185cm
■中国製
■ダンベルは別売です。

商品番号:MAX-1
商品名:ダンベルバー
1本 **¥500**
■素材/鉄
■重量/1本300g
■スプリングカラー付
★プレートは1本20kgまでOK

40kgセット例

レギュラーダンベルセット

10kg	DB×2、P2.5kg×4	¥2,200
15kg	DB×2、P2.5kg×4、P1.25×4	¥2,800
20kg	DB×2、P2.5kg×8	¥3,400
25kg	DB×2、P5kg×4、P1.25kg×4	¥4,000
30kg	DB×2、P5kg×4、P2.5kg×4	¥4,600
40kg	DB×2、P5kg×8	¥5,800

商品番号:CN-15
商品名:プレートラック
¥2,000
定価 ¥3,980→
■重量/10kg
■サイズ/H90×W[illegible]×D37cm
■中国製
■プレートは別売です。

50% OFF

★145kgセット収納例
(1.25kg~25kgプレート収納可能)

商品番号:PF-150
商品名:シットアップベンチ
¥1,500
定価 ¥4,800→
■重量/8kg
■サイズ/H60~78×W37×D130cm
(シート部/W30×D90cm)
■中国製
せまいスペースでトレーニングができます。

70% OFF

60% OFF

商品番号:LFM-1
商品名:フォーアームマスター
¥1,500
定価 ¥3,500→
■重量/1kg ■台湾製

50% OFF

商品番号:LL-2000
商品名:レッグカールブーツ
1コ 定価 ¥5,800→
¥2,980
■プレートは別売です。

ふくらはぎ、ももの鍛錬に！

45% OFF

商品番号:CN-50
商品名:プレス&スクワットラック
¥6,800
定価 ¥12,000→
■重量/35kg
■耐荷重量/250kg
■サイズ/H107~140×W135×D94cm
■中国製
★スクワット
★ベントオーバー
★フロントランジ
★サイドランジ
その他、バーベル、ダンベル運動

80% OFF

商品番号:CB-110
商品名:クランチボード
¥980
定価 ¥4,300→
■重量/3.2kg
■サイズ/W32×D77cm
■台湾製

床ずれせずに腹直筋を鍛えます。腰の弱い方も安心して使えます。

35% OFF

商品番号:ND-100
商品名:ネックデベロッパー
¥1,800
定価 ¥2,800→
■台湾製
■プレートは別売です。

45% OFF

商品番号:CN-130
商品名:レッグエクステンション
¥14,500
定価 ¥22,750→
■重量/22kg
■サイズ/H90×W100×D105cm
■中国製
■プレートは別売です。
★レッグカール
★レッグエクステンション

35% OFF

45% OFF

商品番号:LES-9
商品名:ストレッチマシン
¥15,000
定価 ¥28,000→

65% OFF

熱湯でやわらかくし、口に合わせて成形するタイプです。

商品番号:CTY-1458
商品名:マウスガード
¥980
定価 ¥2,800→
■2ヶ入(ケース付)
■アメリカ製

60% OFF

商品番号:LNU-14
商品名:黒ゴムヌンチャク
¥1,200
定価 ¥2,800→
■サイズ/36cm
■台湾製

60% OFF

商品番号:NU-3F
商品名:フォームラバーヌンチャク
¥800
定価 ¥2,000→
■サイズ/45cm ■台湾製

商品番号:TL-1
商品名:タンニングローション
¥3,980
定価 ¥6,000→
■170mℓ
■日本製

35% OFF

太陽のいらない日焼けローション！！
ぬって3時間待つだけで美しい褐色肌の出来上がり。
顔はもちろん、手の平にもOK!
肌に優しくシミ、ソバカス、皮むけの心配もなく安全。
新しいタイプの日焼けローションです。

65% OFF

ナイロンベルト製でフィット感も抜群。
手首にはソフトなネオプレーンパッド付。

商品番号:HRC-1
商品名:ストラップ
1組 定価 ¥1,500→
¥500

マックス・クラブ MAX CLUB

MAX CLUBで取り扱っている商品のご注文は通販のみの受付となります。

ご注文の専門ダイヤル

0120ー000ー902

受付時間
平　日 PM12:00〜PM7:00
土・日・祝日 PM12:00〜PM6:00

FAX　24時間受付

0480ー25ー5541

お問い合わせ

0480ー25ー5540

受付時間
平　日　10:00〜12:00　13:00〜17:00

お支払い方法

ご注文の際は，支払い方法を指定して下さい。

代引
TELかFAXで受付しております。
商品到着時，配達員へ
商品代金+送料+代引手数料+消費税
をお支払い下さい。

現金書留
TELにてお問い合わせの上，商品番号，商品名，住所，氏名，電話番号を明確に書いて，
商品代金+送料+消費税を同封して
ご送金下さい。

〒347ー0023
埼玉県加須市北辻宮前164ー1
MAX CLUB係

カード（代引のみ）
TELにてご注文下さい。
カードの代引のお支払いができます。
一部対象外の地域もありますので，
ご確認下さい。

ビザ　JCB　ジェーシービー
その他のカードについてはお問い合わせ下さい。

ご　注　意！

沖縄県，北海道，及び離島の方は
送料をお問い合わせ下さい。
表示の価格には，送料，代引手数料，
消費税は含まれておりません。
万一，不良品があった場合は送料は当社
負担にて交換致します。
着品後，一週間以内に電話連絡の上
ご返却下さい。
複数ご注文頂いた場合は，基本的に商品
1つにつき，それぞれ送料がかかります。
ご了承下さい。

広告有効期間　広告掲載日より1ヶ月間

★商品がなくなり次第、完売とさせて頂きますので、その際はご了承願います。

バーゲン品につき返品・交換はご容赦下さい。

ISAMI GOOD Every Day B

50% OFF

商品番号:FP-50
商品名:フットウォーマー
1組 定価¥3,900→
¥1,980
■サイズ/フリー(23〜27cmまで対応)
■日本製
★足の甲にスポンジ入
★足全体をサポート
★足の冷えを解消する事により，体の動きを良くし，足首の損傷を防ぎます。

65% OFF

商品番号:ASL-1
商品名:ウエイトベルト
定価¥2,800→
¥980
■サイズ/M:92cm　L:102cm
■幅(前部)/15cm
■素　材/ポリエステル，ナイロン，[illegible]ラバー

55% OFF

商品番号:BX-21
商品名:バームグローブ
1組 定価¥3,500→
¥1,500
■サイズ/フリー
■外部素材/最高級牛革使用
内部素材/ウレタン使用(厚さ約2cm)

50% OFF

ウエイトトレーニング，ダンベル運動には欠かせないベンチです。

商品番号:CN-[illegible]
商品名:フットベンチ
定　価¥4,980→
¥2,500
■重　量/5kg
■サイズ /H30×W37×D103cm
(シート部/W20×D90cm)
■中国製

60% OFF

商品番号:L-222
商品名:レッグガード(スネ)
1組 定価¥1,500→
¥700
■サイズ/フリー
■中国製

40% OFF

商品番号:L-535
商品名:セーフティアンクルガード
1組 定価¥1,200→
¥700
■サイズ/M・L
■中国製

50% OFF

商品番号:L-469
商品名:フォーアームサポーター
1組 定価¥2,000→
¥980
■サイズ/フリー
■中国製

商品番号:L-237
商品名:レッグパッド
1組 定価¥1,000→
¥500
■中国製

50% OFF

45% OFF

商品番号:L-673J
商品名:金的プリーフ(カップ付)
定価¥1,400→
¥780
■サイズ/少年用
■中国製

●バーベルセットのバーの長さは160cm、180cmのどちらかをお選び下さい。200cmの場合は900円増です。
●B:バー　DB:ダンベルバー　P:プレート

35% OFF

商品番号:HRC-100　商品名:クロームメッキバーベルセット

35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥14,100→	¥6,600
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥20,500→	¥9,600
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥26,900→	¥12,800
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥36,500→	¥16,800
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥49,300→	¥22,800

1.25kg	¥400→	¥150
2.5kg	¥800→	¥300
5kg	¥1,600→	¥600
7.5kg	¥2,400→	¥900
10kg	¥3,200→	¥1,200
15kg	¥4,800→	¥1,800
20kg	¥6,400→	¥2,400

35% OFF

商品番号:HRC-200　商品名:レギュラーバーベルセット

35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥11,400→	¥6,600
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥15,400→	¥9,600
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥19,400→	¥12,800
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥25,400→	¥16,800
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥33,400→	¥22,800

1.25kg	¥250→	¥150
2.5kg	¥500→	¥300
5kg	¥950→	¥600
7.5kg	¥1,500→	¥900
10kg	¥2,000→	¥1,200
15kg	¥3,000→	¥1,800
20kg	¥4,000→	¥2,400

35% OFF

商品番号:HRC-300　商品名:ラバーバーベルセット

35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥14,100→	¥7,600
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥20,500→	¥11,600
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥26,900→	¥15,600
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥36,500→	¥21,600
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥49,300→	¥29,600

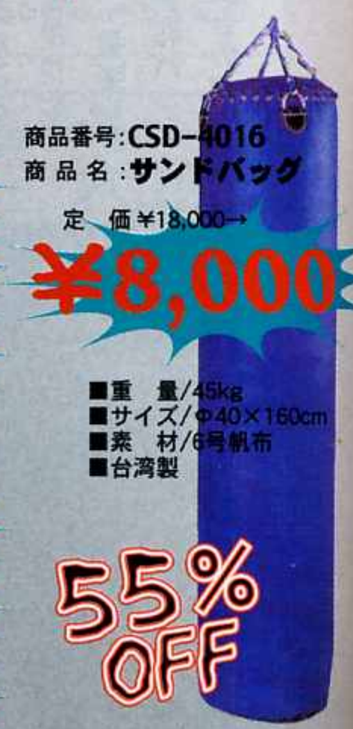
1.25kg	¥400→	¥250
2.5kg	¥800→	¥500
5kg	¥1,600→	¥1,000
7.5kg	¥2,400→	¥1,500
10kg	¥3,200→	¥2,000
15kg	¥4,800→	¥3,000
20kg	¥6,400→	¥4,000

35% OFF

商品番号:HRC-1000
商品名:50φオリンピックバーベルセット

61kgセット	B16kg×1、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P10kg×2	¥29,400→	¥19,100
91kgセット	61kgセット+P15kg×2	¥39,000→	¥25,400

1.25kg	¥400→	¥250
2.5kg	¥800→	¥500
5kg	¥1,600→	¥1,000
10kg	¥3,200→	¥2,000
15kg	¥4,800→	¥3,000
25kg	¥8,000→	¥5,000



商品番号:CSD-4016
商品名:サンドバッグ
定　価¥18,000→
¥8,000
■重　量/45kg
■サイズ/φ40×160cm
■素　材/6号帆布
■台湾製

55% OFF

商品番号:CTY-10152
商品名:ウェ[illegible]ターJr.
定　価¥18,500→
¥6,800
■重　量/6kg
■サイズ/高さ90〜125cm
最大底面直径/53cm
■高さ4段階調節可能
■素　材/表-ターポリン
中/硬質ウレタン
■アメリカ製

65% OFF

少年向けの
置床式サンドバッグ！

三代目格闘ビジュアルクイーン

長谷川京子の超SRS宣言！

（はせキョー）

第22回

12・8 K-1 WORLD GP 2001決勝戦 東京ドーム大会

新王者の誕生で例年以上に盛り上がったK-1ワールドGP決勝戦。実は、バンナファンのはせキョーとしては、ハント戦でのKO負けはかなりショックだった様子。バンナ、はせキョーのためにもハントにリベンジだ！

ショックだったバンナ選手のKO負け ぜひ、リベンジしてほしい！

とにかく盛り上がった12・8『K—1ワールドGP2001決勝戦』。久しぶりに会場が熱気に包まれていて、私もの凄く興奮しました。

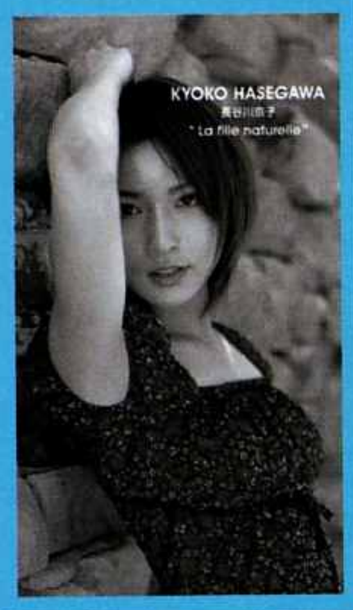
やっぱりマーク・ハント選手の優勝はK—1の世界に新しい風を吹かせたって感じで、心からうれしかったです。もう何がかわいいって、今大会でかなりのファン（特に女性）をゲットしたと思われるあのマスク♥ やっぱりハント選手の一番の魅力はあのかわいい顔ですよね。そして、そんなかわいい雰囲気からは想像もできないようなもの凄〜いパンチ力。殴られても、殴られてもビクともしない頑丈な身体。キャラクター性があって、愛嬌バツグン。もちろん闘い方もサイコー！ どんな相手でも前に前に出ていくアグレッシブな姿勢が、見ているお客さんを魅了させてくれてホントにカッコ良かった。今後のK—1を変えてくれそうな予感がします。今度、『SRS』でハント選手の身体の仕組みを解明してみたいですよネ。いったいどんな身体をしてるんだろ？

でも、バンナファンの私としては、バンナ選手が負けてしまったことはとっても悲しかったです。今大会で一番楽しみだったバンナVSハント戦。今回の試合の前に、バンナ選手が人を信用できない、友だちが一人もいないと言ってるのを聞いて、この人は本当に孤独なんだ。今までキャラ作りのために、あんな暴言を言ってると思っていたけど、あれは本心だったんだと分かって、悲しくなってしまいました。でも、バンナ選手の闘いに対する考えはとても好きだし、こんなに強いのにいまだかつて優勝したことがないバンナ選手に、ぜひ王者になってほしかったんですよネ。

バンナVSハント戦のKOシーンはホントにショックだったけど、バンナ選手にはぜひリベンジしてほしい！ 絶対にもう一度2人の試合が見たいデス。

今大会は、ハプニングが続出（ケガも多かったし）だったけれど、今までにないK—1を見ることができたような気がします。来年は、もっともっといろんな国から未知なる強豪が出現して、格闘技界を荒らしてくれるのカナ、と思うと今から凄く楽しみ♥デス。■

12月22日に行われた発売記念トーク＆握手会も大・大・大盛況だったという、はせキョーのビデオ＆DVD。19日に発売されるや話題騒然となっているこのビデオ。まだ、買ってない＆見てないアナタ！ 今すぐお店にGO！



『La fille naturella』

■発売元／フジテレビ映像企画部
■販　売／ポニーキャニオン
■価　格／各3,800円（税別）
■お問い合わせ／03-5521-8044

長谷川京子（はせがわ・きょうこ）1978年7月22日生まれ。ドラマ『スタアの恋』は大好評のうちに終了。

番組インフォメーション

SRSからのお知らせ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。関東圏以外の年末年始の放送日時の詳細につきましては、系列各局にお問い合わせくださるようお願いします。

12月28日と1月4日のSRSはお休みです！

12月28日と1月4日のSRSはお休みさせていただきます。また、1月11日より放送時間が26:15～26:45に変更となります。くれぐれもご注意くださいネ！

フジテレビ系列の番組から

◎フジテレビ

12・23『プライド18』中継

12月30日（日）13:30～15:00

12月23日に福岡で行われた『プライド18』を系列各局で放送します。高山善廣vsセーム・シュルト、ヴァンダレイ・シウバの参戦など見どころ満載の大会をたっぷりとお届けします。

系列各局の放送日時

北海道文化放送、仙台放送、岩手めんこいテレビ、さくらんぼテレビ、テレビ静岡、長野放送、高知さんさんテレビ、テレビ西日本…12月30日（日）13:30～15:00／関西テレビ、テレビ熊本…12月30日（日）24:45～26:15／東海テレビ…1月2日（水）24:00～25:15／岡山放送…1月5日（土）13:15～14:45

◎CS721

『K-1ワールドGP2001決勝戦（再）』

12月31日（月）25:20～28:50
1月6日（日）23:30～27:00

◎CS739

極真会館 2001・6・10
『全世界ウェイト制空手道選手権大会』

1月3日（木）21:00～23:30

極真会館 2001・11・3～4
『第33回全日本空手道選手権大会』

1月4日（金）21:30～23:30

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

WORLD KARATE
ワールド空手
MONTHLY MAGAZINE FOR KYOKUSHIN FANS
極真カラテ専門誌
2月号 12/27発売 740円
発行・国際空手道連盟 極真会館
[王者の初夢対談3連発]
木山仁×武蔵丸
江口美幸
青木英憲
[全日本ベスト4テクニック分析]
足立慎史
[20人組手を密着リポート]
田中健太郎
[K-1 WORLD GP 決勝戦レポート]
フィリォ、ニコラス
Kyokushin Project 2002
地上最強を探究せよ
世界各地での[illegible]大会、K-NETWORK[illegible]

TV

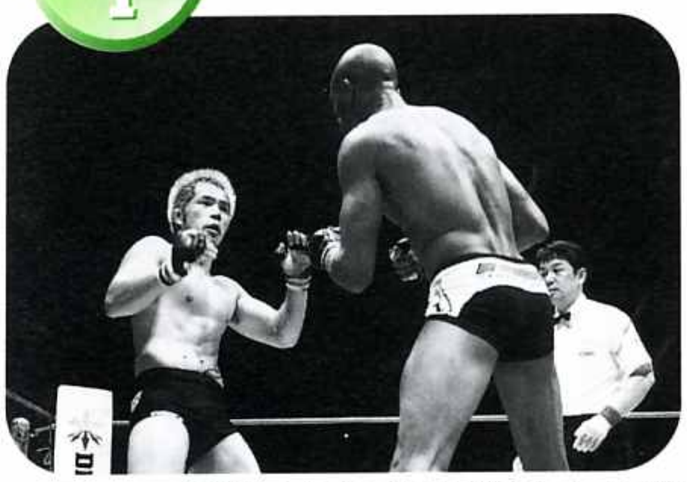
日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
12/28（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	5：00～7:00	MAキック連盟、後楽園ホール大会（5.20）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	11:00～13:00	修斗、後楽園ホール大会（7.8）
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	20:00～22:00	8.25大阪・梅田ステラホール大会
	GAORA	全日本キックボクシング	23:00～25:00	01.11.30後楽園ホール大会
	フジテレビ	SRS	25:45～26:15	お休み
	GAORA	LADY GO! 女子ボクシング	27:00～28:00	10.10に北沢タウンホールで開催の日本女子ボクシング協会『Fifhting Angels Part3』
12/29（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:00～12:00	➡Pick Up①
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25:00～27:00	『ブラジリアン柔術世界大会2001』Part1。同内容放送1/1・23:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	27:00～27:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。同内容放送1/7・9は17:00～
12/30（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	8:00～10:00	修斗、後楽園ホール大会（01.9.2）
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	01.12.11大阪府立体育館大会
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	21:00～23:00	➡Pick Up②
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	25:00～27:00	12/29のJスカイスポーツ3と同内容。同内容放送1/3・24:00～
12/31（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	4:00～6:00	新日本キック協会、後楽園ホール大会（01.7.28）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	13:00～15:00	GCMコンテンダーズ・横浜ランドマークホール大会（01.10.8）
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングルRULES	15:00～17:00	～格ジャンの法則～2001総集編。同内容放送1/6・10:00～、1/10・14:00～
	TBSテレビ	最強の格闘王決定戦！	21:00～23:24	➡P 71囲み
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24:00～翌6:00	➡Pick Up③
1/1（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	5:00～7:00	新日本キック協会、ディファ有明大会（01.9.16）
1/2（水）	GAORA	全日本キックボクシングスペシャル	18:30～20:30	➡Pick Up④
	スポーツ・アイEPS	第33回全日本空手道選手権大会	19:00～20:30	01.12.1～2に開催された極真会館の『第33回全日本空手道選手権大会』
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	23:00～25:00	スペシャル企画・ブラジルMECAバーリ・トゥード～最強シウバ軍団集結！～（1）
1/3（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～11:00	MAキック連盟、後楽園ホール大会（01.7.13）
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	23:00～25:00	スペシャル企画・ブラジルMECAバーリ・トゥード～最強シウバ軍団集結！～（2）
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	PANCRASE 2001 PROOF TOUR アンコール③。01.6.26後楽園ホール大会
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手や格闘技界の旬な話題から、選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	正道会館の角田信朗がパーソナリティーを務める、ラジオとのメディアミックス企画番組。自ら格闘魂を語り毎回格闘家のゲストも迎える
1/4（金）	テレビ朝日	ワールドプロレスリング・スペシャル	19:00～20:56	1.4東京ドーム大会
	GAORA	全日本キックボクシング	23:00～24:00	01.11.30後楽園ホール大会
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	23:00～25:00	スペシャル企画・ブラジルMECAバーリ・トゥード～最強シウバ軍団集結！～（3）
	フジテレビ	SRS	25:45～26:15	お休み
1/5（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	8:00～10:00	日本キック連盟＆NJKF合同興行、後楽園ホール大会（01.2.17）
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	20:00～22:00	01.12.1横浜文化体育館大会
1/6（日）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	1.4東京ドーム大会、4.5時間スペシャル第1部
	GAORA	真撃～第四章～完全版	19:00～23:00	01.12.9に大阪城ホールで開催された同大会を完全放送
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	21:00～23:00	1.4東京ドーム大会、4.5時間スペシャル第2部
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	22:00～24:00	『ブラジリアン柔術世界大会2001』Part2。同内容放送1/10・24:00～
1/7（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	8:00～9:00	『ワールドコンバットファイト』の再放送シリーズ。『サブミッションチャンピオンシップ5』Part2（99.8.4）＆『LION HEART INVITATONAL』（99.9.4）Part2
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	24:00～26:00	1/6のJスカイスポーツ3と同内容
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	➡Pick Up⑤
1/8（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	8:00～9:00	『フックンシュート“Quest”＆USWF13パート2』（99.3.20）から9試合
	GAORA	K-2カラテエクストリーム	10:00～11:00	01.11.11に東京武道館で開催の全日本新空手連盟『第64回新空手道交流大会』
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17:00～17:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。同日放送27:00～、同内容放送1/10・17:00～と27:00～
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	『プライド18』特集
1/9（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	8:00～9:00	『欧州キックボクシングクラシック』（98.11.14/オランダ）から3試合
	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	ムエタイ特集（予定）
1/10（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト（再）	8:00～9:00	『アブソリュート・ファイティング・チャンピオンシップ』（99.4.30）から4試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	ESP、SUPER BROWL XVII（00.3.7）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	修斗、バーリ・トゥードジャパン99（99.12.11）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	01.12.1～2に東京体育館で開催された極真会館（緑健児代表）『第33回全日本空手道選手権大会』
	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	21:00～22:00 26:00～27:00	海外で開催された修斗の大会を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00 25:00～26:00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	PANCRASE 2001 PROOF TOUR アンコール④。01.7.29（昼）後楽園ホール大会
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手や格闘技界の旬な話題から、選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	正道会館の角田信朗がパーソナリティーを務める、ラジオとのメディアミックス企画番組。自ら格闘魂を語り毎回格闘家のゲストも迎える

ON THE AIR 12/28～1/10

格闘技番組ガイド TV&RADIO

Pick Up 1 『バトルステーション』（再）

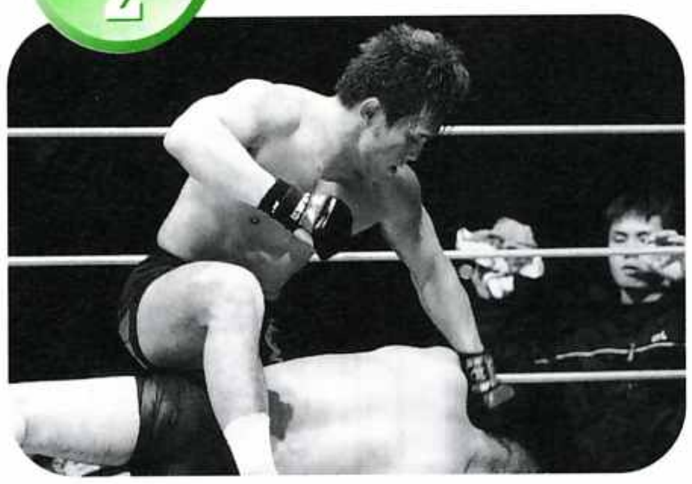
FIGHTING TV SAMURAI!
12月29日（土）/10:00～12:00



8月26日に大阪府立体育会館で開催されたプロ修斗『SHOOTO TO THE TOP in OSAKA』の模様を放送。注目は、何といってもミドル級のベルトを賭けた桜井“マッハ”速人vsアンデウソン・シウバの一戦だ。無敗の王者が、ブラジルシュートボクセからの刺客を迎え撃った試合で、マッハにとってはつらい結末が待ち受けていた。そのほかに、佐藤ルミナが8カ月ぶりのリングに登場。大阪で繰り広げられた激闘を、もう一度味わおう！

Pick Up 2 『パンクラスハイブリッドアワー』

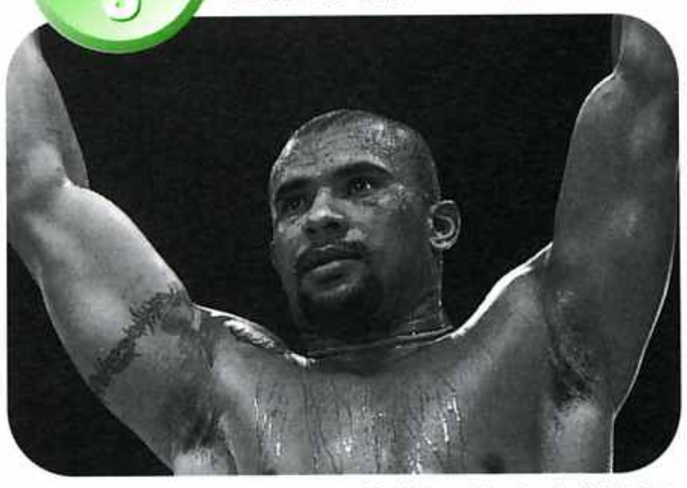
BS朝日
12月30日（日）/21:00～23:00



今回の放送では、12月1日に横浜文化体育館で開催された『PANCRASE 2001 PROOF TOUR』を放送する。グラバカとの対抗戦にいよいよ近藤有己が登場。郷野聡寛との試合は、壮絶な結末となった。また、メインでは新設ヘビー級王者を賭け、髙橋義生vs藤井克久が行われ、初代ヘビー級のチャンピオンが誕生した。30本近いマイクを会場に設置して収録した5.1chサラウンド放送でお送りするので、会場の熱気を迫力ある音声で楽しめるぞ！

Pick Up 3 『ブラジルMECAバーリ・トゥード～最強シウバ軍団集結！～』(1)～(3)

Jスカイスポーツ3
12月31日（月）/24:00～翌6:00



これまで3回にわたって放送してきた『ブラジルMECAバーリ・トゥード～最強シウバ軍団集結！～』を6時間にわたり一挙に放送する。同番組は、総合格闘技の本場ブラジルで繰り広げられたMECAバーリ・トゥード大会の中から、アスエリオ・シウバ、アンデウソン・シウバ、ダニエル・シウバなどの試合を中心に、マモル、桜井“マッハ”速人、緒形健一をゲスト解説に迎えて放送してきたもの。日本でもお馴染みの選手が勢揃いだけに、見逃せない！

Pick Up 4 『全日本キックボクシングスペシャル2001年ベストバウト集』

GAORA　1月2日（水）/18:30～20:30ほか

1月2日（水）放送の『全日本キックボクシングスペシャル2001年ベストバウト集』では、全日本キック激動の2001年を振り返りつつ、名勝負や注目された試合をダイジェストで放送する。小林聡が、現役ムエタイ王者テーパリット・シットクヴォンイムをノンタイトルながらも破った試合や、野地竜太vsエドウィン・ガーテンバック戦などの熱戦が今ふたたび蘇る。この放送を見て、全日本キックの熱を感じ取れ！（同内容放送1/7・15:00～、1/11・23:00～）

Pick Up 5 『超K-1宣言』

日本テレビ
1月7日（月）/26:47～27:17

この日の『超K-1宣言』では、1月11日に国立代々木第2体育館で開催される「一撃」の直前情報を放送。メインで行われる武蔵vs野地竜太は、正道と極真の看板がかかっているだけに、試合前の表情が気になるところ。この注目の一戦を、練習風景を交えながら検証するぞ。また新年を迎えるにあたって武蔵、中迫剛、グレート草津などK-1ジャパン選手が2002年の抱負を語っているので、そちらもお楽しみに！

TBSテレビ 12・31猪木軍vsK-1軍放送予定

12月31日（月）にさいたまスーパーアリーナで開催される『INOKI BOM-BA-YE 2001』を実況・古舘伊知郎で21時より放送。また15時からの事前番組では、猪木軍vsK-1軍のこれまでの流れを振り返る。今世紀最大の大みそか決戦を見逃すな！

『ドリームマッチ実現！　猪木軍vsK-1最強軍直前生放送スペシャル』
12月31日（月）15:00～17:39

『最強の格闘王決定戦！　猪木軍vsK-1最強軍全面対抗戦完全決着！』
12月31日（月）21:00～23:24

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00 土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

■J SKY SPORTS
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

BOOK
話題の本&新刊情報

〈新刊紹介❶〉 It's HOT!

『島田は見た！』

島田裕二著/東邦出版
本体価格　1,333円/発売中

"マット界の裁き屋" 島田レフェリーの処女作！

現在『プライド』ルールディレクター兼レフェリーを務める"マット界の裁き屋"島田裕二氏が、レフェリーの視点から見た格闘技界を自身の半生とともに綴った処女作が出た。本書では、バトラーツ冬眠の真相が明らかになるだけでなく、氏の人生の方向性を決めることになったマレンコ道場でのミスター空中氏との出会いから、藤原組、リングス、MAキックなどでのレフェリー業、現在のK-1や『プライド』での活躍にいたるまで赤裸々に語られている。また、桜庭vsホイス、髙田vsヒクソンなどの名勝負が、試合を裁いていた本人の視点から解説されているのも興味深いぞ。この本を読んで、氏のレフェリー業に対する熱い思いを感じ取れ！

〈新刊紹介❷〉 It's HOT!

『プロレスvsK-1読本　元気があれば猪木軍』

"Show"大谷泰顕著/エンターブレイン
本体価格　1,400円/発売中

猪木軍とは何か？ 本書でその答えを見つけろ！

ヒャッ！　格闘技界の伝書鳩こと"Show"大谷泰顕氏によるインタビュー集『プロレスvsK-1読本　元気があれば猪木軍』が発売されたぞ！　本書には、「猪木軍とは何か？」をテーマに、アントニオ猪木はもちろんのこと、藤田和之、安田忠夫、中西学、永田裕志などが「猪木軍vsK-1」について語っているだけでなく、敵陣の将である石井館長のインタビューまで収められている。また巻末には、著者・大谷氏司会のもと、本誌発行人である柳沢忠之と『紙のプロレスRADICAL』編集発行人・山口日昇氏の対談も収録。「猪木軍とは何か？」の問いに、両氏が出した意外な結論とは!? 12・31の来るべき決戦の前に、ぜひとも読んでおきたい作品だ！

〈新刊紹介❸〉 It's HOT!

『ジャンクSPORTSアスリートたちのナイショ話③』

フジテレビ出版著/KKベストセラーズ
本体価格　1,100円/発売中

スポーツ界の知られざるウラ話満載！

ダウンタウンの浜田雅功の絶妙なツッコミで、スポーツ界の有名アスリートたちが次々と意外な一面を披露する人気テレビ番組「ジャンクSPORTS」（毎週火曜23時00分～23時30分フジテレビ系全国26局ネットで放送）のトーク部分を単行本化したシリーズ第3弾が出たぞ！　プロ野球やJリーグなどの選手に加え、本書では、小野寺力、宇野薫、ニコラス・ペタス、魔裟斗などの格闘家が登場するほか、アントニオ猪木による異種格闘技戦の裏側の話や、石井館長の正道会館の設立当初の苦労話なども収録されているぞ。これを読めば、違った角度からスポーツを楽しめること間違いなしだ！

〈新刊紹介❹〉 It's HOT!

魔裟斗写真集『MASATO～Silver Wolf～』

アスキー
本体価格　6,000円/2002年1月31日（木）発売
※初回限定特典＝スーパー・フォト・プリント付き

女性ファンにはたまらない 魔裟斗ファースト写真集登場！

『K-1ワールドMAX』での活躍が期待される魔裟斗（シルバーウルフ所属）のファースト写真集『MASATO～Silver Wolf～』が、1月31日に発売されることになった。「22歳の光と影」をメインテーマに、JALや資生堂などの広告で活躍中の女性フォトグラファー・緒方秀実氏が、魔裟斗の魅力を1年以上追いかけ撮りおろしたぞ。試合中、試合後だけでなく、リング上では見ることができない魔裟斗のプライベートショットが満載。初回限定特典として、写真集では使われてないカットをA4サイズでプリントアウトしたスーパー・フォト・プリントも付いてくる。現在、ホームページ上（http://www.ascii-store.com/masato）で先行予約も行っているので、魔裟斗ファンは今すぐアクセスだ！

BOOK RANKING（12/1～12/14調べ）

1位 『PRIDE大百科』

❶『PRIDE大百科』
東邦出版編/東邦出版
本体価格　952円

❷『まるごと桜庭和志』
日本スポーツ出版社
本体価格　952円

❸『ざまぁみろ！』
立嶋篤史著/ネコ・パブリッシング
本体価格　1,800円

❹『真空飛び膝蹴りの真実 "キックの鬼"沢村忠伝説』
加部究著/文藝春秋（文春ネスコ発行）
本体価格　1,500円

❺『わが柔道』
木村政彦著/学習研究社
本体価格　600円

ドリームステージエンターテインメント公認PRIDE初の公式ガイドブックが売上ランキングで1位を獲得。桜庭和志によるPRIDE技術講座をはじめ、PRIDEに登場した全101名の選手名鑑や、PRIDE.1～16までの全試合結果などが、PRIDE初心者にも分かりやすく解説されてるぞ！　これを読んでPRIDE通になろう！

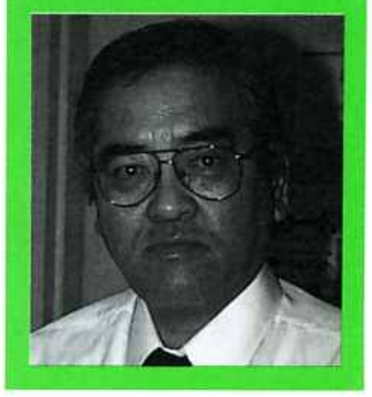
書泉ブックタワー

東京都千代田区神田佐久間町1-11-1
☎03-5296-0051（代）

▲プロレス・格闘技の本を探すならここ、『書泉ブックタワー』！　本誌のバックナンバーも常備しているので、探している本があったら秋葉原の書泉へGO！

書泉ブックタワー 後藤　実副主任

「年末は12月30日（日）まで営業。年明けは1月4日（金）からとなります。コタツにのんびりと入りながら、読書をして過ごす正月も悪くないですよ。この機会に、格闘技界の知識を深めてみてはいかが？」



※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介!

〈新作紹介〉 It's HOT!

『秋山準スターネス メッシュTシャツ』

IVY BOOKs/4,900円（税別）

限定400着なので早い者勝ち！

NOAH認定GHCヘビー級チャンピオン・秋山準のキャッチフレーズ“スターネス”が胸に入ったメッシュTシャツが登場したぞ！まるでサッカーのユニフォームを思わせるようなデザイン。限定400着なので、今すぐGETしておかないと後悔するぞ！

〈おすすめグッズ❶〉 Recommend

『WILD TWO Tシャツ』

IVY BOOKs/3,800円（税別）

森嶋&力皇もお気に入り！

NOAHマットで強烈な個性をアピールしている森嶋猛&力皇猛のタッグチーム「ワイルドⅡ」Tシャツが出た。試合会場では販売しておらず、このTシャツを入手できるのはIVY BOOKsのみ。入場の際には、両選手もこのTシャツを着用しているぞ！

〈おすすめグッズ❷〉 Recommend

『バキ 勇次郎2Tシャツ』

IVY BOOKs/3,900円（税別）

これぞ、板垣恵介先生熱筆の筋肉美！

『週刊少年チャンピオン』で大人気連載中の「バキ」のキャラクターTシャツに新作が登場。写真で紹介した勇次郎のほかに、烈海王、渋川剛気、愚地独歩など「バキ」ファンにはお馴染みのキャラが取り揃えてあるぞ！

PRESENT!

今回、このコーナーで紹介したグッズ3点を各1名ずつ『SRS・DX』の読者にプレゼントするぞ！　希望者はハガキに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、希望するグッズ名と今号の感想を明記した上で、下記のあて先までご応募を。締め切りは、1月10日（木）の消印有効だ。

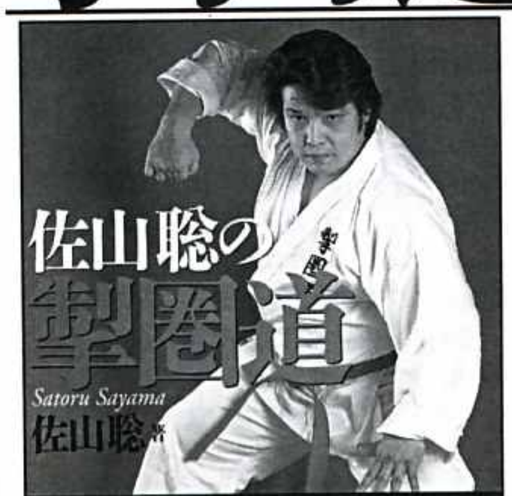
あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　SRS・DX編集部
「Tシャツプレゼント」係

IVY BOOKs
長谷川秀樹マネージャー

「長谷川です！　年末年始ッスか？　もちろん休まず営業します。先日、福岡に新店舗がオープンしたので、こちらもよろしくぅ！」

IVY BOOKs
愛知県春日井市田楽町南植田993-3
☎0568-31-0727
HPアドレス http://www.mmjp.or.jp/IVY/
営業時間/10:00～23:00（年中無休）
※電話&ネットにて通信販売も行っています

バーリ・トゥードを超えた
新世紀格闘技バイブル
佐山聡の
佐山聡 著
挌圏道
A5判 192頁
定価1,500円+税



ロシアンフック炸裂!
バーリ・トゥードを超えた
新世紀格闘技バイブル!!
ぴいぷる社 定価1500円+税

初代タイガーマスクにして修斗の創始者・佐山聡が、世紀末一九九九年に創始した挌圏道。市街地型実戦武道と銘打ったこの新格闘技の秘伝を自ら伝授！

絶賛発売中!!

特集!!
極意体の真実
達人の身体操作は武器術で作られていた
エスクリマとブルース・リー
カリの技法と身体操作
中村頼永
空手と武器術
大山泰彦
琉球古武道の武器術
漢那安教
合気道に生きる剣の理合い
安藤毎夫
柳生心眼流の万刀法
島津兼治

盧山初雄の達人空手
江口美幸の毎日がカラテDAY
鉄人倉本成春の超人追求の空手
マッキーに訊け! 真樹日佐夫
武道教育学入門　富樫宜資

やる側のための総合格闘技誌
格闘Kマガジン
山田英司 責任編集
2 FEB. No.41
絶賛発売中!!
●定価790円(税込)

ぴいぷる社 〒108-0023 東京都港区芝浦2-14-5 ユニベル田町ビル5F URL http://www.people-group.co.jp
TEL.03-5232-6661 FAX.03-5232-6660 E-MAIL book-sales@people-group.co.jp

Et cetra

タイで小次郎がWMCウェルター級王座獲得！

11月30日、タイ・サムロンスタジアムにて行われたタイトルマッチで、小次郎（ウィラサクレックジム）がローマート（HTジム）を1Rローキックによる KOで破り、WMCウェルター級チャンピオンとなった。また、同興行には他2名の日本人選手が出場したが、ソムチャーイ高津（小国ジム）は判定勝ちを収めたものの、木浪利幸（小国ジム）は判定負けに終わった。なお、12月16日（日）にタイ・ラジャダムナンスタジアムにおいて行われた大会に獅子丸修平（小国ジム）が出場。ラウンリットを1Rローキックの連打からパンチによるKOで下し、勝利を収めた。

▶WMCウェルター級のベルトを腰に巻き、勝ち名乗りを上げる小次郎

ターザン山本、トークライブ開催！

格闘技プロレス図書館「闘道館」にて、ターザン山本氏によるトークライブ第4弾「2002年完全予測！」の開催が決定したぞ。各団体の急所（問題点）をズバリ指摘し、「俺が団体のトップならこうしますよォォ！」とターザン独自の指針を打ち出す。このトークを聞いて、2002年の格闘技＆プロレス界の展望を占おう！

◆日時/1月6日（日）18:30～（90分一本勝負）
◆場所/東京都千代田区三崎町2-9-9ナカヤビル5F　闘道館内（JR総武線「水道橋」駅から徒歩3分）
◆料金/前売り1,500円（当日2,000円）※ワンドリンク付き
◆お問い合わせ/闘道館　☎03-3512-2080、HPアドレス http://toudoukan.hoops.livedoor.com/

ストライプル新道場オープン！

平直行が代表を務めるストライプルがゴールドジムイースト東京内で、2002年1月より新道場をオープンする。練習は毎週木曜の夜に加え日曜の昼からも行うので、平日時間が取れない人にとってまさに朗報だ。ガンガン通いつめて、ドンドン強くなろう！

◆日時/毎週木曜19:30～21:00、毎週日曜14:00～15:30
※2002年1月10日（木）より開始
◆場所/ゴールドジムイースト東京（江東区南砂3-3-6　地下鉄東西線「南砂町」駅西口から徒歩2分）
◆入会金/15,000円（※1月中は10,000円）
◆月会費/8,000円
◆お問い合わせ/柔術総合格闘技ストライプル
☎047-467-5765

エンセン井上が総合格闘技セミナー開催！

“大和魂”エンセン井上が、東京・フィットネスショップ水道橋で初心者を対象とした総合格闘技セミナーを開催するぞ！　時間は13時から17時までの4時間なので“大和魂”をたっぷりと伝授してもらえるチャンス。人数に制限があるので、希望者はお早めに！

◆日時/1月13日（日）13:00～17:00
◆場所/フィットネスショップ水道橋 4F格闘技スタジオ（JR総武線「水道橋」駅西口より徒歩1分）
◆参加費/5,250円
◆人数/限定30名（人数が集まり次第締切）
◆申し込み方法/店頭にて参加費とともに申し込み
※電話予約も可（予約後、店頭・書留にて入金）
◆お問い合わせ/フィットネスショップ水道橋
☎03-3265-4646

闘魂道場で大みそかに108回“ダーッ！”開催

プロレスファンの憩いの場所としてオープンしたプロレス居酒屋＆Dar「闘魂道場」では、12月31日（月）に「INOKI BOM-BA-YE2001」のチケットが買えなかった人のために『埼玉の猪木さんに届け！　大みそか108回“ダーッ！”』を開催することになったぞ。当日は、猪木軍vsK-1軍について熱く語り合った後、23時45分より参加者全員で108回の“ダーッ！”を決行。チケットを買いそびれ会場へ行けない人は、闘魂道場に集合だ！

◆日時/12月31日（月）21:00～終了未定
◆場所/プロレス居酒屋＆Dar「闘魂道場」（京浜急行「弘明寺」駅から徒歩10分）
◆料金/3,500円（フリードリンク、年越し豆腐パン付き）
◆お問い合わせ/闘魂道場　☎045-713-9674

拳之会新ジム完成！

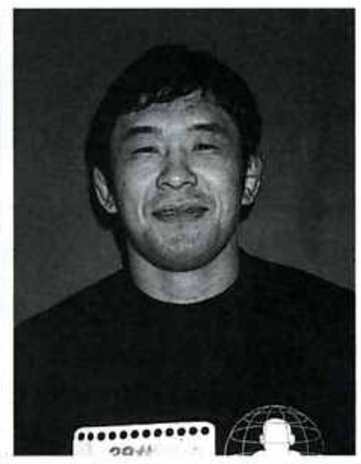
岡山県にある拳之会の新ジムが11月5日にオープン。ジムの完成を記念して、11月25日（日）に落成式が行われた。当日は、ミット蹴り、グローブ空手マッチ、キックボクシングなどの試合が行われ、MAフライ級チャンピオン森岡卓司（武勇会）vsNJKFフェザー級6位藤原国崇（拳之会）のエキシビジョンマッチ（3分3R）も実現。150名の観客が詰めかけ、大盛況の中、幕を閉じた。なおジム入会希望の方は、拳之会事務局（☎086-426-5560）まで。

▲初回から激しく打ち合う森岡と藤原。本番さながらの緊迫した試合を展開した

インターネット上で 髙田vs桜庭の道場マッチ放送！

2002年1月2日（水）、インターネット上で髙田延彦vs桜庭和志の3R道場マッチが放送されるぞ（時間約60分）。　インターネット上（http://www.e-goraku.tv）で電子チケットを購入すると、後日、番組視聴専用CD-ROMとIDパスワードが配送され、それによって番組の視聴が可能となる。なお電子チケットは、12月31日（月）『INOKI-BOM-BA-YE2001』の会場でも発売される。詳細については、iTV2002プロジェクト・格闘編事務局まで問い合わせを。

◆放送日時/2002年1月2日14:00～、17:00～、20:00～
◆電子チケット料金/A…5,000円（限定長袖Tシャツ付き）、B…10,000円（限定フリース十写真集付き）、C…30,000円（限定リバーシブル・ジャケット十写真集付き）
◆お問い合わせ/iTVプロジェクト・格闘編事務局
☎0120-832077



▲2人の道場マッチだけでなく、11・3『プライド17』の試合前と試合後の2人の未公開映像もあるぞ！

J-NETWORK三軒茶屋ジムで グラウンド・クラス開始！

キックボクシング・ジムを都内に多数抱えるJ-NETWORKでは、池袋ジムで盛況を得ているグラウンド・クラスを、三軒茶屋ジムでも開始することになった。インストラクターは池袋ジム同様、カーロス・グレイシーJrの弟子・植野雄が務めるぞ。毎回、体格に合わせて2人1組になり、関節技、絞め技の受け返しをし、最後にスパーリングを行う。これを期に、立ち技と寝技の両方を極めてしまおう！

◆日時/毎週木曜21:00～22:00
◆場所/J-NETWORK三軒茶屋ジム（東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F）
◆会費（講習1回につき）/J-NET会員500円　一般2,000円
◆講師/植野雄（ワイルド・フェニックス）
◆お問い合わせ/J-NETWORK　☎03-3419-0536

出場選手募集！

【イサミ杯柔術アブソリュートトーナメント】

◆日時/2月3日（日）10:00～
◆試合会場/台東リバーサイド（地下鉄銀座線、都営浅草線、東武伊勢崎線「浅草」駅から徒歩10分）
◆試合形式/無差別によるトーナメント形式
◆出場料/一般5,500円、日本BJJ連盟加盟団体選手及び女子4,500円（参加者全員に、大会記念Tシャツ付き）
◆出場資格/18歳以上の心身共に健康な男女
◆申し込み方法/電話にて要項を取り寄せ、現金書留にて下記の宛先まで1月29日（火）必着で申し込み
千葉県松戸市根本63秋谷ビル1F　パレストラ松戸
◆お問い合わせ/イサミ実行委員会　☎047-369-5663

格闘技オフィシャルホームページ

K-1　http://www.k-1.co.jp/
UFO　http://www.ufojp.co.jp/
極真会館（松井派）　http://www.kyokushin.co.jp/
リングス　http://www.rings.co.jp/
アントニオ猪木　http://www.inokiism.com/
大道塾　http://www.daidojuku.com/
パンクラス　http://www.so-net.ne.jp/pancrase/
UFC　http://www.ufc.tv/index1.asp
格闘探偵団バトラーツ　http://www.ops.dti.ne.jp/~batbat/
シュートボクシング　http://www.shootboxing.org/
日本武道伝骨法會　http://www9.big.or.jp/~koppo/
修斗　http://www.alles.or.jp/~shooto/index.html
新日本キックボクシング協会　http://www1.neweb.ne.jp/wa/kick/
全日本キックボクシング連盟　http://www.aj-kick.co.jp/
J-NETWORK　http://www.kickboxing.co.jp/
PRIDE　http://www.so-net.ne.jp/pride/
髙田道場　http://www.takada-dojo.com/
http://www.takada-dojo.com/i/（iモード用）
撃墨道　http://www.seiken-do.com/
全日本新空手道連盟　http://www.shinkarate.net/
怪獣王国　http://www.monsterkingdom.com/

宇月田麻裕の 北斗占い

Mahiro Utsukita

12/28〜1/9

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の１つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の１つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。
この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。
絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が現れる。

ホクトホンミョウジョウ 北斗本命星早見表

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンコク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです。
武曲（ブコク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

貪狼星

全体運

好調な運気に突入。年末年始はお休みだぁ〜、なんてのんびりしていないで、アクティブに行動するが勝ち。年越しイベントやパーティなどの大掛かりなイベントに参加してみよう。人生のカギを握るような出来事が起こるかも。

恋愛運

カップルは恋人と一緒に、年末年始のイベントを存分に楽しめそう。フリーは、カウントダウンや新年会で気になる人と出会える機会が。カップリングは？

勝負運 ときには休息することが勝ちにつながるハズ。

健康運 首筋に緊張感が走るとき。きちんとストレッチを。

金運 お年玉やバイト代など臨時収入がある予感。

★ラッキーカラー★ ゴールド
★ラッキーアイテム★ 時計
★ラッキースポット★ パーティ会場

巨門星

全体運

凶兆星が現れます。年末はバタバタと過ぎ、新年になってようやく一段落。アクティブなときではないけど「一年の計は元旦にあり」なので、お正月に年間プランニングをするとグッド。親孝行が窮地から抜け出すきっかけになりそう。

恋愛運

一年の節目ということもあり、結婚を意識することも。だけど、不安や問題が心をよぎり、なかなか踏み出せない暗示も。フリーは様子を見て。

勝負運 グリコーゲンローリングの食事法が効果てき面。

健康運 ゆったりとお風呂に入って疲労回復させて。

金運 拾い物を警察に届けたら、ラッキーあり。

★ラッキーカラー★ コバルトブルー
★ラッキーアイテム★ アニマルグッズ
★ラッキースポット★ 自宅

禄存星

全体運

吉兆星が輝いています。あなたの体の中でパワーがみなぎって来るとき。お正月休みだからとのんびりしていられないって感じ！ スポーツジムがお休みなら、新年の風を感じながらジョギングをしたり、自宅の筋トレなどしてみて。

恋愛運

二人で過ごしてもOKだけど、気の合う仲間たちとカウントダウンや新年会でワイワイしたほうが、ラブラブになれるかも。フリーはイベントに参加して。

勝負運 年下の武曲のアドバイスを聞くとグッド。

健康運 暴飲暴食に気を付けたら健康キープ。

金運 普段行かないスポットに行くとラッキーあり。

★ラッキーカラー★ オレンジ
★ラッキーアイテム★ トレーニンググッズ
★ラッキースポット★ 夜景のきれいなスポット

文曲星

全体運

新春を迎えるに当たり、心機一転、今までのあなたを覆すようなイメチェンをするとグッド。ファッションや異性に関心が高まるときなので、女性好みのあなたに変身〜。周囲をビックリさせるくらいセンスアップしたあなたになって。

恋愛運

恋愛運がアップし、年末年始は楽しいときを過ごせそう。ただし、カップルは複雑な関係ができやすいので要注意。複数恋愛や不倫に走る傾向あり。

勝負運 東の方角に向かっていくと勝運アップ。

健康運 お正月の食べ過ぎでウェイトオーバー。

金運 お正月休みにラッキーな収入の暗示。

★ラッキーカラー★ ブラック
★ラッキーアイテム★ MDプレーヤー
★ラッキースポット★ ファッションアーケード

廉貞星

全体運

新たなチャレンジをしていくとき。新春ということで、まずは目標を決めて。新年の幕開けとともに、新しいスキルを身に付けたり、色々と決行していこう。そんな一年の始まりが、あなたに幸せな風を吹き込んでくれること間違いなし。

恋愛運

新年ということもあり、二人の間に微妙なハートの動きが。結婚や同棲を考えるカップルもいそう。フリーは、友達の紹介から恋が芽生える予感が。

勝負運 ハードな映画を見て気をアップさせるとOK。

健康運 バランスの良い食事を研究するとグッド。

金運 初詣などの人混みでのスリに要注意。

★ラッキーカラー★ モスグリーン
★ラッキーアイテム★ 雑誌
★ラッキースポット★ コンビニ

武曲星

全体運

この年末年始は、できるだけ行動範囲を広げて、できるだけ多くの人に会うとグッド。行動次第で2002年を左右するようなことになる可能性が。この時期に出会った人とは、親睦を深めていくと、将来きっと何かが起こるハズ。

恋愛運

フリーはカウントダウンや新年会で、ターゲットにさりげなく接近してみて。カップリングできる可能性が。カップルは、恋人の部屋がラブラブスペースに。

勝負運 神社にお参りに行くと勝運がアップ。

健康運 メールやネットのやり過ぎで眼精疲労に。

金運 株や貯蓄の研究をしているとグッド。

★ラッキーカラー★ ワインレッド
★ラッキーアイテム★ アルコール
★ラッキースポット★ 神社

破軍星

全体運

年末には一年の総決算をして、大掃除や色々なものをキチンと整理しよう。失くしたと思っていたものが出てきたり、大切なものが発見できるハズ。また、2002年をアクティブに生きていくためのヒントも転がっていそう。

恋愛運

カップルは安定期。フリーは、仲間と初日の出を観に行ったり、ムーディなイベントを決行してみては？ 雰囲気に酔った者同士で盛り上がる可能性が。

勝負運 良くシミュレーションをすることで勝機あり。

健康運 大掃除の最中に指をケガしそう。要注意。

金運 親戚回りをするとラッキーが転がっていそう。

★ラッキーカラー★ シルバー
★ラッキーアイテム★ フィギュア
★ラッキースポット★ 日の出スポット

宇月田麻裕プロフィール
ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「北斗占い」を中心に、タロットをはじめ西洋、東洋の占いをオールマイティに使う。TBS「ワンダフル」出演をはじめ、雑誌、映像などで活躍中。URL http://www.happiness-f.com/

し前の話になるが、柔道の吉田秀
た世界選手権は、残念ながらテレビでの
イ王者まで、いとも簡単に、まるでお手
負傷による負けを宣告されてしまった。

Burning JAPAN

詳しくは当社ホームページへ http://www.kakutoo.com

取扱カード/デビットカード、郵貯カード、JCBVISA Master、Orico、メソン、OMC、KYODO、KCMYCAL ご注文時にお申し出下さい。

最強サイボーグ!

首が曲がる為、実戦に近い練習が行えますので、確実にレベルアップできます!!

POINT!

人気のダミーバッグが未来型フォルムになって登場!

いまなら子バック付!!

■B438C 新型ダミーバッグ

定価¥48,000が なんと! ¥42,800

フルコンタクト空手衣

■BK-300(White)

身長(cm)	セット価格
120~	¥4,200
130~	
140~	
150~	¥4,600
160~	
165~	¥4,900
175~	
180~	¥5,500
185~	

BK-300(白)

特殊防縮 抗菌加工 綿100% 上下セット帯付

BK-100(アイボリー) ¥3,500より

素材/綿100% 上衣/晒11号帆布(特殊防縮・抗菌加工) ズボン/晒蒸城・白帯付

●刺繍を承ります。 ●道場・サークル等の卸売も承ります。

色帯各種取り揃えております。

テコンドー衣

■BT-N300B(KUROERI)

TAEKWONDO W.T.F マーク ワッペン付

身長(cm)	セット価格
120~	¥3,900
130~	¥3,900
140~	¥4,500
150~	¥4,500
160~	¥5,100
170~	¥5,100
180~	¥5,900
190~	¥5,900

BT-N300B(黒衿)

BT-300B(黒衿) ¥3,200より

※帯は別売です。 ※帯も取扱っています。

パンチングボールスタンド

130cm ▶ 170cm 高さ調節可

■BS 2000 パンチングボールスタンド 素材/PVC

BURNING PRICE ¥8,800

ハードパンチャー向

■BS 3000 パンチングボールスタンド 素材/本革 定価17,200円を

BURNING PRICE ¥15,500

柔道着

学校正課用

■BJ-200/BJ-100

残りわずか! BJ-100(アイボリー) ¥3,100より

綿100% 上下セット帯付

低価格! 工場直販、コスト削減で低価格を実現!!

高品質! アディダス社の柔道衣・空手衣の指定工場としての実績とすぐれた品質管理のもと、学校正課用・道場練習用として開発した柔道着です。

身長(cm)	セット価格 BJ-200
120~	¥3,500
130~	¥3,800
140~	¥4,000
150~	¥4,400
160~	¥4,800
170~	¥5,200
180~	¥5,700

数量限定アイテム

VOLUME LIMITED ITEM

残りわずか! オーダーはお早めに!

THE WORLD TAEKWONDO FEDERATION IDM TAEKWONDO

■BHG400 ヘッドガード サイズ/S・M・L カラー/黒・赤 ¥5,800

■B603 マルチタイプヘッドガード カラー/白 ¥9,800

■B257 インステップレッグガード サイズ/M・L カラー/黒・赤 ¥3,800

■BP-L100 レッグプロテクター サイズ/M・L カラー/黒・赤 ¥2,300

■IDM501 DIPレッグガード サイズ/S・M・L ¥3,400

■IDM402 PUアームガード サイズ/S・M・L ¥3,200

■BHG200 パーフェクトガード カラー/白 ¥11,800

■IDM201 ヘッドガード サイズ/S・M・L ¥4,800

■IDM301 リバーシブル ボディプロテクター サイズ/XS・S・M・L ¥5,800

■IDM302 チャンピオン ボディプロテクター サイズ/XS・S・M・L ¥8,800

■IDM401 DIPアームガード サイズ/S・M・L ¥3,400

■IDM601 ファールカップ サイズ/M・L ¥3,200

■IDM501 DIPレッグガード サイズ/S・M・L ¥3,400

■IDM701 テコンドーシューズ サイズ/24cm~28cm ¥6,200

■BX100 メッシュタイプボクシングシューズ サイズ/24cm~28cm カラー/黒・白 ¥6,900

■BX200 本革製ボクシングシューズ サイズ/24cm~28cm カラー/黒・白 ¥8,800

■BX300 ショートタイストレーニングシューズ サイズ/24cm~28cm ¥5,800

■BX400 ショートタイプリングシューズ サイズ/24cm~28cm ¥7,200

■B442 ビッグミット サイズ/86X79X13cm 定価6,800円が ¥5,800

■B443 ビッグミット サイズ/66X36X10cm 定価5,800円が ¥3,800

■KM200 キックミット 素材/レザー ¥5,800

■PM100 パンチングミット (片手) ¥2,000

■PM200 パンチングミット (左右一組) ¥5,800

■B465P ターゲットミット (シングル) ¥2,400

■B464P ターゲットミット (ダブル) ¥2,900

■B671 新型ターゲットミット (PU一体型) ¥3,500

■B155 パーフェクトレッグガード サイズ/M・L カラー/黒・赤 ¥5,200

■BP-B100 アンクルブーツ サイズ/M・L カラー/黒・赤 ¥2,800

■B445 チョップボード (キャンバス) ¥2,000

■B448 チョップボード (PVC) ¥2,200

■B140 ボディプロテクター (チャンピオン型) ¥7,800

■B23UR DIPボディプロテクター ¥6,000

■B352 サポーターレッグガード サイズ/S・M・L 素材/コットン ¥1,800

■B354 ニーサポーター サイズ/S・M・L 素材/コットン BURNING PRICE 定価1,500円が ¥1,000

■C413 木刀 ¥2,800

ヘッドバンド ¥780

ブルース・リーワッペン ¥750

超レア! ブルース・リーポスター 1枚 ¥980 7枚セット ¥5,800

■B116 プロタイプパンチンググローブ サイズ/M・L カラー/黒・赤 ¥4,800

■B119 指出しパンチンググローブ サイズ/M・L カラー/黒・赤 ¥2,800

■BP-G100 DIPパンチンググローブ サイズ/M・L カラー/黒 ¥2,800

■B312 ナックルサポーター サイズ/S・M・L 素材/コットン ¥1,200

■B317 アームガード付ナックルサポーター サイズ/S・M・L 素材/コットン ¥1,800

■G212 LEATHER トレーニンググローブ BURNING PRICE 定価2,500円が ¥1,800

■G411 重量/5ポンド ウエイトリストアンクル BURNING PRICE 定価1,000円が (1コ) ¥900

■G412 重量/10ポンド ウエイトリストアンクル BURNING PRICE 定価1,200円が (1コ) ¥1,100

■G112 PVCレッグストレッチャー ¥2,800

■G519 フォアアームマスター (1コ) ¥3,200

■G313 レッグストロング (1コ) ¥5,500

■B301A マウスピース (シングル) ¥1,000

■B302A マウスピース (ダブル) ¥1,200

世界テコンドー連盟公式用品 日本総代理店

Burning JAPAN

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-8-1 西田ビル6F

http://www.kakutoo.com

センター直通 Order Hotline!

077-851-7316

TEL.03-3222-3605

FAX.077-851-7479

■表示価格には消費税が含まれておりません。■返品・交換は未開封に限り、着後7日以内にご返送下さい。(送料はお客様負担になります。)■予告なく色、形状が変更する場合もございます。

代金 代金は商品到着時、配達人にお渡し下さい。その際、送料、代引手数料が加算されています。

分割 合計¥30,000よりご利用できます。 詳しくは、お問い合せ下さい。

質問・その他お問い合わせはこちらまで

〒916-0021 鯖江市三六町1-14-7

■カタログ請求、交換・返品も上記住所まで。

■代理店システムもございます。

★受付/AM9:00~PM8:00 FAX24時間受付★

一般本コラム

連載 第61回

柔道界のカリスマ吉田秀彦が引退。この際、『プライド』に出てみませんか？

少し前の話になるが、柔道の吉田秀彦が現役を引退した。新聞やテレビでも結構扱われていたので目に止まった人も多いと思うが、11月25日に行われた講道館杯という大会を最後に、選手としての一線から退いたのだ。

ボクが駆け出しの柔道記者だった頃、大学生だった吉田。あの頃から吉田の強さはケタはずれだった。1992年のバルセロナオリンピックでは、22歳の若さで金メダルを獲得。現地入りしてからの稽古中、一緒に乱取りをしていた高校の先輩・古賀稔彦が歩くこともできないほどの大ケガを負い、さらに、優勝確実と言われた大学の先輩・小川直也をはじめとする他の階級の選手が次々に敗れるという、最悪の精神状態の中、全試合一本勝ちという快挙で勝ち取った金メダル。今でも思い出すと目頭が熱くなるほど、あの時の感動は、深くボクの胸に刻み込まれている。

その後の吉田は、決して順風満帆とはいかなかった。過度の減量により体調を崩したり、ケガをしたり。柔道のビッグイベントとしては、4年に一度のオリンピックと2年に一度の世界選手権があるのだが、22歳で五輪を制してから、世界選手権で金メダルを取るのに、実に8年を要している。世間一般的にはオリンピックのほうがメジャーだが、柔道界では、世界選手権を取ってこそ一流の証というようなところがあり、吉田も苦労に苦労を重ね、30歳の声を聞いてからようやく悲願を達成した。バーミンガムで行われた世界選手権は、残念ながらテレビでの観戦だったが、この時の感動も忘れることはできない。

さて、吉田の現役最後となった講道館杯。1週間ほど前のスポーツ紙で、吉田の引退試合になることを知ったボクは、すぐに吉田に電話をした。

「いやぁ、もう身体が動きませんから。国際的な舞台は若いヤツらに譲りますよ。今週、久しぶりにちゃんと練習したら、そこら中痛くて。ハッハハハハハハハ」と豪快に笑っていた。

昨年のシドニー五輪で、吉田がヒジを脱臼して壮絶な負け方をしたのを覚えているだろうか。ヒジが逆を向いたショッキングな映像は、こんなのテレビで流して大丈夫なの？　と思うほどスゴかった。日本に帰ってきてから一度は手術を決意したようだったが、結局、手術はせず。病院にもほとんどいかずに自然治癒してしまった。新日鐵の社員でありながら、明治大の監督もする超多忙な毎日で、ゆっくり治療している時間がなかったというのが、ほったらかし（自然治癒）の一番の理由のようだが、ともかくあれから1年あまりで、試合ができる身体に戻してしまったのだから驚くばかりだ。しかし、当然全盛時のようなパワー、スタミナがあるわけはない。試合に出てもどこまで勝ち上がれることか？　恐らくほとんどの人がそう思っていただろう。

ところが、吉田はやっぱり強かった。初戦から3試合連続で一本勝ち。若手ではダントツの強さと言われるインターハイ王者まで、いとも簡単に、まるでお手本のようにキレイな内股で一蹴。吉田の最後となるかもしれない試合を、固唾を呑んで見守る観客たちは、口々に「まだ十分現役でやっていけるよ」と、その強さに舌を巻いていた。たまたま一緒に観戦していた大山峻護も、吉田の衰えぬ技のキレにただただ驚くばかりだった。

明治の学生が試合に出てくると、監督としてアドバイスや檄を飛ばす。試合のインターバルには、記者席で馴染みの記者と談笑するほどのリラックスぶり。「こんなところで話してて大丈夫？」と逆に記者たちに心配されるほどだ。

準決勝の、小斉武志に判定で辛勝し、吉田はついに決勝まで勝ち進んでしまった。書き忘れていたが、吉田は昨年までの90キロ級。今大会には階級を上げてのエントリー。新しい階級での上位進出ひとつとっても楽なことじゃない。

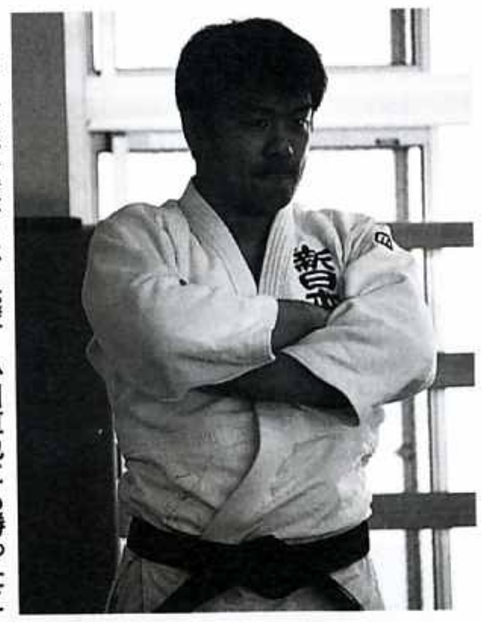
決勝の相手・鈴木桂治は、100キロ級で講道館杯3連覇中の若き実力者。井上康生がいなければ、日本代表として世界の舞台に立っていてもおかしくない選手だ。決勝前、吉田に「さすがだねぇ」と声を掛けると、「身体がミシミシ言ってますよ」と苦笑いした。冗談のようにも聞こえたが、恐らく本音だったのだろう。試合が始まってまもなく、絶妙なタイミングで技を仕掛けた吉田が、逆に「痛てっ」と大声を上げて畳みに突っ伏した。肉離れ。柔道の試合では、途中で治療を受けることはできない。なんとか試合を続けた吉田だったが、結局、試合途中で負傷による負けを宣告されてしまった。

ケガしてからも、痛い足を引きずりながら必死に技を掛ける姿、そして、激痛のあまり畳の上で何度も四つん這いになって耐える姿、決してカッコイイとは言い難い姿ではあったが、最後の最後まで勝負を諦めない執念には、正直、心動かされるものがあった。ホントに最後までドラマティックな男だ。

吉田の柔道のファンは多い。自分より大きい相手にも、真っ向、力と力の勝負を挑み、キレ味鋭い内股や大外刈りで一本を取る。そのスタイルが人気の理由だ。当然、柔道を志すものにとっては、憧れの的。見るだけのファンにとっても、カッコイイことこの上ないのが吉田だった。

この原稿を書いている最中に、当の吉田から電話があった。「ちょっと遅くなっちゃったんだけどさぁ、吉田君の引退コラム書いてんだ」と話すと、「ええっ、そうなんですか？　3月に全日本選手権の予選に出ようかなぁって思ってたんですけど（笑）」。「……あれ？　引退じゃなかったっけ？」。「まあ、一応そうなんですけど、全日本にはちょっと出てみようかなぁと思って……」。

全日本で若き王者・井上康生との対戦も見たいけど、この際、『プライド』にも出てみませんか？　吉田君！　（林）



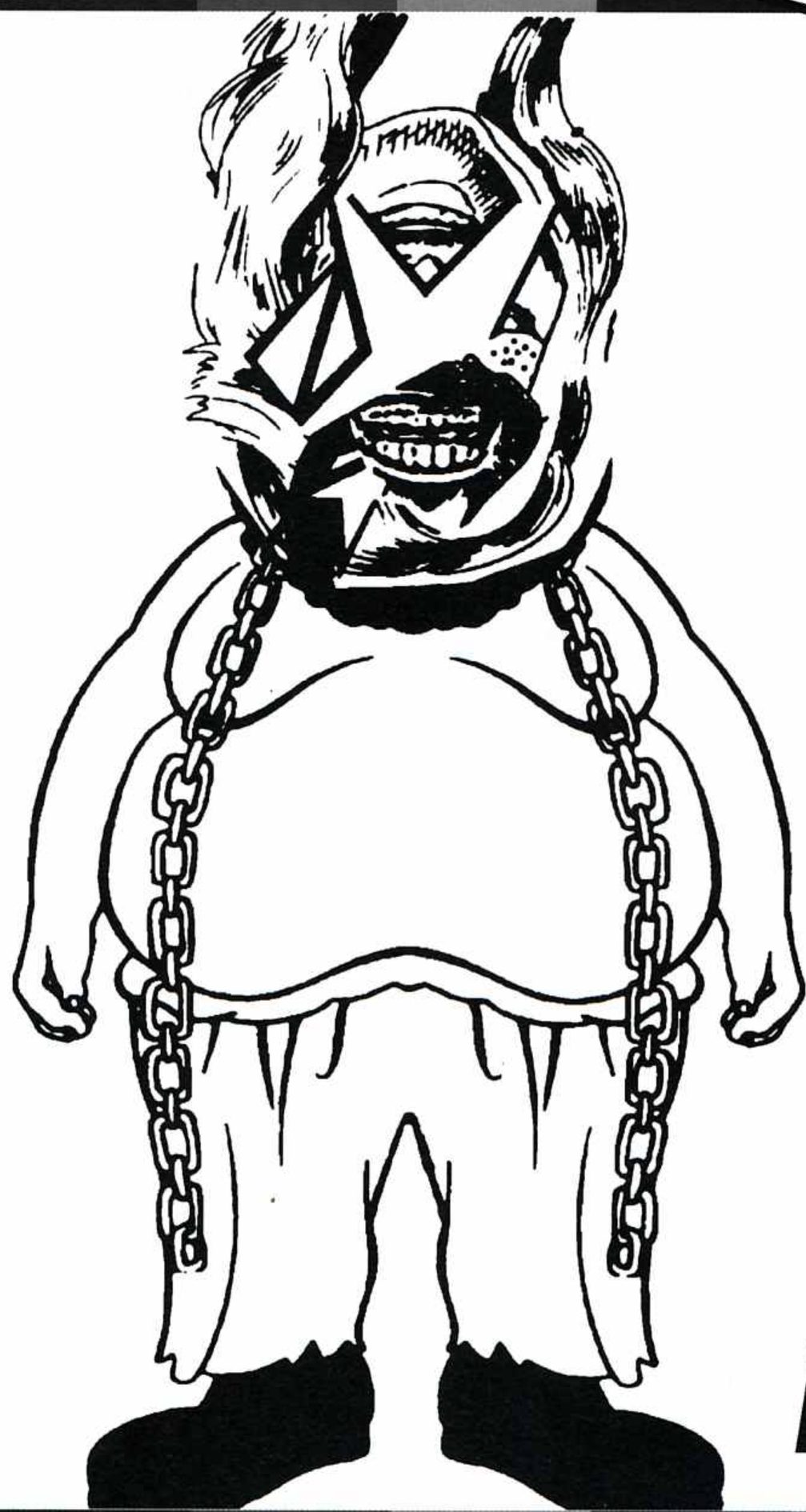
▶全日本選手権では、先輩・小川直也にも勝ったことのある吉田。『プライド』に出てきてほしい！

ABNORMAL★MOGUTAN

あぶもぐ

十三日目

親方◎小松モグタン



pride

COPYRIGHT©TOMOO GOKITA

「小松の野郎、年越せねぇようにしてやる」なんて、書き込みをしてくれた皆さん！　なんとか年を越せるように努力しております。今は年を越すこと以外のことに興味はございません（永田調）。ということで、皆さんも無事に年を越してください。それでは、来年こそ藤波社長の3冠ベルト奪取と巴戦が実現するように祈りつつ、皆さんも良いお年を！

犬猿の仲（橋本＆小川）の2人がどうして合体して闘っているのか？　本当のことは本人しか知らないが、茶番だ!!

K―1ワールドGPは、本当の意味で楽しかった！　マーク・ハントという、新しいタイプの選手が出てきたので!!　その反面で気になったのが、アクシデントやケガなどが、多く見られた。ホースト、アーツ、フィリョ、ケガというハンディに涙を飲んだ。ただ、強いだけではダメなのか？　運も味方にして闘え！　次はK―1VS猪木軍。どんなカードが組まれるか、今から楽しみだが、各選手、精神面、体力面、そして神に祈りを捧げろ！　一番大切なのはケガをしない体を作れ！　技だけでは勝てないぞ!!

（右手祐太・大阪府羽曳野市・19歳）

◇あんなステキな合体技を見せてくれたら、文句ナシ！　神に祈りを捧げるより、タロ芋食え、タロ芋！

P114はせキョーDVD発売のページの写真が良かった。P96「発覚クイック・キック・リーの……」の被写体が悪かった……。

（江口達三・兵庫県川西市・43歳）

◇いくらはせキョーがセクシーだからといって、サダハルンバ編集長もセクシー度では負けちゃいねぇんです。アキラ兄さんのデコピンをあれだけ受けて、男っぷりが一段と上がったじゃねぇか！　被写体が悪いなんて言ったら、年越せねぇようにされるぞ！

今までいろいろ言われてきたパンクラスだが、ここへ来て一団体として見た場合一番熱い！

（相原健志・宮城県角田市・29歳）

◇たしかに熱い！　今パンクラスを見てないヤツは年越せねぇよ！　ついでに、パンクラス掲示板で叩かれていた本誌・橋本記者（パンクラス担当）は、ようやく年越せるようになったそうです。

『「猪木軍VSK―1」はこうすれば面白くなる！』の堀辺正史師範の提言が面白かった。「K―1VS猪木軍」をどういうふうに見ればいいのか分からなかったから、この企画は凄くためになった。中でも、「K―1戦士が総合格闘技界全体で強さを発揮する時代が来る」という話は説得力があったし、K―1側に対して期待感が持てるようになったので良かった。それから、K―1軍にとってはノールール用の打撃のイメージを持つことが課題、というところも分かりやすかった。

（佐藤史帆・福島県福島市・18歳）

◇堀辺先生のお言葉はいつも分かりやすい。堀辺先生の話を聞かないと、年越せねえぞ！

支持が低いのに全日本プロレスのニュースを取り上げるのはなぜ？　嫌みですか？

『猪木祭り』を正当に扱える貴誌が素晴らしい！　今年のK―1の盛り上げ方も良かったです！　『猪木祭り』に出場したレスラーは尊敬される！　得をする!!　K―1軍として出場したレスラーはそれ以上にセンスがある!!

（大竹竜次・兵庫県神戸市・25歳）

◇嫌みじゃねぇですよォォォ！　そんなこと言ったら、元子さんに年越せねぇようにされますよォォォ！　ところで、K―1軍として出場したレスラーは、なんでセンスがあるの？　モグラにも分かるように教えて！

バーリ・トゥードをやったら、強そうな女子アナって誰だと思いますか？　私はTBSの小倉弘子アナなんかイイと思います。タックルをガブった後、ヒザをガツガツ入れそうだし。

（八武崎貴広・東京都江戸川区・18歳）

◇小倉弘子アナだったら、ヒザ入れられても我慢するな。タックルもがぶられてみたいし、ンムフフフ。

（小川徹・埼玉県八潮市・16歳）

◇ノゲイラの足の毛とグローブの「フロムーエ」が素晴らしい！

（藤野隆央・福島県福島市・？歳）

◇ボブチャンチンって、こんなスケベな顔してたっけ？

掲示板コーナー

2001年 年間全格闘技ベストバウト

1. 21世紀最大のKO劇
   ジェロム・レ・バンナvsマイク・ベルナルド
2. バトルサイボーグ撃沈
   ジェロム・レ・バンナvsマーク・ハント
3. 桜庭和志が見た悪夢
   桜庭和志vsヴァンダレイ・シウバ（『プライド13』）
4. 藤田和之vs永田裕志
5. ピーター・アーツvsステファン・レコ

（投稿者/Mr）

---

1. 藤田vsミルコ
2. 桜庭vsシウバ（『プライド17』）
3. バンナvsベルナルド
4. ノゲイラvsコールマン
5. 桜庭vsシウバ（『プライド13』）

今の所こんな感じ。（投稿者/ 伝説のチャンピオン）

---

1. 小林聡vsテーバリット・シットクヴォンイム
2. ババヤン・ルドルフvsアレクセイ・コノネンコ
3. 菊田早苗vs美濃輪育久
4. 木山仁vsセルゲイ・オシポフ
5. 土井広之vsダニエル・ドーンソン

って感じですかね。
あと、デンジャー高山vs森山直樹 もよかったなぁ。僕が選ぶ今年のMVPは小林聡選手です。（投稿者/ はままち）

◇私の今年のベストバウトはドス・カラスJrvs謙吾。皆さんも、自分で選んだベストバウトたくさん送ってきてください。しかし、はままち氏はマニアックだなぁ〜。

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　強烈なぶちかましをお待ちしております。

あて先
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部
『あぶもぐ』係

仰天！本誌を嘘つき呼ばわり！

ハントの秘密

今年のK-1グランプリを制して今や注目の的となったマーク・ハント。彼はその強さはもちろんのこと、明るい性格・野人ぶりなどが興味の対象ともなっている主食はタロ芋云々・・・。だが、実はそれは全くの嘘だった！　ここからは、現地に住む人からの確かな情報です。「なに？　マークはタロ芋しか食べないって？　ノンノン。彼は肉が大好きさ。しかも飛びっきりのオージービーフがね。それにうちのジムで毎日ウェイトトレーニングしてるよ。確かに食べ過ぎでちょっと太ってはいるけど、彼の筋肉はとても凄いよ。うちのジムでもずば抜けているよ。まぁ、それは科学的に調べれば分かることでもあるよ。タロ芋であの筋肉は作れないからね。」（ちょっと脚色（オージービーフのあたり）しました、すいません……）とまぁ、こんなかんじです。話の内容からも分かるとおり、これはとあるジムの関係者の話です。ここでくれぐれも言っておきたいのは、私はマークが大好きだということです。マークに汚名を着せようと投稿している訳ではありません。私が言いたいのは、こんな嘘をでっち上げる報道のあり方についてです。何の為にこのような嘘を記事にするのか……。彼の強さが実は、天然のものではなくて、近代トレーニングによって培われてきたものでは都合が悪いのでしょうか。フィリョと同じく、選手に変な幻想を抱かせるのはやめましょう。私は、たまたまマーク・ハント選手と繋がりのある人が知り合いだったので分かったことですが、普通の人はだまされていると思うと腹が立ちます。私自身も当然他の選手に対する記事を信用できなくなりました。（元々以前から余り信用はしていませんが）これはこのサイトを運営してる出版社だけの問題ではなくて、もっとマクロ的な報道関連全般に対しての意見です（話の内容はタロ芋とかなり狭い分野ですが・・・）。もう一つ言いたいことがあります。彼は、きちんと努力をしてK-1王者になったことです。今の報道だと、天性のものだけで勝ったような見方をされてるようなので、気になりました。もちろん、元々の素質も十分に必要ですが。皆さん、これからもマーク・ハント選手を一緒に応援しましょう。また、マークが好きな人、ぜひ感想をお願いします。やっぱり、幻想がないと嫌ですか？

（投稿者/ 高倉）

◇これって、健さんからの投稿？　主食っていうのは、日本人でいうところの白米のことでしょう？　「主食はタロ芋」の記述で肉を食べていないなんて思っているのは、あなたの思いこみですよォォォ。こんなんで、嘘つき呼ばわりされたら、たまらんなぁ。

旗揚げ

1・11〝一撃〟の全容が固まってきた。この大会を見なきゃハッキリ言って損！

極真所属選手、多数プロ体験！中でも注目はプレカノフだっ

極真所属選手が多数出場するKネットワーク主催の1・11〝一撃〟の対戦カードがほぼ固まってきた。

メインイベントは極真の次回世界大会での活躍や、K—1ジャパンに新風を起こしそうなホープ野地竜太に、K—1ジャパンGP2連覇の武蔵が逆挑戦。今年のK—1ジャパンGPで極真のニコラス・ペタスに敗れた武蔵は、その復帰戦の相手として同じ極真の野地に他流試合を挑む。武蔵にとっては、K—1以外のリングで試合をするのはこれが初めてである。

その他のカードについては、極真VS日本人キックボクサーの対戦となった。まず鳥人ギャリー・オニールの日本初のグローブ戦には、新日本キック協会のウェルター級王者、松本哉朗が選ばれた。

新日本キック所属選手が他のリングで試合をすることは極めて異例のこと。しかも、松本は先の12・9新日本キックのラジャダムナン大会でムエタイのランカーにKO勝ちし、堂々のランキング入りを果たした強豪。オーストラリアではキックの経験もあるというギャリーだが、松本は対戦相手として、かなりの強敵だと言えるだろう。正直、ギャリーが危ない！

また、当初からKネットワークに名を連ねていた全日本キックからは中村高明が登場。対戦相手は極真の東ロシアからネステロフ・ヴィアチェスラブに決まった。極真というと、軽量級でも70キロ以下と、軽い階級の選手層はあまり厚くないが、人材の宝庫ロシア出身ということで期待が持てる。ネステロフは第17回極真・全日本ウェイト制大会にも出場した選手だ。

また、フランシスコ・フィリョやグラウベ・フェイトーザを輩出した王国ブラジルからは、マルコス・ダ・コスタとマウリシオ・ダ・シルバが参戦。マルコスは極真世界大会出場経験者で、Kネットワーク西日本の阿部重男と対戦。マウリシオは8・19K—1ジャパンのアンディ・メモリアルマッチで角田信朗と対戦した選手で、K—1ジャパンGPに出場した百瀬竜徳と闘う。

しかし、やっぱり今大会最大の注目は東ロシアのセルゲイ・プレカノフの参戦だ。プレカノフは、今年の極真・全世界ウェイト制大会で、アレクサンダー・ピチュクノフやセルゲイ・オシポフとともにロシアン旋風を巻き起こした選手。その潜在能力はフィリョ以上と期待され、2年後の極真世界大会では、ブラジル以上の脅威となりそうな存在だ。

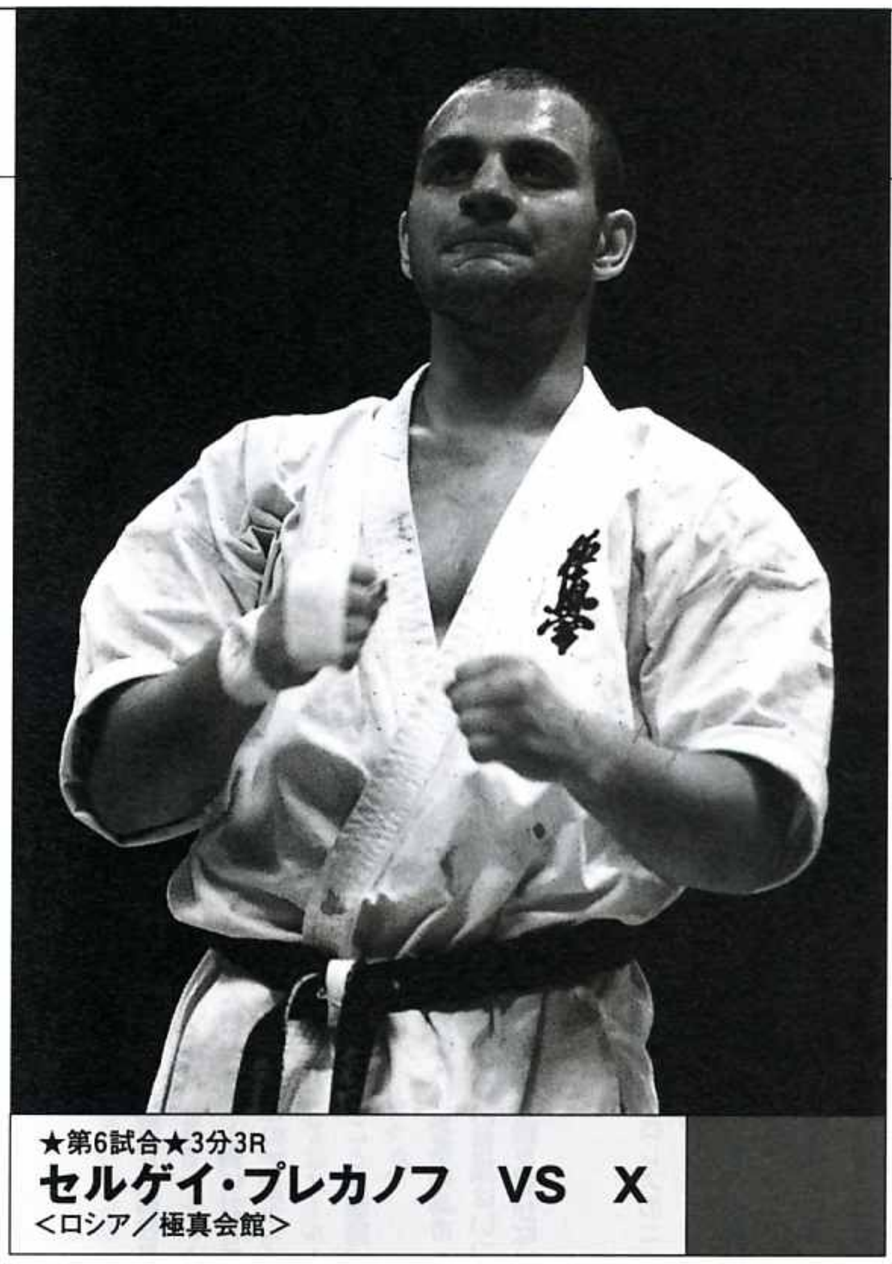
なんと言っても、プレカノフは全日本大会でもトップクラスである足立慎史を豪快な後ろ回し蹴りで失神KOし、あの不動の王者・数見肇をもさんざん苦しめた巨漢。その組手はまさにブレーキの壊れたダンプカーのような突進力で、日本人選手のド肝を抜いた。

このプレカノフの相手は今のところまだ決まっていないが、K—1ジャパンに出場している日本人選手になりそう。プレカノフがグローブをつけてK—1ジャパン戦士と闘うのは、いいリトマス試験紙になるし、場合によってはK—1に本格参戦してくる可能性もある。これは、本当に見逃せない試合になるだろう。

1・11〝一撃〟は、以上の6試合がK—1ルールに準じたキックルールで行われ、残り1試合はボクシング・ルールの試合が組まれるという。

もともと、〝一撃〟開催の意味は、プロとアマチュアの交流の場にある。今回の試合は、極真系の選手がグローブをつけて、K—1戦士やキックボクサーと対決するという図式となった。そして、いざ蓋を開けてみると、やはり極真は世界に多くの人材を抱えていることが明らかになった。その気になれば、K—1という舞台においても極真の選手が独占することは十分可能なのだ。

極真空手は世界大会を一つの頂点としたアマチュアの



★第6試合★3分3R
セルゲイ・プレカノフ　VS　X
<ロシア／極真会館>

★第7試合★3分5R
野地竜太　VS　武蔵
<極真会館>　<正道会館>

そこには、『プライド』も協　されているのもそのためだ。

鳥人ギャリーの相手・松本は、12月にムエタイのランキング入りした強豪！

一大組織。その方向性に変わりはないが、同時に大山倍達が目指してきた、最強を求める遺伝子は選手たちの中に根付いている。K―1や『プライド』のようなプロ格闘技が登場してきた今の時代では、他のルールで自分たちの腕を試そうとする者もたくさん出てきている状況だ。

そこで、松井館長の時代になって門戸開放し、K―1などのプロへの個人参戦を認めるようになった。組織もそんな志を持つ若者に有形無形のバックアップをしようという体制になっている。

しかし、正直言って今のK―1や『プライド』のようなイベントは年々レベルが上がっている。フィリョやニコラスのレベルならまだしも、いきなりルールの違う他流試合に挑んでいくのはあまりにも無謀だ。

そこで、今回の〝一撃〟のような大会に参加し、段階を踏んで頂点を目指そうとしているのである。そう考えると、〝一撃〟誕生は、自然の流れで生み落とされたと言ってもいいだろう。

もちろん、これにはK―1の石井館長も全面協力を表明。今回の武蔵のように、望まれれば選手を派遣するという。また、総合志向のある選手には、今後、総合の試合も〝一撃〟で組んでいく予定。

そこには、『プライド』も協力を表明している。もしかしたら、次回大会では、極真VS『プライド』の対決が実現するかも？

なお、〝一撃〟にはなんと日本テレビが付き、いきなり関東地区でテレビ放送されることになった。日テレの『超K―1宣言』で何度も放送されているのもそのためだ。

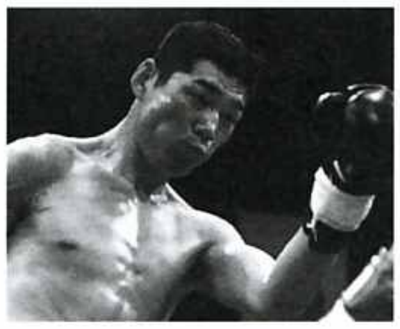
大会はK―1と比べて、武道色の強い演出をしていくという。なにせ、何から何まで初めての試み。このKネットワーク旗揚げ戦は、先物買いとして注目する必要がある。いったい〝一撃〟とは何か？会場にぜひ足を運んで、自分の目で確かめよ！ ■

第5試合☆3分3R

ギャリー・オニール
＜極真会館＞
VS
松本哉朗
＜新日本キック＞

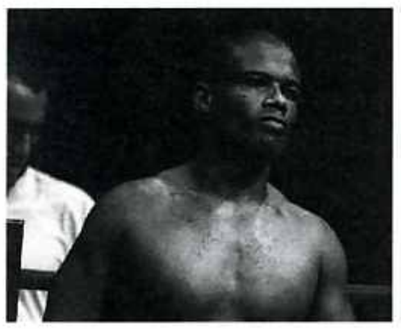
第3試合☆3分3R

ネステロフ・ヴィアチェスラブ
＜極真会館＞
VS
中村高明
＜全日本キック＞



第2試合☆3分3R

マルコス・ダ・コスタ
＜極真会館＞
VS
阿部重男
＜Kネットワーク西日本＞



第1試合☆3分3R

マウリシオ・ダ・シルバ
＜極真会館＞
VS
百瀬竜徳
＜至誠館＞

★第4試合☆3分5R・ボクシングマッチ
ジョージ・アリアス VS X

一方、1・27K―1静岡大会は……
えっ？ ホント？ まさか……
いきなりK―1王者ハントがシマウマ中迫と注目の対決？

一方、今年大きな話題を巻いたK―1は、1月27日、静岡に初上陸！ K―1ジャパンシリーズがグランシップ静岡大ホール「海」で開催される。日本人エースの武蔵が〝一撃〟に出場するため、今回の大会は欠場。そのためK―1ジャパンGP王者のニコラス・ペタスが日本の総大将として、世界の強豪と立ち向かう予定だったが、ニコラスも先のK―1ワールドGP決勝大会で、アレクセイ・イグナショフに鼻を折られて負傷。そのため、来年のジャパン・シリーズの一発目は、日本軍の大将格がいないまま、世界の強豪軍と立ち向かう緊急事態となった。しかも、マッチメイクに手を抜かない石井館長は、いきなりK―1王者となった最も旬な男マーク・ハントを投入。

そうなると、対戦相手として浮上してきたのが、K―1ジャパンのプリンスにして、そのユニークなキャラクターが光る男・中迫剛だ。果たして、ハントVS中迫というマニアにもウケそうなカードは実現するのか？ さらに、「日本VS世界5対5マッチ」として実現するK―1静岡大会には、マイク・ベルナルド、エベンゼール・フォンテス・ブラガ、グラウベ・フェイトーザ、モハメッド・アリら超豪華な選手がラインナップ。日本からはノブ・ハヤシ、富平辰文、タケル、グレート草津、藤本祐介らが出場候補となりそうだ。果たして、ハントVS中迫は実現するのか？ 日本は何勝することができるのか？ 1・27静岡大会のマッチメイクに注目だ！

中迫 剛
〈ZEBRA244〉

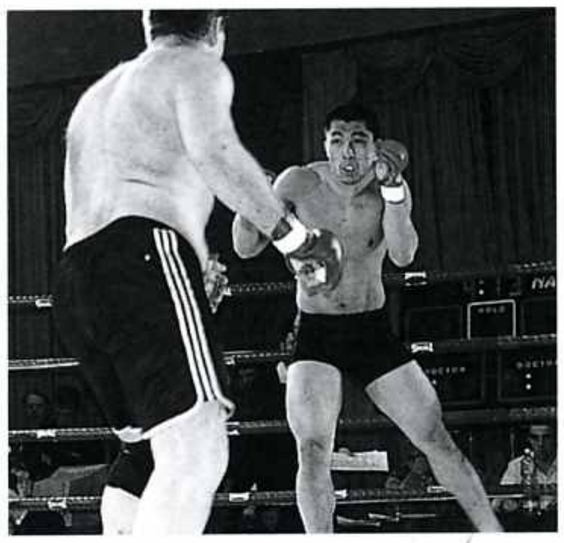
VS

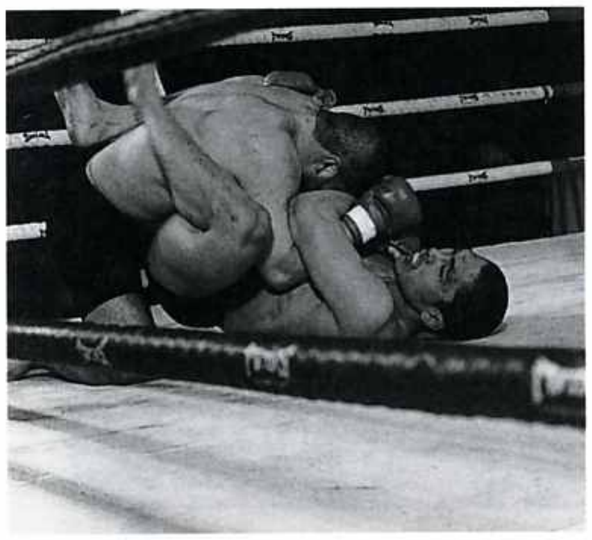
マーク・ハント
〈ニュージーランド〉

驚愕!! ロシアの賭けバーリトゥードに バトラーツ参戦!!

ReMix2001
12・15★ロシア・ヒュンダイホテル

冬眠中のバトラーツで、最初に朗報を聞かせてくれたのが、この大場貴弘！　ロシアのウラジオストックで開催された『ReMix2001』の8人参加トーナメントで準優勝した


▶1回戦の相手はサンボの古豪、ゴンチーアロフ・ウラジミール。なんと年齢は46歳！大場は、猪木・アリ状態（座っているのは大場のほう）からのキックで、この46歳の古豪の鼻骨をへし折ったのだ


◀2回戦は、リングス・ロシアのマゴメドザキーロフ・キムバット。この試合もヒザ蹴りの連打でタップアウト勝ちを奪ったのだが……

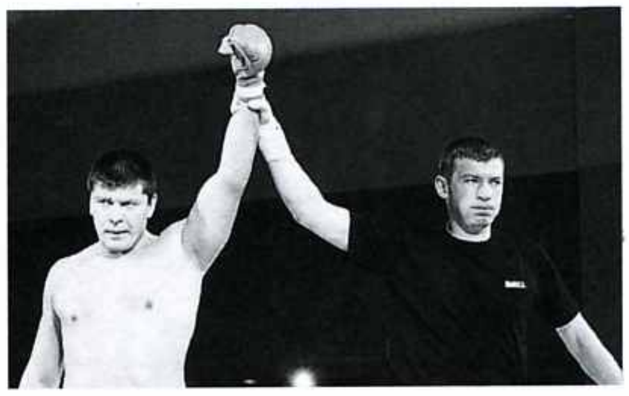
▲試合後は、ロシアの妖精たちと満面の笑みで写真に収まる。しかし、ロシアの妖精に比べて顔がでかいぞ！

▶む、無念。2回戦で指の腱をずらすという負傷を負ってしまったために、決勝戦は棄権するはめに……

▶この大会には、村上和成と同郷で、あの黒澤浩樹のお弟子さん、空手家・島端明も出場。初めてのバーリ・トゥード挑戦だったが、キムバットにアームロックで敗れてしまった。セコンドに付いたのは村上。君は、村上の姿を発見できたか？

★トーナメント1回戦
○大場貴弘（3分33秒、TKO勝ち）ゴンチーロフ・ウラジミール●
＜バトラーツ＞　＜ロシア＞
※大場の座った状態からのキックで、ウラジミールの鼻骨が折れたため

★トーナメント準決勝
○大場貴弘（5分50秒、タップアウト）マゴメドザキーロフ・キムバット●
＜バトラーツ＞　＜リングス・ロシア＞
※グラウンド状態で、顔面へのヒザ蹴り連打による


◀トーナメントで優勝したのはリングス・ロシアのコーチキン・ユーリー！　決勝で大場との試合を見たかった！

行ってきました、北国ロシア。何をしに行ったかというと、バトラーツの大場貴弘と黒澤道場の島端明君がアブソリュートの大会、『ReMix2001』に出場するためなんですよ。しかもこの大会の凄いところは、試合自体が賭けの対象になってるんです。だから、試合前に全選手リングに上げて、ひとり一人パフォーマンスをさせて客に賭けさせるんですよ。競馬でいうパドックみたいなもんですわ。

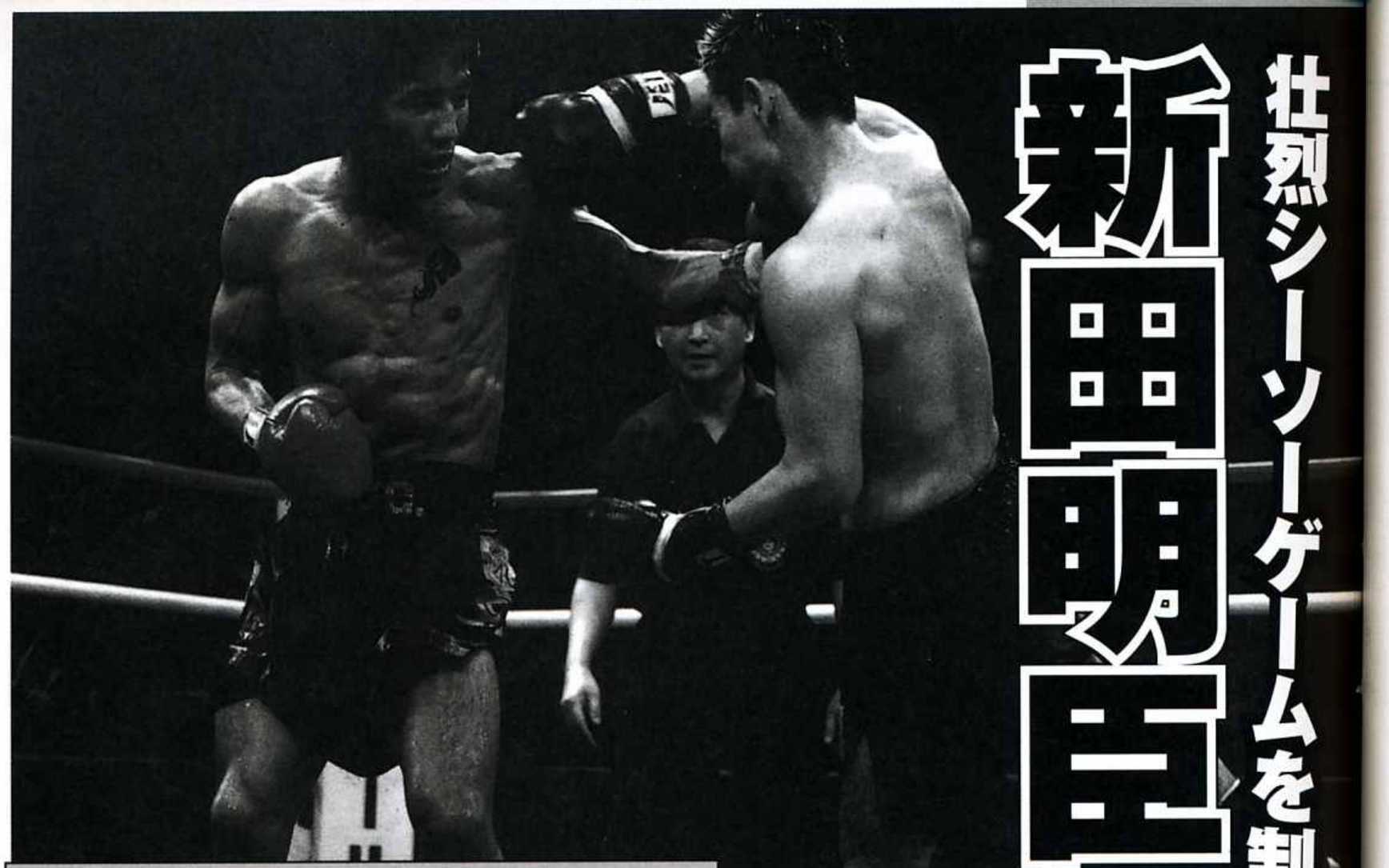
で、試合なんですけど、基本的には『プライド』のルールとほぼ同じ。グラウンドでのヒザもOKです。そんなルールの中、大場がなんと準優勝！　1・2回戦とも相手をボコボコにしてしまいました。決勝は指のケガで棄権してしまったのですが、プロモーターのイゴールさんやオレッグさんもかなり大場のことを気に入ってくれたみたいです。来年のスーパーファイトで、今大会で優勝した、リングス・ロシアのコーチキン・ユーリーとの対決が行われそうです。楽しみだなー。

でも賭けは本当に恐いなー。大場も痛み止めを打たされて、決勝戦の時も、試合をさせられそうだったもんなー。でもロシアン美女はサイコーだから、やっぱり行こう！　『KOTC』も美女が多いけど、『ReMix』もいいね。来年はぜひタニーも行こうね。　ロシアサイコー！　ハラショー！

（島田裕二）

撮影◎島田裕二

壮烈シーソーゲームを制した！新田明臣 涙の K-1出場権



★第11試合・メインイベント/全日本ミドル級タイトルマッチ
K-1 WORLD MAX日本大会出場者決定戦（3分5R）

△新田明臣（5R判定1-1、ドロー）清水貴彦△

〈王者/SVG〉　〈同級1位/超越塾〉

※新田がタイトル防衛に成功。採点…48-47（新田）、48-47（清水）、48-48。新田は1Rにパンチ連打でダウン

初回にダウンを食って絶体絶命のピンチに立った新田だったが、3R以降に猛反撃。判定ではわずかでも逆転したようにも思えたが

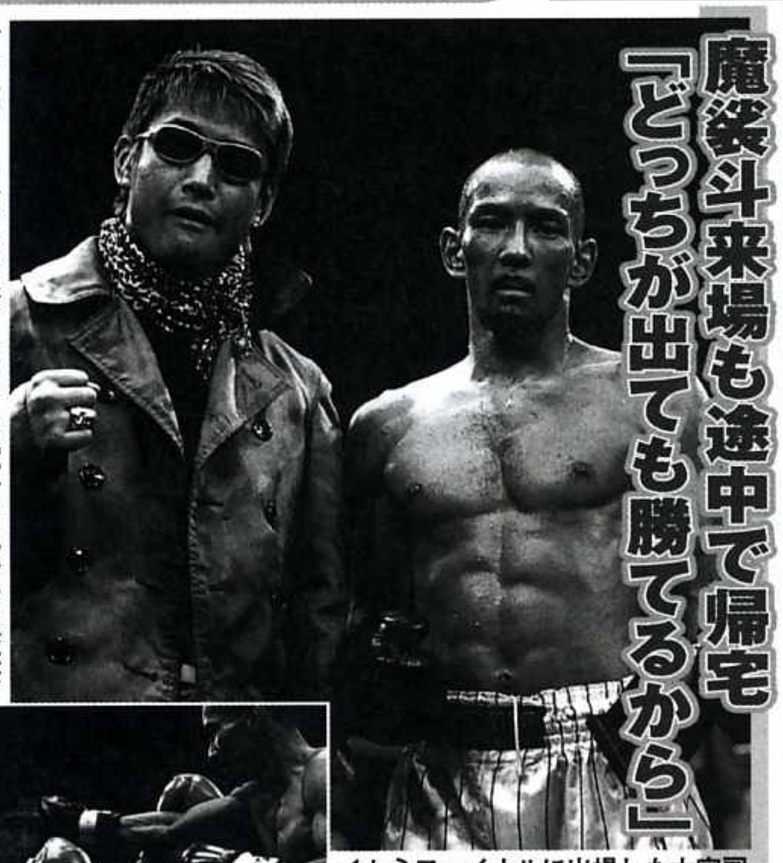
新田のコメント

「（清水が）最初から来るのは分かっていたけど。相手が出入りがうまいので、作戦はとにかく蹴って蹴ってでした。妹が亡くなって、自分を取り戻すのに精一杯。とにかく気持ちを入れ替えようと……。だけど、内容は最低だった。試合中は妹が守ってくれたような気がします。K－1では今日みたいなみっともない試合はしません」

清水のコメント

「2Rまでに倒せなかったことが敗因です。スタミナが落ちるのは分かり切っていたことなんで。粘られてしまいました。相手も効かせにくるというより、点数稼ぎにきていたと思うんで。強いというよりうまかった。来年？　K－1への道が断たれたんで……。もう1回狙うしかないですね……」

魔裟斗来場も途中で帰宅「どっちが出ても勝てるから」



▶シルバーウルフの同僚・大宮司の試合を見守った魔裟斗は、メインイベントも観戦したが「どっちが（K－1に）出てきても勝てる」と4Rで帰っていった

▲清水のスタートラッシュが凄かった。強烈な左右パンチでたちまち新田を追い込む。棒立ちのチャンピオンにレフェリーはダウンを宣告した

▲ミドル、ヒザで猛攻した新田は3Rにはダウン寸前まで追い込んだ。4Rにはハイキックもヒット。

◀セミファイナルに出場した大宮司進（右）は圧倒的なテクニックを見せつけた。ホープ・前田尚紀のパンチに苦しみながらも的確にヒザ蹴りを決め、2－0の判定勝ち

▶タイトルを守るとともにK－1への出場を決めた新田だが、笑顔はない。実は妹が急死して、この日が49日法要になるのだという

魔裟斗が観戦していた。全日本キック・ミドル級タイトルマッチであるとともに、『K—1 WORLD MAX』日本大会への出場者決定戦と銘打たれた一戦。つまり、来春の中量級最強を決めるイベントで、この勝者とぶつかる可能性がある。ところが、魔裟斗は4Rが終わると、さっさと会場を後にしたらしい。「どっちが出てきても勝てるから」とだけ言い残した。必死に出場権に追いすがる新田、清水だが、魔裟斗にはいかにも軽く値踏みされたのだ。

だが、この闘いはシ烈だった。清水がいきなり得意のパンチでいった。右を食らって棒立ちになった新田は、さらに連打を浴びせられて立ちつくし、ダウンを取られる。新田はピンチを凌ぎきると、反撃に転じた。そうなると、キャリア、キックの技術の差がモロに出る。強烈なミドルで清水の動きを止める。接近するとヒザ蹴りでスタミナも奪い取る。3Rには左ヒザを連射して、清水をグロッギーに追い込んだ。

判定はドロー。K—1進出を決めた新田は涙で朗報を聞いた。安堵とともに、重い思いもあった。妹が急死し、この日がちょうど49日。絵に描いたような好漢・新田だけに、こちらも冷静ではいられない。魔裟斗に恨みはない。それどころか、彼は素晴らしい。けれど、新田も頑張れ。チャンスに食らいつけ、とつい声が出そうになった。

（宮崎）

SRS·DX Editor's Talk

編集部トーク

裏事情

来年、遂に『プライド』にパンクラス参戦？

A いよいよ、『イノキ・ボンバイエ』が間近に迫ってきたけど、さすがにこれだけのビッグイベント、藤田の負傷という大きなアクシデントもあったし、小川が参戦するかどうかで、とうとう本誌の締め切り時点でもカードが決まらなかった。本当に前代未聞の混乱ぶりだね。

B いや、混乱したのは『イノキ・ボンバイエ』だけじゃないよ。正直、『イノキ・ボンバイエ』のおかげで『プライド18』も大きなあおりを食らった。『プライド18』も全カードが決まったのは1週間前だったんだから。

A いや、『プライド18』と『イノキ・ボンバイエ』は関係ないよ。『プライド』の誤算は、桜庭が負傷欠場したこと。そして、ノゲイラもコンディションが万全でないことで、今回は最後まで調整が遅れた。むしろ、『プライド17』東京ドーム大会の影響が大きいよね。というのも、猪木軍で発表されたメンバーを見ても分かるように、『プライド』の戦士はゲーリー・グッドリッジとドン・フライだけ。あとは最初から『プライド』と『イノキ・ボンバイエ』はメンバーを分けて考えてたからね。両イベントがダブるようだったら、DSEも『イノキ・ボンバイエ』は手伝わないよ。

C やっぱり桜庭選手と藤田選手が負傷して、長期欠場になってしまったのが大きいんじゃないですか。両エースを欠いてあらためて浮き彫りになったのは、日本人のメインイベンター不足ってことですよ。ホント、来年の前半の『プライド』は心配でもあり、日本人の奮起が期待される大会になりそうですね。

A その点について、面白い情報がある。前々から『プライド』参戦を匂わせていたパンクラスの尾崎社長が、遂に実現に向けて動き出したというんだ。DSEの森下社長も正式に書面でパンクラス選手の出場オファーをしたというんだよ。今、パンクラスはグラバカとの対決図式でかなり盛り上がっているけど、早ければ来年2月の『プライド19』でパンクラス軍、グラバカ軍が上がる可能性はあるよ。

C 尾崎社長は、全員候補選手だって言ってるらしいです。

A 森下社長に話を聞くと、特に菊田早苗、美濃輪育久、近藤有己、髙橋義生に興味があるらしいよ。パンクラスは日本人の人材が豊富だからね。まあ、パンクラスの選手が上がるんなら、パンクラスのリングでは見られないような『プライド』戦士との闘いが見たい。

B でも、来年の話といっても、あと、1・2カ月の話だから、イベントはもう目前、来年は1月からいろんな注目の興行があるからウカウカしていられないよ。

C 1・11が極真の選手が多数出場する『一撃』、1・27がK―1ジャパン静岡大会、そして2・11が初のK―1ミドル級GPの『K―1J・MAX』。『一撃』はロシアの未知の強豪セルゲイ・プレカノフが誰と闘うのか注目だし、K―1ジャパンは中迫VSハントという興味深いカードがメイン。K―1の中量級もそろそろメンバーは発表されるだろう。

C K―1の中量級大会は、魔裟斗と小比類巻の対決が一番の見所となってますけど、なんと大阪プロレスの村浜武洋と、パンクラスやリングスで活躍する総合系ファイター須藤元気が出るっていう噂もあるんです。これに、全日本キックの新田明臣や後藤龍治が加わったらかなり豪華なメンバーになる。残念ながら、元ラジャダムナン・ウェルター級王者の武田幸三は出ないみたいですけど……。

A K―1の中量級GPは、これまで日の目を見なかったキックボクサーが輝くための絶好のチャンス。TBSでもかなり力が入ってるみたいだよ。

B そうやって考えると、『イノキ・ボンバイエ』が終わってからも、格闘技界はまったくタイプの違う新しいイベントが続々登場してくる。来年の格闘技界の元気も衰えることはないね。■

▲船木引退後、やっとパンクラスに勢いが出てきた。尾崎社長の手腕にも期待！

◎今年の私は、とにかく猪木軍VSK―1に引っぱり回された1年だった。正直、精神的にかなりボロボロ。今年の夏前、突如沸き起こった猪木軍VSK―1の対抗戦話。まさか実現するとは思わなかったが、A・猪木と石井館長という両プロデューサーは、やはりただものではない。『プライド』も巻き込んで、この話はやっぱり〝実現〟の方向に動いた。もちろん、こんなビッグな対抗戦になれば、反響が大きくなることは間違いない。だが、〝実現〟の方向に動けば、必ず両陣営歯止めが利かなくなるし、壊れるものもたくさん出てくる。その歯止めが利かなくなる方向性をどこまで読み取るか。そして、何を壊されないようにしたらいいかを、私はずっと考えていた。しかも、猪木軍VSK―1話は日テレのK―1ジャパンで始まり、TBSが紅白歌合戦の裏で手を挙げ、フジの『プライド』にも波及。私はやっぱりフジテレビ系で格闘技コメンテーターを務めているので、このクロスオーバーぶりにもマイッタ。猪木軍VSK―1の話が始まろうとしている時、私は今のような状態になっていくのはだいたい予測がついていた。しかし、それでも世の中、何が起こるか分からない。猪木軍の総大将である藤田和之がアキレス腱を切り、小川直也が結局出なくなるとは本当に思わなかった。そのため、猪木軍VSK―1の対抗戦は、どういうところに収まるのかまったく分からなくなってしまった。しかも、あれだけ有利だと思っていた猪木軍がこんな状況に追い込まれるとは……。全てはミルコの一撃で、藤田が大流血したところから始まった。大晦日は、まったく予測不能だ。（谷川）

SRS·DX

次号の発売日は1月10日(木)です。

発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人：柳沢忠之　編集長：谷川貞治

DESIGNER：梅村あゆみ、水町由美子、su·plex、岩村唯是
溝口真穂、のじでざ、松浦千枝、小林善夫

かつてのジムの後輩である五味隆典に判定負け。またもタイトル獲得に失敗した佐藤ルミナ。目から流れるのは汗か、涙か……

さすがルミナ!!

3度目のタイトルマッチで、またも敗退！それでもあえて言おう

▲修斗の代名詞でもあるルミナを下し、新ウェルター級王者となった五味は、試合後もベルトを振り回し、閉会式ではリングサイドに駆け寄ったファンにダイブを敢行するなど大暴れ！

2、3Rと、グラウンドで五味のパンチを喰らいまくったルミナ。いかにもつらそうな表情を見せていた

見る者を切なくさせる試合ができるのは修斗でもルミナしかいないのだ！

後輩・五味に顔面ボコボコ！ルミナが唱えた「修斗の底辺拡大」は、自分が敗れることで成就した

▶ルミナの〝極め〟への執念を感じながらも、無慈悲に拳を振り降ろしていった五味

▶ルミナは必死で五味の身体にしがみついてディフェンス。セコンドから「勝負にいけ！」という声が何度もかかったのだが、クロスガード（相手の胴に足を巻き付けるガードポジション）を解かなかった

「修斗をもっと広めたい。競技として確立させたい」

それが、佐藤ルミナという男の理想だった。ファッション誌の取材でもそう答えていたというから筋金入りだ。そしてその理想が実現していることは、ルミナ自身が苦戦し、負けることによって証明される。8月のマーシオ・クロマド戦は膠着しての判定勝ち。今回は五味隆典に判定負けである。

「ルミナさんは宇野選手にこだわってたけど、下にも素晴らしい選手はいるし、アマチュアにもワクワクするようなのがいるんです」と五味は言う。ルミナが以前のような鮮やかな勝利を見せられないことが、逆に選手層の厚さ、レベルアップを証明し、修斗そのものにとっては発展に繋がる……。この皮肉！

まして五味はかつてKzファクトリーに所属していた。つまりルミナの直系の後輩であり、まさに修斗＝ルミナ人気がブレイク中の98年にデビューした選手だ。常に自分の影を追ってきた後輩に、ルミナは負けてしまったのである。

下から果敢に〝極め〟を狙うなど、ルミナらしい場面もあった。だけど、らしさを見せて、それでも勝てなかったということは、これは〝実力負け〟だ。「本当のルミナはこんなもんじゃない！」とは口が裂けても言えないのである。

試合後半は、五味の一方的なペース。得意のグラウンドパンチで攻めまくった。それもよくある〝上になってチョコチョコ殴ってりゃ判定で勝てる〟なんて生易しいもんじゃなく、一発一発に殺意のこもったKO狙いのパンチだ。

ルミナは今にも泣き出しそうな、

“らしさ”は見せたルミナ。それでも負けたということは……

五味のコメント

「握手した時に、ルミナさんの“よし、やってやるぞ”というのは感じました。今までで一番怖い相手でしたね。自分の力を出せばどうなるっていうレベルの人間じゃない。運も神様も味方してくんないと勝てないような相手でした。殴られるの覚悟で一本取ってやるっていう。目で“この野郎！”っていうのを感じたんで。ベルトもいいんですけど、やっぱルミナさんと闘えたってことが大きいかもしれないです。ホントに、闘ってもらえて良かったです。“こんなはずじゃねえ”っていうのと同時に“てめえ、取ってやるぞ”っていうのが伝わってきたんでね、ムチャできなかったですね。一本か失神させたかったんですけど、さすがはルミナさんって感じで」

▲所属する木口道場の面々とリング上で記念撮影。レスリング教室に通う子供たちが“五味コーチ”の応援にかけつけるのはおなじみの光景だ

「ベルトより、ルミナさんと闘えたのが大きい」（五味）

▶ルミナはノーコメントで会場を後に。目の上、額のあたりにかけて痛々しいアザができていた

◀▲▶1R後半、下からの十字、ヒールホールドにトライしたルミナ。五味がパンチを落とした瞬間にヒジを極めにかかるなど、ルミナならではの見せ場を作った。が、このチャンスを逸すると、あとは五味の独壇場に

▶ルミナのローに対し、カウンターのパンチでたじろがせた五味。打撃戦でも五味が優位に立った

▶各ラウンドのファーストコンタクトは、常にローキック。3Rには五味の体が傾ぐシーンもあったのだが、決め手にはならず

★第7試合・メインイベント/ウェルター級チャンピオン決定戦（5分3R）

○五味隆典（3R判定3-0）佐藤ルミナ●

〈同級1位/木口道場レスリング教室〉　〈同級2位/K'z FACTORY〉

※五味が第5代王者に。採点…29-28、30-37、29-28

ルミナは今にも泣き出しそうな、弱々しい表情で五味のパンチに耐え続ける。「勝負かけろ！」というセコンドの声にも、必死で五味の体にしがみついてディフェンスするので精一杯。あまりにも切ない攻防だった。五味が一発殴るごとに、これまで修斗を引っ張ってきたルミナの神通力が薄れていくような気がした。まさかルミナがこんな醜態をさらすなんて……。

ただ考えてみれば、こういう切ない気分にさせてくれるのも、修斗ではルミナだけだろう。普通の選手だったら、負けても「ああ、このぐらいの実力なのか」で終わってしまうが、ルミナはそれ以上の気持ちにさせてしまう。勝ったとか負けたとか、技術的にどうだとか、そのレベルの話で終わらせるのを許さないのだ。

格闘技の世界に限らず〝絵になる〟男なんてなかなかいないけど、〝絵にならない〟姿まで気になる選手となるともっと少ない。うまい。強い、かっこいい。そんなプラスの部分だけでなく、負の要素まで〝見せる〟ことができるルミナは、やっぱりただものじゃない。

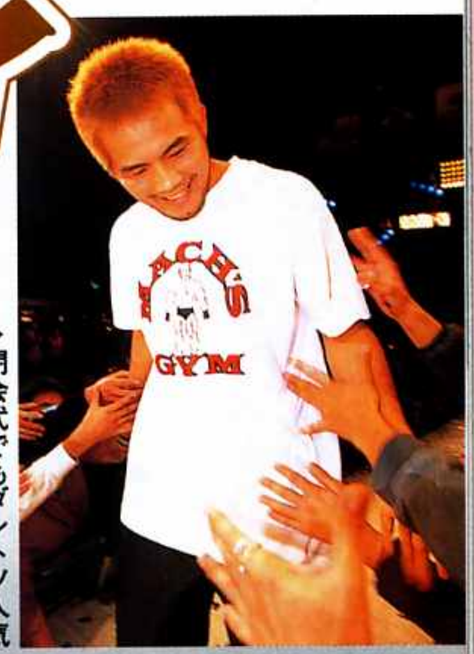
しかも五味によれば、ルミナは「今までで一番怖い相手だった」という。最後まで「取ってやるぞ！」「こんなんじゃ認めねぇ！」という執念が伝わってきたと。

敗者の美学なんてことを言うつもりは毛頭ない。むしろ美学も何もなく、丸裸でボロボロになったルミナの姿にこそ、感じるものがあった試合だった。勝った五味の強さは称えられるべき。でもあえて、今回だけは「さすがルミナ！」と言いたいのだ。

（橋本）

強くてカッコイイ マッハが帰って来た!!

「100%準備できていれば どんな相手でも勝てるよ」



▶閉会式でもダントツ人気だったマッハ。2002年の活躍にさらに期待大だ!

ハイロウズの『不死身のエレキマン』に乗って、強くてカッコイイ〝マッハ〟が帰ってきた!

べつに、ケガによる長期欠場からの復帰ってわけじゃないからちょっと大ゲサかもしれないが、曲にノッて入場してくるマッハの、力強い腕の振りっぷりを見ていたら「よ〜し、今日のマッハはやってくれそうだぞ!」となぜだかこっちまで気合いが入ってきた。

8月のアンデウソン・シウバ戦で、マッハはタイトル防衛に失敗し王座から陥落した。どことなく覇気がなく、モチベーションの低そうな表情、動き。あの日のマッハには〝らしさ〟が感じられなかった。大事なチャンピオンシップだというのに……。試合後には「一発パンチもらって展開が変わっちゃった。これだから真剣勝負は怖いよ」とさばさばと話したが、マッハはいったいどうしちゃったんだろう? とちょっと不安を感じずにはいられなかった。

あれから3カ月半。

年末のNKといえば、修斗のもっとも力の入った大会。当然、カードも豪華なものが揃う。今回も、メインのルミナVS五味、ノゲイラVS戸井田は、修斗ファン納得のカードと言っていいだろう。しかし、マッハの相手に関してはどうか。ダン・ギルバートは同級8位、修斗公式戦では中尾受太郎をグラウンドパンチで破っており、実力者であることは間違いない。しかし、物足りなさを感じる相手であることも確かで、ともするとモチベーションが上がらず、凡戦になるのではという恐れもあった。

しかし……、結果から言ってし

SHOOTO TO THE TOP
～THE FINAL ACT～
12.16★東京ベイNKホール

マッハのコメント

「もう少し殴り合って、お互いエキサイトしてきたところで関節を極めたかったんだけど速すぎたね。この前（アンデウソン・シウバ戦）とは全然体調も違うから。あまり言いたくないんだけど、ちょうどいい試練っていうか。チャンピオンって座に3年半くらい座ってて、飽き飽きしてたところだったからちょうどいいなぁって。100％準備できていれば、オレはどんな相手でも勝てるのは分かっているよ。次はチャンピオンシップでもUFCでもどっちが先でもいい。来るものは来いって感じで」

ギルバートのコメント

「サクライの予想に反した攻撃で攻めようと思ってヒザ十字を狙ったんだが、逆に足首を取られてしまった。彼はホントに素晴らしい選手だと思うよ。彼は前回の試合で負けたけど、負けることはどんな選手でもあること。彼がナンバーワンファイターであることに変わりはないよ」

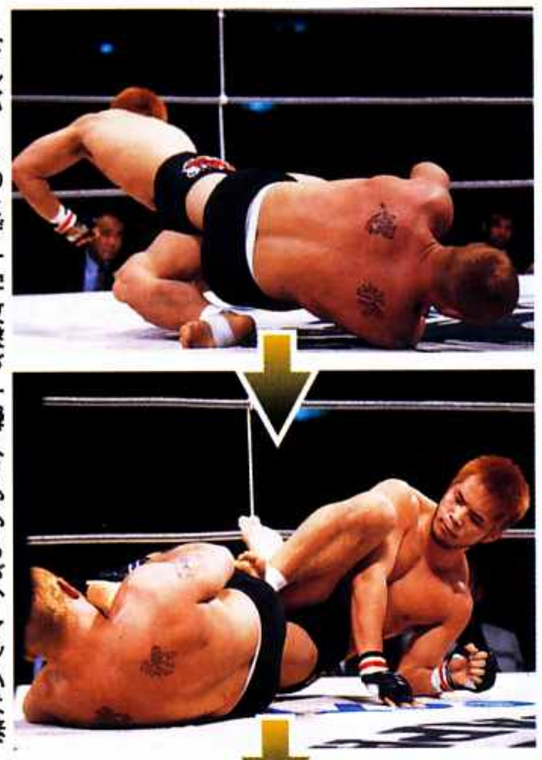
▶開始早々、パンチを繰り出しながら組み付き、すぐさま立ったままのマッハの胴に足を巻き付けたギルバートを、マッハはいったん抱え込んだ後、勢い良く背中から落とした

▲試合前は、あえて興奮を隠すかのような表情をしていたマッハ。かえって気迫ではギルバートのほうが上回っているように感じられた

◀8月のアンデウソン・シウバ戦以来の再起戦。お馴染みの入場曲「不死身のエレキマン」のリズムに合わせ力いっぱい腕を振って入場するマッハの仕草には気合いが漲っていた

▶背中から落とされながらも、ひるまずにヒザ十字を狙うギルバートに対し、マッハはゴツゴツとパンチを見舞う。「極まってはなかったけど、あれだけ殴ってもヒザ十字を狙ってくる精神力は凄い」とマッハも試合後に絶賛した

★第5試合/ミドル級5分3R
○桜井"マッハ"速人（1R1分51秒、ヒールホールド）ダン・ギルバート●
〈日本/GUTSMAN修斗道場〉　〈アメリカ/ヘル・ハウス〉



▶ギルバートのヒザ十字攻撃が一瞬入りかかるが、マッハは素早く身体を反転させて逃れる。ピンチそうに見えたが、マッハは余裕のこの表情

あっ危ない！っと思ったら……

逆にマッハのヒールホールドが極まっちゃった！

▲ギルバートのヒザ十字をはずすや、あっという間に形勢逆転。マッハはギルバートのヒールを取って一気に絞め上げタップを奪った

愛犬マックも一緒に祝福だ！

▶試合直後、リングサイドにはたくさんのファンが押し寄せマッハの勝利を祝福。リング上にはマッハの愛犬マックも上げられ、キョトンとした表情でご主人様に抱え上げられた

まえば、試合はわずか1分51秒、マッハの快勝。あっという間ではあったが、内容は決して物足りないものではなかった。ヒヤリとさせられるシーンもあり、マッハのうまさ、強さも光った。ギルバートはマッハの相手としては、格下だったかもしれないが、開始直後からアグレッシブに攻め、殴られても諦めずにヒザ十字を狙うなど、強い精神力を見せた。これが、眠っていたマッハの〝負けん気〟と〝強気〟を呼び起こし、結果が示す以上の好試合になったのだ。

「チャンピオンって座に3年半くらい座っててね、ちょっと飽き飽きしてたところだったから、ちょうどいいなぁっていうかね」と、前回の敗戦を陽気に笑い飛ばし、「100パーセント準備できてれば、どんな相手でも勝てるのは分かっている。どこまで出せるかだよね。もちろん、ここ（修斗）に出てくる選手はみんな強いけど、100パーセント出せば勝てるよ。オレの場合、強いから」と満面の笑顔を見せた。

やはり、年末のNKはマッハがハデに勝って、最高の笑顔を見せる。これが修斗ファンにとってこの上なく贅沢な〝年越し〟なのだ。

いよいよ来年は『UFC』へのチャレンジも実現することだろう。アンデウソンにリベンジし、修斗ミドル級王座奪還にも期待がかかる。どちらが先になるか、現時点では分からないが、「次は120パーセントの力を出すよ。どちらが先でもいい、来るものは来い」とやる気満々だ。来年は、さらに強くてカッコイイ〝マッハ〟が格闘技界をかき回してくれそうだ。（林）

ギロチン"宝刀"防がれても圧勝！

ノゲイラ、3度目のタイトル防衛

▲3度目のタイトル防衛を果たしたノゲイラ。日本のトップファイターは総ナメで、まさに敵なしと言っていいだろう。植松直哉の戦線復帰が待ち遠しいところだが……

▲ノゲイラの打撃は、前回の勝田哲夫戦よりもさらに精度と力強さを増し、的確に戸井田を痛め付けた

▲グラウンドでも常にノゲイラが戸井田を制御。最後まで一本を狙ってアグレッシブに攻め続け、スイープされても素早い反応で戸井田につけ入るスキを与えず。圧倒的な判定が示すように、ノゲイラの強さだけが光った

王者ノゲイラの"伝家の宝刀"ギロチンチョークは、戸井田の注意深く素早い防御により不発に終わった。しかし、フルラウンドにわたって重厚な攻撃を見せつけられたことで、かえって、王者の底知れぬ強さが明らかになった。今回の挑戦者・戸井田は昨年後半から負け知らずで、7月にはバレット・ヨシダも判定で下し、まさに飛ぶ鳥も落とす勢い。もしかしたらもしかするのでは、と周囲の期待も大きかった。が、しかし、いざフタを開けてみると、試合は寝ても立っても終始ノゲイラペース。グラウンドに定評のある戸井田だからこそ、最後まで一本は許さなかったが、顔をハデに腫らしてうつむく戸井田を見れば判定の結果は聞くまでもなかった。「戸井田は力が強くて技も豊富。グラウンドの技術はボクより上」と絶賛したノゲイラだが、「ボクに勝てる選手はいないよ、ボクが一番」と自信もチラリ。成長を続ける若き王者を倒せる日本人は出てくるのだろうか。（林）

▲何度か伝家の宝刀"ギロチンチョーク"を狙える体勢になったが、戸井田が素早く反応して防御。ノゲイラはギロチンにこだわらず、確実に優位なポジションをとって打撃で戸井田を圧倒した

★第6試合・セミファイナル/ライト級チャンピオンシップ（5分3R）
○アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラ（3R判定3-0）戸井田カツヤ●
〈王者=ブラジル/ワールド・ファイト・センター〉　〈同級1位=日本/和術慧舟會〉
※ノゲイラが王座防衛。採点…30-26、30-26、30-24

膠着状態から一瞬で極めた！

キング・オブ・トライアングル"三角王"中尾の必殺技がズバリ!!

▼逆サイドに足を絡めて三角絞め！　必殺技としての魅力、説得力はノゲイラのギロチンに迫るものがある。「理想を言えば上から攻めたかったけど。軽い気持ちで行ったら、かかっちゃって」（中尾）

▼開始早々テイクダウンされ、下でじっと固まっていた中尾だが、突如として動き出す。左から仕掛けると見せ掛けて……

マット界広しといえども、自分から「膠着が多いんで」（修斗オフィシャルマガジン『SHOOTO NEWS』より）と言う選手は中尾受太郎ぐらいのもんだろう。この日も、序盤からガードポジションで固まりっぱなしの展開。新鋭・和田拓也にみすみす世代交代を許してしまうのかと思われた。ところが！　それまでほとんど動かなかった中尾は、一瞬で三角絞めを極めてしまう。そう、中尾がここ一番で使う必殺技が、この三角絞めなのである。UFCに出場した際、主催者が中尾に用意したニックネームも"キング・オブ・トライアングル"だった。はっきり言って、あまりにも動かないから中尾の得意技が三角であることさえ頭から消えかけていたところだったんだが……。そんな状態からビシッと一本勝ちしてみせるとは、まさに寝技版の"一撃"である。ちなみに中尾の「膠着」発言だが、その後に「その代わり一本で勝ちますから」と続くのだった。偉い！　（橋本）

▲上のポジションをキープして有利だったはずの和田は、一瞬で地獄に突き落とされてア然。「（三角は）分かってたし、練習でも対策はしてたんですが……」と試合後の和田。これがプロ初の敗戦となる

9月に初参戦したUFCではKO勝利、今回は得意の三角絞めで一本勝ちと絶好調の中尾。ミドル級タイトル挑戦も遠いことではないだろう。実は今回、王者アンデウソン・シウバ戦の話もあったんだとか

★第3試合/ミドル級5分3R
○中尾受太郎（1R4分07秒、三角絞め）和田拓也●
〈シューティングジム大阪〉　〈K'z FACTORY〉

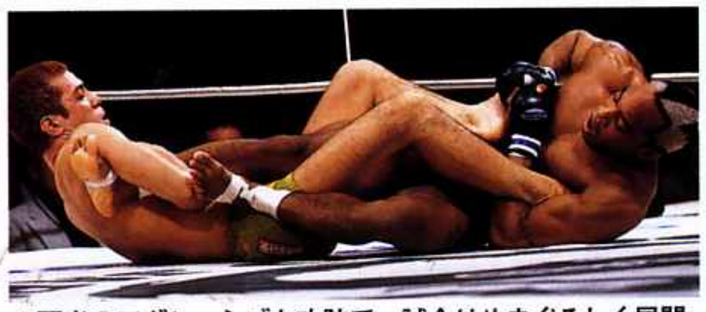
SHOOTO TO THE TOP
～THE FINAL ACT～
12.16★東京ベイNKホール

修行とは出直しの連続なり！ド根性ノ助、涙の欠場から完全復活！

五味よ、この男を倒せるか!?

▲グラウンドで上になられても、見事にスイープを決める三島。マウントも奪うなどグラウンドで暴を終始圧倒し、判定による勝利を収めた

▲「最近、打撃がうまくなった」という暴は、試合開始すぐに右ハイを繰り出すが、三島はそれをかわしテイクダウンを奪う。久々のリングでも、試合勘は失われてなかった



▲両者のアグレッシブな攻防で、試合はめまぐるしく展開。下から足関節を取った三島に、暴も負けじとアキレス腱固めに入る

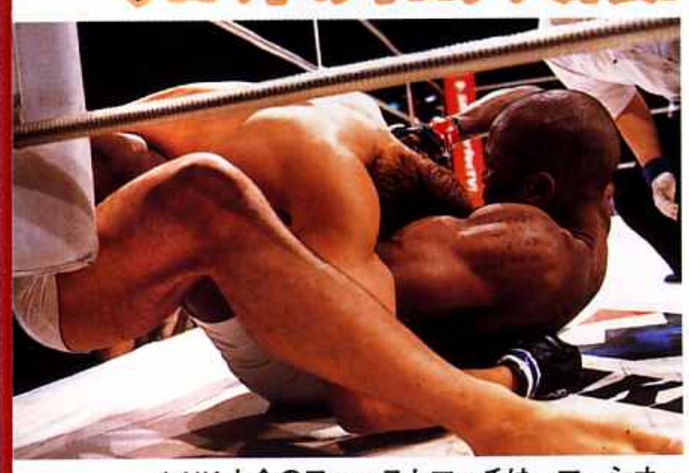
▲試合後、セコンドにボディスラムからのムーンサルトプレスを決めご覧のおちゃらけポーズ。これが出れば、三島☆ド根性ノ助、完全復活の証と言えよう！

★第4試合/ウェルター級5分3R
○三島☆ド根性ノ助（3R判定2-0）雷暗暴●
〈格闘サークルコブラ会〉　〈無所属〉
※採点…29-29、30-28、29-28

全ての取材を終え外に出ると、会場をあとにしようとする三島にファンが群がっていた。ファンと一緒に写真を撮ったり、気軽にサインに応じる三島。とにかく三島はサービス精神旺盛で気さくだ。今年8月、自らのワキ腹の負傷で急きょ中止せざるをえなくなった五味隆典とのウェルター級王座決定戦。「一から出直します」とリング上で涙を見せた三島だが、この日の雷暗暴（ライアン・ボウから改名）戦ではグラウンドで主導権を握り続け、心身ともに後遺症を感じさせない動きを見せた。試合後も、セコンドにムーンサルトを見舞ったりと、持ち前のサービス精神が爆発。11月のブラジリアン柔術大会でも優勝するなど波に乗る三島は、コメントブースで「準備万全。サステインとファンが許してくれるなら」と一度流れた五味戦に名乗りを挙げた。まさに強くてオモシロイ三島が完全復活したと言っていいだろう。五味よ、この男を倒せるか!?

（渡部）

本家は不発だったけど、クロマドのギロチン炸裂！



▲NK大会のファーストマッチは、マーシオ・クロマドが“ギロチン”で中山巧を秒殺！中山が頭を下げて飛び込んだところを、クロマドが長い手でスッポリとキャッチ！　結果は1R0分32秒、フロントスリーパーホールドで中山の失神によるクロマドの一本勝ち。勝ったクロマドは試合後、「ギロチンはノゲイラの得意技だけど、俺の技でもあるんだ。家族やジムのみんなへのクリスマスプレゼントになったよ」と語った

▲そのまま完全に絞め落とされ、一時は意識も戻らず危険な状態だった中山だが、なんとか蘇生。試合後、中山は「首がバキバキって、自分の中で聞いたことない音がした」と完敗を認めた

その腹割れはなんのため!? 加藤鉄史、浪速のプリンスにバテバテの勝利

▲3R開始すぐ、池本が鮮やかなシャイニング・ウィザード（ではなく跳びヒザ蹴り）を見せるも、加藤はうまく捕らえて倒し、再びグラウンドで上のポジションをキープ……

▲これが浪速のプリンス・池本誠知。ガクラン（特攻服？）がほどよく似合う26歳。試合後は「スタミナも残ってるし、せっかくのチャンスに僕の持ち味が出せなかった。腕や足が折れようがタップする気もなかった。どうせ負けるんだったら、もっと叩き潰しに来てほしかった」と無念そうに語った

▲第2試合にノッシノッシと登場したのが、修斗界の裏原系アイドル・加藤鉄史！　相手はその甘いマスク＆弾けんばかりのアグレッシブさで常にファンを沸かせている、関西の新鋭・池本誠知。試合は、グラウンドで上からガッチリ抑えつけながらも攻めきれない加藤に対し、池本が下からも激しく動いて打撃やスイープを狙うという攻防が続き、結果は加藤の判定勝利。完全なマウント状態を取った時はブリッジではね返され、加藤はロープに鼻を痛打！（シャイニング・カトウと勝手に命名）

▲あら～、加藤！　メッチャ疲れてるわ……。そんだけ腹筋割れてるのに、スタミナ不足って何？　攻撃らしい攻撃をしない加藤に対し、池本が「来い！　来い！」と怒鳴る場面もあった。トップランカーの意地を見せられず、今回はダメな加藤のオンパレード

★第2試合/ミドル級5分3R
○加藤鉄史（3R判定3-0）池本誠知●
〈PUREBRED大宮〉　〈ライルーツコナン〉
※採点…30-29、30-29、30-27

サイバースポーツ

NEW スタンディングバックセット

毎月限定100セット

セット内容

TYPE 1セット or TYPE 2セット

PLUS

本皮パンチンググローブ ¥2,800 本革

PLUS

2個1組 バンテージ ¥1,200

さらに PLUS いずれか1品お選びください!!

ムエタイショーツ ¥5,800

サウナスーツ ¥2,800

リストウェイト(2kg) ¥3,000

※色はお選びいただけません。

TYPE 1セット SIZE/30×170cm 定価¥28,600 **¥8,800**

品番: STB-TP1
- ●スタンディングバッグtype1／¥18,800
- ●本皮パンチンググローブ／¥2,800
- ●バンテージ／¥1,200
- ●ムエタイショーツ／¥5,800
- ●サウナスーツ／¥2,800
- ●リストウェイト(2kg)／¥3,000

TYPE 2セット SIZE/40×180cm 定価¥29,600 **¥9,800**

品番: STB-TP2
- ●スタンディングバッグtype1／¥19,800
- ●本皮パンチンググローブ／¥2,800
- ●バンテージ／¥1,200
- ●ムエタイショーツ／¥5,800
- ●サウナスーツ／¥2,800
- ●リストウェイト(2kg)／¥3,000

ファイティングフルセット NEW

セット内容

セットG-1 or セットG-2 or セットG-3

サンドバッグ100B / サンドバッグ130B / サンドバッグ150B

PLUS

チェーン¥500 / パンチングボール ¥4,000

PLUS

スタンド安定袋 ¥3,500 安定します / ファイティングスタンド ¥13,800

PLUS

さらに いずれか1品お選びください!!

本革 本皮パンチンググローブ ¥2,800 / リストウェイト(2kg) ¥3,000

or

サウナスーツ ¥2,800 / 2個1組 バンテージ ¥1,200

※色はお選びいただけません。

SIZE/170×170×215~235cm
※セットのサンドバッグは黒のみ。

セットG-1 定価¥34,400 **¥10,000**

セットG-2 定価¥37,400 **¥11,000**

セットG-3 定価¥40,400 **¥12,000**

品番: CFS-G1
品番: CFS-G2
品番: CFS-G3
- ●ファイティングスタンド／¥13,800
- ●サンドバッグ100・130・150／¥9,800~15,800
- ●チェーン／¥500
- ●スタンド安定袋／¥3,500
- ●パンチンググローブ／¥4,000
- ●本皮パンチンググローブ／¥2,800
- ●サウナスーツ／¥2,800
- ●リストウェイト(2kg)／¥3,000
- ●バンテージ／¥1,200

好評につき、安値続行!!

本革 パンチンググローブ 定価¥2,800 特別価格 ¥1,400 品番:CPG-PU COLOR/黒・赤 SIZE/フリー

本革 オープンフィンガーグローブ 定価¥3,800 特別価格 ¥1,980 品番:CFG COLOR/黒 SIZE/フリー

本革 トレーニンググローブ 定価¥8,000 特別価格 ¥3,600 品番:CTG COLOR/黒・赤 SIZE/16oz

本革 スパーリンググローブ 定価¥9,000 特別価格 ¥3,800 品番:CSG COLOR/黒 SIZE/16oz

スーパーパンチングミット両手1組 定価¥6,000 特別価格 ¥2,000 品番:CPM2 COLOR/青・赤 SIZE/フリー

拳サポーター 定価¥1,000 特別価格 ¥780 品番:CNG COLOR/白 SIZE/フリー

ムエタイショーツ 定価¥5,800 特別価格 ¥1,800 品番:CMS COLOR/A.B.C.D.E SIZE/Mフリー

スーパーハードミット 定価¥3,000 ¥1,500 品番:CK-S COLOR/黒 売切れごめん!!

2個1組 バンテージ 定価¥1,200 ¥800 品番:CBT

リストウェイト(2kg) 定価¥3,000 ¥1,980 品番:CWT

パワーグリップ 定価¥2,000 ¥1,280 品番:CPWG

レッグサポーター 定価¥2,000 特別価格 ¥1,250 品番:CLG COLOR/白 SIZE/フリー

ボディプロテクター ベーシックモデル 定価¥4,800 特別価格 ¥2,400 品番:CBP-B COLOR/黒 SIZE/フリー 超軽量型!

レガースプロ 定価¥4,800 特別価格 ¥3,300 品番:CLG-P COLOR/黒 SIZE/フリー

純白フルコンタクト空手着 定価¥6,500 特別価格 ¥3,200 品番:CKT2 COLOR/純白 SIZE/4号・5号・6号 白帯付き!

パーフェクトガード 定価¥3,800 特別価格 ¥1,600 品番:CL-1 COLOR/白・赤 SIZE/フリー 大人気レガース!!

ハイパーキックミット 定価¥2,400 特別価格 ¥1,200 品番:CK-H COLOR/黒・青 抜群の感触!

ファールカップ 定価¥1,500 特別価格 ¥980 品番:CGG COLOR/白 SIZE/フリー もちろん洗濯OK!

ヘッドガードDX 定価¥5,800 特別価格 ¥3,300 品番:CHG-DX COLOR/黒・赤・白 SIZE/フリー マスク取外しOK!

サンドバッグ

すぐ使えます!

中身入り! ナスカンチェーン付!

サンドバッグ100B 定価¥9,800 **¥3,400** 品番:C100 COLOR/黒・赤 SIZE/40×100cm

サンドバッグ130B 定価¥12,800 **¥4,900** 品番:C130 COLOR/黒・赤 SIZE/40×130cm

サンドバッグ150B 定価¥15,800 **¥6,400** 品番:C150 COLOR/黒・赤 SIZE/40×150cm

CYBER SPORTS INTERNATIONAL

いいもの安くします!

NEW フラットベンチフルセット

セット内容

フラットベンチ¥12,000

ダンベル40kgセット ¥17,600
※高級タイプ(黒)になります。

本革リフティンググローブ ¥4,500

色はおまかせとなります。
1m角×1枚
ジョイントマット ¥2,500

定価¥36,600
¥9,000
品番:CBFL-F
SIZE/W122×D100cm×H48cm

NEW トレーニングベンチフルセット

セット内容

トレーニングベンチ ¥12,800
セイフティラック ¥9,000
本革リフティンググローブ ¥4,500
バーベルダンベル55kg ¥23,600
※高級タイプ(黒)になります。

さらにいずれか1品お選びください!!
パワーグリップ ¥3,000
サウナスーツ ¥2,800

定価¥45,700
¥10,000
品番: CBTB-F
SIZE/W128×D163cm×H98cm

NEW フォールディングフルセット2

セット内容

フォールディングベンチ ¥22,000
セイフティラック ¥9,000
本革リフティンググローブ ¥4,500
バーベルダンベル75kg ¥31,600
※高級タイプ(黒)になります。

さらにいずれか1品お選びください!!
パワーグリップ ¥2,000
リフティングベルト ¥7,000
サウナスーツ ¥2,800
収納例

定価¥74,100
¥19,800
品番: CBFB-F2
SIZE/W125×D163cm×H85cm~102cm

NEW BARBELL & DAMBEL

信頼のブランド、ワールドバーベル

オリジナルリフティンググローブサービス!!

バーベルダンベルセット(NEWタイプ) カラー つや消しブラック

35KG	品番:C35I	定価¥15,600	¥6,800
55KG	品番:C55I	定価¥23,600	¥9,800
75KG	品番:C75I	定価¥31,600	¥13,000
105KG	品番:C105I	定価¥43,600	¥17,000
145KG	品番:C145I	定価¥59,600	¥23,000

ダンベルセット(NEWタイプ) カラー つや消しブラック

20KG	品番:C20I	定価¥9,600	¥4,400
30KG	品番:C30I	定価¥13,600	¥5,900
40KG	品番:C40I	定価¥17,600	¥7,400
50KG	品番:C50I	定価¥21,600	¥8,200
60KG	品番:C60I	定価¥25,600	¥10,600

NEW マルチウエイトベンチフルセット3

品番: CBMW-F3
SIZE/W132×D100cm×H195cm

セット内容

マルチウエイトベンチ ¥21,000
ラットオプション ¥9,800
セイフティラック ¥9,000
バーベルダンベル105kg ¥43,600
※高級タイプ(黒)になります。
本革リフティンググローブ ¥4,500
リフティングベルト ¥7,000

さらにいずれか1品お選びください!!
パワーグリップ ¥3,000
サウナスーツ ¥2,800

定価¥85,700
¥28,800

NEW マルチベンチビルダーフルセット4

セット内容

マルチウエイトベンチ ¥21,000
ラットオプション ¥9,800
セイフティスタンド ¥9,000
セイフティスクワットラック ¥18,000
バーベルダンベル105kg ¥43,600
※高級タイプ(黒)になります。
本革ウエイトグローブ ¥4,500
リフティングベルト ¥7,000

さらにいずれか1品お選びください!!
サウナスーツ ¥2,800
パワーグリップ ¥3,000

定価¥115,700
¥39,800
品番:CBMW-F4
SIZE/W132×D172cm×H195cm

NEWリフティンググローブ
定価¥4,500
¥2,000
品番:CWG-B
COLOR/黒 SIZE/フリー

パット付 リフティングベルト
定価¥7,000
¥2,400
品番:CWB COLOR/黒
SIZE/Lサイズ 85~100cm

レッグストレッチャー
定価¥3,800
¥1,800
品番:CLS
COLOR/青
大幅値引き!!

シットアップベンチ
定価¥6,500
¥1,980
品番:CBSU
COLOR/白
SIZE/W125×D38×H60~85cm

マルチシットアップベンチ
定価¥12,800
¥5,800
品番:CBMS
COLOR/ SIZE/W135×D42×H96(フラット時)

フラットベンチ
安定感抜群の高重量タイプ
定価¥12,000
¥5,500
品番:CBFL
COLOR/白 SIZE/W122×D63×H48cm

フラットマルチベンチ
定価¥22,000
¥8,000
シート角度調節OK!
品番:CBFM COLOR/白
SIZE/W182×D56×H116cm

セイフティスクワットラック
定価¥18,000
¥9,000
品番:CBSR
COLOR/白 SIZE/W135×D72×H110~145cm

ハードパワーラック
定価¥58,000
¥16,800
大幅値引き!!
品番:CBHP
COLOR/白 SIZE/W119×D90×H202cm

マルチボディトレーニングスタンド
定価¥29,800
¥14,800
品番:CMBT
SIZE/W112×D111~210×H228cm
使用後折りたためます
NEW

トレーニングベンチ
定価¥12,800
¥4,700
品番:CBTB COLOR/白
SIZE/W128×D52×H98cm
ベンチプレスの基本形です

フォールディングベンチ
定価¥22,000
¥6,800
シート角度調節 折りたたみ可能!
品番:CBFB
SIZE/W126×D63×H85~102cm
折りたたみ時

マルチウェイトベンチ
定価¥21,000
¥14,800
品番:CBMW
SIZE/W132×D100×H195cm

セイフティスタンド
定価¥9,000
¥3,980
品番:CBSS
SIZE/W50×D52×H61~85cm

全国通信販売OK! ご注文は電話・FAX・ハガキにて!!

サイバースポーツ インターナショナル
TEL.06-6375-4050
FAX.06-6374-4020
〒530-8388 大阪市北区芝田2-3-14 日生ビル3F ■受付時間/AM9:00~PM7:00 年中無休

●表示価格には送料・消費税は含まれておりません。●お支払いは代金引換・クレジットカード・分割がご利用いただけます。
●セール商品につき返品・交換はご容赦願います。●改良の為、色・デザインが予告なく変更される場合があります。
●在庫切れやお届けに日数がかかる場合がありますのでご了承願います。●商品によっては、ロゴマークが入らない場合があります。
●セット商品以外はベンチ本体の価格です。(プレート・シャフトは別売)

VISA MasterCard JCB Orico

プロデビュー10周年記念を勝利で飾る！

高山善廣の祝福を受け、金原弘光、激闘を制す!!

◀試合後のマイクでは「相手は、途中で試合をやめようかと思うぐらい強かったです。勝てて良かったぁ(笑)」と語る姿に可愛げが漂う金原

▲死力を振り絞った両者。判定は2-1と微妙ながら金原が見事勝利を手にした

★第8試合/ヘビー級オフィシャルマッチ5分3R
○金原弘光(判定2-1)ポール・カフーン●
〈リングス・ジャパン〉 〈リングス・オランダ〉
※30−28、29−28(カフーン)、30−28

開会式ではUインター時代の盟友・高山善廣からプロデビュー10周年を祝う花束を受ける。高山はその2日後には『プライド18』に出撃！

金原にすれば、デビュー10周年記念となる今回の試合だが、いつものとおり、相手は未知の強豪ポール・カフーン。ホント、金原らしい。

伝え聞く話では、ヒース・ヒーリングのスパーリング・パートナーであるとか、自分より30キロも重いヨープ・カステルのアゴを殴り砕いたとか、ヤバめのものばかり。そして一番やっかいな点は、カフーンがヘビー級だということだ。ミドル級の金原にはここがとにかく辛いところだろう。

ともかく、最近のリングスにやってくる選手はたいていバカ強いから怖いのだ。

さて、そんな状況で迎えたこの試合。フタを開けてみれば、やはりカフーンはいい選手であった。1R序盤からパンチで金原を押し込み、グラウンドになってもガッチリ守ってスキがない。しかも、打撃の打ち合いから接近戦になった時には、見事なバックドロップまで決めたのだ。

もっとも、これは金原がヘタに抵抗するより素直に受けにいった部分もあるのだが。まあ、ともかくやりにくい相手だ。

ところが、だ。ここから金原が爆発した。それもよりによって打撃勝負。ヨープ・カステルのアゴを砕いた男と真っ向から打ち合いに出たのだ。観客からは悲鳴とも興奮ともつかない叫び声が沸き起こる。

と、その時、金原のパンチがカフーンの顔面を捕らえ、カフーンがたまらずタックルに来たところをグラウンドに移行。だが、残り時間が少なく、ここで1Rが終了。

続く、2Rも打撃勝負に出る金

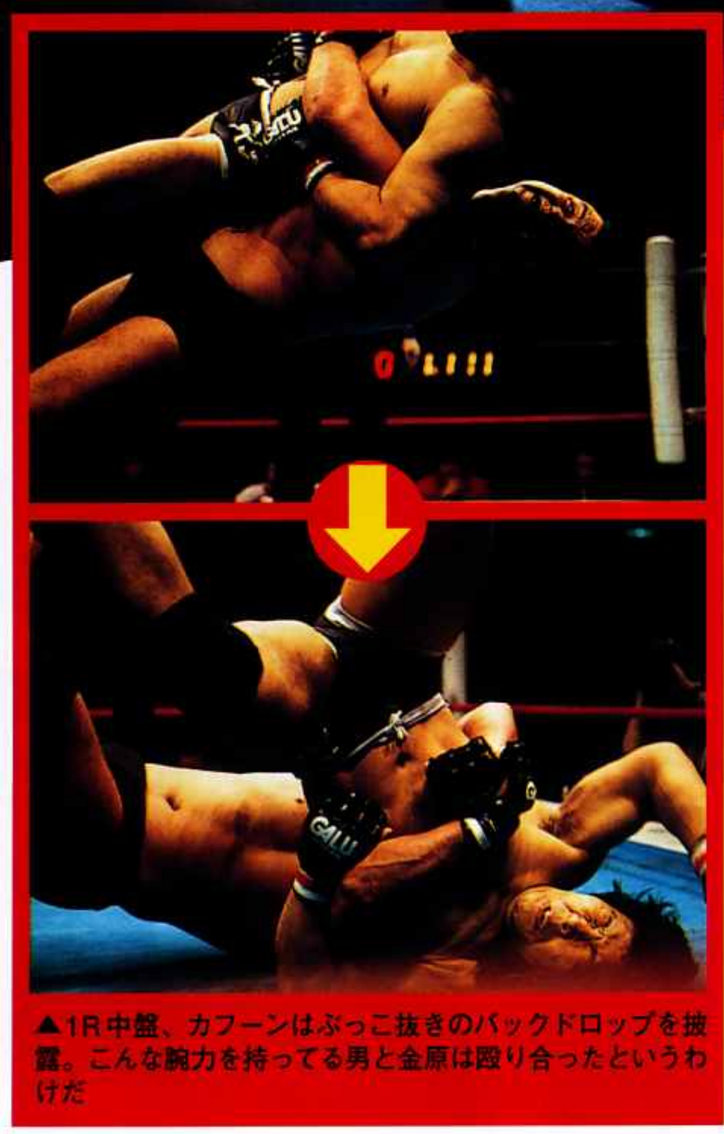
2R終盤、金原の腕十字が極まりかける。この写真のあと、カフーンのクラッチが外れるが、金原の足のフックも滑ってしまったのが残念

見ろ！ この必死の形相！

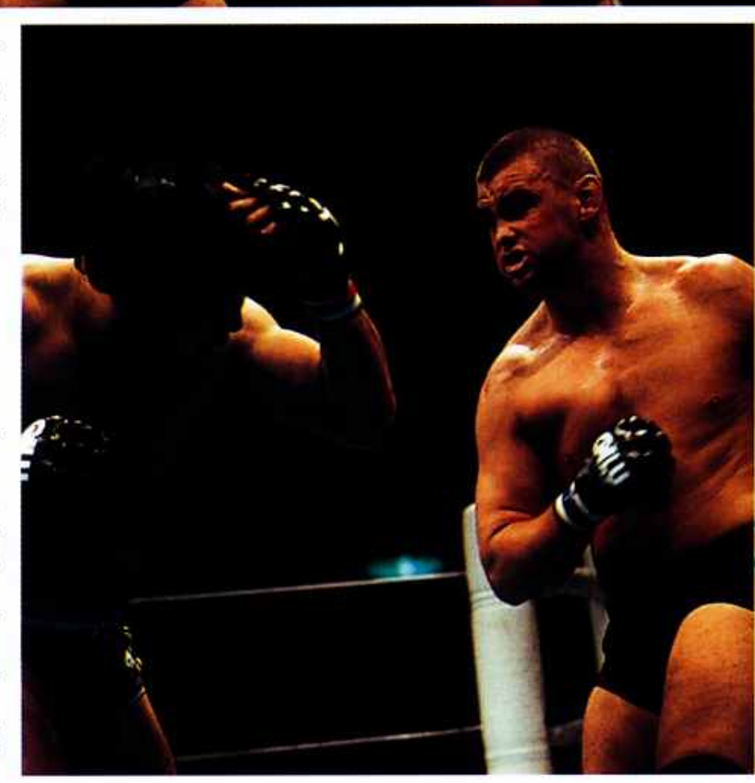
男らしき真っ向勝負！

金原弘光のコメント

「2Rの十字でかなり疲れましたね。オランダでメインを張ってるだけあって力も気持ちも強いですよ。（試合では）打撃でKOできると思ったんですけど身体が疲れて動かなかったですね。オモプラッタも狙ってたんですけどかからなくて。来年はミドルの王座を狙っていきたいですね。でも、前田さんから『格闘技は無差別なんや』と言われるのがツライですね（笑）」



▲1R中盤、カフーンはぶっこ抜きのバックドロップを披露。こんな腕力を持ってる男と金原は殴り合ったというわけだ



▲▶打撃を得意とするカフーンに対して正面から打ち合う金原の男っぷりに会場は盛り上がる。それにしてもカフーンの顔は凶悪だ

続く、2Rも打撃勝負に出る金原。ところが、今度はカフーンの打撃が金原の顔面を直撃、ダウン気味に倒れて大ピンチ！　が、意地でタックルを仕掛けて難を逃れ、再び、スタンドで打ち合う両者は一進一退。金原が目尻から出血する一方、カフーンもハイキックを食らって必死の形相だ。

そしてラウンド終盤、グラウンドに移行した金原がついに腕十字の体勢に。ところが、カフーンのクラッチが外れたとたん、金原の足も汗で滑り、大きな勝機を逃してしまう。

3Rの金原は、ヘロヘロになりながらも打撃を繰り出し、グラウンドでも常に攻め続けたが、時間切れ。判定勝ちとなった。

それにしても、この日の金原は男らしかった。よくぞ、打撃勝負をしようと腹をくくってくれた。今年最後の試合、自らのプロデビュー10周年を飾る試合で、相手の得意とするスタンドでの攻防を買ってでた姿勢には、心底ほれぼれしたのである。

はっきり言って、リングスにやってくる外人はバケモノのように強い。もはや日本人では勝てないんじゃないかと思うぐらい腕力もあれば、スキルもある。その上、試合前には情報がない。

だが、その中で闘う日本人選手たちの意地こそがリングスの面白さなのだ。かつて前田日明はこう語ったことがある。

「天に伸びる大木は地獄に根を張る」と。

まさに天に伸びゆくジャパン選手たちの地獄の苦闘こそがリングスなのである。でしょ？　（ブチ）

恐るべし狼軍団！ 恐るべしヴォルク・アターエフ！

アターエフ、"世界のTK"に判定勝ち！

▲必ず対戦相手に酷いケガを負わせることで有名なヴォルク・アターエフ。この日は、TKをKOすることはできなかったものの、破壊力抜群のパンチで、流血させた

★第7試合/ヘビー級オフィシャルマッチ5分3R
○ヴォルク・アターエフ（判定2－0）髙阪剛●
〈リングス・ロシア〉　〈リングス・ジャパン〉
※30－29、29－28

◀TKの再三にわたるタックル攻撃をしのぎきったアターエフが、判定で勝利をものにした。これで、アターエフは日本デビュー以来3連勝

TKこと髙阪剛がシアトルから日本に戻って来た。選手の大量離脱によって、手薄となったジャパン勢にとっては頼もしい男の凱旋帰国である。

やはり、凱旋試合は華々しくなくてはならない。前田総帥もそう思ったのか、TKの相手として用意したのは、"ロシアの破壊王"ヴォルク・アターエフ。日本では2回しか試合をしていないものの、相手に重傷を負わせてKOするなんてことは、お手の物。しかも、先日行われた世界散打選手権90キロ超級では、全8試合を全てKO勝ちで優勝している怪物的かつ危険な男だ。挙げ句の果てには、日本での試合はいずれも短時間でKO勝ちしているので、情報がまったくと言っていいほどない。まったくきつい歓迎の仕方である。

しかし、TKにとっては、きつい相手だが、ファンにとってはこんなにワクワクさせられるカードはない。しかも、TKはアターエフが今まで闘ってきた選手とはレベルが違う。いよいよ、アターエフの本当の実力を拝むことができると、誰もが楽しみにしていたカードと言っていいだろう。

果たして、アターエフは強かった。破壊力に定評のあるパンチで、TKを攻め立てる。これに対して、TKが取った作戦とは徹底してグラウンドにアターエフを持ち込むこと。TKはアターエフのパンチやキックをかいくぐり、1Rから果敢にタックルを放っていく。対するアターエフも、そのずば抜けた反射神経で、一回二回とTKのタックルを切っていくが、そこはTK。しつこく追いかけて、テイ

FIGHTING NETWORK
RINGS
WORLD TITLE SERIES
～アブソリュート級王者決定トーナメント～
12.21★横浜文化体育館

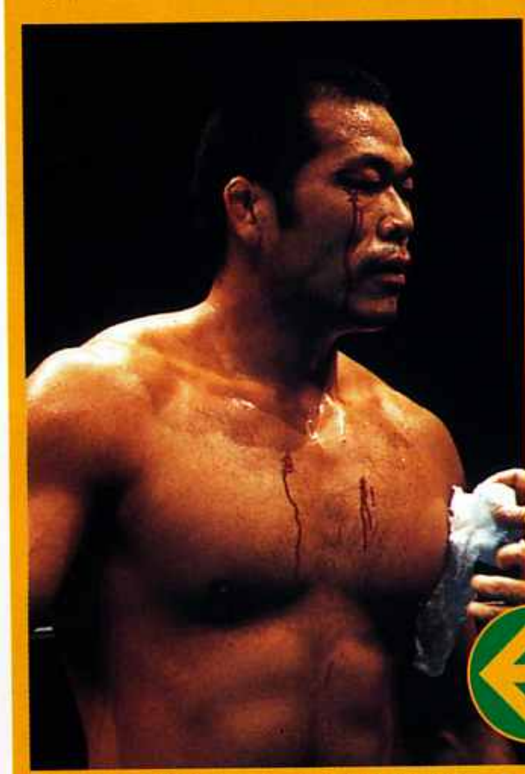
アターエフが打撃なら、TKは意地のタックル波状攻撃！

▲アターエフが打撃でくるなら、ＴＫはグラウンドで勝負。しつこいまでのタックルでグラウンドに持ち込むものの、仕留めることはできなかった

▲世界散打選手権を８連続ＫＯ勝ちで優勝したアターエフのパンチは、あまりにも驚異的だ

これが世界散打選手権を制した打撃だ！

▲▶２Ｒ、コーナーの近くで、アターエフの強烈な左フックが、ＴＫの顔面に炸裂！



▲▶自ら試合をストップさせたＴＫ。右の目尻の下あたりが切れて、流血した

アターエフのコメント

「私が記者会見で前に言ったように、非常に凶暴な相手だった。自分で闘ってみてそう思ったよ。かなり闘いづらい相手だった。今日の試合は自分のためになったと思う。でもどうして向こうは積極的に攻めようとしないのにレフェリーはブレイクしないのか。せっかく来てくれたお客さんのことを考えると良くないし、その辺が不満だった」

高阪のコメント

「今日は意地でもグラウンドで勝負したかったんで、最初から打撃をいっさい考えないでやったんですけど。自分の中で、どうしても（グラウンドで）やりたかったんで。それでグラウンドばかりの試合になったというより、したんですけどね。（今後は）自分は小さいところじゃ勝負しちゃいけないなぁって、もっとデッカイ、デカイ範囲で勝負してかなきゃいけないですから」

▶日本凱旋を勝利で飾れなかったＴＫ。試合前は、「こんなところで、つまずいていられない」と語っていたのだが……

クダウンしグラウンドに持ち込み、関節技を仕掛けていく。だが、ハンの下で鍛えられているアターエフは、これをなんとかしのぎきってしまう。恐るべし、狼軍団！

そして２Ｒに入ると、アターエフの破壊力抜群のパンチがＴＫに炸裂！　ヒザを着いたＴＫの目尻からは鮮血がほとばしっていた。しかし、ドクターチェックのあとも変わらずタックルで攻め立てるＴＫ。試合後、「意地でもグラウンドで勝負をしたかった」と語っていたように、ＴＫも実に意地っ張りな男なのだ。

ところが、３Ｒに入っても続くＴＫの意地のタックル攻撃も、スタミナが切れてキレがなくなってきて、アターエフにすぐに逃げられるようになってしまう。アターエフは逆にマウントを取ったり、タックルを受け止め投げ返すなど、その潜在的な格闘センスを存分に発揮していた。アターエフ、恐るべし。そして、中盤になって遂に、ＴＫにイエローカードが出された。ＴＫのタックルにこだわる姿が消極的と見られてしまったのだ。

結局、このイエローカードが響いて、ＴＫは判定で敗れてしまった。残念は残念だが、アターエフが本当に強いと分かったのは事実。たしかに、今までのようにＫＯすることはできなかったが、ＴＫ相手にフルラウンド闘ったのだ。今回はアターエフを誉めたい。

このアターエフのように、前田日明が発掘してくる外人選手には、いつ何時だろうと魅力的な怪物が揃っている。新たに立ち上げるバルト三国連盟にも、今から期待せずにはいられない。（小松）

帰ってきた極道息子（By前田日明）

復帰第一戦は須藤元気に完敗！

試合後、敗れた山本は清々しい表情を見せ、「このベルトの価値を高めてくれ」とUFC-Jのベルトを須藤に託した

▲▶2R開始してまもなく、須藤にマウントをあっさりと許してしまった山本は、下からも積極的に攻めようとするがバックを取られ裸絞めでタップアウト。「このまま黙っていられない自分がいて、無理に動いてしまった」と反省した

試合後、須藤が「K-1 J-MAX」出場に名乗りを挙げた！

▶試合後、インタビュースペースで「もし出場させてもらえるなら2月のK-1中量級のトーナメントに総合格闘界代表として出て、魔裟斗や小比類巻選手と肌を合わせてみたい」と来年2月に行われる『K-1 J-MAX』トーナメントに名乗りを挙げた。ちなみにこの日、須藤のセコンドには5日前に佐藤ルミナを破った五味隆典のほかに、前田憲作が付いていた

★第4試合/ライト級オフィシャルマッチ5分3R

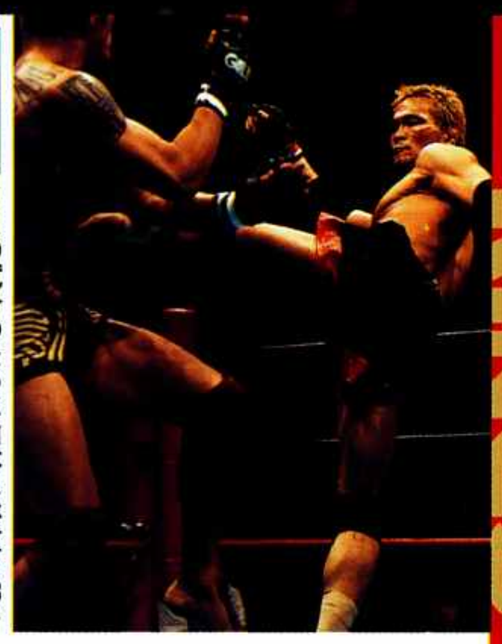
○須藤元気（2R1分46秒、裸絞め）山本喧一●

〈ビバリーヒルズ柔術クラブ〉　〈パワーオブドリーム〉

山本喧一のコメント

「減量はきつくないって言ったら嘘。今回、10キロ近く落としたんで。もう減量はこれが最後にします。これからは80キロを切ることはなくしたい。パット・ミレティッチにもう一回だけ挑戦したいって気持ちも残ってるし。今日はこのリングスで前田さんに対する恩を返せて、プロとしての仕事は果たせたと思う。ボクが絡んで面白い試合になるんであれば、またリングスに出たい」

大会終了後、山本喧一が前田のもとを訪れ、笑顔で握手を交わした。前田の嬉しそうな表情が印象的だ



▶この試合のために山本は体重を73キロまで減量したが、キックの威力は落ちてなかった

須藤に敗れたヤマケンこと山本喧一が前田CEOのもとを訪れた。「ボクは今日、肩の荷が下りて、また新たな気持ちで来年を迎えることができます」とヤマケン。前田は笑いながら「あんなヤツに負けて格好悪いぞ」とヤマケンを軽くこづいた。その時に見せた前田の笑顔が、とても印象的だった。ヤマケンのリングス復帰を、誰よりも一番喜んでいるのはやっぱり前田なのだ。

だがヤマケン復帰への道のりは、決して簡単ではなかった。

「前田さんに恩返しがしたい」と復帰を熱望するヤマケンに対し、前田はヤマケンの脳幹にあるクモ膜下嚢胞を懸念。リングスの指定した病院で精密検査を受けさせるなど、念には念を押した。診断の結果、晴れてリングス出場が決まったヤマケンは、9月の後楽園大会でリングス・オランダのロアニューを2分弱で下している須藤元気を相手に指名。現在の所属は違えど、かつて自分が所属したリングス・ジャパンとして外敵を迎える気持ちで、この試合に挑んだ。

それにしてもよく体重を落としたと思う。75キロ契約で行われたこの日の試合。普段80キロ近い体重のヤマケンは、73キロでリングに上がった。この数字を聞いただけで、ヤマケンのリングスへの熱い思いが十分に伝わってきた。

里帰りを終えたヤマケンの、家出期間中の闘いがなんであったかを確かめるのは、これからだと言っていいだろう。

前田が言う〝極道息子〟の復帰によって、リングスがさらに熱を帯びてきそうだ。（渡部）

FIGHTING NETWORK RINGS
WORLD TITLE SERIES
～アブソリュート級王者決定トーナメント～
12.21★横浜文化体育館

ロシアの田舎者は強いんです！

ヒョードル、ハスデルに圧勝！

なんとも強烈なアームロック！　ハスデルの悲鳴が耳から離れない

来年は馬年なのに……
あまりにあわれな、馬男・ハスデル

フィニッシュは、しゃがんでいるハスデルを強引に引っ張って、フロントネックロック！

▲しゃがんでるハスデルに対して、容赦ないボディへのパンチ。一発一発、もの凄い音がする

◀ヘビー級のベルトを誇らしげに掲げる田舎者のヒョードル。あと一つ勝てば、アブソリュート級との2冠達成だ

★第6試合/アブソリュート級トーナメント準決勝5分3R
○エメリヤーエンコ・ヒョードル（1R4分10秒、ネックロック）リー・ハスデル●
〈リングス・ロシア〉　〈リングス・イギリス〉

リトアニアの化け物不発！
ヘイズマンが決勝へ！

▼トーナメント準決勝、もう一つの試合はクリストファー・ヘイズマンVSエギリウス・ヴァラビーチェス。ヘイズマンが腕ひしぎでヴァラビーチェスを破り、決勝進出を決めた

▲トーナメントの1回戦で滑川をKOしたヴァラビーチェスだったが、左肩の負傷が完治せず、得意のマシンガンパンチも出すことができなかった

★第5試合/アブソリュート級トーナメント準決勝5分3R
○クリストファー・ヘイズマン（1R3分8秒、腕ひしぎ十字固め）エギリウス・ヴァラビーチェス●
〈リングス・オーストラリア〉　〈リングス・リトアニア〉

WORLD TITLE SERIES
アブソリュート級トーナメント

- エメリヤーエンコ・ヒョードル［リングス・ロシア］
- 柳澤龍志［チーム・ドラゴン］
- リー・ハスデル［リングス・イギリス］
- ゲオルギー・トンコフ［リングス・ブルガリア］
- 滑川康仁［リングス・ジャパン］
- エギリウス・ヴァラビーチェス［リングス・リトアニア］
- クリストファー・ヘイズマン［リングス・オーストラリア］
- グロム・コバ［リングス・グルジア］

「格闘技の醍醐味は無差別なんや」という、前田日明の楽しみのためにあるようなアブソリュート級王者決定トーナメント。1回戦が行われた10月大会では、いずれも好勝負が連発され、今回の準決勝にも期待がかかった。準決勝に勝ち上がってきたのは、ヒョードル、ハスデル、ヘイズマン、ヴァラビーチェスの4人。中でも注目されたのが、ヘビー級王座との2冠を狙うヒョードルだ。

ヒョードルは、ロシアの田舎で育った青年だが、柔道時代は田舎出身ということで、試合の判定で差別を受けたという。たしかに、ヒョードルの風貌はヌボ～ッとしていて、純朴な田舎者というイメージがしっくりくる。だが、そんな風貌とは裏腹にこのロシア人の見せる試合は、常に圧倒的な迫力に満ちている。今回のハスデルとの試合も、そんな田舎者の凄味をまざまざと見せてくれた。

ヒョードルの凄さは、化け物としか言いようがないパワーにある。タックル、パンチ、どれをとってもパワフルなのだ。特に圧巻だったのは、ロープ際で極めたアームロック。ハスデルが顔を歪めて、悲鳴を上げる様は、まさに地獄絵図。フィニッシュは、強引極まりないフロントネックロックで、ハスデルからギブアップを奪った。

さて、もう一方のブロックは、ヘイズマンがヴァラビーチェスを破り決勝進出を決めた。このヘイズマンと、ヒョードルが、2月15日の決勝戦で激突する。ヘイズマンは、この田舎の怪物ヒョードルを止められるのか？　決勝戦が待ち遠しい。

（小松）

最後はフェイスロックで勝利。SBの技術が総合格闘技にも十分対応できることを証明した

ホントは投げでKOしたかったと試合後に語った前田。とはいえ、見事な投げだろう

完全勝利! SBの前田、ここに見参!!

★第3試合/ライト級オフィシャルマッチ5分3R
○前田辰也（2R1分42秒、裸絞め）ステファン・ギリンダー●
〈寝屋川ジム〉 〈リングス・オーストラリア〉
※ギリンダーは、1Rに前田のパンチの連打によるダウン1、2Rにもパンチによるダウン1有り

▶パンチの切れが段違い！　一発パンチが当たればこのとおりダウンだ

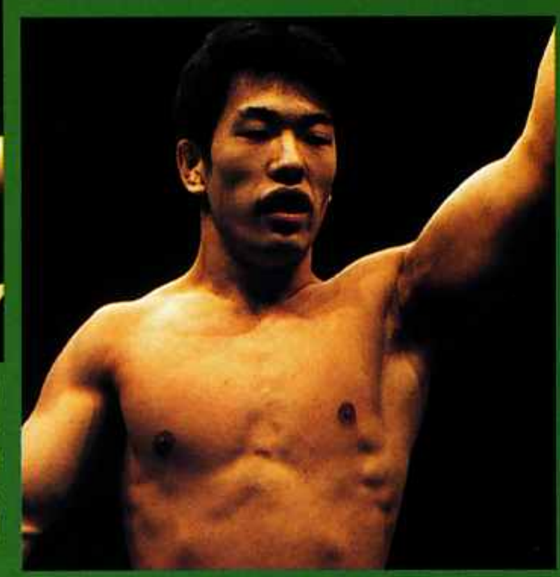
シュートボクセとの対抗戦を完全勝利で飾ったシュートボクシング（SB）。その勢いに乗ってリングスに参戦した、この日の前田辰也はやることの全てがイカしていた。華麗なフットワークでギリンダーの蹴りを完璧にかわし、パンチも左手で払った瞬間、すぐに右ストレートをグサリとぶち込む見事なテクニックを披露。1Rにはこの右ストレートでダウンを奪い、組み付いたらすかさず足払いで背中からマットに叩きつける。打撃&投げ&立ち関節のSBの魅力を思う存分見せつけたのだ。そして2R、打撃のラッシュを仕掛けてくるギリンダーだが、下がりながら出した前田のパンチでまたもやダウン。最後は、打撃勝負を捨てたギリンダーが仕掛けたタックルを潰し、バックマウントから裸絞めで完全勝利を手にした。こうしてSBの強さを示すとともに、10・20リングス代々木大会で敗北した緒形健一の雪辱も果たしたわけだが、一番素晴らしかったのは試合の質が高かったこと。つまり、こんな面白い試合ならもっともっと見たいってことなのである。SB、来年も期待大だ！　（ブチ）

▶試合後は「打撃の優位性が示せて良かった。今後の総合の試合についてはゆっくり考えたいですね」と

前田日明のコメント

「（今年1年の総括を…）昔の大山総裁の故事にならって、総裁だって1人でやってたんだから、俺も1人でいいやと、この10年間やってきた上で、いろいろ順調にいっているんですよ。例えば、バルト三国のラトビア、リトアニア、エストニアを立ち上げて、バルト三国の連盟を作ろうということなどもね。ただ自分の場合はまず、世界組織、海外からはじめてった。そうやって日本は、後回し、後回しってなってきた。いろんなことを動かすために、今そのための一つ山を越しました。近いうち、みんながちょっと驚くようなことを発表します。総括はそれからですね。（発表はいつぐらい？）今月の27日くらいにやれればと。（今日、会場にも来てたジェレミー・ホーン選手が『プライド』に主戦場を移しましたが…）ジェレミーサイドから彼を『プライド』に出してやりたいって言ってきたんで、いいんじゃないですか。ちゃんとそういうような報告とか挨拶があったし。（彼のランキングは？）ランキングは残念ながら残りませんね。（またリングスに上がることは？）いやぁ～、それは分からないですよ。『神のみぞ知る』じゃないですか？　俺に聞くより、向こうに聞いたほうがいいよ」

ユニバーサルバウトダイジェスト!



▲▶第2試合で登場した小谷直之（ロデオスタイル）は、飯田崇人（A³所属）と対戦。ポジショニングで終始優位に立った小谷は、飯田の左腕をガッチリと捕らえて離さず1R3分2秒腕ひしぎ十字固めで勝利を収めた。なお、第1試合で行われたU-FILE CAMPの佐々木恭介と門馬秀貴（A³所属）の試合は、判定2－0で門馬が勝利を収めている

須藤元気の公式サイト「東京元気大学」2002年1月28日（月）オープン！

山本喧一を破った須藤元気は、試合後リング上で「これから格闘界、日本を元気にしていきたい」とマイクでアピール。東京元気大学格闘技部GGG（ゲット・ゴナ・グルービー）というチームを結成したことを発表した。早くもその東京元気大学の公式サイトが来年の1月にオープンすることになったぞ。2002年も須藤元気からますます目が離せない！

HPアドレス➡http://www.tgu.gaburi.com

これだからDEEPから目が離せない

ドスJr欠場も、まさかの代打が大刀光に激勝！

大会数日前、大刀光と対戦予定だったドス・カラスJrの欠場が決定。代わりに登場したのはなんとエル・カネックだった！ VT用マスクにショートスパッツ、オープンフィンガーグローブ。そして背中にマント、腰にはUWAヘビー級のベルトが。威風堂々たるこのカッコよさはどうだ！

エル・カネック見参!!

カッコいいとはこういうことだ！

撮影◎吉澤晃

ルチャこそ理想のプロレス！カネック語録に酔いしれろ!!

「準備期間が短い？　ルチャの練習をしているからまったく問題はない」

「相手が相撲だろうが、世界一はメキシコのルチャ・リブレだ」

「私はこれまで猪木、藤波、長州、アンドレと渡り合ってきた男だよ！」

▲大刀光の上になったカネックは、思い切り良くパンチを連打。これが何十発も入り、まったく動けない大刀光を見てレフェリーストップがかかった。この状態はニーオンザベリーか!?

◀カネック激勝に満員の観衆が沸き返る。ルチャドールのＶＴ勝率は100％だ！

★第7試合（5分3R）
○エル・カネック（1R4分55秒、TKO勝ち）大刀光●
<メキシコ／AAA>　<日本／SPWF>
※グラウンドでのパンチ連打でレフェリーストップ

ならず者がＤＥＥＰに来た！

今大会の目玉カードの一つだったドス・カラスJrと大刀光の一戦は、大会直前になってドスJrが肩を負傷しカード変更。代打としてメキシコ・ＡＡＡから送り込まれてきたのは、あのエル・カネック（47歳！）だった。全盛期の昭和・新日本プロレスに参戦、数少ないヘビー級ルチャ戦士として活躍し、アンドレ・ザ・ジャイアントをボディスラムで投げたことでも知られる、あのカネックである。

プロレスラーのＶＴ挑戦は「プロレスラーは本当に強いんだ！」という〝最強幻想〟から始まった。だからこそ新日本やＵ系レスラーが参戦していったのだ。初期ＵＦＣにおけるカンフーやカポエイラにも、同じような匂いがした（もちろん怪しさやいかがわしさも魅力だったが）。

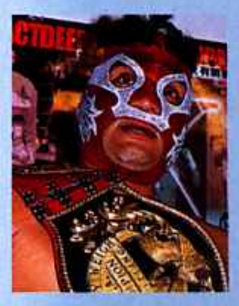
それをあえて、強さの幻想なんて必要なかったはずのルチャドールにＶＴ戦をオファーしたＤＥＥＰと、二つ返事で出場を決めたドスJr、そしてカネック。「なんの意味がある？」とか「そんなことして誰が得する？」なんて理屈より「でも、やるんだよ！」という心意気がたまらないのである。

今回のカネックも、ドスJrに続いてさらにルチャ幻想をかき立てまくってくれる存在だった。大会前日の記者会見と試合後のインタビューでの言葉を聞けば、ボクならずともカネックに心底惚れ抜いてしまうだろう。

準備期間の短さについては「日々、ルチャの練習をしているからまったく問題はない」と即答。「勝つために日本に来た」と言い切り、初経験のルールにも臆するこ

◀プロレスラー同士、しかも47歳のカネックが相手だからか、今回の大刀光は勝

カネックのコメント



「とても厳しい相手だったと思う。チョークは苦しかったが、調整をキチンとしてるから耐えられた。相手は相撲の力士だと聞いているが、メキシコのルチャ・リブレは世界一だ。私はこれまでアントニオ猪木、アンドレ・ザ・ジャイアント、ハルク・ホーガンなど、強い相手と闘ってきたんだ。ヘビー級のルチャドールとして、相手は選ばない。勝つために、そしてルチャ・リブレが世界一のスポーツであることをアピールするために日本に来た」

大刀光のコメント

「反則ばっかりじゃない。体にオイル塗ってるし、指も掴むし、反則OKなら俺だってやるよ。サミングもするし、反則ばっかしやがって！　ふざけんじゃねーよって！（そのままシャワー室へ）」

大刀光のスリーパーに思わず……

「チョークチョーク！」（カネック）

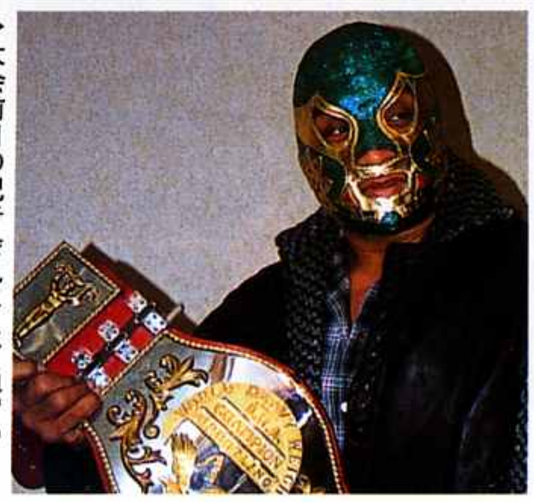
「チョークOK！」（レフェリー）

しかし見事に脱出！

▲差し合いからテイクダウンされ、裸絞めを狙われるカネック。思わず大刀光の絞めている腕を指して「チョークだ！」とアピールするが、当然ながらVTではOKなのだった

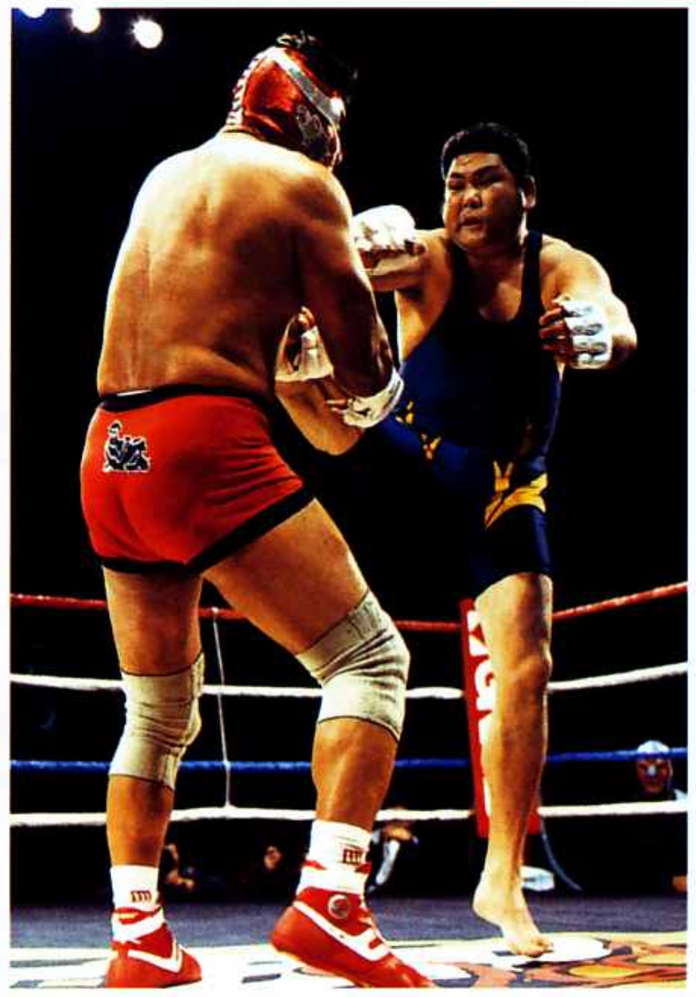
▶最大のピンチも、大刀光が後方に倒れ込もうとするスキを突いて反転し、見事に脱出

▶ドスJrはカネックの試合前、リング上で欠場の挨拶。その場で佐伯繁代表から3月30日の愛知県体育館大会での謙吾とのリマッチ決定が発表された



▶大会前日の記者会見には、通常のマスクを被って出席したカネック。ここでも素晴らしいコメントを連発してくれた

▶差し合いでコーナーに詰められたカネックだが、顔やノドを押して冷静に対応。大刀光によれば、カネックはこの時にさりげなくサミングしてたらしい



◀プロレスラー同士、しかも47歳のカネックが相手だからか、今回の大刀光は勝つ気マンマン！　ローをキャッチされても、そのままパンチを連打していく

り、初経験のルールにも臆することなく「ルチャドールはどんなルールでも対応できる。ボクサーとも、空手家とも闘える」と断言するから頼もしい限り。さらにはトドメとばかり「私はこれまで猪木、藤波、長州、アンドレと渡り合ってきた男だよ！」とくるからまったく言うことなし、カネックはプロレスラーの鑑だ！

実際、リングに上がったカネックはブ厚い胸板と引き締まった腹筋を誇示していた。序盤こそ攻めこまれたカネックだが、差し合いの際にはサミングで大刀光を苦しめる。大刀光は試合後にさんざん文句を言っていたが、やはりメキシコで20年以上ルード（悪役）のトップを張り続けてきたカネック（スペイン語で〝ならず者〟の意味）、VTですらレフェリーのブラインドをついてしまうとは、さすがとしか言いようがない。

バックからスリーパーをかけられると「チョークチョーク！」とアピールしたりしつつ（当然、却下）、カネックはしっかり上のポジションを奪ってみせた。最後は大刀光が身動きを取れないほどのパンチ連打でレフェリーストップ勝ち。カネックの言うとおり、ルチャこそが真の〝キング・オブ・スポーツ〟なのかも、と思わせる激勝だった。

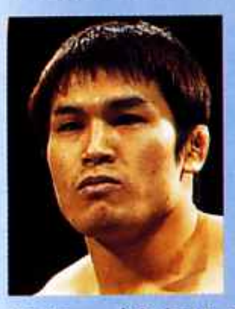
普段は極上のエンターテインメントで観客を沸かせながら、ガチンコの実力も貯え、いざという時に決して逃げない――。まさしくルチャこそが理想のプロレス！　こうなったら小川に代わってカネックに『猪木祭り』出場をお願いしたいくらいである。（橋本）

今年最後の試合を終え、美濃輪がついに参戦表明！

「PRIDEで闘いたい相手が1人います！」

▶急きょ決まった大久保一樹戦を圧勝で飾った美濃輪。コメントブースでたまらなく熱いトークを展開した後、『プライド』参戦発言が出た

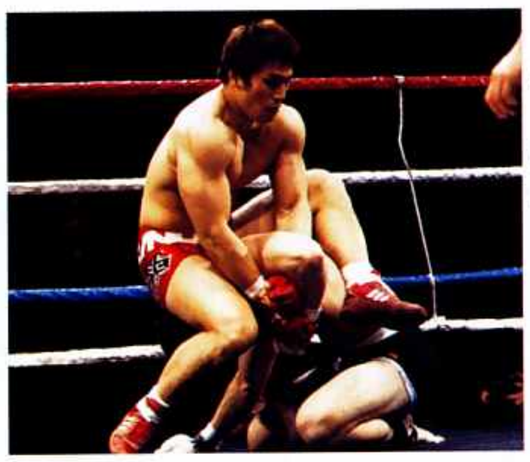
美濃輪のコメント



「早く極めようとかは思いませんでした。最初から飛ばすだけで。ブン投げてKOできたらそれでいいし、寝たらとことん殴ってとことん関節で追い込んで。スタミナ配分なんて、どうだっていいです。（来年は？）3月にDEEPが地元であるんで、出たいですね。『プライド』も経験してみたいっていうのがある。みんな強いんでどの選手でも噛み合うし、噛み合わせられますね。この前の試合前後から、ちょっとやってみたいなっていう選手は1人います。まだ言えないですけど、どう考えてもその人しか頭に思い浮かばない。来年はもうメチャクチャにしてやりたいです。暴れたいです」

大久保のコメント

「美濃輪選手と闘えるだけで光栄です。気持ちでは負けないつもりだったけど、それを上回る凄さがあった。力も凄かった。出直してきます。それだけです」



▶フィニッシュも美濃輪ならではの荒技。アームロックの体勢から無理矢理引きずり回しての腕十字

▶当初、この第4試合では伊藤崇文（パンクラス・横浜）と日高郁人（元バトラーツ。現在はフリー）が対戦する予定だったが、伊藤のケガのため中止に。両者はリング上で挨拶し、DEEPでの対戦実現を誓い合った

▶2度目のデスバレーも、大久保が暴れて不成功。しかし、大久保はかえって危ない形で落とされてしまうハメに

こ、これは……デスバレー・ボム!?

▲片足タックルで持ち上げると、そのまま相手の体を横にズラしてデスバレー・ボムを狙う！　しかし大久保はうまくバランスを取って未然に防いだ

★第4試合（5分3R）

○美濃輪育久（1R3分38秒、腕ひしぎ十字固め）大久保一樹●

＜パンクラス・横浜＞　＜U-FILE CAMP＞

それにしても、とにかく美濃輪には驚かされる。

ただでさえハードなバーリ・トゥード系ルールの試合を、この試合で、美濃輪はなんと年間7試合もこなしてしまった。いや、こなすとは言えないか。美濃輪の場合、たとえ相手が誰であろうとも、どの試合も常に全力。今月2試合目となるこの日の試合でも、一瞬も動きを休めることなく、プロレスラーとして観客を魅了した上で勝ったのだから、もう凄いの一言だ。

しかもそれだけではない。今年最後の試合を終えた美濃輪から、注目発言が飛び出した。

「『プライド』に出る準備はあります。どの選手とでも噛み合うし、噛み合わせられる。やってみたい選手が1人います」

普段、めったに自分からやりたい相手を言わない美濃輪がここまで言うとは、『プライド』参戦にかなり意欲的な証拠。最近、パンクラスの『プライド』参戦の話題が取りざたされている中、美濃輪がさっそく名乗りを挙げたのだ。

それにしても気になるのが、美濃輪がやりたいという相手だ。一般的に美濃輪の体重から考えたら、ミドル級の選手となるだろうが、常識が通用しないのがこの男。スーパーヘビー級の選手を指名しても決しておかしくないのだ。誰だ？　あぁ気になる。

『プライド』参戦について、尾崎社長も前向きな発言をしている。美濃輪が『プライド』のリングに上がるのは、そう遠くないだろう。

日本人の惨敗が続く『プライド』だが、美濃輪ならきっと何かやってくれる！

（渡部）

ボクシング王者がナンボのもんじゃい！

ラバナレス

村浜武洋、高らかにK-1挑戦宣言

「プロレス、総合、打撃が全てできるのはオレだけでしょう。そんなオレがK－1をかき回したい」。野望高き村浜にとって、元ボクシング界のビッグネームもメじゃなかった

プロボクシングとの異種格闘技戦で本領発揮

辰吉のライバルをたった40秒で撃破

「お～ら 素人さんにはきついじゃろお」

グラウンドに持ち込めば、村浜のやりたい放題

★第9試合・メインイベント/特別ルール5分3R

○村浜武洋（1R0分40秒、ヒザ十字固め）ビクトル・ラバナレス●

〈日本/大阪プロレス〉　〈メキシコ/WBCパコ・サンチェス・ジム〉

※ボクシンググローブ選択可能、3ノックダウン、5エスケープ制の特別ルール

すっ転がせば、ラバナレスもただの人。村浜はグイグイと攻め立て、一気に勝負を決めに出る

ちょっといい汗かいちゃいました、とでも言いたげに、村浜はさっぱりとした表情でインタビュー・ルームに入ってきた。そして、今後の展開はと記者に質問されると、きっぱりと言い切った。

「K―1中量級（WORLD MAX）に出たいですね」

もはやSBの村浜でなく、大阪プロレスの村浜である、と断言するようにこう続けるのだ。

「猪木軍対K―1で盛り上がっていますよね。打撃の人が総合に挑戦するのはチョコチョコあるけど、プロレスや総合系が打撃のリングに立つことってないでしょう？プロレス、総合、打撃、全部をできる人間て誰がいます？　オレしかいないでしょう」

心はすでに次の野望に向かう。ついさっき、プロボクシングの元世界王者、しかも日本のエース、辰吉丈一郎を一度はタコ殴りにした豪傑ラバナレスを相手にしたというのに、そんなこともあったっけ、という感じの村浜である。

それも無理からぬ話。注目の異種格闘技戦は、あまりにもあっけないというか、終わってみれば「さもありなん」という具合に、この村浜はたった40秒で終わらせてしまったのだ。

にらめっこは10秒と少し。速攻で組みついた村浜は、そのままメキシカンをマットに崩してしまう。懸命に下から抱きつくラバナレスをリング中央までズルズルと引っ張ると、左足にヒザ十字を仕掛ける。たったそれだけで、WBC世界バンタム級の元チャンピオンにして、現役のWBC中米バンタム級のボクシング・チャンピオンはギブアップしてしまった。

自然の試合展開に、なるべくし

「寝技なんてやったことない」

だから、こんなつらい目に遭うんだよ、ラバちゃん

「イテーよー」。苦痛にゆがむこのラバナレスの表情。9年前、あの辰吉をタコ殴りにした男も、その面影はなし

村浜のコメント

「練習どおり。というか、最初に試したパターンで決まっちゃいました。無理やりタックルにいくんじゃなく、相手に打たせてからカウンターで取りにいくというのかな。そういうのができたのは収穫ですね。いろいろと考えて、あっさり終わったんで空しいけど、ヘタに打ち合って、やっぱりああしとけば……と思っても遅いですからね」

ラバナレスのコメント

「この世界の強い人2～3人と練習してからでないと難しいなぁ。オレはキックの選手とはちょっとやったけど、総合のほうはまったく練習しなかったからね。ムラハマ？　マットに引き落とす力が強かったな。最初に倒された時、ロープエスケープできたけど、全部で4回しかできないから、後に取っておこうと思ったのが失敗だな」

▶こうやって立って闘ったのは10秒とちょっと。ラバナレスは本来のパンチの技術を見せる暇もなし

▶ラバナレスが勇ましかったのはここまで。ソンブレロをかぶり、WBC世界バンタム級王者時代のベルトを先頭に登場した

「なめとんのか！」と思っちゃいけない。何も考えないから、ラバナレスは強かったんだ

◀がっちり極められたラバナレスは、瞬時のうちにタップアウト。「寝技の練習なんて全然やってない」って、言い訳にもなるのかなぁ

「こんな素人相手に長く闘う必要はない」とばかりに、余裕を持ってヒザ十字を極める村浜

ギブアップしてしまった。

当然の試合展開に、なるべくしてなった結末である。

「4つのプランを考えてきたんだけど、その一つ目、グラウンドに誘って脅かす、というので、もう決まっちゃいました」

と、一生懸命に考えた村浜に対し、ラバナレスは何もやってきてなかったのだ。練習はボクシングのみ。寝技は何もしていない。

「ルールを聞いて、難しいとは思ったが、ボクのために特別ルールを考えてくれるというので」

前日のルール・ミーティングでも、説明を受けるまま「ああ、そう、いいですよ」てな感じで、全て受け入れる。3度のダウンでKOになるのと、4度までロープ・エスケープが認められた以外は、結局あとは『なんでも有り』。しかも、総合への対策は皆無のままのリングだったのだ。

「なめとるのか！」と怒ってはいけない。ラバナレスというのは、そういう人なのである。9年前、辰吉と闘った時、試合中に吐いた。一方的なTKO勝ちを飾った後で聞いたら、「アイスクリームを食べ過ぎた」だって。何も考えてないのだ。本職のボクシングでなら、それでも経験とケタ外れのスタミナ、タフネスで何とかしてきたが、こと総合でとなるとそうはいかない。おかげで、試合後も左足を引きずるほどの、ひどく痛い思いもすることになる。

勝負に対する村浜の真摯な姿勢を熱く称えたい。そしてラバナレスのスーパーなくらいのノーテンキにも、私としてはひたすら好意を捧げたい。

（宮崎）

VT界に幻想浮上!!

総合初挑戦のランバーがあのヤノタクに勝った!

★第8試合/セミファイナル(5分3R)
○"ランバー"・ソムデート吉沢(3R判定3-0)矢野卓見●
〈タイ/M16ジム〉 〈日本/烏合会〉
※採点…30-27、29-28、29-28

3R終了のゴングが鳴ると、ランバーは勝利を確信して大ハシャギ! 逆にヤノタクはスタミナ切れでしばし立ち上がれず

DEEPでは必ず何かが起こる。毎回、DEEPには意外なファイターが登場し、そして予想を超える結果でブレイクしてきた。

1月の第1回大会では村浜武洋がホイラー・グレイシーと引き分けて株を急上昇させ、8月の横浜大会ではまさかのドス・カラスJr参戦&謙吾に大勝利。

そして今回の大きなトピックはというと、カネックの登場、そしてランバーのプロ総合格闘技初挑戦だろう。元ルンピニー2位のムエタイ戦士、本場タイでチャンピオンより人気のあったトップ中のトップの打撃屋が、まさかDEEPのリングに上がるとは。ましてや、あの矢野卓見(ヤノタク)と闘うことになろうとは……。しかも、約10キロの体重差をハネ返して勝ってしまうんだから、まさに「何かが起こるDEEP」の面目躍如というもの。

試合は〝打撃のランバーVS寝技のヤノタク〟という構図になるかと思われた。猪木軍VSK—1のように、長所と短所がハッキリしすぎている者同士の対決。それでも、「いったん組み付いてしまえば勝負はヤノタクのもの」という予想のほうが多かったと思う。

だが1R早々、驚愕のシーンが訪れる。ヤノタクがランバーの足関節を取ると、なんとランバーもヤノタクの足を掴んでヒールホールドを仕掛けたのだ! だいぶ前から、ランバーが植松直哉と総合の練習をしていたのは知ってる。植松曰く「(ランバーは)頭がいいんですよ、凄く。総合もよく研究してますよ」とのこと。本人も「足関節とギロチンチョークはうま

ランバーのコメント

「寝技をいっぱい使いたかったけど、相手の力が強かったのでキックを多く使ったんだ。スリーパーはアゴで止まってたから大丈夫。2人で足を取った時は、向こうがいい感じで取れてたんでちょっと怖かったけど。打撃は20年以上やって、今は寝技のほうが好き。これからも試合をやってみたい。最初の試合で勝てて気分がいいよ」

矢野のコメント

「疲れました……。2R終わった時点で、スタミナ切れちゃいました。チャンスがあって色気出しちゃって。(チョークは)グローブの分、入りきれなかった。足はもうちょっと持ちそうですけど、明日あたりから痛むんでしょう。これが同体重だったらシャレになんないですよ。久々に疲れました。やっぱ元気ですね、ランバーは」

▶1R、足関節を狙うヤノタクに、なんとランバーもヒールホールドで反撃！　さすがにヤノタクのほうがいい形で入っていたが、ランバーは相手を蹴っ飛ばしつつ体を起こし、スタンドに

◀2Rにはスリーパーでランバー、ピンチ！　かなり長い時間この状態が続き、ヤノタクは何度もトライしたのだが、ランバーはラウンド終了まで逃げ切った。凄え！

◀もうヘロヘロのヤノタクだが、3R終盤、ガードポジションのランバーを持ち上げてジャイアントスイング！キッチリ見せ場を作るあたりはさすがだったが「これで予備燃料も使い切りましたよ」(ヤノタク)

▼猪木ーアリ状態は、技術さえあれば下からいくらでも攻められる形。しかしランバーの蹴りが凄すぎた。スピード、的確性、威力、どれをとっても超一級品。この攻防が試合の多くを占め、ヤノタクは大ダメージ

◀いつものように相手にケツを向けたりしつつチャンスをうかがうヤノタクだが、組みつこうとするとランバーの強烈なローが襲ってくるだけに、うかつに攻められない

▶セコンドについた修斗の植松直哉(ランバーが打撃を、植松が総合を教え合う仲)もランバーの総合ルール初挑戦&勝利を祝福

くできる」と言う。だけど、いくら練習して研究したって、いきなりプロの試合でやれるもんじゃないよ、普通！

驚きはさらに続く。2R、ヤノタクが今度はスリーパー。まだラウンド前半だけに、さすがに極まるかと思われた。……が、ランバーはこれまた時間いっぱい耐え切ってクリアしてしまった。

これでヤノタクは完全にスタミナ切れ。加えてランバーのローを数え切れないほど喰らって足もボロボロのはずだ。ヤノタクは正攻法のタックルではなく、前転(浴びせ蹴り)やスライディングなどから潜り込むように組み付こうとしたのだが、これにローを合わされる。そこで猪木―アリ状態になっても、また足を蹴られまくってしまうのだ。

並の選手の蹴りならヤノタクも対処できただろうが、相手はムエタイでも最高級の地位にいた男である。3Rのヤノタクは、ガス欠とダメージのダブルパンチで立っているのさえつらそうだった。そんな状態で、わずかに残った体力をジャイアントスイングで使い果たしちゃうんだからムチャクチャで素晴らしいとも言える。そう、この試合が面白かったのは、お互いが弱点を潰し合うんじゃなく、ひたすら自分のやりたいことばっかりをやりまくったからだった。

判定はもちろんランバー。一流の格闘センスを持つナックムエ(ムエタイ戦士)が本腰を入れて取り組めば、総合でも一流ということか。DEEPはルチャに続き、ムエタイという大金脈まで掘り起こしてくれた。

(橋本)

坂田亘、因縁のパンクラスと開戦「横浜の大将に引導渡してやる！」

福岡で山本憲尚が十字を極めていたのと時を同じくして、ディファでも元リングスの坂田亘が勝ち名乗りを挙げていた。ちなみに同時期にリングスを離脱した田村潔司はUIFILE勢のセコンドとして登場、成瀬昌由は新日の『夢★勝ち』で吉江豊に負けていた

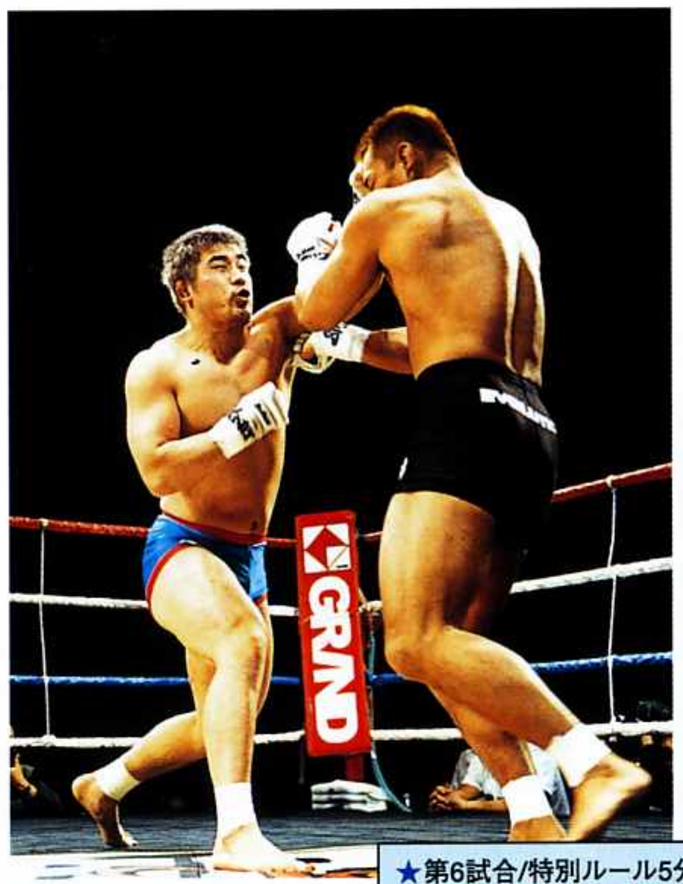
★第6試合/特別ルール5分3R

○坂田亘（1R4分05秒、TKO勝ち）窪田幸生●

〈EVOLUTION〉 〈パンクラス・横浜〉

※グラウンドでのパンチ連打でレフェリーストップ。グラウンドでの顔面蹴りが認められる特別ルール

▲フィニッシュシーンがこれ。2度目の差し合いからバックを取った坂田は、窪田をカメでも仰向けでもない中途半端な体勢のまま胴4の字で固定、パンチを浴びせまくってレフェリーストップ勝ち



▲スタンドでは窪田がペースを握る。タイミングよくワンツーがヒットし、坂田は目を傷めたという

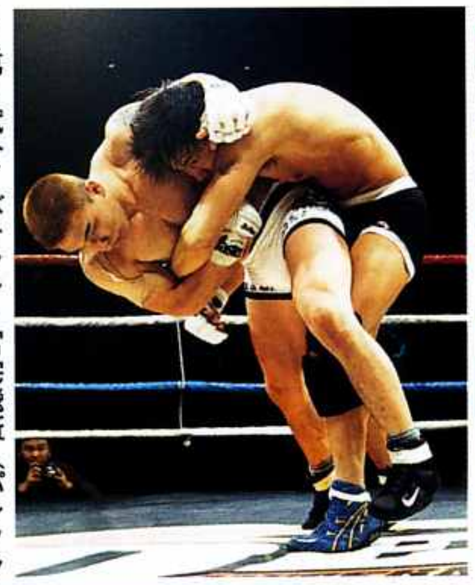
坂田亘といえば、パンクラスとリングスが最も険悪な関係だった頃、「オレがやってやる」と抗争の前面に立った男である。その坂田が、フリーとしてDEEPのリングでパンクラスと開戦。横浜道場の窪田幸生にTKO勝利を収めた。坂田は窪田を「気持ちが伝わってくるいい選手だった」と称えつつも、「若い選手とやってもメリットがない」とバッサリ。鈴木みのるに対して挑発を繰り広げた。「髙橋さんも尊敬してるし闘いたいけど、UFCの邪魔しちゃ悪いから。横浜の若い奴やったんだから、大将が出てこいって。ロクに話したこともねぇのに陰でグジュグジュ言ってねぇでさ。逃げんじゃねぇよ！」と坂田。当時を知るパンクラス初期メンバーに対しては腹に据えかねるものがあるのだろう。これを聞いた鈴木は、そしてパンクラスは果たしてどう出る？

（橋本）

▶痛恨の敗北を喫した窪田は、試合後はコメントを出さずに病院直行

▲予想以上の大成功に終わった3回目のDEEP。閉会式での佐伯代表の締めの一言は「メリー・クリスマス！」。来年は3、6、9、12月に大会を予定しており、次回は3月30日（土）、愛知県体育館で開催。ルチャVS日本の全面対抗戦が行われるほか、ブラジリアン・トップチーム勢の参戦など、豪華なカードが並ぶようだ

▶今大会のラウンドガール。左からキューティー鈴木、工藤めぐみ、府川唯未。当然コスチュームはサンタだったが、予告された佐伯代表のトナカイの着ぐるみ姿はなし。残念！



▶〈第3試合〉ベテラン・冨宅飛駈（パンクラス・東京）と新鋭・長南亮（UIFILE CAMP）の一戦は長南が判定3－0で勝利。差し合いからのテイクダウン、首相撲&ヒザ蹴りと、全ての局面で長南が優位に試合を進めていた

▲〈第5試合〉田村潔司の一番弟子・上山龍紀（U-FILE CAMP）はミレティッチ軍団のラバーン・クラークに勝利。打撃戦の最中に偶然のバッティングでクラークがダウン、誤ってゴングが鳴らされるアクシデント（写真の場面）があったが、再開後は上山が優勢。マウントから十字を極めかけたところで1Rが終了したが、クラークはダメージからかインターバルが終わっても立ち上がれず、試合放棄となった

▲〈第2試合〉修斗でおなじみの村浜天晴（ワイルドフェニックス）が、パンクラス横浜の大石幸史と対戦。両者はかつて『コンテンダーズ』で闘いドローとなっているが、今回は大石が判定2－0で勝利。下から攻める村浜兄に対し、RJW出身の大石のテイクダウンがジャッジに支持されたか

▲〈第1試合〉佐藤伸哉（P's LAB東京）が寝技で美木航（RJW）を圧倒。佐藤はバックからのチョーク、オモプラッタなどで美木をコントロールし、2R3分7秒、十字でタップを奪った

はみだしパンクラス

1月27日（日）に開催されるパンクラス後楽園大会の追加カードが発表された。渡辺大介（横浜）とA³の門馬秀貴がライトヘビー級2回戦で対戦。総合格闘技初挑戦となる元・極真の岩崎達也（フリー）は菊田早苗を相手に3分間のエキシビジョンマッチを行う。また、12.1横浜大会の近藤有己戦で負傷した郷野聡寛の正式な診断結果が『右眼窩下壁骨折』と発表された。郷野は手術を行い、12月18日に退院している。

リングスから
猛者が『プライド』に
やって来た！

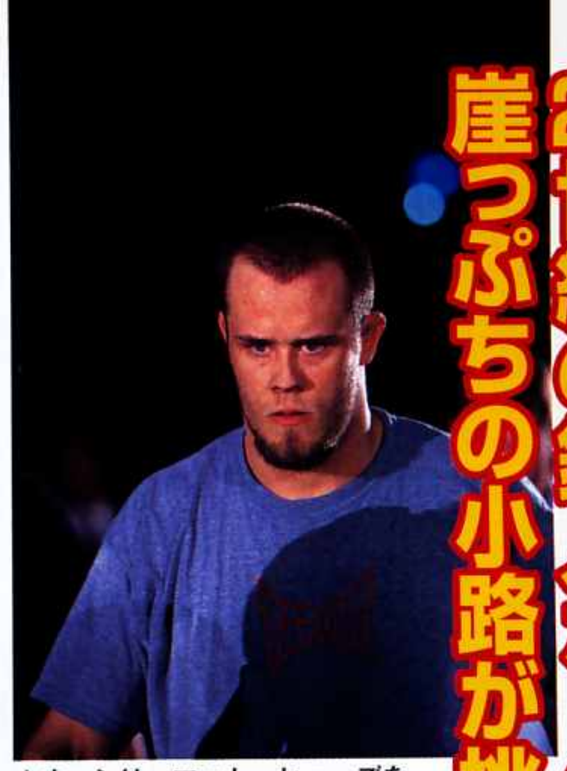
ジェレミー・ホーン、小路を封殺!!

ノゲイラ以外のリングス出身者が必ず苦戦させられている、『プライド』でのデビュー戦。ホーンは、ノゲイラ、アローナに続いて、この第一関門を突破した

21世紀の鉄人ホーンに崖っぷちの小路が挑む！

▲1Rから2Rの前半まで、小路はホーンをテイクダウンするものの、インサイドガードからパスできずに膠着。2Rには消極的に見られ、イエローカードまで出されてしまう。ホーンは下の体勢からでもコツコツと嫌らしい攻めを見せた

▲一方の小路のセコンドは、元極真会館の岩崎達也と元RJWの阿部裕之。ややこしいが、2人ともかつて所属していた組織から最近独立している



▲ホーンは、マット・ヒューズをセコンドに付けて登場。ややこしいが、ヒューズとマット・ヒュームは別人である

▲イエローカードが出された後、小路は積極的にホーンと打ち合いに！

◀ホーンは、小路をテイクダウンし、簡単にパスガード。さらに、マウントポジションを奪い、小路の腕を首に巻き付けて、ねちっこく攻め出す。この後、腕十字を狙うがこれは失敗

地味でも強いホーンが、地味な小路をさらに地味に見せる！

リングスからまた一人、新たな猛者が『プライド』にやってきた。あのノゲイラをして、「最強の敵」と言わしめ、本人曰く、100戦以上の試合を経験していることから〝鉄人〟の異名をとり、週1ペースでバーリ・トゥードの試合をこなしてきたという、とんでもないタフガイ。そう、あのジェレミー・ホーンだ。

今年に入ってから『プライド』で勝ち星がない小路にとっては、体格的なハンデの言い訳がきかない分、前回のシュルト戦以上に、キツイ相手と言えるだろう。本当に小路は、毎度のことながら大変な闘いを強いられている。

ところで、ホーンと小路だが、共通している点がいくつかある。まずは、2人とも極めて地味な選手ということだ。しかし、2人ともその実力を高く評価され、また純朴そうな顔同様、人がいい。似たもの同士の対戦なのだ。ホーンは日本で主戦場にしていたリングスから離れる時に、ちゃんと前田日明に挨拶をしたという律儀な一面を持っている。

この『プライド18』の2日前に行われたリングスの横浜大会に、観戦に訪れていたのだが、それが許されたのもきっとホーンの人柄によるところが大きいのだろう。こんな、ホーンと地味さではひけをとらない小路の試合は、やっぱり地味な攻防が繰り返された。

1Rは、小路がホーンのインサイドガードから、なかなかパスガードできず、いきなり試合は膠着してしまった。下になっても余裕をもって、ホーンは小路の攻撃をさばく。2Rに入って、相変わらずテイクダウンしても、そこから

3R、ホーンの猛攻が小路を襲う！

▲3R、小路はホーンをテイクダウンするもパスガードすることができず、インサイドガードから何もできない。ホーンは逆に下から腕を狙い、さらに体勢を入れ替える！

▲小路が素早く仰向けになると、それに付いて来るかのようにニーオンザベリーの状態でパンチ！

▲小路より体勢を上にもっていったホーンは、小路をがぶってヒザ蹴りを繰り出す

ホーンのコメント

「凄いキツイ試合だった。ショウジが大変タフな選手だということを、ビデオで研究して知っていたので、大変長い、判定にまで待ち込まれる試合になると思っていた。長い間『プライド』に参戦したいと思っていたので、今回試合ができてとても嬉しく思っている。タイトルとかお金とかもいいが、誰が一番だとかに興味があるんだ。現在、ミドル級でシウバ、サクラバというのはトップ選手なので、ぜひ闘いたい」

▲結局、ホーンが判定で小路を破る。小路は、上になっている時間は多かったものの、そこから何もすることができなかった

負傷箇所は指か手か？小路、試合後病院へ!!

◀さらにバックに回って胴を足で絞めながらスリーパーを狙っていく。このホーンの一連の猛攻に小路も青色吐息

★第6試合（1R10分、2・3R5分）
○ジェレミー・ホーン（3R判定3-0）小路晃●
〈アメリカ／ミレティッチ・マーシャルアーツ・センター〉〈日本／フリー〉

ずテイクダウンしても、そこから何もできない小路にはイエローカードが提示される。

逆にホーンは、ここからリングスやUFCなどで見せてきた実力を発揮し始めた。特に3R終盤の攻めは見事だった。小路がインサイドガードから何もできないでいると、すかさず反撃。ガードポジションから、腕を取りにいきながらスイープし、すぐさまパスガードを決めてみせる。そして、立ち上がろうとする小路をがぶり、頭部にヒザを叩き込み、小路が仰向けになるとすかさずマウントポジション、ニーオンザベリーの状態で殴りつけ、小路がカメになるとバックに回ってスリーパーを狙いにいくという怒濤の猛攻。やっぱりホーンは強い！　なんとかそれらの猛攻をしのいだ小路だが、判定をものにしたのはホーンだった。

リングスから来る選手は、結果が良かれ悪しかれ、『プライド』でのデビュー戦はなんらかのインパクトを残していく。ノゲイラもそうだし、この日初勝利をあげたヤマノリにしろ、同じ負け方を繰り返すオーフレイムにしろそうだ。ホーンは彼らのような分かりやすい強さやインパクトはないが、底知れぬ地味な強さがある。

100戦以上の試合キャリアを積んできたタフさと、〝鉄人〟の異名は伊達じゃない。願わくば、地味でもいいからとことん勝ち続けて、かつての〝鉄人〟ルー・テーズのごとく、そのタフさでマット界一の光り輝く男になってほしい。どうせなら、リアルファイトで、テーズと同じ936連勝を達成してもらいたいものだ。（小松）

「今回は打撃で勝負」って言ってたのに……

ボブ、また意表突く

ヒールホールドで快勝！

◀打撃で倒しにいくという心構えは、口だけのことではなかった。1R開始早々、ボブチャンチンはいきなりスゴイ形相でオーフレイムに殴りかかっていった

見てみ、ボブのこの目！
こわ～っ！

★第5試合（1R10分、2・3R5分）
○イゴール・ボブチャンチン（1R4分35秒、ヒールホールド）ヴァレンタイン・オーフレイム●
〈ウクライナ／フリー〉　〈オランダ／ゴールデン・グローリー〉

ボブチャンチンのコメント

「前回の試合で負けているので、今回勝つことは自分にとってとても重要でした。勝ててホントにうれしい。今年は私にとってあまりいい年ではありませんでした。毎回参戦していて疲れが積み重なったようです。3カ月くらい休息をとって、残念な結果に終わったマリオ選手ともう一度対戦したいです」

オーフレイムのコメント

「勝てると思っていたのでとても残念だ。『プライド』での3連敗は相手が強かったからではなく、自分の気持ちを出すことができなかったのが問題。最初はルールの違いからグラウンドの攻防に怖さを感じていたが、今はもう慣れた。もう一度チャンスをくれたら来年は素晴らしい年になるのだが」

▲オーフレイムの足関節が極まりかかるが、ボブチャンチンは落ち着いて回って逃げ、逆にマウントを奪う

▲マウントを取ったボブは、上からパンチを落とすも、オーフレイムの守りは固く、なかなか有効打を当てられない

▼▶いつの間にやらボブチャンチンはこんな技術まで習得していた！　立った状態のオーフレイムの足に、下からタコのように足を絡みつけて倒すと、そのままヒールホールドに。オーフレイムはしばらく我慢していたが、ボブにさらにきつく絞め上げられてあえなくタップ

アイブル戦のスリーパーに続き、足関節まで。
ボブのグラウンドテクの上達はスゴイぞ！

▲相手の顔面を殴りまくり蹴りまくる。

とかく見る側というのはどん欲であり、贅沢だ。ボブチャンチンが「おぉ～っ！」と感嘆符の付くような巧い足関節で勝っても、なんとなく物足りなさを感じてしまう。やっぱりボブには殴って勝ってほしいというか、殴って勝たなきゃダメなんだよなぁ。

やる側にとって、〝勝利〟が優先になるのはある意味仕方ない。まして不本意な成績が続いていれば、「とにかく勝ちたい」と思うのは当たり前だ。今年のボブの『プライド』での戦績は2勝2敗。前回『17』ではマリオ・スペーヒーに肩固めで完敗している。自他ともに認める『プライド』トップファイターとしては不本意この上ない成績であり、今年最後の今回は、絶対に落とせない大会だった。打撃にこだわらず、確実に勝とうとしたからといって何が悪い。しかも、膠着した末の判定勝ちというわけではなく、きっちりと一本勝ちして、なんで文句まで言われなきゃいけないんだと言われれば、それも至極もっともな話なのだが。

それでもボブチャンチンといえば、やはり期待するのは豪快で無慈悲な〝一発〟なのだ。たしかに、対戦相手のレベルはどんどん高くなる一方で、楽な相手などいない。オーフレイムにしたって、リングスKOKのファイナリストで強さは折り紙付き。しかも『プライド』参戦以来2連敗ということで、今回は気合いも入りまくりだった。そんな相手に完璧な一本勝ちしたボブに、さらに注文するなんてとは思うのだが……。でも、やっぱりというか、だからこそボブの一発が見たいんだよなぁ。（林）

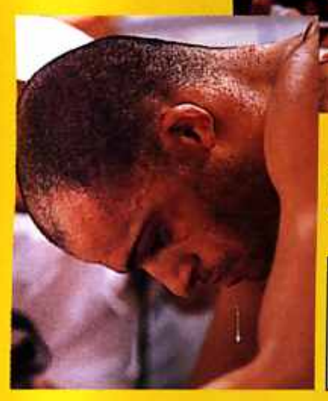
PRIDE.18

12.23★マリンメッセ福岡

こいつぁ掘り出し物だ！ 新星スティーブリング、喧嘩屋ゴエスに激勝

▶3R、一瞬の隙をついたスティーブリングはゴエスの顔面を容赦なく踏みつける。ここからサイドポジションを奪ったスティーブリングがヒザ連打→パンチでTKO勝利

▶1、2Rは終始ゴエスペース。肩固め、アームロック、腕十字と何度もチャンスを作るが極めきれず

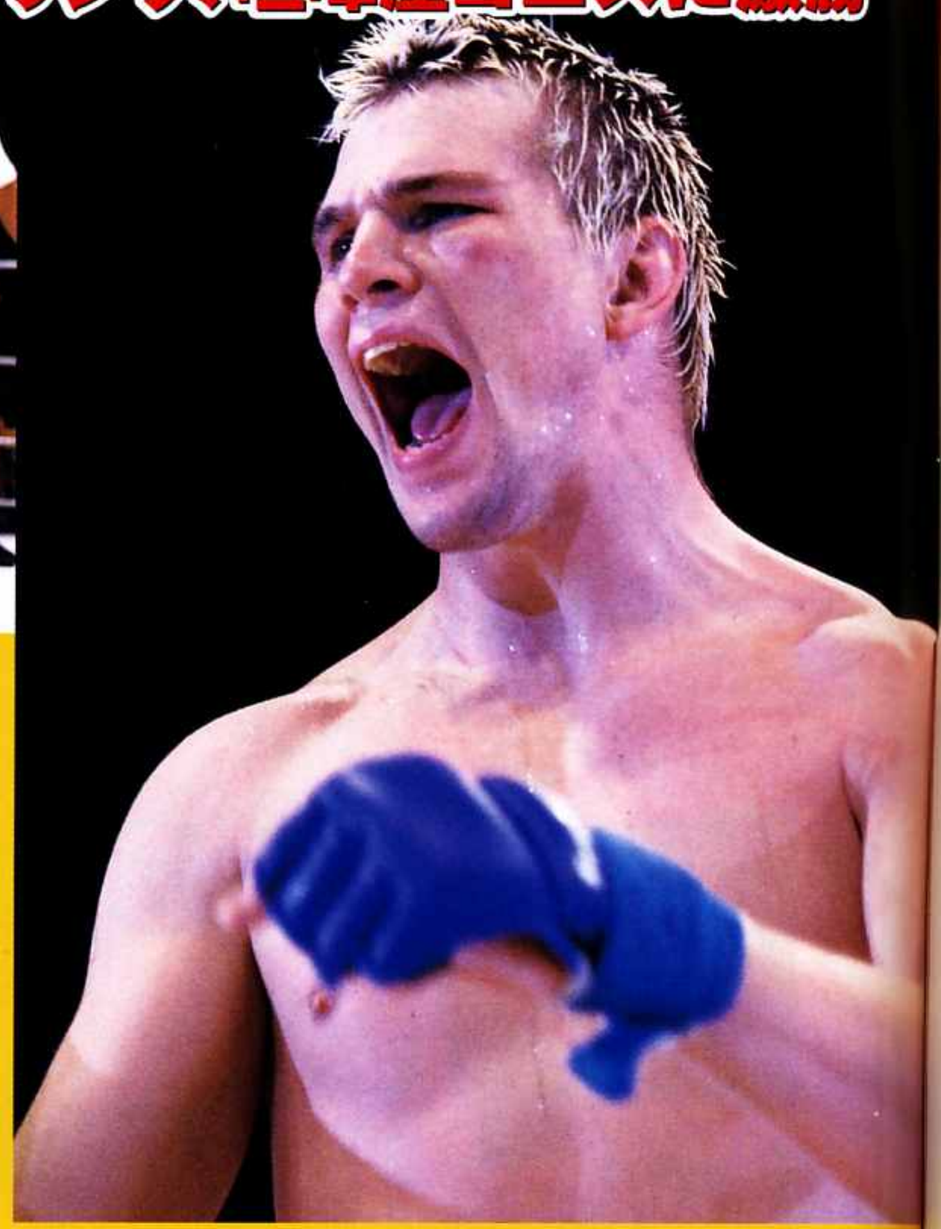


◀試合後、頭部の痛みを訴えたゴエスは病院に直行した

★第2試合（1R10分、2・3R5分）

○アレックス・スティーブリング（3R0分47秒、TKO勝ち）アラン・ゴエス●

〈USA/I.F.アカデミー〉　〈ブラジル/ブラジリアン・トップチーム〉



▲柔術界の強豪ゴエスを相手に見事勝利を収めたスティーブリング。この実力は本物なのか？　次回の参戦が楽しみだ

〝闘うブラピ〟、〝ケンタッキーの寝技師〟、〝ルイヴィル・スラッガー〟などと、至る所で異名が異なることからも分かるように、関係者でさえもどんな選手だかよく分かっていなかったファイター。それが今回『プライド』初参戦のアレックス・スティーブリングだ。大会2日前に初めて会った印象は至って普通。格闘技よりもゲームが好きって感じの男の子だ。しかし、今年2月にパンクラスで対戦した菊田早苗は「レスリング技術があって柔術を知ってる。パンチも強い。強かったですよ」とコメント。実際、VTで16勝1敗1無効試合という素晴らしい成績を残している。「だけど、ゴエスが相手では……」という思いを抱いたまま迎えた大会当日。序盤は完全にゴエスにペースを握られるも、3Rにスタミナの切れたゴエスの隙をつき、サイドからのヒザ蹴りで快勝。番狂わせを演じてみせた。だが、真の実力はまだ未知数。果たして、『プライド』ミドル級戦線の台風の目になるか？　（宗忠）

ニンジャ、ライオンズ・デンの実力者アンドラーデに圧勝！ ひょっとしてヴァンダレイよりも強い？

▲ニンジャはこの日の勝利によって師匠ペレ（左）からシュート・ボクセの黒帯を取得

▶打撃、テイクダウン、ポジショニング、全てにおいて能力が高いニンジャ。一部関係者からは「ヴァンダレイよりも強いのでは」との声も

▲相手の顔面を殴りまくり蹴りまくる。「これぞ〝シュート・ボクセ・スタイル〟！」という勝ち方で勝利したニンジャ。今年1年のシュート・ボクセの活躍を象徴するような一戦だった

★第3試合（1R10分、2・3R5分）

○ムリーロ・ニンジャ（3R判定3-0）アレックス・アンドラーデ●

〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉　〈USA/ライオンズ・デン〉

今年1年で一番株を上げたチームと言えば、まちがいなくシュート・ボクセ（以下、CB）だろう。ヴァンダレイ、ペレ、アスエリオが見せたバイオレンスな闘いぶりはインパクト大。そんなCBにあって、一部では「シウバ以上だ」との声が上がっているのが、この日ライオンズ・デンのアレックス・アンドラーデを血祭りに上げたムリーロ・ニンジャだ。『プライド17』ではダン・ヘンダーソンをポジショニングで圧倒し、この日もその驚異的なスタミナでアンドラーデを寝ても立ってもボコりまくった。CBのトレーナー、ハファエル・コルディロはこう語る「チームの中でサッカーが一番下手なのがヴァンダレイ、その次がニンジャ（笑）。けれども、VTミドル級では彼らがナンバーワン、ナンバーツーだよ」。さらに来年は、ハファエルが「身体能力はチーム一」と語るニルソン・ジ・カストロの『プライド』投入も計画にあるらしい。来年もCBからは目が離せそうにない。（宗忠）

◀今年2月に行われた『KOTC7』で高田道場の今村雄介に勝利しているアンドラーデ。『プライド』初参戦はまったくいいところを出せずに終わった

グレート・アントニオ 誌上通販

闘魂シリーズ

すべてオフィシャルの
オールド
タイマーズシリーズ
始めました！

fasting

¥18,000(税別)
●ファスティング・ダイエット

NU SCIENCE

●元気ですかジュース（1000ml入り） ¥5,800(税別)

●藤田和之フィギュア ¥4,800(税別)
※全高約19cm、ソフトビニール製。両腕・腰部分可動。

●（株）猪木事務所パーカー
（ネイビー／サイズLのみ）
¥6,500(税別)

CLOTHES

●アントニオ猪木'76Tシャツ
（デザインカラー黒・赤
サイズXS・S・M・L）
¥4,000(税別)

●前田日明クイック・キック・リーTシャツ
（白・黄／サイズXS・S・M・L）
¥3,800(税別)

●マスクド・ウィンドブレーカー
（黒・カーキ/サイズS・M・L）
¥6,800(税別)

●クイック・キック・リーパーカー
（グレー/サイズM・L）
¥6,500(税別)

FRONT
BACK

▲グレート・アントニオ＆『紙プロ』誌上通販＆リングス会場で絶賛発売中！

t-Shirts

●猪木軍団応援Tシャツ
（白/サイズXS・S・M・L）
¥4,000(税別)

●浅草キッドTシャツ
（デザイン黒・赤/サイズXS・S・M・L）
¥3,500(税別)

●とうふパンTシャツ
（黒・緑/サイズXS・M・L）
¥2,800(税別)

●猪木顔面Tシャツ
（白/サイズM・L・XL）
¥3,500(税別)

●（株）猪木事務所Tシャツ
（白・黒・赤/サイズM・L）
¥3,500(税別)

●グレート・アントニオTシャツ
（白/サイズXS・M・L
¥2,000(税別)

●桜庭和志ぬいぐるみ『サクモン』

¥1,800(税別)　¥3,500(税別)　¥2,800(税別)　¥3,500(税別)　¥3,500(税別)　¥2,000(税別)

hobby

●桜庭和志ぬいぐるみ『サクモン』
※ソフトビニール製・毛張り人形。
¥1,600(税別)

●マスクド・サクモン
(マスク取り外し可能。
オープンフィンガーグローブつき)
¥2,200(税別)

●アントニオ猪木vsブルーザー・ブロディTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥4,500(税別)

●ジョニー・バレンタインTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥3,800(税別)

●ボボ・ブラジルTシャツ
(ネイビー/サイズXS・S・M・L)
¥3,000(税別)

BACK
FRONT

●ルー・テーズTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥3,800(税別)

●モハメド・アリTシャツ
(白・ネイビー・赤
サイズS・M・L)
¥4,800(税別)

●ブルーザー・ブロディTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥3,800(税別)

●フリッツ・フォン・エリックTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥3,800(税別)

●ザ・シークTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥3,800(税別)

※LONSDALE製。サイズはワンサイズ大きめです。

G-SHOCK DW-6900
ーアントニオ猪木モデルー
店頭&サイトで販売中!
残りわずか!!!

ご注文方法

ご注文は電話受付のみです

『グレート・アントニオ』通販専用NAVIダイヤル
☎ 0570-007800 ※携帯電話からは掛かりません。
☎ 03-3295-4450 ※携帯電話でも掛かります。
【受付曜日・時間】月曜日～土曜日 AM10:00～PM6:00

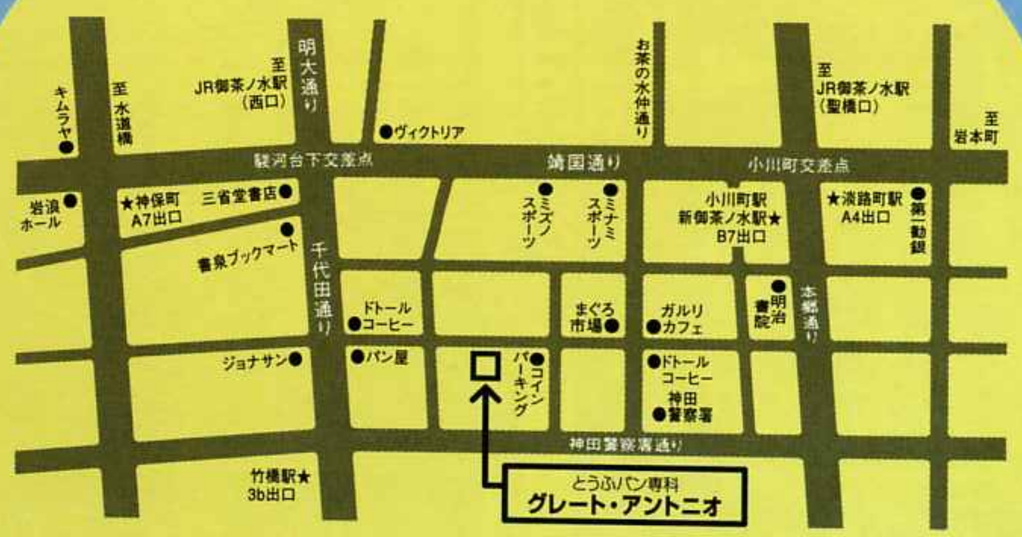
商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円(ゆうパック)、代引手数料約250円(いずれも地域によって異なります)がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で(株)ジャンボ(大阪)より郵送いたします。(ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください)

ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。(期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます)
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

ACCESS MAP



○神保町駅(半蔵門線/都営新宿線/都営三田線)より徒歩5分
○小川町駅(都営新宿線)より徒歩5分
○淡路町駅(丸ノ内線)より徒歩6分
○竹橋駅(東西線)より徒歩8分

OPEN 11:00～20:00(月曜定休)
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

http://www.great-antonio.jp

■応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう！

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
① 郵便番号・住所・電話番号
② お名前
③ 年齢・ご職業
④ 希望プレゼント名
⑤ 今号で面白かった記事とその理由（複数可）
⑥ 今号で面白くなかった記事とその理由（複数可）
⑦ 本誌に対するご意見・ご感想
を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先…〒101-0054 東京都千代田区神田錦町
3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『たっつぁん万座ビーチ㊶』係まで
締め切り…1月17日（木）
当日消印有効

【グレート・アントニオ提供】

大晦日に行った人だけ手に入るボンバイエグッズ！

●アントニオ猪木vs ブルーザー・ブロディTシャツ（白／サイズXS・S・M・L）

2名様

●ボボ・ブラジルTシャツ（ネイビー／サイズXS・S・M・L）

2名様

●ジョニー・バレンタインTシャツ（白／サイズXS・S・M・L）

2名様

●ルー・テーズTシャツ（白／サイズXS・S・M・L）

2名様

●『INOKI BOM-BA-YE 2001』大会記念Tシャツ

2名様

●『INOKI BOM-BA-YE 2001』大会記念キーホルダー

2名様

●『INOKI BOM-BA-YE 2001』大会記念スポーツバッグ

2名様

●グレート・アントニオ キーホルダー

3名様

※グレート・アントニオの商品に関するお問い合わせは、グレート・アントニオ☎03-3219-9550、またはhttp://www.great-antonio.jpまで

【コナミ提供】

ついにプレステ2に登場！
K-1ファイター18名が実名で参戦！

●PS2ソフト『K-1 WORLD GRAND PRIX 2001』

5名様

©2001 KONAMI
©K-1 2001
※絶賛発売中の定価¥6,800（税別）。この商品に関するお問い合わせは、コナミホットライン☎03-3344-3573まで

【アートヴィレッヂ提供】

謙吾&KARMA絶好調！

●"KARMA"謙吾サイン入りスウェット

1名様

※この商品に関するお問い合わせは、アートヴィレッヂ☎03-5819-6171まで

男の子から、男へ。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去20万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。

第1章　日本人の3人に2人は包茎です。

包茎は病気ではありませんが、病気を起こす根源になるとともに、心理的なコンプレックスの原因にもなるのです。解決の第1歩は24時間無料相談ができる東京上野クリニックのフリーダイヤルから。

第2章　包茎は百害あって一利なし。

包茎で大損した男の実話集。●包茎は早漏のもと。●包茎は雑菌の溜まり場、性病の巣。
包茎治療で得した男の実話集。●ムスコが一皮むけたら人間も一皮むけた。●いつでも「気持ちいい」セックスができる。

第3章　最新の技術「無痛」治療法。

綿密な研究を重ね、東京上野クリニック独自の最新技術「無痛4段階麻酔システム」を開発。手術を受けた方から「痛くなかった」という声が、その成果を実証しています。●まず確実な基礎麻酔から。●深部冷却法を採用することで痛みをシャットアウト。●日本一の極細針を使用することで針を刺したことすら感じさせません。●すぐ切れてしまう局部麻酔だけではなく「背面神経ブロック」により、手術中・手術後も完全無痛を配慮します。

第4章　ていねいな手作業「無傷」の仕上がり。

東京上野クリニック独自の手術法により「無傷」を実現。それはひとりひとりに合わせた「複合曲線作図法」を行っているから。●東京上野クリニックでは手術跡が残りにくい特殊な高周波メスを使用しています。●東京上野クリニックでは美容形成用の特殊糸と極細針を使い、他にはない独自の方法で縫合。

第5章　男の性を尊重した「安心」の提供。

●東京上野クリニックは、オール男性によるプロフェッショナル集団です。
●東京上野クリニックは、男性泌尿器専門の形成外科であり、女性美容形成はいっさい行っておりません。
●東京上野クリニックでは、24時間対応のフリーダイヤルシステムを完備しています。
●東京上野クリニックでは、「生涯再診無料」という安心保証システムを導入しました。
●東京上野クリニックでは、来院すら他人にわからない完全予約制による無料診断システムを導入しています。

第6章　早めの対応が肝心な性病治療。

●包茎は尿道炎やコンジローム、包皮炎などの原因をつくりやすくします。●たいていの性病は早めの治療ですぐ完治。迷わずすぐに相談を。
●東京上野クリニックは、包茎治療と同じく、性病検査についても24時間受け付けております。

第7章　男女とも快感をアップする法。

●「余分な包皮」のカットは女性を歓喜させます。●カリに摩擦感が生まれない「余分な包皮」は、セックスの快感を大きく妨げます。

第8章　男をさらに磨く改造計画。

●東京上野クリニックでは、独自の方法で開発したコラーゲンによる亀頭増強法を提案いたします。
●東京上野クリニックでは、敏感な亀頭を強化して早漏を抑えます。

第9章　もうひとつの男を磨く道。それは育毛。

●日本人の4人に1人は薄毛に関する悩みを抱えています。●東京上野クリニックでは、その人にあった治療法をセレクトします。
●東京上野クリニックは、豊富な育毛法を提案します。

第10章　もうひとつの男を磨く道。それは脱毛。

●いま、スベスベ肌の男性がなぜモテる。●東京上野クリニックのレーザー脱毛なら、「無痛」「無傷」「安心」。
●東京上野クリニックのレーザー脱毛で得した男の話。

（以上：全て目次より）

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別）判型：A5判　ページ数：80頁

発行所 株式会社双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3番28号

ご紹介できる全国の上野クリニック一覧

札　幌 011-252-6000

中央区北4条西2 アイビル4F

仙　台 022-723-3000

青葉区中央1-6-27 仙信ビル7F

新　潟 025-241-4000

新潟市花園1-4-6 柳都ビル2F

大　宮 048-642-1000

さいたま市宮町2-11 ハシモトビル7F

東　京 03-3274-4000

中央区八重洲1-8-16 新橋町ビル14F

上　野 03-3876-7000

台東区根岸1-8-18 高松ビル4F

渋　谷 03-5784-3000

渋谷区宇田川町33-8 塚田ビル7F

新　宿 03-3343-4000

新宿区西新宿1-3-15 栃木ビル7F

横　浜 045-323-5000

西区北幸2-10-50 北幸山田ビル2F

千　葉 043-221-8000

中央区富士見1-2-11 勝山ビル6F

浜　松 053-452-6000

浜松市鍛冶町140-3イズムハママツCビル5F

名古屋 052-562-5000

中村区名駅3-26-21 新香取ビル6F

京　都 075-352-5000

下京区新町通七条下ル東塩小路町593クリスタル駅前ビル1F

大阪北 06-6456-3000

北区梅田1-2 駅前第2ビル2F

大阪南 06-6634-3000

中央区難波3-5-11 東亜ビル8F

岡　山 086-224-9000

岡山市本町6-36 第一セントラルビル3F

福　岡 092-415-6000

博多区博多駅東1-12-7 第13岡部ビル2F

鹿児島 099-812-3800

鹿児島市中央町3-26 西駅M.Nビル5F

この本についてのお問い合わせは
TEL/03-5543-3700

泌尿器科・形成外科・性病科
東京上野クリニック

24時間無料電話相談
0120-508-550
携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合テープ案内
0120-087-008
携帯・PHSからもご利用できます。

メール相談もできる男のHP　http://www.ueno.co.jp　携帯アドレス　http://www.ueno-c.com

iTV2002プロジェクト

インターネット動画放送 ～格闘編～

新年1月2日緊急独占配信

11月3日
東京ドームで
何が起こったのか？

桜庭の高田真実

ガチンコ道場マッチ
高田VS桜庭
3R完全
放送

2002年に
賭ける
熱き想い

http://www.e-goraku.tv

鑑賞用電子チケット絶賛発売中

限定オリジナル・グッズ付

■12.23 福岡マリンメッセ PRIDE18 会場
■12.31 さいたまスーパーアリーナ
INOKI BOM-BA-YE会場
■高田道場 http://www.takada-dojo.com
■PRIDE http://www.so-net.ne.jp/pride/

Aチケット ¥5,000
（チケット＋限定長袖Tシャツ）

Bチケット ¥10,000
（チケット＋限定フリース＋写真集）

Cチケット ¥30,000
（チケット＋限定リバーシブル・ジャケット＋写真集）

お問い合わせ：無料ダイアル 0120-832077
iTV2002プロジェクト～格闘編～事務局

本チケットは【windows専用】です。マッキントッシュ及び吸い込み型CD-ROMドライブには対応しておりません。

主催:システム・コンサルタンツ株式会社／技術協力:NTTコミュニケーションズ／制作:株式会社フォーブリック／後援:株式会社高田道場・株式会社ドリームステージエンターテインメント

XCLSX

1・24 臨時増刊 No.67

12.23『PRIDE.18』福岡初上陸・速報！
小川、猪木祭り不参加で前代未聞の内幕暴露

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成14年1月24日発行　増刊　第4巻・2号・通算61号
編集人・谷川貞治　発行人・柳沢忠之　発行所・(株)フジテレビ出版／
(株)ローデス　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

特定別冊 720
本体686円

雑誌21586-1/24
Ⓛ-2002.2/28
T1121586010722
Printed in Japan

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成14年1月24日発行　増刊　第4巻・2号・通算61号（SRS・DX1月24日臨時増刊号別冊付録）

SRS・DX 2002 CALENDAR

SRS・DX別冊付録

格闘技界のボーダレス化が進み、

以前は想像もつかなかった

ジャンルの枠を越えた闘いが

もはや日常的に行われている。

他流試合

猪木軍対Ｋ－１を代表として、

ファンを魅了する他流試合が多く行われた2001年。

2002年も妥協なき他流試合は続く……

▲前回の見に来る時に愛娘って。一一思いま～嬉しそう

猪木軍

安田　だからぁ、こんだけシチュエーションができてて出て負けた中で自転車こがなきゃいけないの？　1日2回もお。

んだよねぇ……。
——そんなに言われてるんですか？
ら（笑）、自分のいっぱいだけでもそっちりやろうと。

たんだよ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1 元旦	2	3	4	5
6	7	8	9	10 SRS·DX NO.62	11	12
13	14 成人の日	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24 SRS·DX NO.63	25	26
27	28	29	30	31		

JANUARY 1

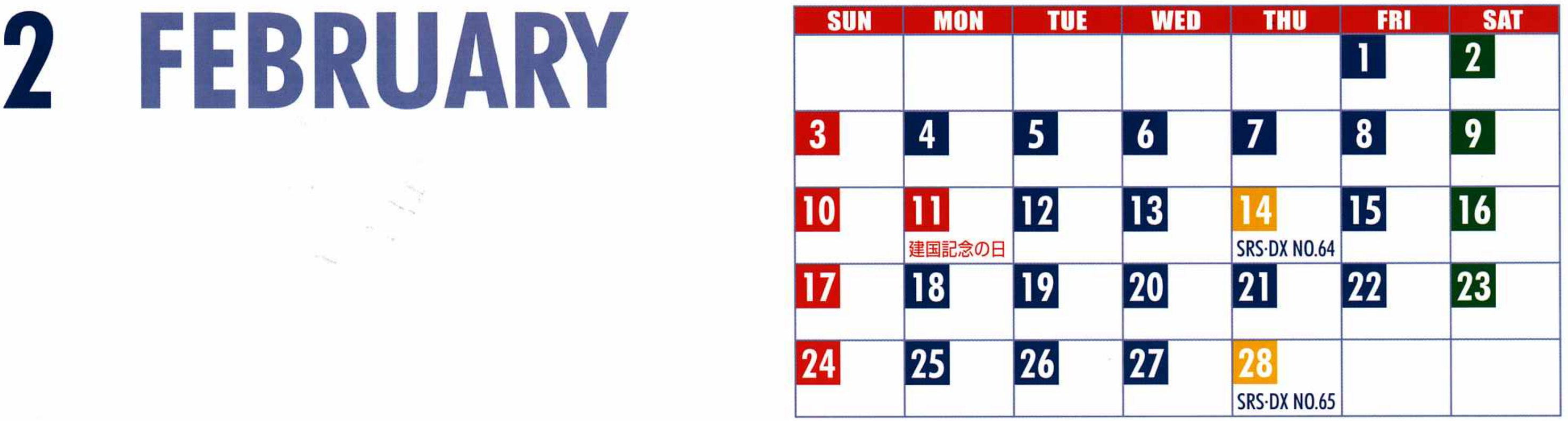
『PRIDE.17』2001年11月3日◎東京ドーム……●ヴァンダレイ・シウバ（1R終了時、ドクターストップ）桜庭和志○

PRIDE.13で、“戦慄のヒザ小僧”の異名をとるムエタイファイター・シウバの蹴撃により、まさかのレフェリーストップ負けを喫した桜庭。その雪辱を期し、プロレスラーとしての威信を賭けて臨んだPRIDE.17では、シウバの強烈なボディスラムを受けた際に肩鎖関節を脱臼してしまい、ドクターストップによる無念の連敗。リベンジを達成することはできなかった

※大会の日程により発売日が変わる場合がありますので、予めご了承ください

2 FEBRUARY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 建国記念の日	12	13	14 SRS·DX NO.64	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28 SRS·DX NO.65		



んだよね え……。
——そんなに言われてるんですか？
そうこと。
ら（笑）、自分のいってだけでもそっちり

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14 SRS·DX NO.66	15	16
17	18	19	20	21 春分の日	22	23
24/31	25	26	27	28 SRS·DX NO.67	29	30

MARCH 3

『PRIDE.15』2001年7月29日◎さいたまスーパーアリーナ……●石澤常光（1R4分51秒、KO勝ち）ハイアン・グレイシー○

プロレス界最高のブランドである新日本プロレスの看板を背負ったケンドーカシンが再びマスクを脱ぎ、石澤常光としてPRIDEのリングに立った、一年越しのリベンジマッチ。同じ相手に2度負けるわけにはいかない石澤はグレイシー柔術の暴れん坊ハイアンを技術と気迫で圧倒し、戦意喪失させてKO勝ちを収めた

4 APRIL

※大会の日程により発売日が変わる場合がありますので、予めご了承ください

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 SRS·DX NO.68	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25 SRS·DX NO.69	26	27
28	29 みどりの日	30				

すもんね。

安田 だからぁ、こんだけシチュエーションができてて出て負けた力月自転車こいでさ、なんであんな山の中で自転車こがなきゃいけないの？　1日2回もお。

▲前回のレネ
見に来ることに
時に愛娘が見に
って。一応、
思いま～す（
嬉しそうだっ

たんだよ

んだよねえ……。

——そんなに言われてるんですか？

ら（笑）。自分のことだけでもきっちり

やろうと。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3 憲法記念日	4 国民の休日
5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9 SRS·DX NO.70	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 SRS·DX NO.71	24	25
26	27	28	29	30	31	

MAY 5

『DEEP2001』2001年1月8日◎愛知県体育館……▲村浜武洋（時間切れ引き分け）ホイラー・グレイシー▲

グレイシー一族最高のテクニシャン、究極の寝技師ホイラーが新進のイベントDEEPに参戦。立ち技バーリ・トゥード、シュートボクシングの元カーディナル級王者で、現大阪プロレスの村浜と相対した。下馬評では圧倒的にホイラー有利だったものの、村浜はホイラーの執拗な寝技の攻撃をしのぎ切り、終盤には嵐のような打撃で追い詰め、価値あるドローをもぎ取った

6 JUNE

※大会の日程により発売日が変わる場合がありますので、予めご了承ください

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13 SRS·DX NO.72	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27 SRS·DX NO.73	28	29

すもんね

安田 だからぁ、こんだけシチュエーションができてて出て負けた

▲前回のレ見に来るこ時に愛娘が。って。一応思いま〜す嬉しそうだ

んだよねえ……。

——そんなに言われてるんですか？

やっぱり。

ら（笑）、自分のいっぱいだけでもそっちの

JANUARY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

FEBRUARY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

MARCH

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

APRIL

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT

JULY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

AUGUST

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

SEPTEMBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

OCTOBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT

APRIL

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

MAY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

JUNE

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

OCTOBER

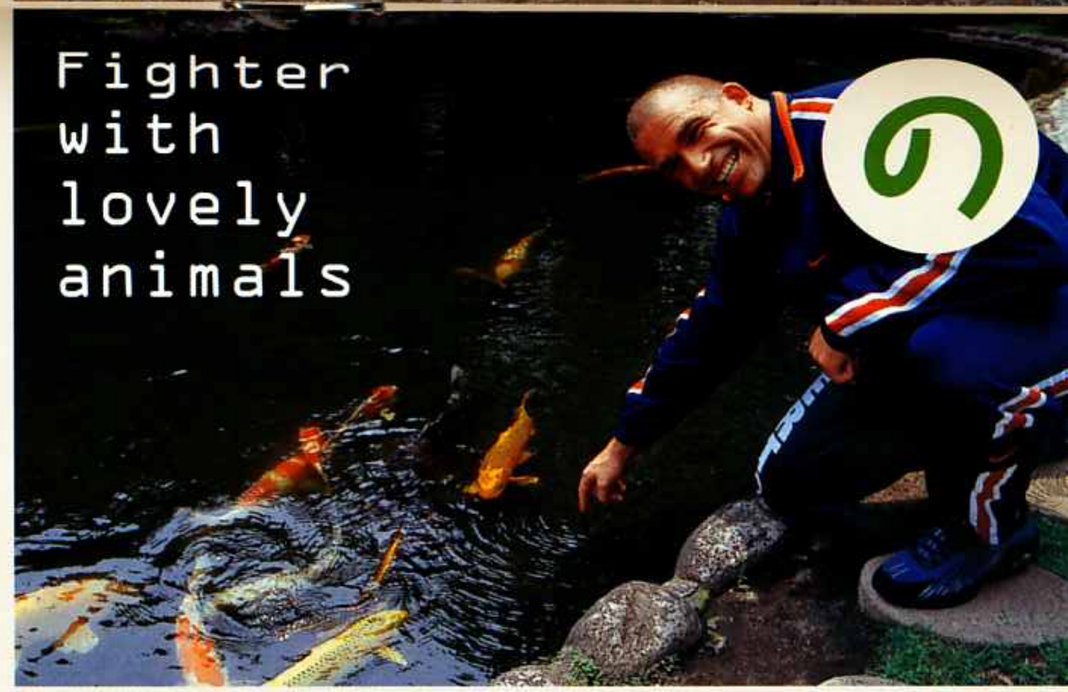
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

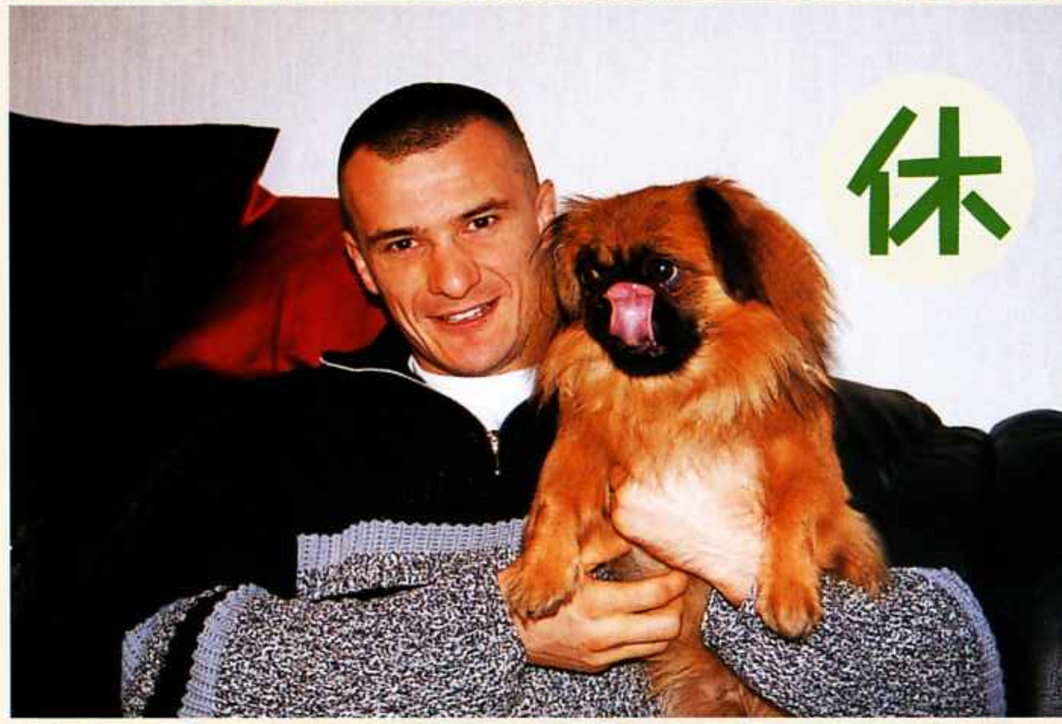
NOVEMBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

DECEMBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				





すもんね。

安田 だからぁ、こんだけシチュエーションができてて出て負けたら、なんでこんな山の中で自転車こがなきゃいけないの？　1日2回もね。

▲前回のレポートを見に来ることって。一応、時に愛娘が思いま〜す。嬉しそうだ。

んだよねぇ……。

——そんなに言われてるんですか？

やろうと。

ら（笑）、自分のことだけでもそっちり

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 SRS·DX NO.74	12	13
14	15	16	17	18	19	20 海の日
21	22	23	24	25 SRS·DX NO.75	26	27
28	29	30	31			

JULY 7

『K-1 ANDY MEMORIAL 2001 JAPAN GP 決勝戦』2001年8月19日

●ニコラス・ペタス（延長判定3-0）武蔵●

K—1ジャパンGP決勝。3連覇確実と言われた正道代表の武蔵と、極真サムライ、大山倍達最後の内弟子ニコラス・ペタスが最高のシチュエーション魂のこもった攻めを見せるニコラスと高度なテクニックで着実にポイントライド、ファイトスタイルの是非を賭けた闘いは延長戦にまで及んだが、ともにニコラスを支持した

を代表する
で激突した。
を稼ぐ武蔵。
勝利の女神は

を代表する青い目の
で激突した。前に出て
を稼ぐ武蔵。流派のプ
勝利の女神は、観客と

8 AUGUST

※大会の日程により発売日が変わる場合がありますので、予めご了承ください

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8 SRS·DX NO.76	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22 SRS·DX NO.77	23	24
25	26	27	28	29	30	31

すもんね。

安田 だからぁ、こんだけシチュエーションができてて出て負けた

カ月自転車こいでさ、なんであんな山の中で自転車こがなきゃいけないの？　1日2回もお。

▲前回のレ
見に来ること
時に愛娘が見
って。一応、
思いま～す
嬉しそうだ

んだよねぇ……。
——そんなに言われてるんですか？
ら（笑）、自分のことだけでもそっちり
やろうと。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12 SRS·DX NO.78	13	14
15 敬老の日	16 振替休日	17	18	19	20	21
22	23 秋分の日	24	25	26 SRS·DX NO.79	27	28
29	30					

SEPTEMBER 9

『K-1 ANDY MEMORIAL 2001 JAPAN GP 決勝戦』2001年8月19日◎さいたまスーパーアリーナ

●ミルコ・クロコップ（1R0分39秒、TKO勝ち）藤田和之○

2001年最高の激突、猪木軍対K−1。そのリングにK−1の代表として立ったのは抗争に火をつけたバンナではなく、ミルコだった。
感情を表に出さない静かなる男、ミルコは内に秘めたK−1戦士の魂で“猪木イズム最後の継承者”藤田和之を、ヒザ蹴り一発でマットに沈めた

※大会の日程により発売日が変わる場合がありますので、予めご了承ください

10 OCTOBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10 SRS-DX NO.80	11	12
13	14 体育の日	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24 SRS-DX NO.81	25	26
27	28	29	30	31		

安田　だからぁ、こんだけシチュエーションができてて出て負けた

中で自転車こがなきゃいけないの？　1日2回もお。

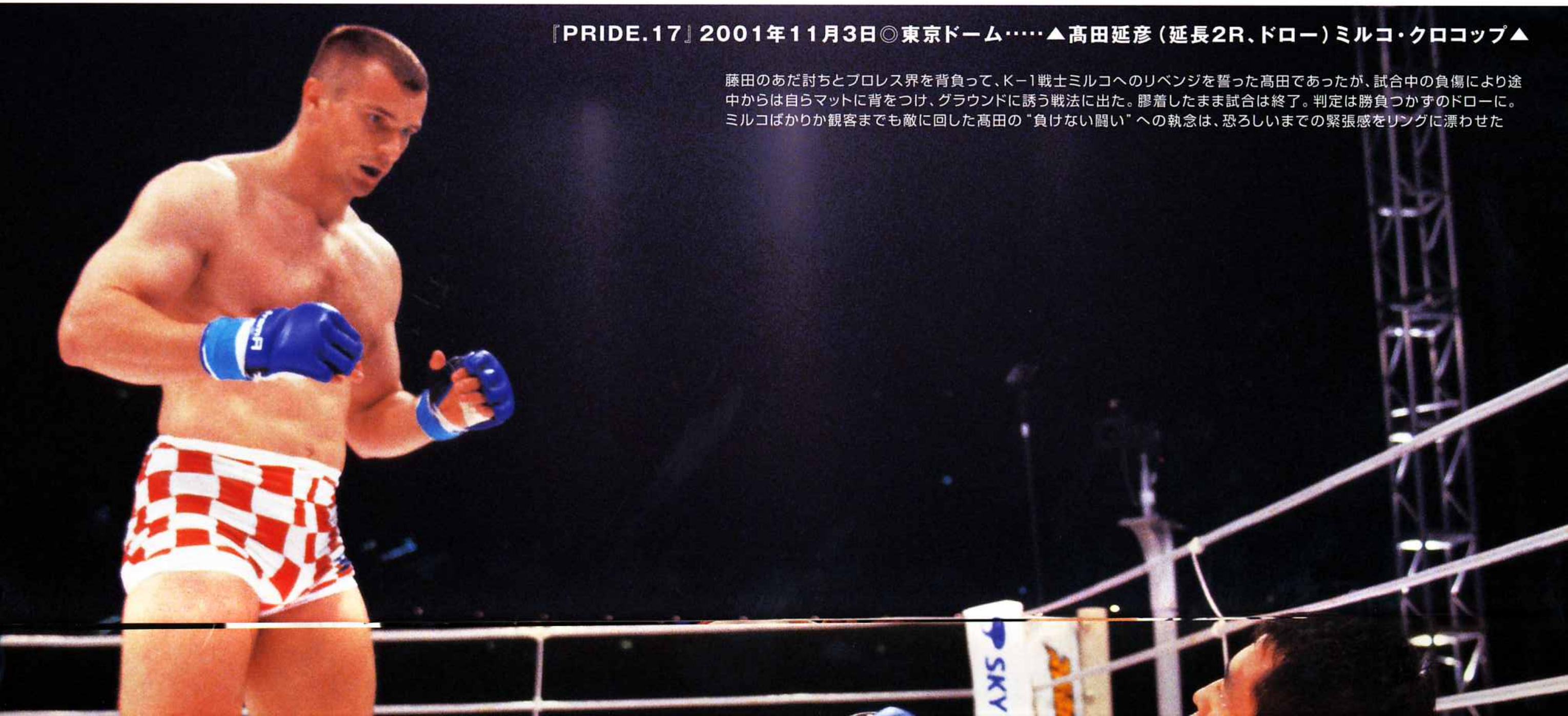
▲前回のレ見に来るこ時に愛娘が！って。一応思いま～す嬉しそうだ

やっぱり（笑）、自分のことだけでもそっちらんだよねぇ……。

——そんなに言われてるんですか？

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3 文化の日	4 振替休日	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14 SRS-DX NO.82	15	16
17	18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日
24	25	26	27	28 SRS-DX NO.83	29	30

NOVEMBER 11



『PRIDE.17』2001年11月3日◎東京ドーム……▲髙田延彦（延長2R、ドロー）ミルコ・クロコップ▲

藤田のあだ討ちとプロレス界を背負って、K−1戦士ミルコへのリベンジを誓った髙田であったが、試合中の負傷により途中からは自らマットに背をつけ、グラウンドに誘う戦法に出た。膠着したまま試合は終了。判定は勝負つかずのドローに。ミルコばかりか観客までも敵に回した髙田の“負けない闘い”への執念は、恐ろしいまでの緊張感をリングに漂わせた

※大会の日程により発売日が変わる場合がありますので、予めご了承ください

12 DECEMBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12 SRS-DX NO.84	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 天皇誕生日	24	25	26 SRS-DX NO.85	27	28
29	30	31				

すもんね。

田村 だからぁ、こんだけシチュエーションができてて出て負けた

カ月自転車こいでさ、なんであんな山の中で自転車こがなきゃいけないの？　1日2回もお。

▲前回のレ
見に来るこ
時に愛娘が
ってて。一応
思いま～す
嬉しそうな

SRS・DX 2002 CALENDAR

SRS・DX別冊付録